

**板橋区シニア活動推進計画高齢者ニーズ調査
(郵送調査)
報告書**

平成 29 年 3 月

板 橋 区

目次

第1章 調査の概要.....	1
1. 調査実施の目的.....	1
2. 調査対象.....	1
3. 調査期間.....	1
4. 調査方法.....	1
5. 調査項目.....	1
6. 回収結果.....	1
7. 調査結果を見る上での注意事項.....	2
第2章 調査結果の概要.....	3
1. 働く意欲・就労状況について.....	3
2. 健康管理.....	8
3. 外出／近所づきあいの程度.....	10
4. 情報へのアクセス.....	13
5. 地域活動等への参加状況.....	14
6. 老人クラブについて.....	17
第3章 調査結果の詳細.....	19
1. 回答者の属性.....	19
(1) 調査票の記入者.....	19
(2) 居住地.....	19
(3) 性別・年齢.....	20
(4) 居住地区.....	21
(5) 地区での居住年数.....	24
(6) 世帯構成.....	27
(7) 介護の状況.....	30
(8) 住居形態.....	33
(9) 年収.....	36
2. 働く意欲・就労状況について.....	37
(1) 定期的な収入源.....	37
(2) 今の暮らし向き.....	38
(3) 最後に卒業した学校.....	40
(4) 現在の職業・雇用形態.....	42
(5) 65歳以前の就業状況.....	53
(6) 今後の就業意向.....	54
(7) 希望する働き方.....	56

3. 健康管理	74
(1) 健康状況	74
(2) かかりつけ医の有無	75
(3) 心配ごとや悩みの状況	76
(4) ふだんの生活について・日常の活動状況	78
(5) 認知機能障害区分 (CPS)	83
(6) 歯ぐき・歯の状態	85
(7) 噛んで食べる時の状態	86
4. 外出／近所づきあいの程度	88
(1) 外出頻度	88
(2) 外出することについての考え	90
(3) 近所づきあいの程度	91
(4) 友人・知人・別居の家族・親戚のつきあいの程度	94
(5) 予定がなくても気軽に行ける場所	96
5. 情報へのアクセス	99
(1) 携帯情報端末の利用状況	99
(2) 携帯情報端末で通話以外に利用している機能	100
(3) インターネットの利用状況	101
(4) インターネットで利用している機能	102
(5) 公的機関の情報を得る際に情報端末を利用しているか	103
(6) 公的機関の情報提供における情報端末等の活用についての考え	104
6. 地域活動等への参加状況	105
(1) この1年間に参加した活動、今後新たに参加したいもの	105
(2) 最も多く参加した活動	107
(3) 地域活動等に参加しない理由	110
(4) 地域活動等に参加するきっかけになると思うこと	111
7. 区の実施の認知・参加状況	112
(1) 区の事業に対する認知・参加状況	112
8. 老人クラブについて	115
(1) 老人クラブへの加入状況	115
(2) 老人クラブに参加しない理由	117
9. 今後の意向	119
(1) これからの生活で今以上に取り組みたい・心がけたいもの	119
第4章 資料編	121
1. 調査票	121

第1章 調査の概要

1. 調査実施の目的

高齢化の進展に伴い、何らかの支援や介護を必要とする高齢者が増加する一方で、そうした支援を必要としない元気な高齢者（以下、「元気高齢者」という。）も増加している。豊富な知識や経験を有しているこうした人たちは、今後の超高齢社会において、さまざまな分野で活躍することが期待されている。

そこで、板橋区における元気高齢者に対して取り組むべき施策の方向性を示し、事業を体系的に取りまとめた「(仮称)板橋区シニア活動推進計画」の策定に資するものとして、元気高齢者の生活実態や健康状態、また、就労の状況や生きがいなどについて現状を把握する「板橋区シニア活動計画高齢者ニーズ調査」(郵送調査、インターネット調査)を行った。

本報告書は、このうち郵送調査の調査結果について取りまとめたものである。

2. 調査対象

① 調査対象者

板橋区に住所を有する65歳～84歳の区民（平成29年1月1日現在での年齢）

② 対象者の人数および抽出方法

介護保険システムより、地域包括支援センター圏域別に人口案分し、無作為に男女3,000人を抽出した。ただし、要介護認定者は除外した。

3. 調査期間

平成29年1月10日（火）～1月25日（水）でアンケート調査を実施。

※期間中に1回、礼状兼協力依頼の葉書を送付した。

4. 調査方法

調査票は郵送による配布・回収を行った。

5. 調査項目

1. 回答者の属性
2. 健康に関すること

6. 回収結果

3,000票を配布し、回収数は1,924票、回収率は64.1%である。

うち無効回答が6票のため、有効票数は1,918票、有効回収率は63.9%である。

7. 調査結果を見る上での注意事項

- 本文、表、グラフなどに使われる「n」は、各設問に対する回答者数である。
- 集計表の割合は、小数点第 2 位を四捨五入して算出しているため、回答比率を合計しても 100.0%にならない場合がある。
- 回答比率は、その設問の回答者数（グラフ、集計表では「TOTAL」と記載）を母数として算出している。複数回答の設問では、全ての回答比率を合計すると 100.0%を超えることがある。
- クロス集計の際、表側の無回答（例えば、地区別で地区を無回答だった人の回答結果）については非掲載としている。そのため、回答者数の合計が TOTAL の母数と一致しないことがある。

第2章 調査結果の概要

1. 働く意欲・就労状況について

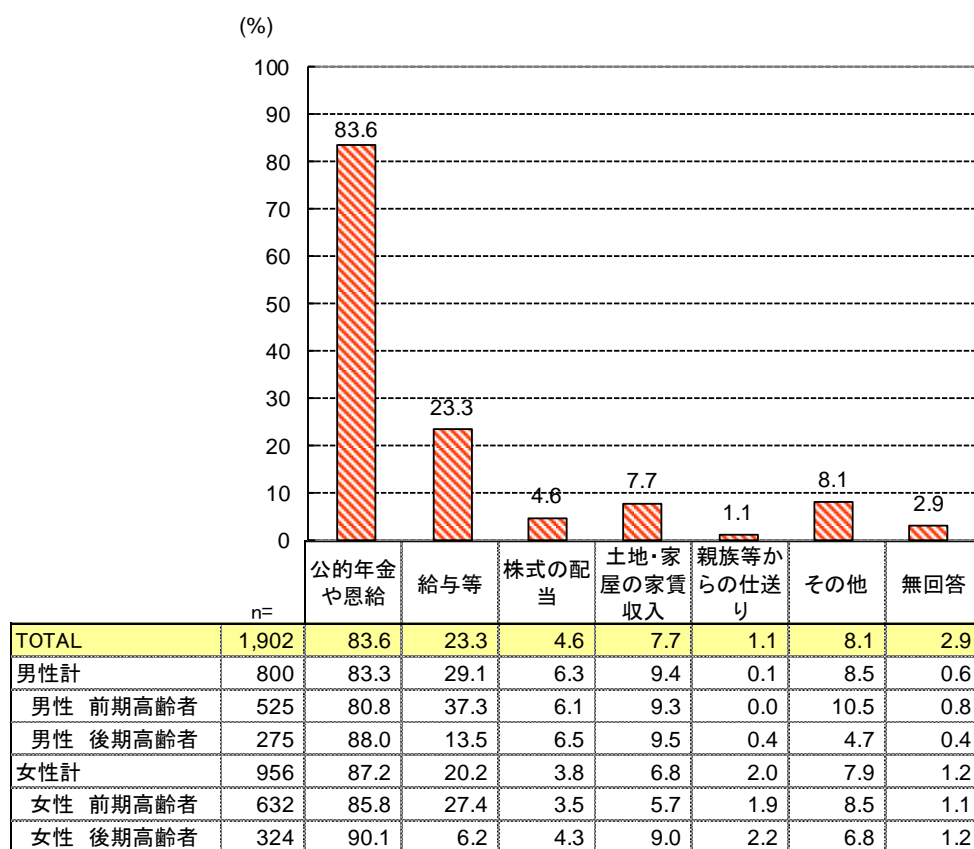
(1) 定期的な収入源

問9 あなた（宛名のご本人）は、定期的な収入をどこから得ていますか。（〇はいくつでも）

定期的な収入源については、「公的年金や恩給」が83.6%、次いで「給与等」（23.3%）、「その他」（8.1%）となっている。

性年代別でみると、いずれも「公的年金や恩給」が最も高いが、前期高齢者では、「給与等」が男性前期高齢者で37.3%、女性前期高齢者で27.4%と後期高齢者に比べ高くなっている。

図表 2.1.1 定期的な収入源（複数回答）：性年代別



(2) 現在の職業・雇用形態

① 現在の職業

問 11 あなた（宛名のご本人）の現在の職業をお答えください。副業があるなど複数の仕事をお持ちの場合も、主な職業に1つだけ○をつけてください。（○は1つのみ）

現在の主な職業は、「無職・仕事からは引退した」が 36.2%と最も高く、次いで「主婦・主夫（専業）」(21.2%)、「主婦・主夫（パートタイム従業者）」(8.9%) となっている。

性別でみると、男性では、「無職・仕事からは引退した」が 50.8%と女性（24.3%）より高く、女性では「主婦・主夫（専業）」が 37.8%と最も高くなっている。

図表 2.1.2 現在の職業：性年代別

	n=	管理的職業	専門的・技術的職業	事務	販売	サービス職業	保安職業	農林漁業	生産工程	輸送・機械運転
TOTAL	1902	67	84	43	39	79	10	2	16	40
	100	3.5	4.4	2.3	2.1	4.2	0.5	0.1	0.8	2.1
男性計	800	50	52	14	23	37	10	0	11	32
	100	6.3	6.5	1.8	2.9	4.6	1.3	0.0	1.4	4.0
男性 前期高齢者	525	38	44	11	15	29	9	0	7	29
	100	7.2	8.4	2.1	2.9	5.5	1.7	0.0	1.3	5.5
男性 後期高齢者	275	12	8	3	8	8	1	0	4	3
	100	4.4	2.9	1.1	2.9	2.9	0.4	0.0	1.5	1.1
女性計	956	14	27	29	14	37	0	2	3	1
	100	1.5	2.8	3.0	1.5	3.9	0.0	0.2	0.3	0.1
女性 前期高齢者	632	11	23	26	10	33	0	0	3	1
	100	1.7	3.6	4.1	1.6	5.2	0.0	0.0	0.5	0.2
女性 後期高齢者	324	3	4	3	4	4	0	2	0	0
	100	0.9	1.2	0.9	1.2	1.2	0.0	0.6	0.0	0.0

	n=	建設・採掘	運搬・清掃・包装など	その他	主婦・主夫（パートタイム従業者）	主婦・主夫（専業）	学生	無職・仕事からは引退した	無回答	上段：度数 下段：%
TOTAL	1902	27	49	66	170	403	1	688	118	
	100	1.4	2.6	3.5	8.9	21.2	0.1	36.2	6.2	
男性計	800	23	23	39	26	9	0	406	45	
	100	2.9	2.9	4.9	3.3	1.1	0.0	50.8	5.6	
男性 前期高齢者	525	18	19	30	23	3	0	226	24	
	100	3.4	3.6	5.7	4.4	0.6	0.0	43.0	4.6	
男性 後期高齢者	275	5	4	9	3	6	0	180	21	
	100	1.8	1.5	3.3	1.1	2.2	0.0	65.5	7.6	
女性計	956	0	25	24	129	361	1	232	57	
	100	0.0	2.6	2.5	13.5	37.8	0.1	24.3	6.0	
女性 前期高齢者	632	0	22	15	97	225	1	141	24	
	100	0.0	3.5	2.4	15.3	35.6	0.2	22.3	3.8	
女性 後期高齢者	324	0	3	9	32	136	0	91	33	
	100	0.0	0.9	2.8	9.9	42.0	0.0	28.1	10.2	

② 雇用形態

問 11-1 現在のお仕事の主な雇用形態は次のどれに当てはまりますか。(○は1つのみ)

主婦・主夫（専業）、学生、無職・仕事からは引退した人（全回答者 1,902 人中 1,210 人）を除いた、692 人について、勤労者の現在の仕事の主な雇用形態をみると、「パート・アルバイト・契約社員」が 34.7%と最も高く、次いで「自営業主、自由業」（23.1%）、「正規職員・正規従業員」（8.2%）となっている。

性年代別でみると、男性では「自営業主・自由業」が「パート・アルバイト・契約社員」より高くなっている。一方、女性では、「自営業主、自由業」より「パート・アルバイト・契約社員」の方が高くなっているが、女性後期高齢者では、「自営業主・自由業」が無回答を除き、最も高くなっている。

図表 2.1.3 現在の仕事の主な雇用形態【ベース：勤労者】：性年代別

	n=	自営業主、 自由業	家族従業	正規職員・ 正規従業員	パート・アル バイト・契約 社員	嘱託	人材派遣企 業の派遣社 員	その他の雇 用者	会社・団体 などの管理 職・役員	家庭での内 職	その他	無回答	上段：度数 下段：%
TOTAL	692	160	26	57	240	41	17	21	46	0	7	77	
	100	23.1	3.8	8.2	34.7	5.9	2.5	3.0	6.6	0.0	1.0	11.1	
男性計	340	108	6	39	86	28	11	11	38	0	4	9	
	100	31.8	1.8	11.5	25.3	8.2	3.2	3.2	11.2	0.0	1.2	2.6	
男性 前期高齢者	272	86	3	33	74	23	11	8	26	0	3	5	
	100	31.6	1.1	12.1	27.2	8.5	4.0	2.9	9.6	0.0	1.1	1.8	
男性 後期高齢者	68	22	3	6	12	5	0	3	12	0	1	4	
	100	32.4	4.4	8.8	17.6	7.4	0.0	4.4	17.6	0.0	1.5	5.9	
女性計	305	39	19	17	137	11	6	8	5	0	2	61	
	100	12.8	6.2	5.6	44.9	3.6	2.0	2.6	1.6	0.0	0.7	20.0	
女性 前期高齢者	241	24	17	15	129	9	3	6	3	0	2	33	
	100	10.0	7.1	6.2	53.5	3.7	1.2	2.5	1.2	0.0	0.8	13.7	
女性 後期高齢者	64	15	2	2	8	2	3	2	2	0	0	28	
	100	23.4	3.1	3.1	12.5	3.1	4.7	3.1	3.1	0.0	0.0	43.8	

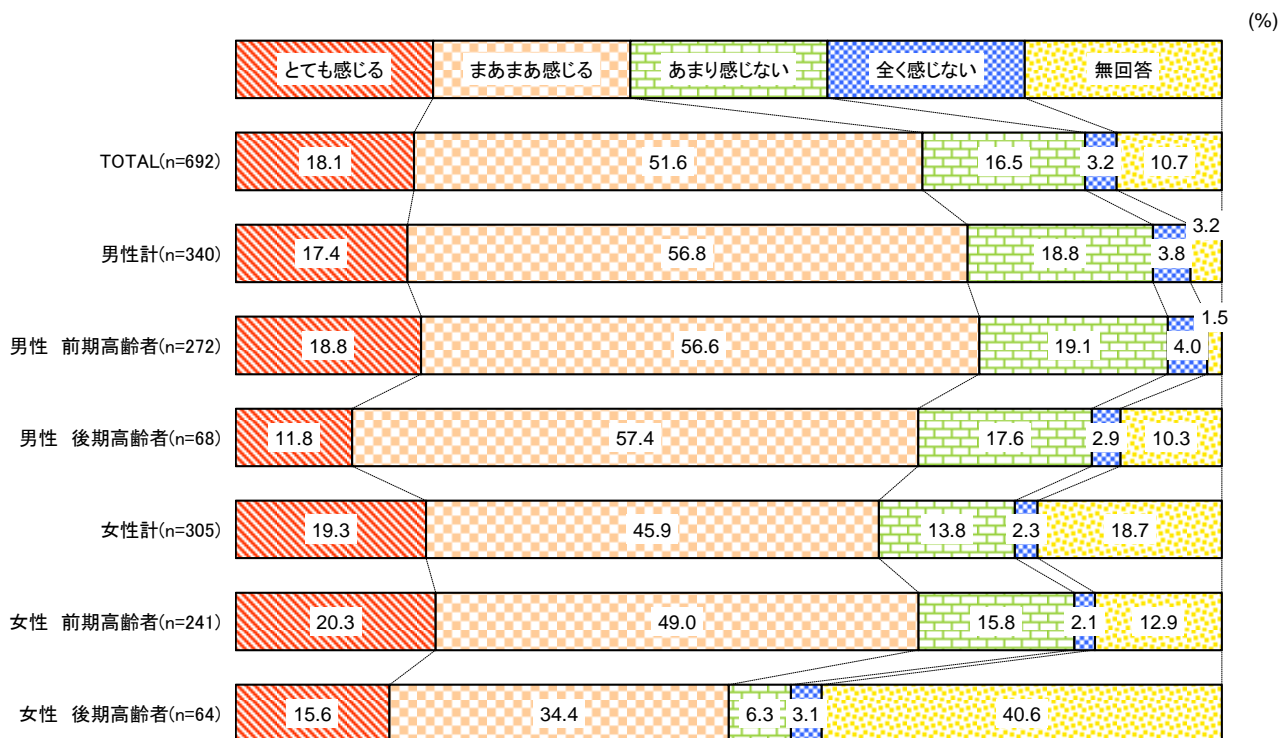
③ 仕事に「いきがい」を感じているか

問 11-3 今の仕事に「いきがい」を感じていますか。(〇は1つのみ)

今の仕事に「いきがい」を「とても感じる」が18.1%、「まあまあ感じる」が51.6%と合わせて69.7%が『感じる』と回答している。一方、「全く感じない」が3.2%、「あまり感じない」が16.5%で合わせて19.7%が『感じない』となっている。

性年代別で見ると、男性の方が「まあまあ感じる」が女性より10ポイント以上高くなっている。男性では、前後期ともに「まあまあ感じる」は5割以上となっているが、女性後期高齢者では3割台(34.4%)と低くなっている。

図表 2.1.4 今の仕事への「いきがい」について【ベース：勤労者】：性年代別



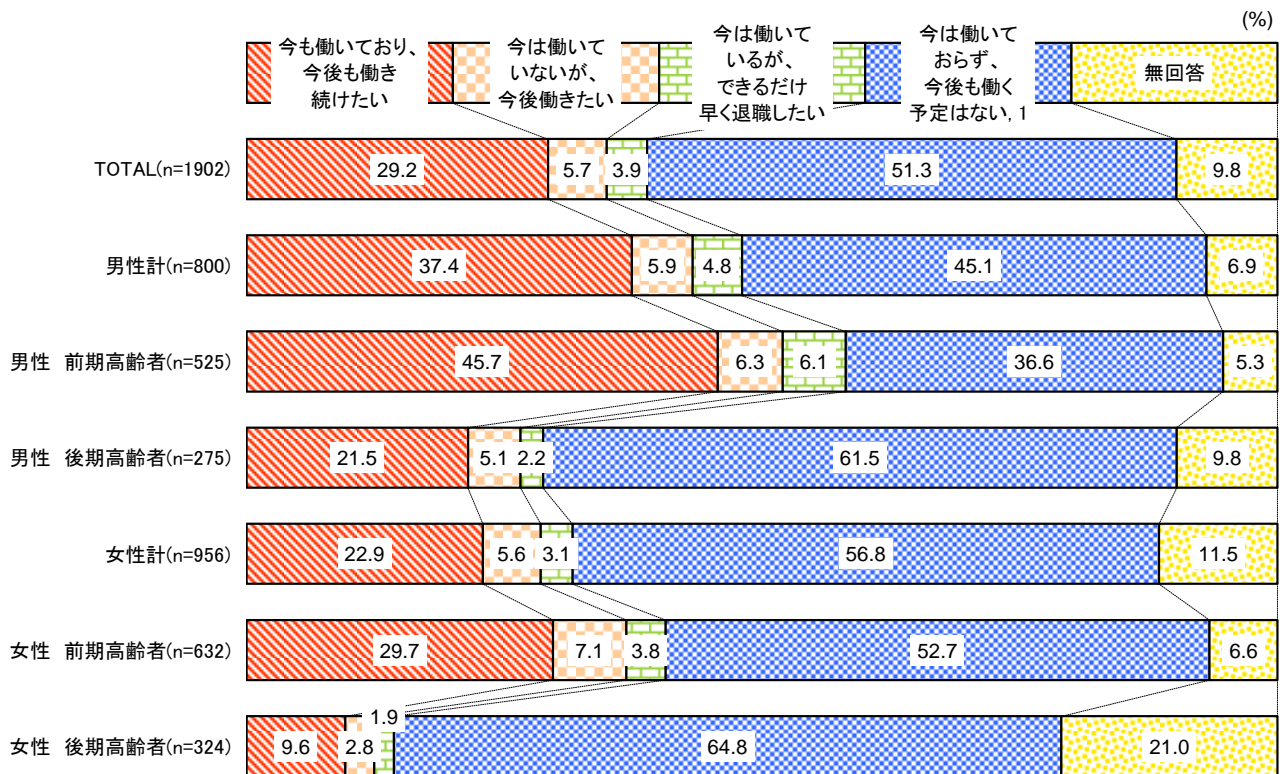
(3) 今後の就業意向

問 13 今後、あなた（宛名のご本人）は働こうと思っていますか。（○は1つのみ）

今後の就業意向は、「今は働いておらず、今後も働く予定はない」が 51.3%と最も高く、次いで「今も働いており、今後も働き続けたい」(29.2%)、「今は働いていないが、今後働きたい」(5.7%) となっている。

性年代別でみると、男性前期高齢者では「今も働いており、今後も働き続けたい」が 45.7%と最も高くなっている。

図表 2.1.5 今後の仕事の継続について：性年代別



2. 健康管理

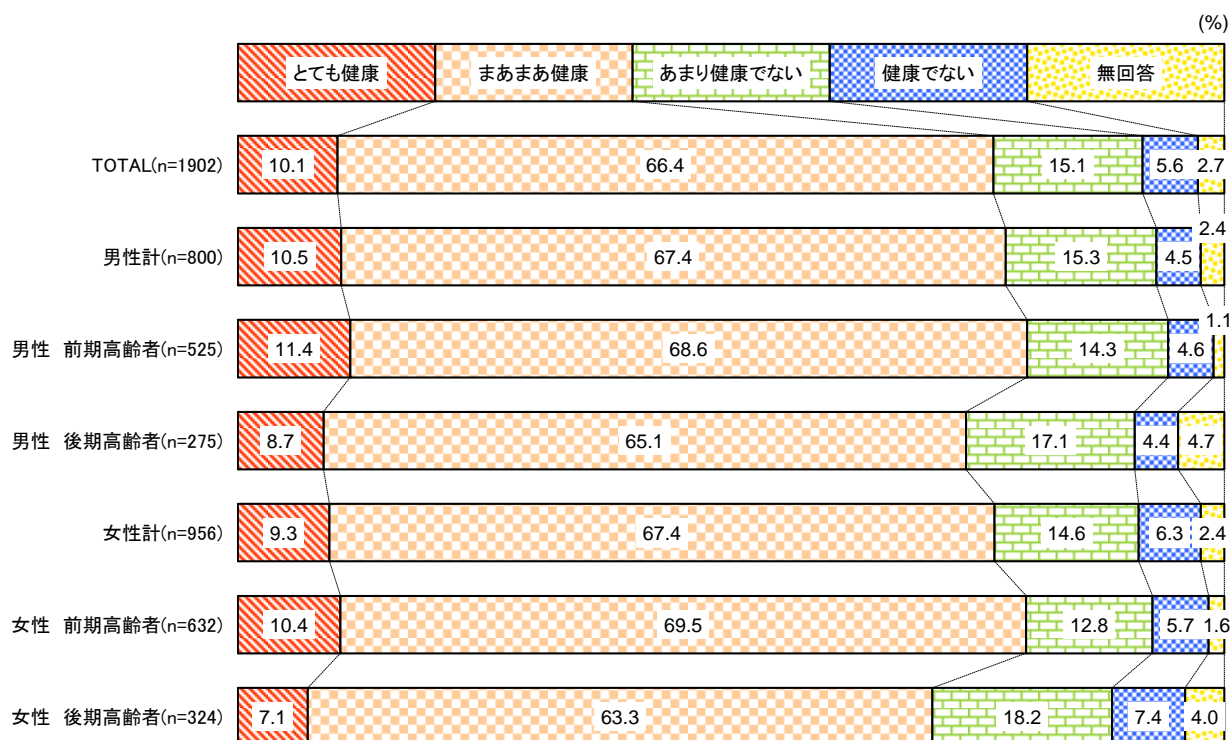
(1) 健康状況

問 15 あなた（宛名のご本人）は、ふだん、ご自分で健康だと思いますか。（○は1つのみ）

ふだん、健康だと思うかについては、「とても健康」が10.1%、「まあまあ健康」が66.4%と合わせて76.5%が『健康』となっている。一方、「健康でない」が5.6%、「あまり健康でない」が15.1%で合わせて20.7%が『不健康』となっている。

性年代別でみると、男女ともに前期高齢者の方が『健康』が高くなっている。

図表 2.2.1 現在の健康について：性年代別



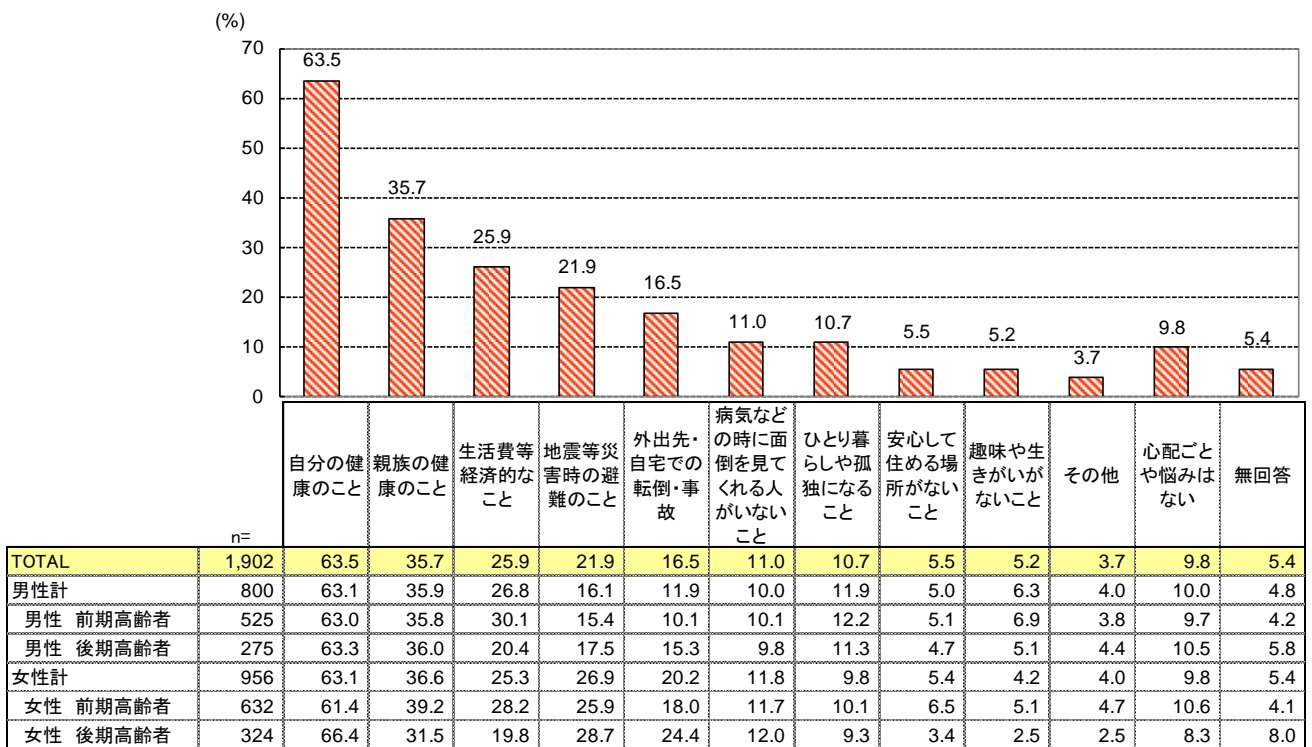
(2) 心配ごとや悩みの状況

問 17 あなた（宛名のご本人）には、現在次のような心配ごとや悩みがありますか。（〇はいくつでも）

心配ごとや悩みの状況については、「自分の健康のこと」が 63.5%と最も高く、次いで「親族の健康のこと」（35.7%）、「生活費等経済的なこと」（25.9%）、「地震等災害時の避難のこと」（21.9%）となっている。

性別でみると、女性では男性より「地震等災害時の避難のこと」、「外出先・自宅での転倒・事故」が高くなっている。性年代別でみると、男性前期高齢者では、「生活費等経済的なこと」、「趣味や生きがいがないこと」も高くなっている。

図表 2.2.2 現在の心配事や悩みごと（複数回答）：性年代別



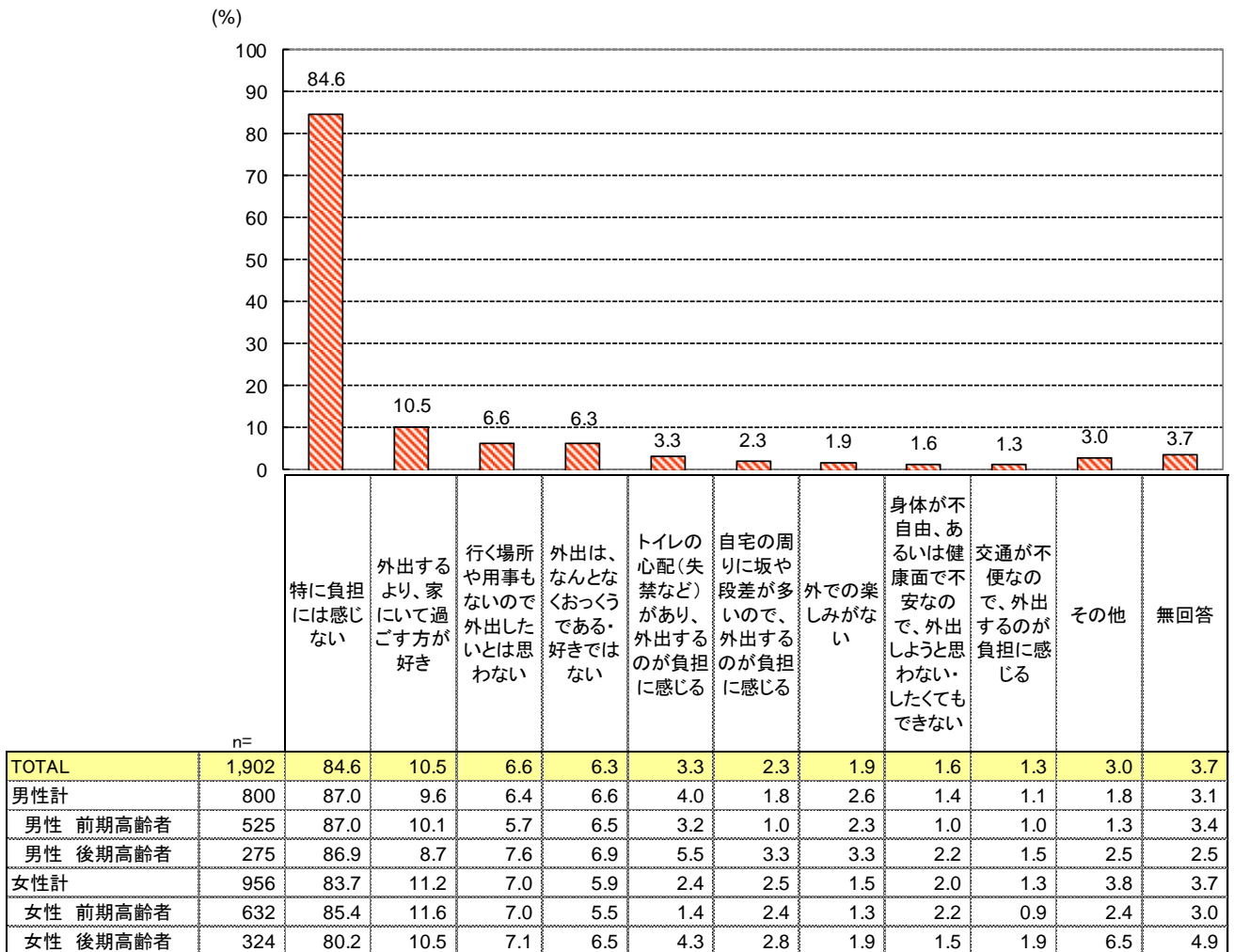
3. 外出／近所づきあいの程度

(1) 外出することについての考え

問 28 あなた（宛名のご本人）は、外出することについてどのようにお考えですか。（〇はいくつでも）

外出することについての考えは、「特に負担には感じない」が 84.6%と最も高く、次いで「外出するより、家にいて過ごす方が好き」（10.5%）、「行く場所や用事もないので外出したいとは思わない」（6.6%）、「外出は、なんとなくおっくうである・好きではない」（6.3%）となっている。

図表 2.3.1 外出することについての考え（複数回答）：性年代別



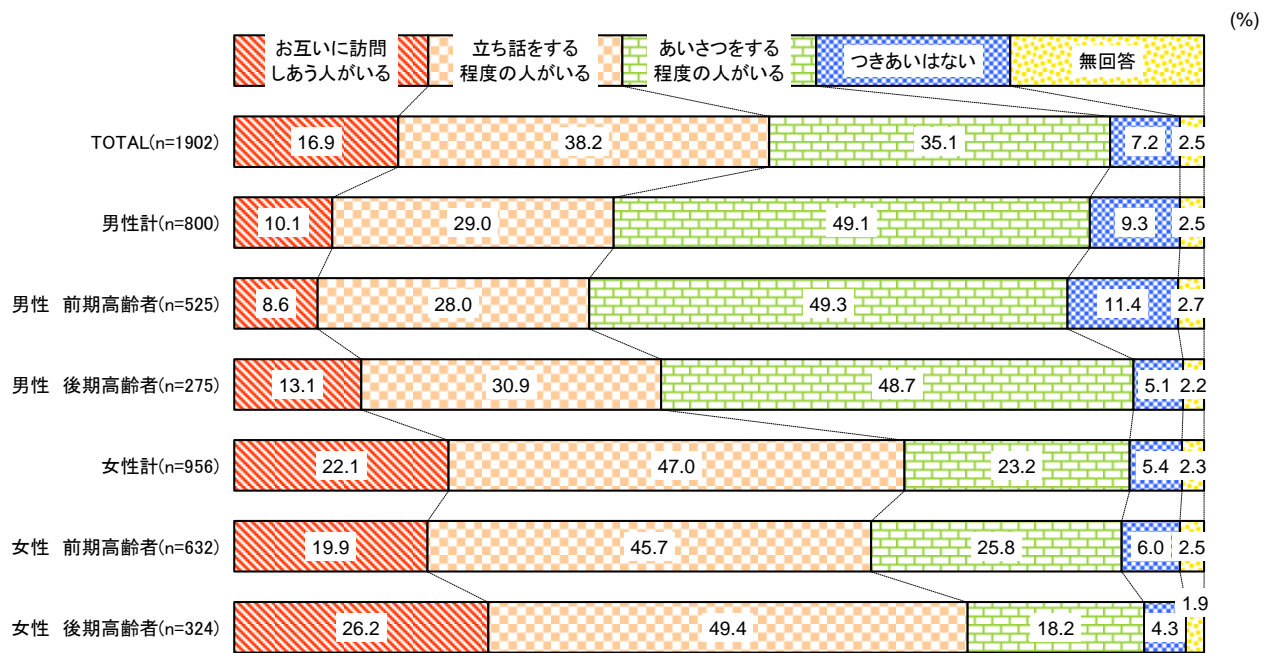
(2) 近所づきあいの程度

問 29 あなたは、近所の人とどの程度おつきあいをされていますか。(○は1つのみ)

近所づきあいの程度については、「立ち話をする程度の人がいる」が 38.2%と最も高く、次いで「あいさつをする程度の人がいる」(35.1%)、「お互いに訪問しあう人がある」(16.9%)となっている。

性年代別でみると、男性では「あいさつをする程度の人がある」(49.1%)が最も高いが、女性では「立ち話をする程度の人がある」(47.0%)が最も高くなっている。また、性年代別でみると、男女ともに、前期高齢者より後期高齢者の方が「お互いに訪問し合う人がある」(男性後期高齢者 13.1%、女性後期高齢者 26.2%)が高くなっている。

図表 2.3.2 近所の人との付き合いの程度：性年代別



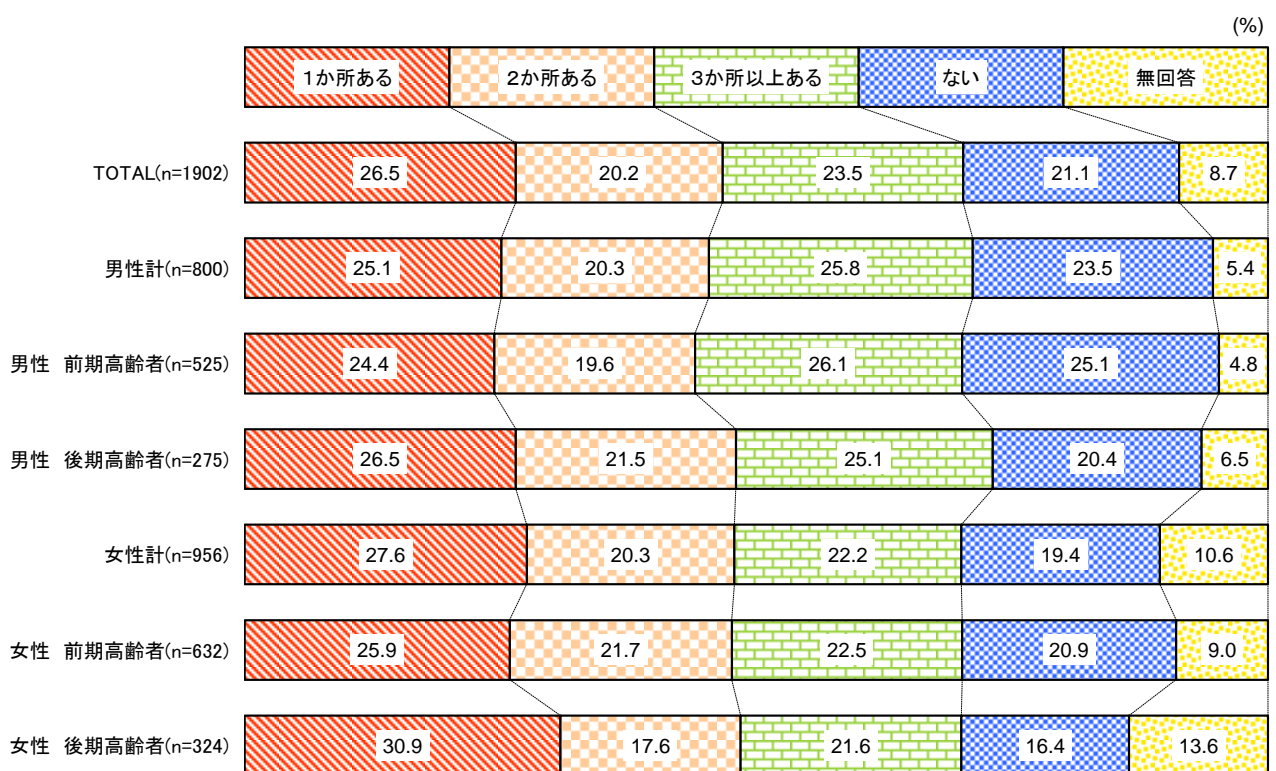
(3) 予定がなくても気軽に行ける場所の有無

問 32 あなた（宛名のご本人）は、特に予定がなくても気軽に行ける場所がありますか。どのくらいあるかをお答えください。（〇は1つのみ）

特に予定がなくても気軽に行ける場所は、「1か所ある」が 26.5%と最も高く、「2か所ある」（20.2%）、「3か所以上ある」（23.5%）となっている。一方、「（特に予定がなくても気軽に行ける場所は）ない」は 21.1%となっている。

性年代別でみると、男性前期高齢者では「（特に予定がなくても気軽に行ける場所は）ない」が 25.1%と高くなっている。

図表 2.3.3 特に予定がなくても気軽に行ける場所の有無



4. 情報へのアクセス

(1) 携帯情報端末の利用状況

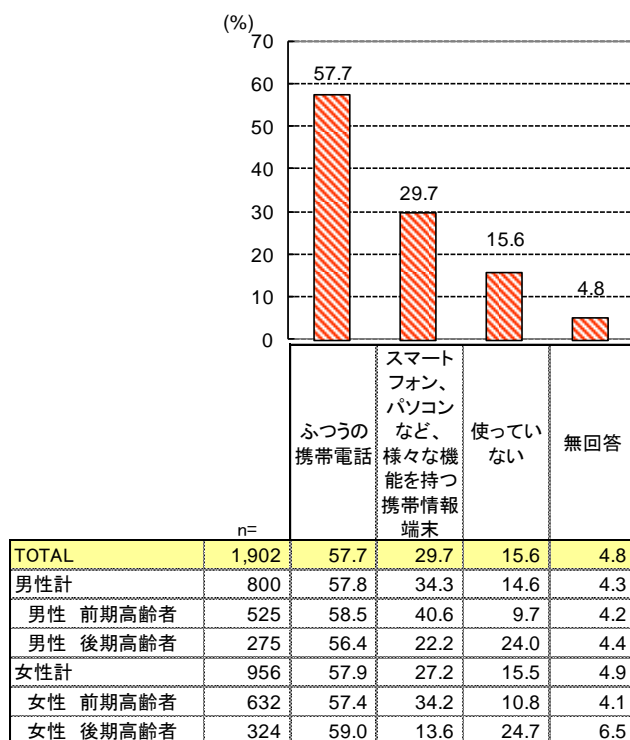
【 すべての方に 】

問 33 あなた（宛名のご本人）は、携帯電話等の情報端末を使っていますか。ご利用の場合、携帯電話等機器の種類をお答えください。（〇はいくつでも）

携帯電話等の情報端末の利用状況は、「ふつうの携帯電話」が 57.7%と最も高く、次いで「スマートフォン、パソコンなど、様々な機能を持つ携帯情報端末」（29.7%）となっている。また、「使っていない」は 15.6%となっている。

性年代別で見ると、男女とも前期高齢者では、「スマートフォン、パソコンなど、様々な機能を持つ携帯情報端末」が高く、男性前期高齢者で 40.6%、女性前期高齢者で 34.2%となっている。

図表 2.4.1 携帯電話等の情報端末の利用状況（複数回答）：性年代別



5. 地域活動等への参加状況

(1) この1年間に参加した活動、今後新たに参加したいもの

【 すべての方に 】

問 35 あなた（宛名のご本人）はこの1年間に、個人・団体で次のような地域活動やボランティアに参加したことがありますか（手伝いも含む）。また、その中で、「今後新たに参加したいもの」はありますか。それぞれについて当てはまる番号に○をつけてください。

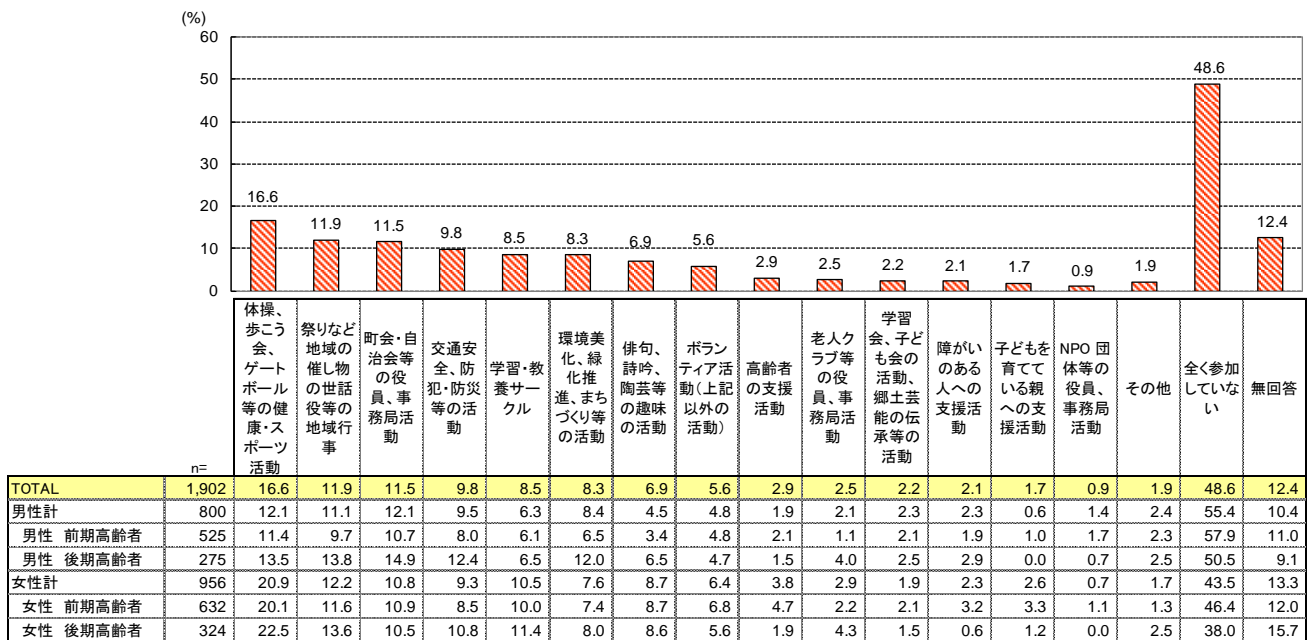
ア～ソの活動にどれも参加したことがない場合、「タ. 全く参加していない」の3番に○をつけてください。

① この1年間に参加した活動

この1年間で地域活動やボランティア活動への参加経験は、約4割（39.0%）となっている（「全く参加していない」（48.6%）、「無回答」（12.4%）を除く）。参加しているものでは、「体操、歩こう会、ゲートボール等の健康・スポーツ活動」が16.6%と最も高く、次いで「祭りなど地域の催し物の世話役等の地域行事」（11.9%）、「町会・自治会等の役員、事務局活動」（11.5%）となっている。

性年代別で見ると、「体操、歩こう会、ゲートボール等の健康・スポーツ活動」は男性より女性で高く、「学習・教養サークル」、「俳句、詩吟、陶芸等の趣味の活動」も女性の方が高くなっている。また、「高齢者の支援活動」や、「子どもを育てている親への支援活動」は特に女性前期高齢者で高くなっている。

図表 2.5.1 地域活動やボランティア活動について過去1年間で参加した活動（複数回答）
： 性年代別

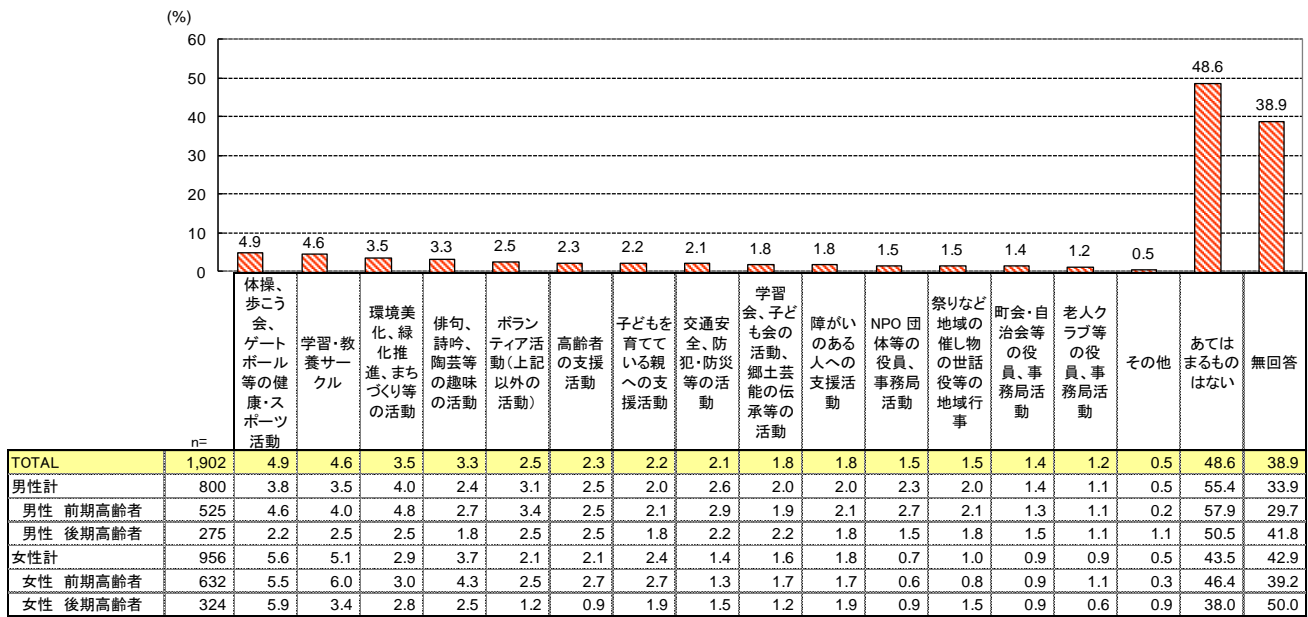


② 今後新たに参加したい活動

今後新たに参加したい活動がある人は 12.5%である。その中では、「体操、歩こう会、ゲートボール等の健康・スポーツ活動」が 4.9%と最も高く、次いで「学習・教養サークル」(4.6%)、「環境美化、緑化推進、まちづくり等の活動」(3.5%)となっている。

性別でみると、「NPO 団体等の役員、事務局活動」は男性で高く、女性で低くなっている。また、性年代別でみると、「環境美化、緑化推進、まちづくり等の活動」は男性前期高齢者で高く、「学習・教養サークル」は女性前期高齢者で高くなっている。

図表 2.5.2 地域活動やボランティア活動について 今後新たに参加したいもの（複数回答）
：性年代別



(2) 最も多く参加した活動

【問 35 で「過去 1 年間に参加したもの」についておうかがいします。】

問 35- 1

① 最も多く参加したものはどれですか。問 35 の記号ア～ソまでのいずれか 1 つをご記入ください。

① 最も多く参加したもの

過去 1 年間で最も多く参加した活動については、「体操、歩こう会、ゲートボール等の健康・スポーツ活動」が 23.7%と最も高く、次いで「町会・自治会等の役員、事務局活動」(13.9%)、「学習・教養サークル」(8.3%)となっている。

性年代別でみると、「町会、自治会等の役員、事務局活動」、「NPO 団体等の役員、事務局活動」で男性前期高齢者が高く、「高齢者の支援活動」で女性前期高齢者が高くなっている。

図表 2.5.3 最も多く参加した地域活動やボランティア活動【ベース：地域活動等参加者】
：性年代別

	n=	体操、歩こう会、ゲートボール等の健康・スポーツ活動	町会・自治会等の役員、事務局活動	学習・教養サークル	俳句、詩吟、陶芸等の趣味の活動	祭りなど地域の催し物の世話	ボランティア活動（上記以外の活動）	交通安全、防犯・防災等の活動	環境美化、緑化推進、まちづくり等の活動	高齢者の支援活動	学習会、子ども会の活動、郷土芸能の伝承等の活動	障がいのある人への支援活動	老人クラブ等の役員、事務局活動	子どもを育てている親への支援活動	NPO 団体等の役員、事務局活動	その他	無回答
TOTAL	743	23.7	13.9	8.3	8.2	6.2	4.7	4.3	3.6	1.6	1.5	1.5	1.1	1.1	0.5	3.4	16.4
男性計	274	21.9	19.0	8.0	5.8	5.8	4.7	4.7	3.3	0.4	1.8	1.8	1.1	0.4	1.5	5.5	14.2
男性 前期高齢者	163	23.9	20.9	8.6	3.7	7.4	6.1	3.7	3.1	0.0	1.2	1.2	0.0	0.6	1.8	6.1	11.7
男性 後期高齢者	111	18.9	16.2	7.2	9.0	3.6	2.7	6.3	3.6	0.9	2.7	2.7	2.7	0.0	0.9	4.5	18.0
女性計	413	26.4	10.4	9.2	9.7	5.8	5.1	3.6	3.4	2.7	1.0	1.5	1.2	1.7	0.0	2.2	16.2
女性 前期高齢者	263	27.0	11.8	9.1	10.3	6.5	4.9	4.2	2.3	3.8	1.1	2.3	1.1	2.3	0.0	1.1	12.2
女性 後期高齢者	150	25.3	8.0	9.3	8.7	4.7	5.3	2.7	5.3	0.7	0.7	0.0	1.3	0.7	0.0	4.0	23.3

6. 老人クラブについて

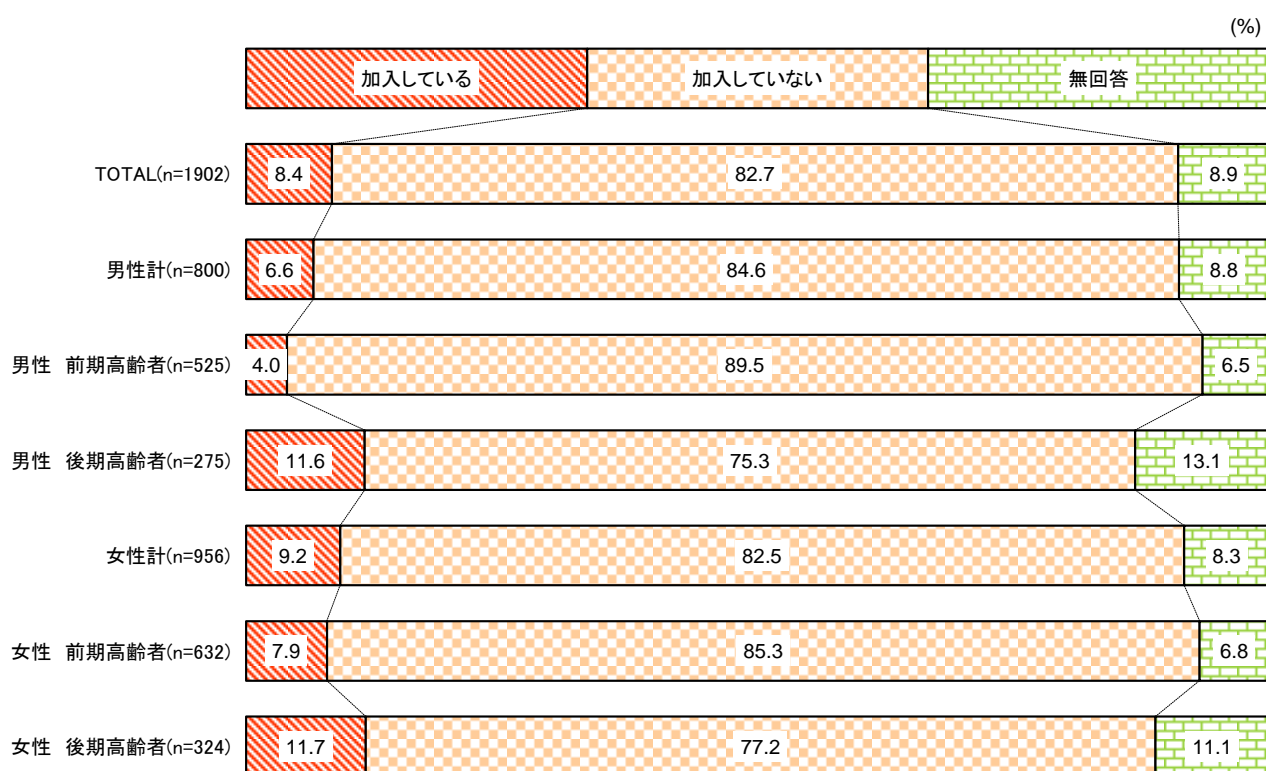
(1) 老人クラブへの加入状況

問 37 あなた（宛名のご本人）は現在、老人クラブ（区内の 60 歳以上の方が加入できる自主的な組織で、教養の向上、健康の増進、社会奉仕を目的として様々な活動を行っています。）に加入していますか。（○は1つのみ）

老人クラブに「加入している」は 8.4%、「加入していない」は 82.7%となっている。

性年代別でみると、男女ともに前期高齢者に比べて後期高齢者のほうが「加入している」が高く、男性後期高齢者で 11.6%、女性後期高齢者で 11.7%となっている。また、男性前期高齢者では「加入している」が 4.0%と最も低くなっている。

図表 2.6.1 老人クラブへの加入状況：性年代別



(2) 老人クラブに参加しない理由

【問 37 で「2. 加入していない」とお答えの方におうかがいします。】

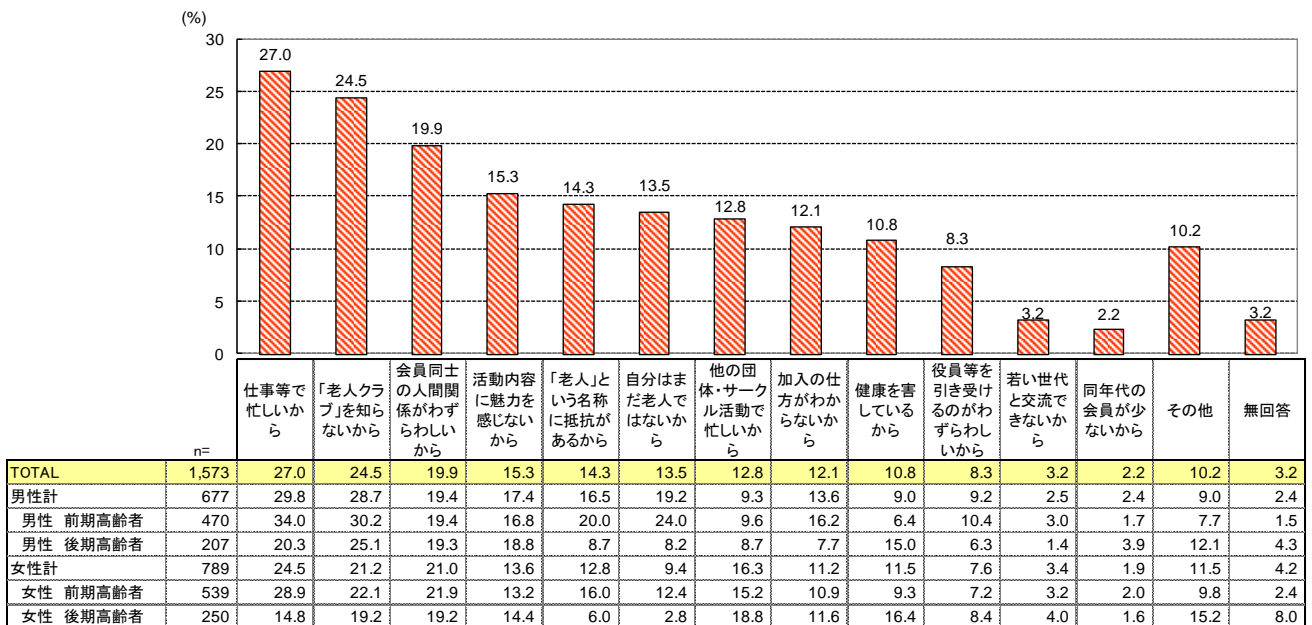
問 37-1 加入していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

老人クラブへ加入していない理由としては、「仕事等で忙しいから」が 27.0%と最も高く、次いで「老人クラブ」を知らないから(24.5%)、「会員同士の間人間関係がわずらわしいから」(19.9%)となっている。

性別でみると、理由の上位3項目は男女とも同順となっているが、4番目に男性では「自分はまだ老人ではないから」(19.2%)、女性では「他の団体・サークル活動で忙しいから」(16.3%)があげられている。

また、性年代別でみると、男性前期高齢者では「老人」という名称に抵抗があるから(20.0%)や「加入の仕方がわからないから」(16.2%)が高く、後期高齢者では「健康を害しているから」が男性 15.0%、女性 16.4%と1割を超えている。

図表 2.6.2 老人クラブへ加入していない理由(複数回答)【ベース:老人クラブ未加入者】
: 性年代別



第3章 調査結果の詳細

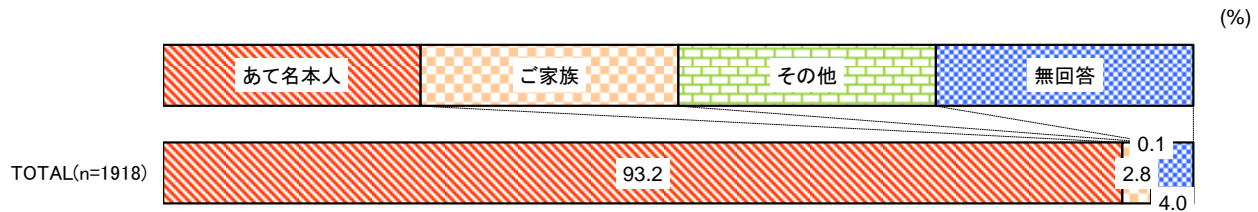
1. 回答者の属性

(1) 調査票の記入者

問1 この調査票を記入するのはどなたですか。(〇は1つのみ)

調査票の記入者は、「あて名本人」が93.2%、「ご家族」が2.8%、「その他」が0.1%となっている。

図表 3.1.1 調査票の記入者



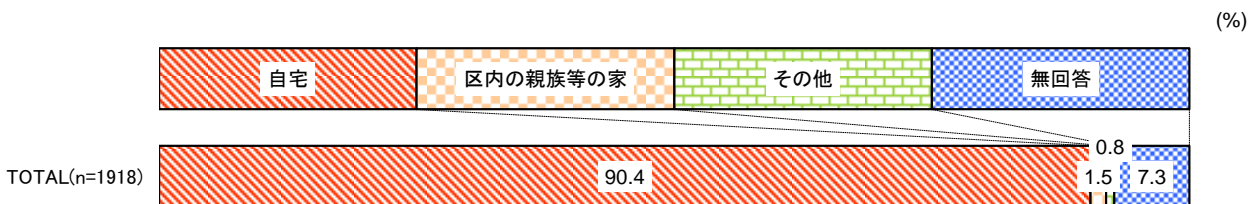
(2) 居住地

問2 あなた（ご本人：封筒の宛名の方）は現在、どちらに住んでいますか。(〇は1つのみ)

調査対象者（あて名本人）の現在の居住地は、「自宅」が90.4%、「区内の親族等の家」が1.5%、「その他（入院中、区外転出、亡くなった等）」が0.8%となっている。

「その他」の回答者（16名）は、問2で調査終了とした。

図表 3.1.2 現在の居住地



	n=	上段: 度数				下段: %
		自宅	区内の親族等の家	その他	無回答	
TOTAL	1918	1,734	28	16	140	
	100	90.4	1.5	0.8	7.3	

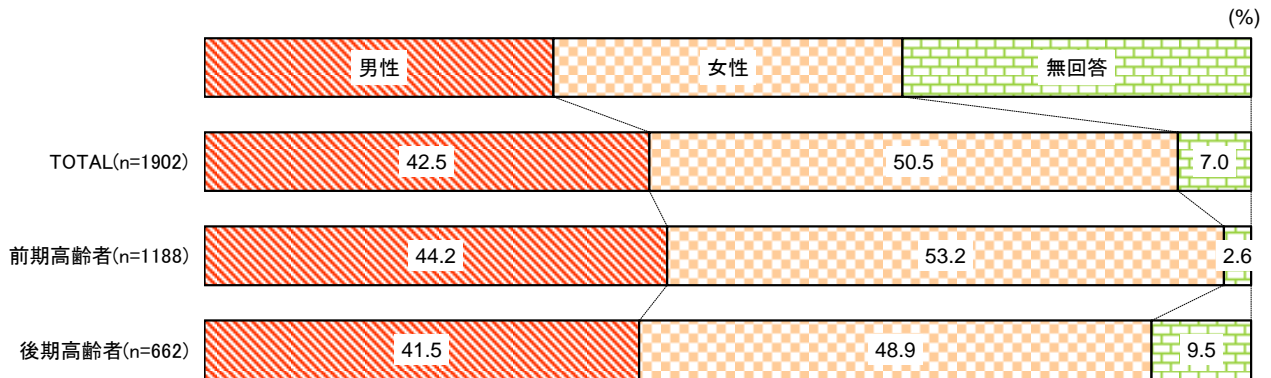
(3) 性別・年齢

問3 あなた（宛名のご本人）の性別と、平成29年1月1日現在の満年齢をお答えください。（〇はそれぞれ1つずつ）

調査回答者の性別は、男性が42.5%、女性が50.5%となっている。

年代別でみると、前期高齢者では、男性が44.2%、女性が53.2%、後期高齢者では、男性が41.5%、女性が48.9%となっている。

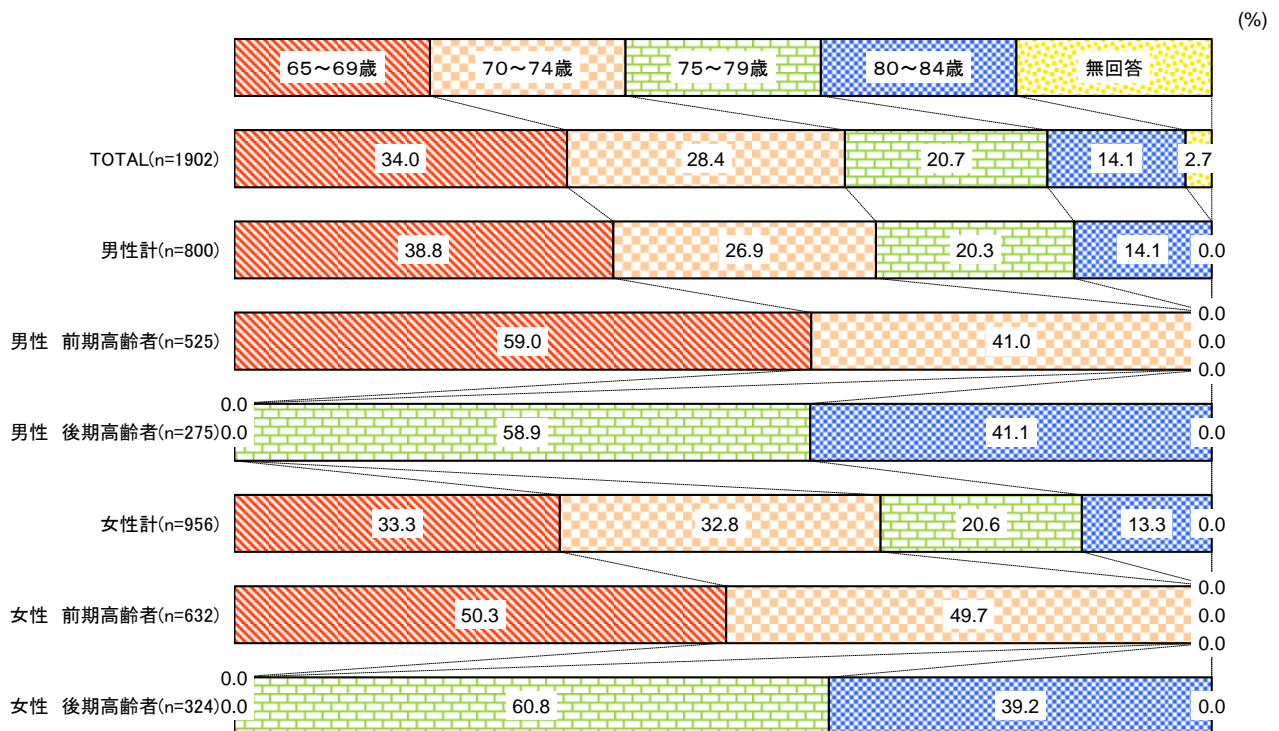
図表 3.1.3 性別：年代別



調査回答者の年齢は、65～69歳が34.0%と最も高く、次いで70～74歳が28.4%、75～79歳が20.7%となっている。

性別でみると、男性は、65～69歳が38.8%と女性（33.3%）より高く、一方、70～74歳では26.9%と女性（32.8%）より低くなっている。

図表 3.1.4 年齢：性年代別



(4) 居住地区

問4 あなた（宛名のご本人）のお住まいはどちらですか。当てはまる地区に○をつけてください。
また、丁目がある場合には、当てはまる丁目にも○をつけてください。
(○はそれぞれ1つずつ)

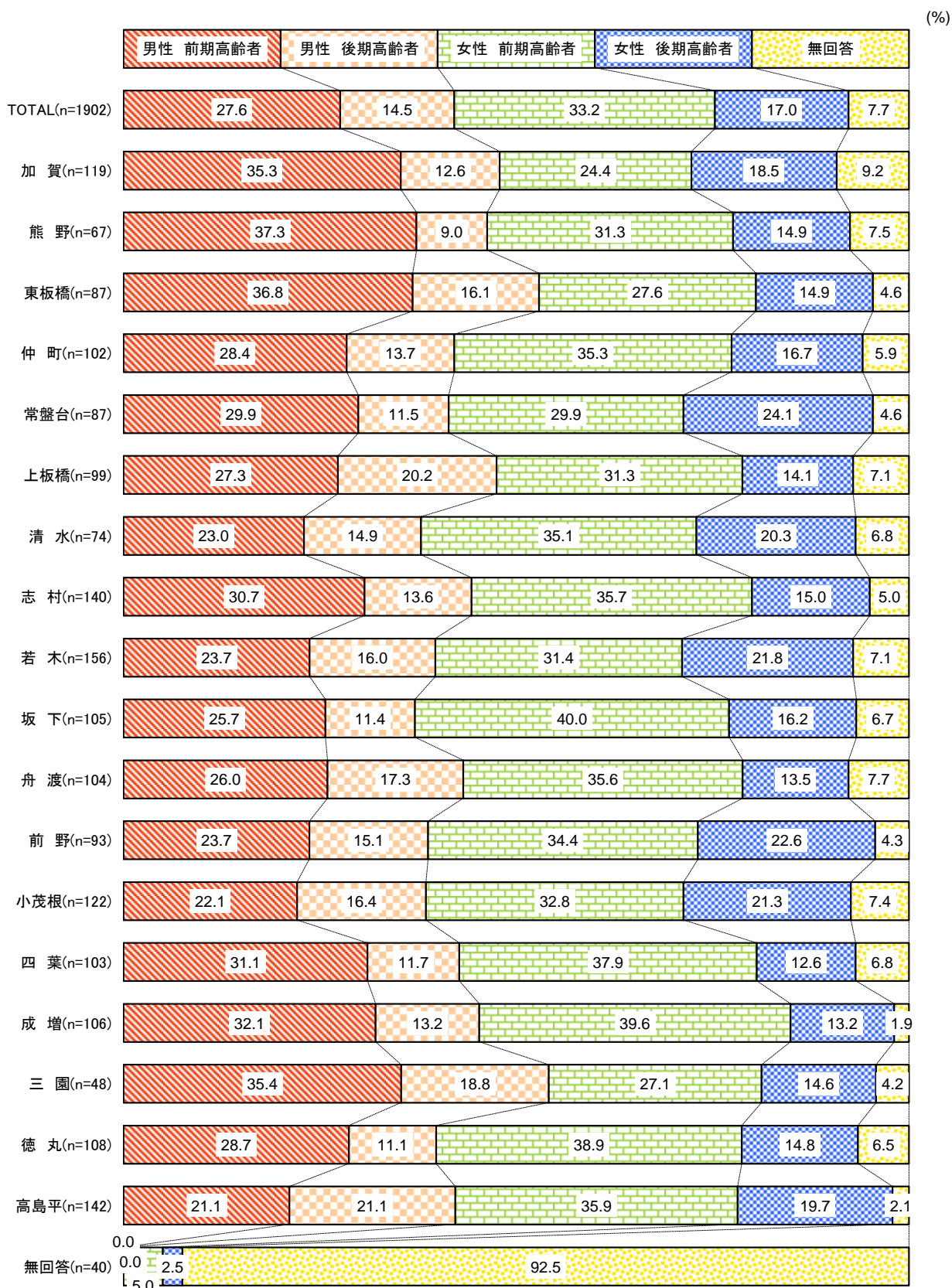
地区名及び丁目の回答内容より、居住地区をおとしより相談センター（地域包括支援センター）のエリア区分を参考に、下記の18地区別に集計を行った。

図表 3.1.5 居住地区一覧

名称	該当エリア（地域包括支援センターの担当地区を元に作成）
加賀	加賀1・2丁目、板橋1～4丁目
熊野	大山金井町、大山東町、熊野町、中丸町、南町
東板橋	稲荷台、本町、仲宿、大和町、氷川町、栄町
仲町	大山町、幸町、大山西町、弥生町、仲町、中板橋
常盤台	常盤台1～3丁目、南常盤台1・2丁目、双葉町、富士見町 ※丁目のない常盤台含む
上板橋	上板橋1～3丁目、桜川1～3丁目、常盤台4丁目、東新町1・2丁目、東山町
清水	清水町、蓮沼町、大原町、泉町、宮本町
志村	志村1～3丁目、小豆沢1～4丁目、坂下1丁目、東坂下1丁目、相生町 ※丁目のない東坂下含む
若木	若木1～3丁目、中台1～3丁目、西台1～4丁目
坂下	蓮根1～3丁目、坂下2・3丁目、東坂下2丁目 ※丁目のない坂下含む
舟渡	舟渡1～4丁目、新河岸1・2丁目、高島平7～9丁目 ※丁目のない新河岸含む
前野	前野町1～6丁目
小茂根	大谷口1・2丁目、大谷口上町、大谷口北町、向原1～3丁目、小茂根1～5丁目
四葉	赤塚1・2丁目、6～8丁目、赤塚新町1～3丁目、大門、四葉1～2丁目 ※丁目のない赤塚含む
成増	赤塚3～5丁目、成増1～4丁目 ※丁目のない成増含む
三園	高島平4～6丁目、成増5丁目、三園1・2丁目、新河岸3丁目
徳丸	徳丸1～8丁目
高島平	高島平1～3丁目 ※丁目のない高島平含む

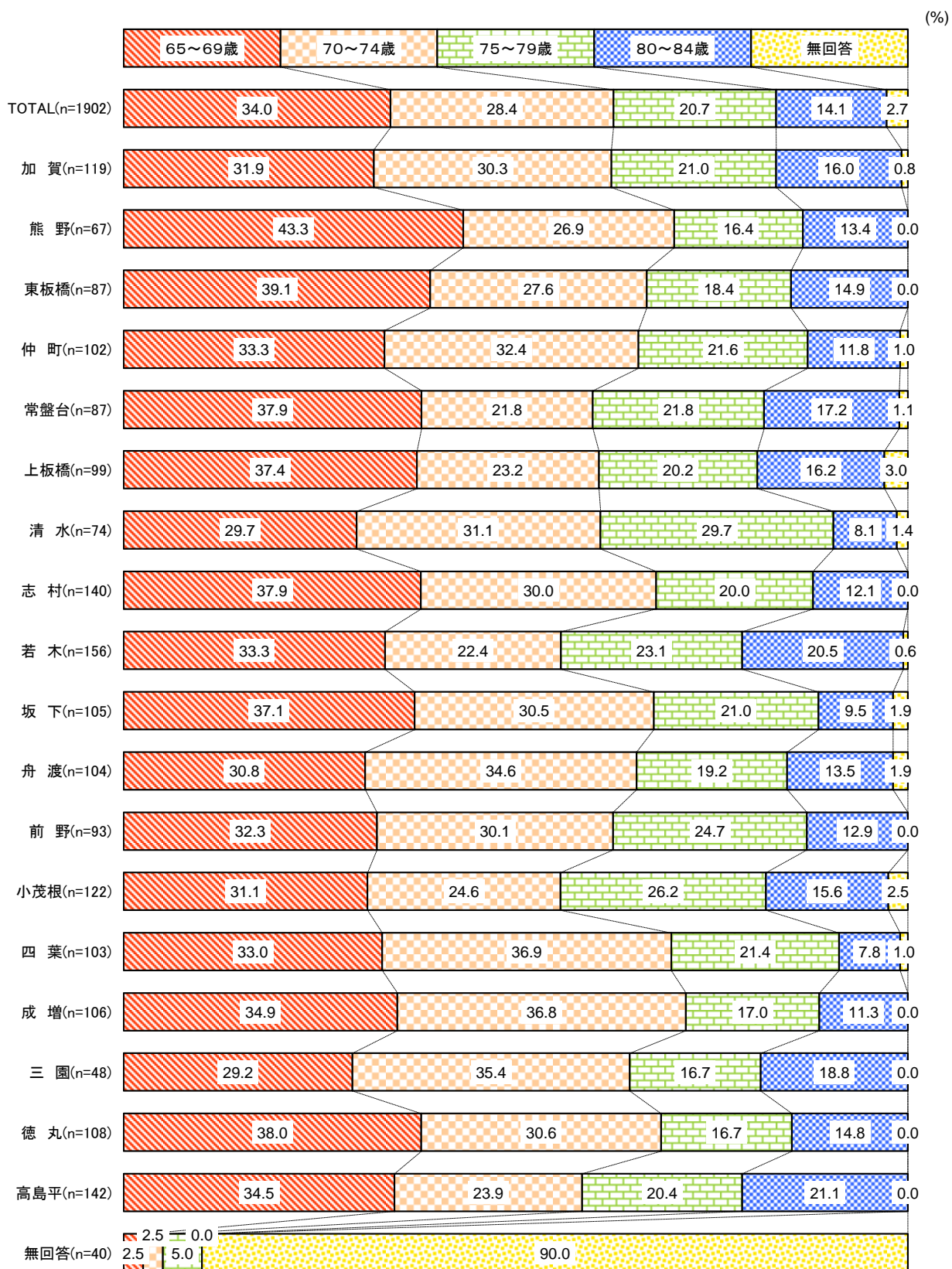
最も回答者の多い地区は若木の 156 名、最も少ない地区は三園の 48 名である。なお、地区無回答者は 40 名であった。

図表 3.1.6 性年代：地区別



回答者の年齢をより詳細に、地区別にみると、熊野では「65～69歳」が43.3%と特に高くなっている。また、「70～74歳」は四葉で36.9%、成増で36.8%と高くなっている。

図表 3.1.7 年代：地区別



(5) 地区での居住年数

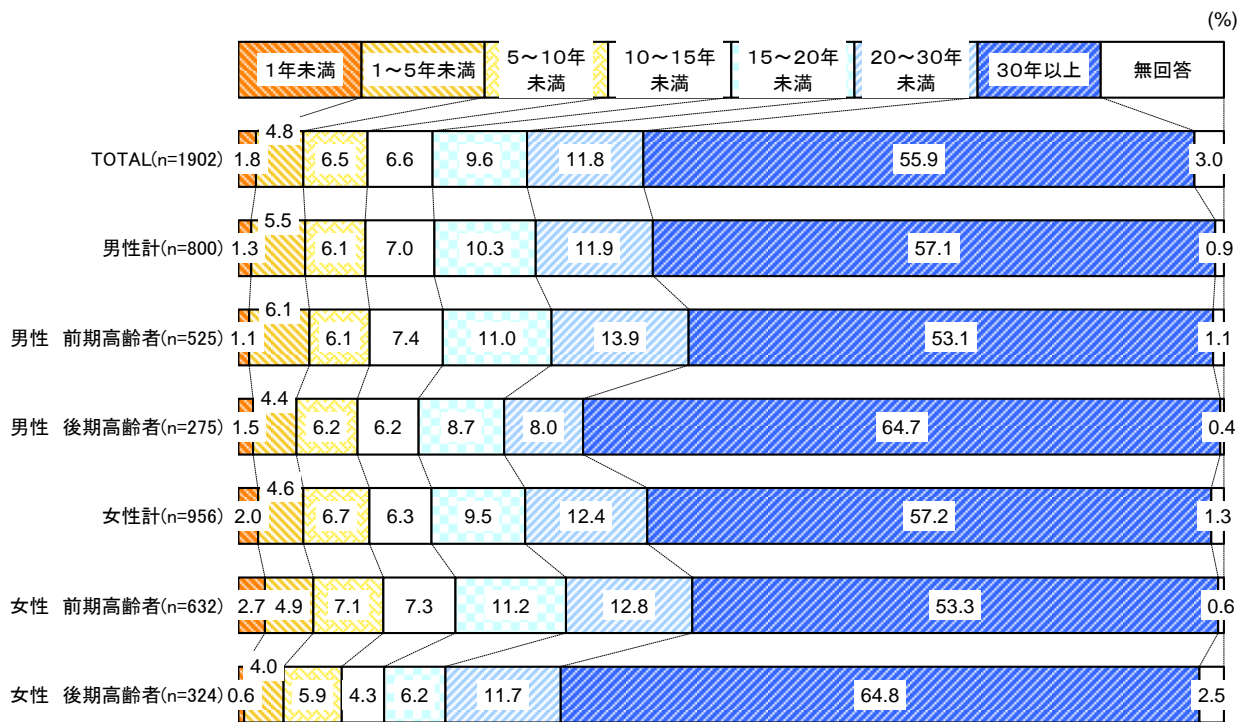
問5 あなた（宛名のご本人）の間4でお答えの地区での居住年数をお答えください。

※ 区内転居や増改築等されている場合でも通算してお答えください。（〇は1つのみ）

地区での居住年数は、「30年以上」が55.9%と最も高く、次いで「20～30年未満」が11.8%となっている。

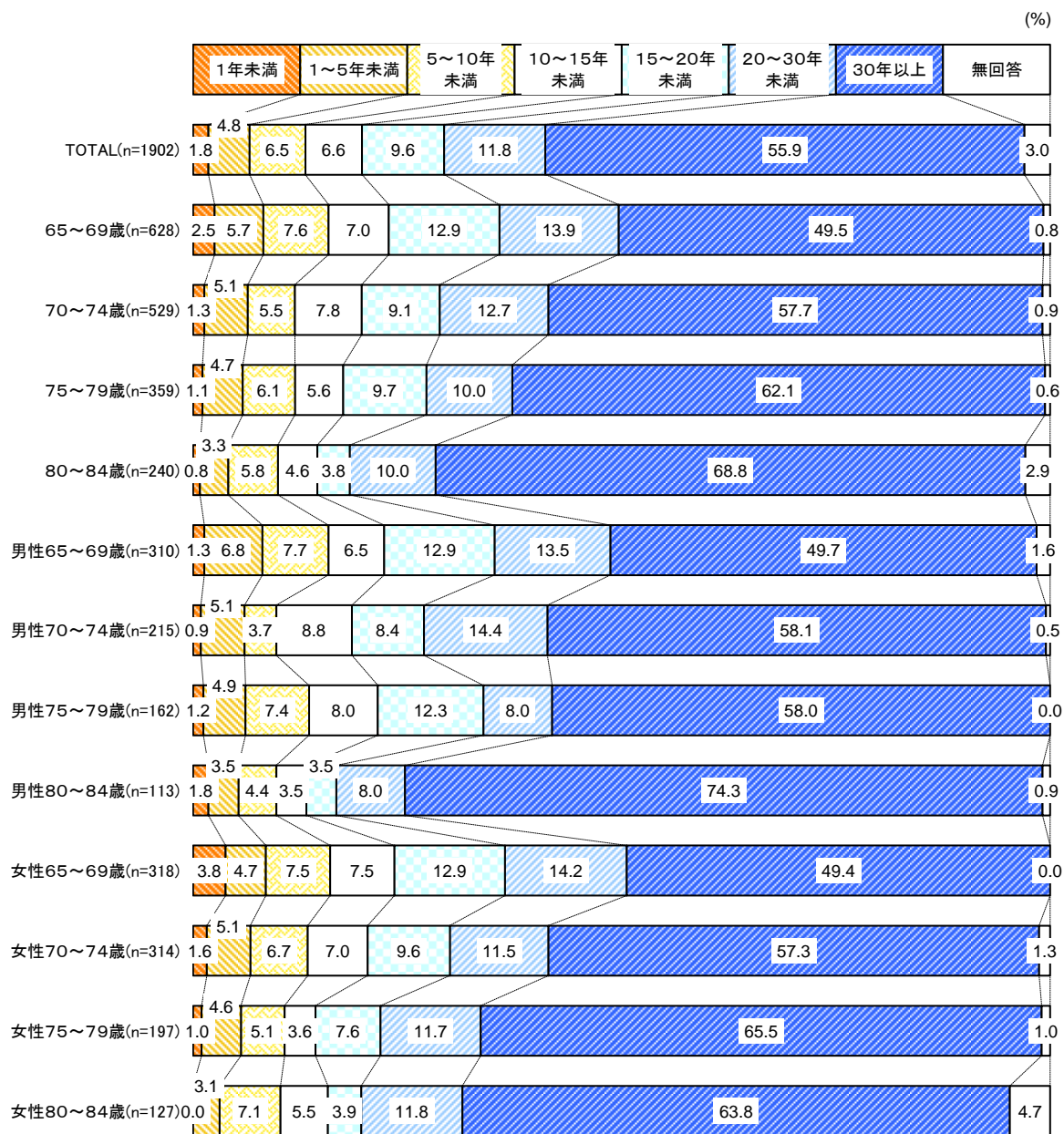
性年代別でみると、男女ともに後期高齢者では「30年以上」が高く、男性後期高齢者で64.7%、女性後期高齢者で64.8%となっている。

図表 3.1.8 現在の地区での居住年数：性年代別



男女別に、より詳細な年齢区分で見ると、「30年以上」は80～84歳において68.8%と高くなっているが、特に男性80～84歳において74.3%と、女性80～84歳の63.8%を10.5ポイント上回っている。

図表 3.1.9 現在の地区での居住年数：性年代別

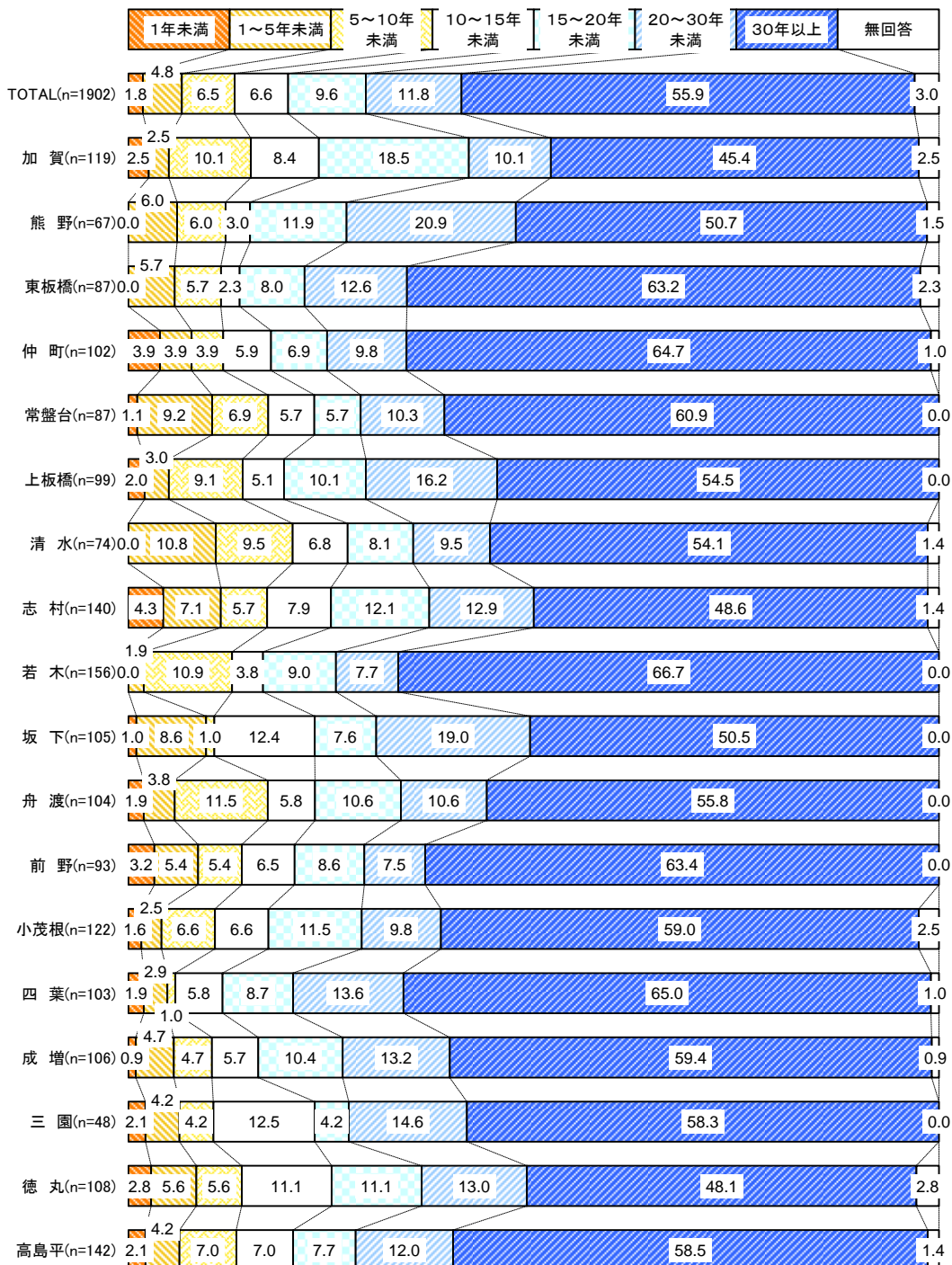


地区別でみると、加賀では、「30年以上」が45.4%と他の地区と比べて低く、「15～20年未満」が18.5%と他の地区より高くなっている。若木では「30年以上」が66.7%と最も高くなっている。

「30年以上」が5割未満の地区は、加賀のほか、志村（48.6%）、徳丸（48.1%）となっている。「30年以上」が6割以上の地区は、若木のほか、東板橋（63.2%）、仲町（64.7%）、常盤台（60.9%）、前野（63.4%）、四葉（65.0%）となっている。

図表 3.1.10 現在の地区での居住年数：地区別

(%)



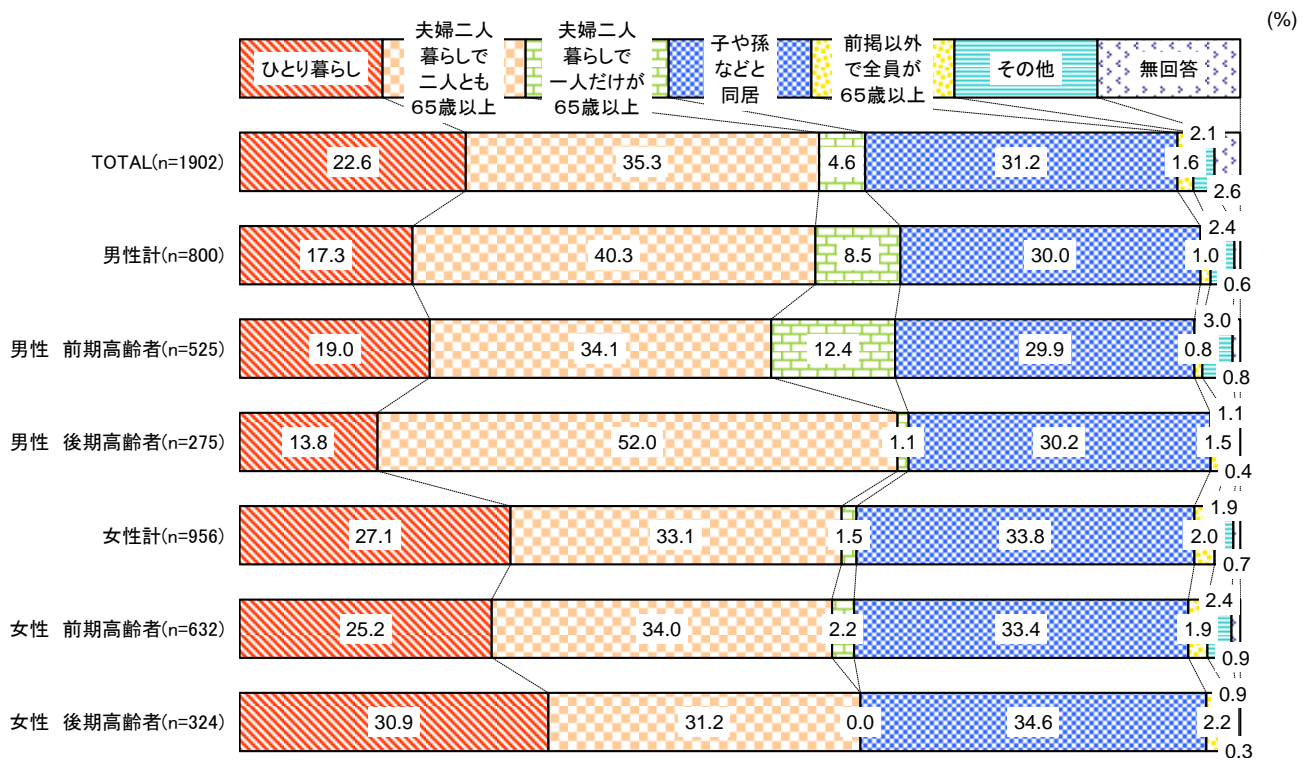
(6) 世帯構成

問6 あなた（宛名のご本人）の世帯の状況をお選びください。（○は1つのみ）

世帯構成は、「ひとり暮らし」が22.6%、「夫婦二人暮らしで二人とも65歳以上」が35.3%、「夫婦二人暮らしで一人だけが65歳以上」が4.6%、「子や孫などと同居」が31.2%となっている。

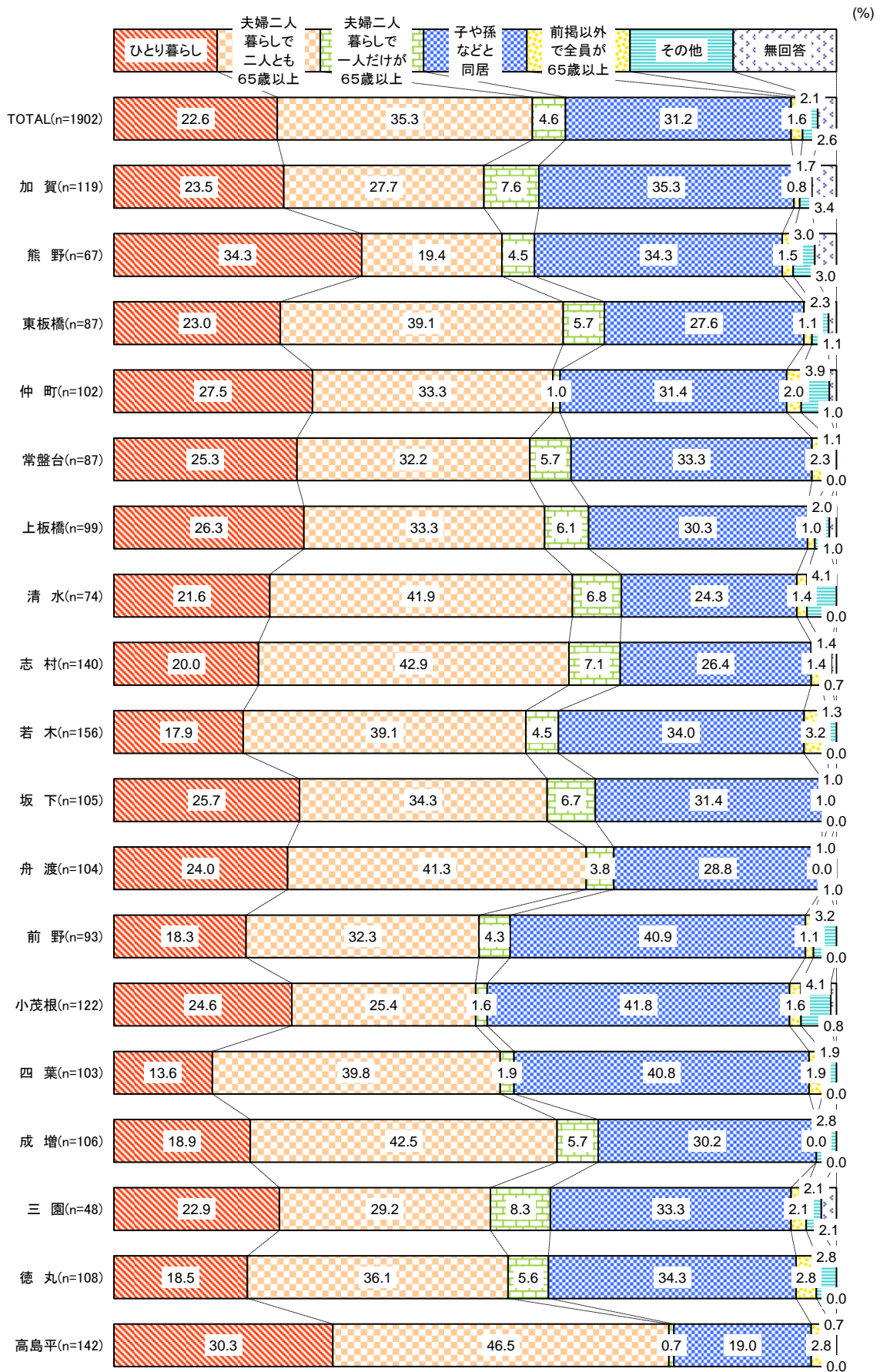
性年代別でみると、「ひとり暮らし」では、男性は17.3%に対し、女性は27.1%と女性の方が高く、女性後期高齢者では30.9%と高くなっている。また、「夫婦二人暮らしで二人とも65歳以上」は、男性後期高齢者では52.0%と高く、半数以上を占めている。

図表 3.1.1.1 世帯状況：性年代別



地区別でみると、「ひとり暮らし」は熊野（34.3%）、高島平（30.3%）で3割以上と他の地区と比べて高くなっている。「夫婦二人暮らしで二人とも65歳以上」は熊野（19.4%）で低く、高島平（46.5%）では高くなっている。「子や孫などと同居」は前野（40.9%）、小茂根（41.8%）、四葉（40.8%）で4割以上と高くなっているが、高島平（19.0%）では2割未満と低くなっている。（次ページ 図表3.1.1.2参照）

図表 3.1.12 世帯状況：地区別



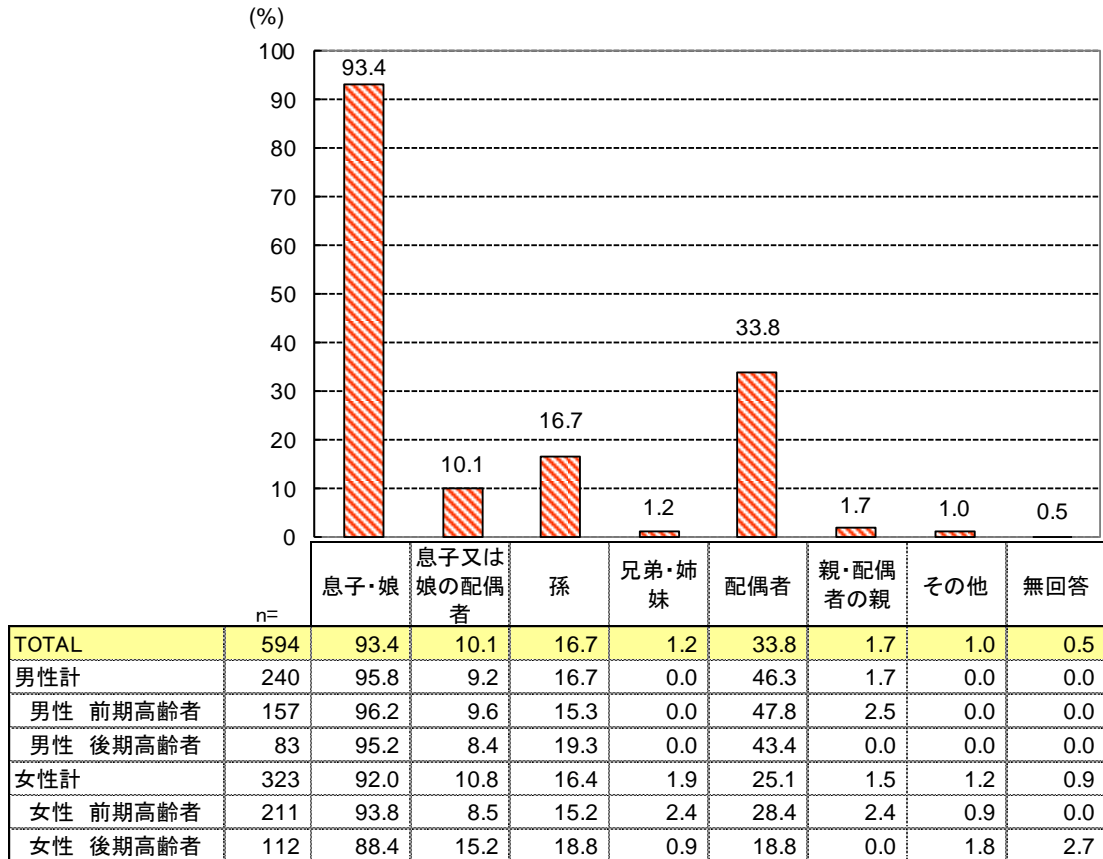
【問6で「4. 子や孫など同居」とお答えの方におうかがいします。】

問6-1 同居されている方はどなたですか。(〇はいくつでも)

子や孫など同居している人の同居家族としては、「息子・娘」が93.4%、次いで「配偶者」(33.8%)、「孫」(16.7%)となっている。

性年代別で見ると、男性では「配偶者」が女性より高く、男性後期高齢者では43.4%と高いのに対し、女性後期高齢者では18.8%となっている。

図表 3.1.13 同居している人(複数回答): 性年代別



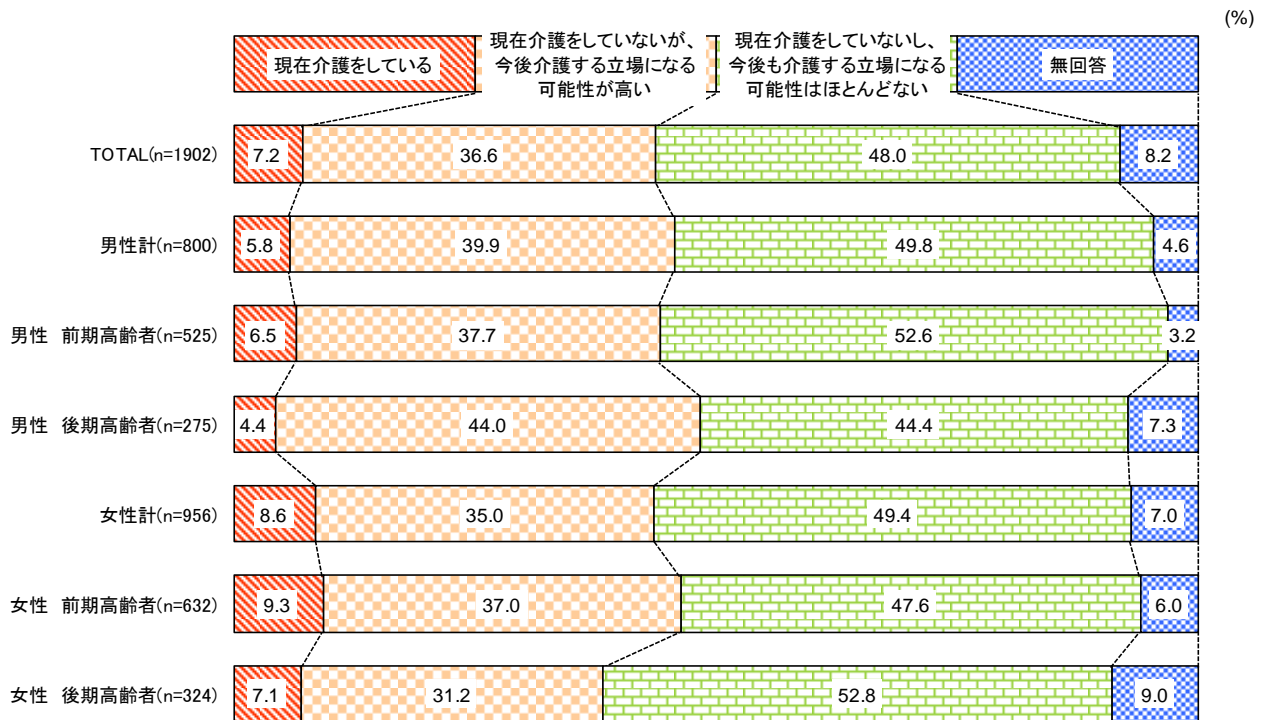
(7) 介護の状況

問7 あなた（宛名のご本人）は、ご家族などの介護をしていますか。（○は1つのみ）

家族介護の状況は、「現在介護をしている」が 7.2%、「現在介護をしていないが、今後介護する立場になる可能性が高い」が 36.6%、「現在介護をしていないし、今後も介護する立場になる可能性はほとんどない」が 48.0%となっている。

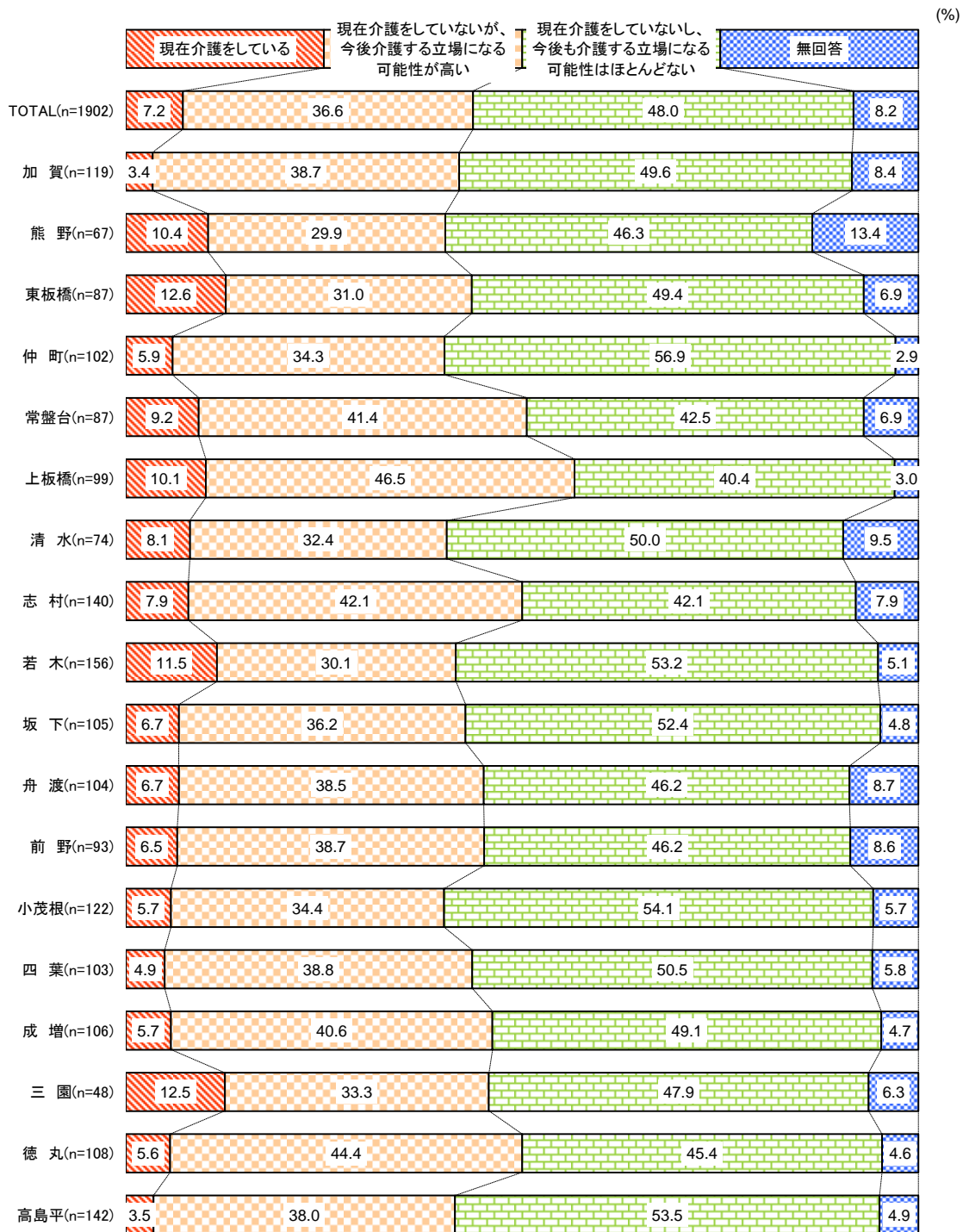
性年代別で見ると、「現在介護をしている」が女性前期高齢者で 9.3%となっている。男性後期高齢者では、「現在介護をしていないが、今後介護する立場になる可能性が高い」が 44.0%と高くなっている。

図表 3.1.14 あて名本人の家族などの介護状況：性年代別



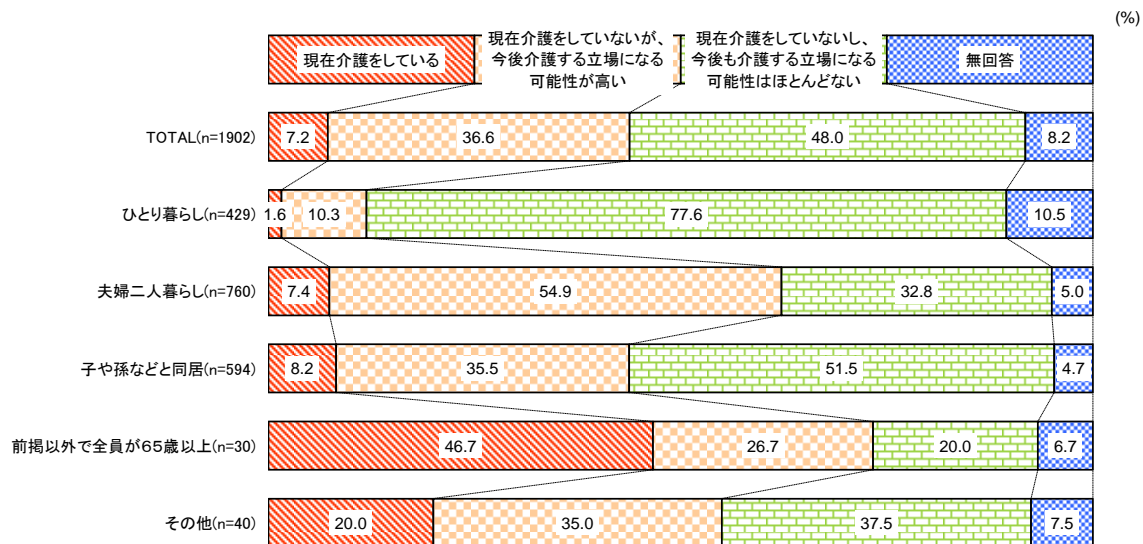
地区別でみると、「現在介護をしている」が1割を超えているのは、熊野（10.4%）、東板橋（12.6%）、上板橋（10.1%）、若木（11.5%）、三園（12.5%）となっている。また、「現在介護をしていないが、今後介護する立場になる可能性が高い」は上板橋（46.5%）で高くなっている。「現在介護をしていないし、今後も介護する立場になる可能性はほとんどない」は仲町（56.9%）で最も高くなっている。

図表 3.1.15 あて名本人の家族などの介護状況：地区別



世帯構成別でみると、「現在介護をしていないが、今後介護する立場になる可能性が高い」は夫婦二人暮らしで54.9%と最も高くなっている。

図表 3.1.16 あて名本人の家族などの介護状況：世帯構成別



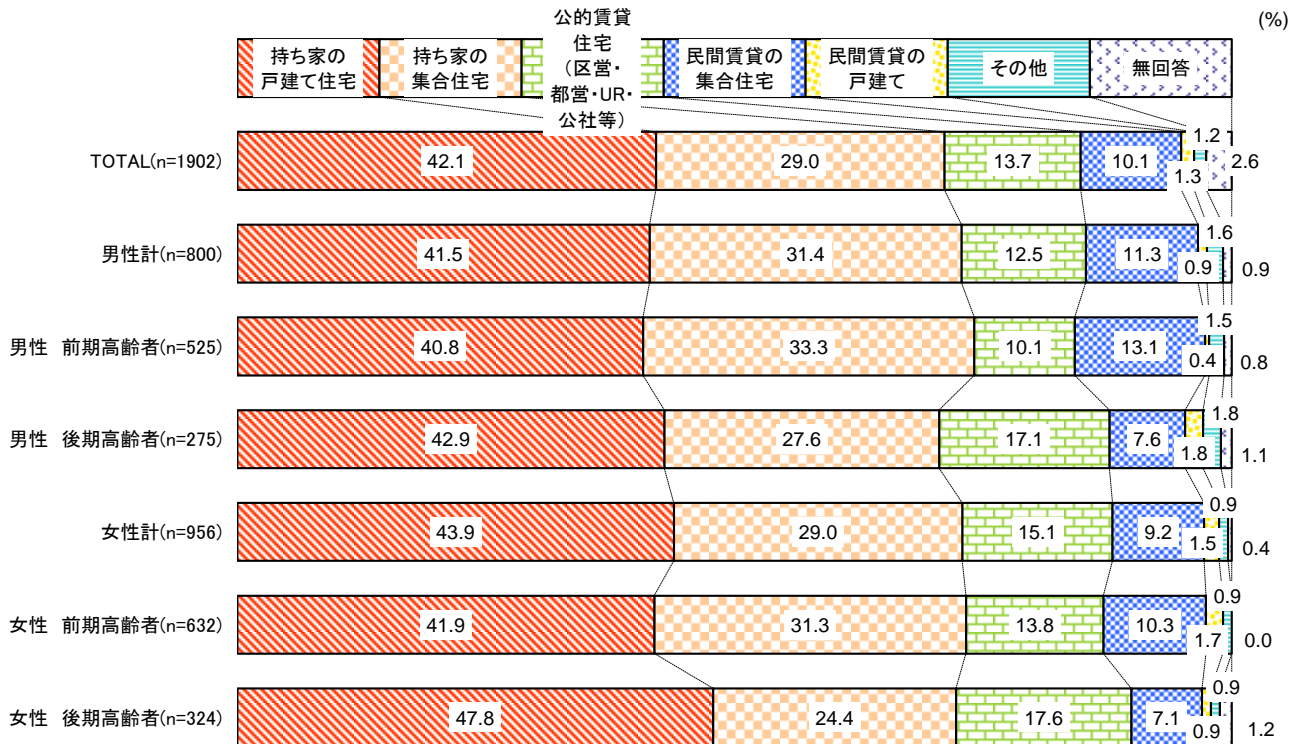
(8) 住居形態

問8 あなた（宛名のご本人）のお住まいは、次のどれにあてはまりますか。（○は1つのみ）

住居形態は、「持ち家の戸建て住宅」が42.1%と最も高く、次いで「持ち家の集合住宅」（29.0%）、「公的賃貸住宅（区営・都営・UR・公社等）」（13.7%）となっている。

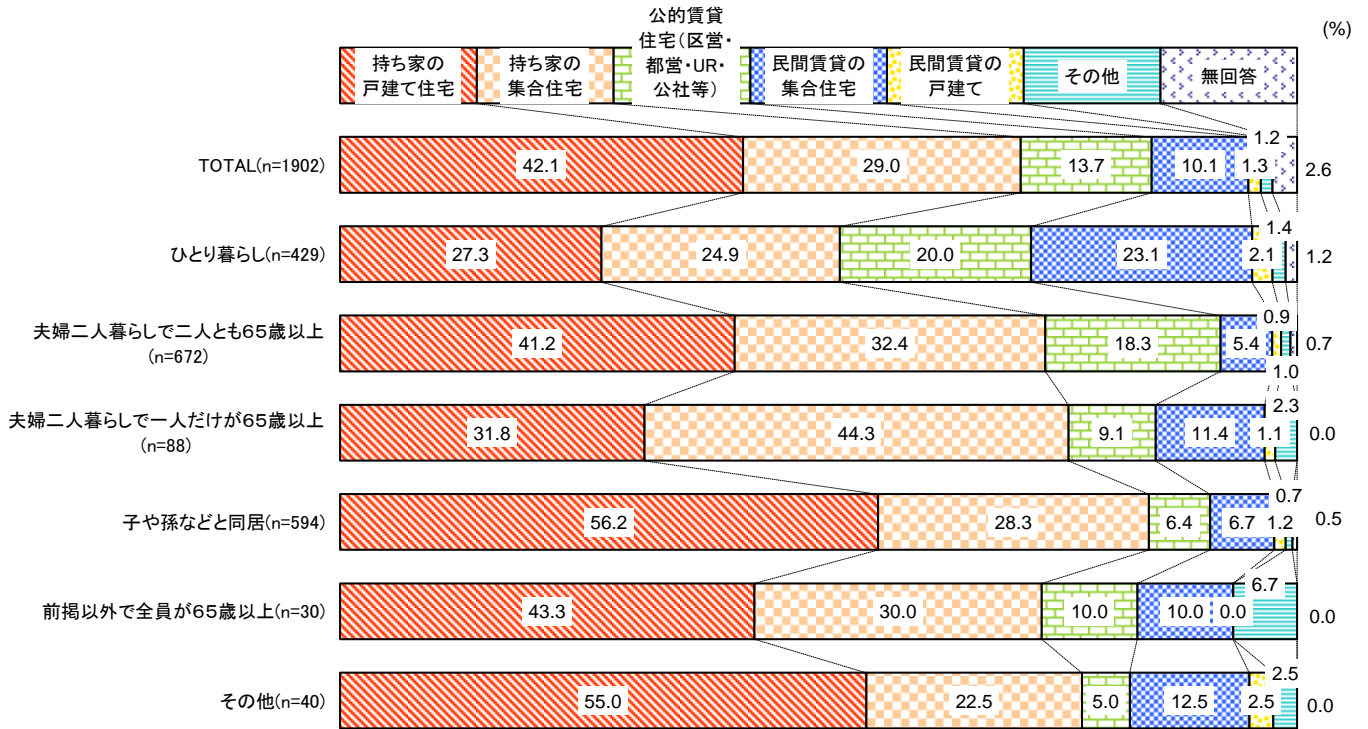
性年代別でみると、男性前期高齢者では、「民間賃貸の集合住宅」（13.1%）が高く、「公的賃貸住宅（区営・都営・UR・公社等）」（10.1%）が低くなっている。

図表 3.1.17 住居形態：性年代別



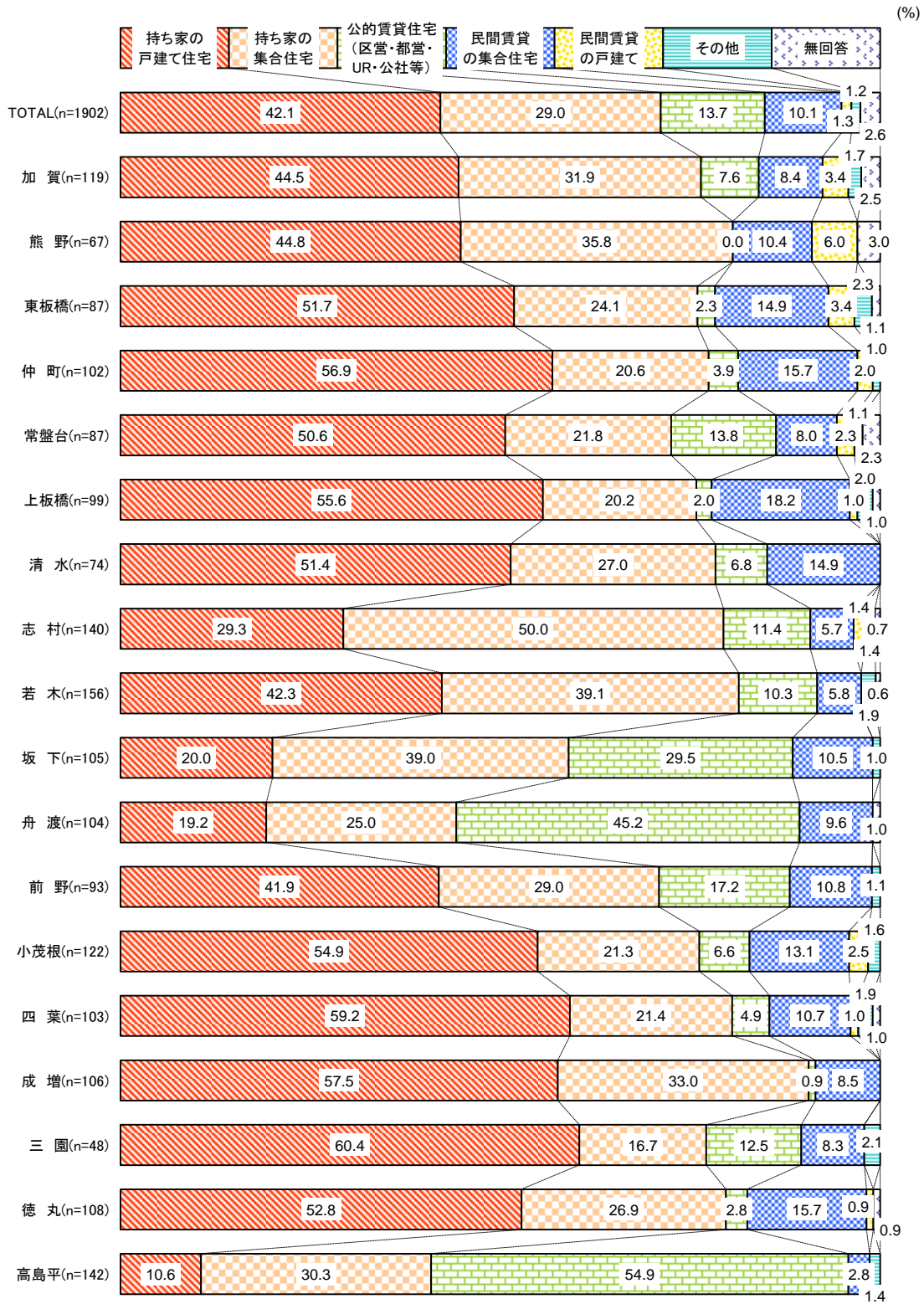
世帯構成別でみると、「持ち家の戸建て住宅」は子や孫など同居の人で 56.2%と高い一方、ひとり暮らしの人では 27.3%となっている。またひとり暮らしの人では、「民間賃貸の集合住宅」が 23.1%となっている。

図表 3.1.18 住居形態：性年代別



地区別でみると、志村と坂下では「持ち家の集合住宅」が最も高く（志村 50.0%、坂下 39.0%）、舟渡と高島平では「公的賃貸住宅（区営・都営・UR・公社等）」が最も高くなっている（舟渡 45.2%、高島平 54.9%）。

図表 3.1.19 住居形態：地区別



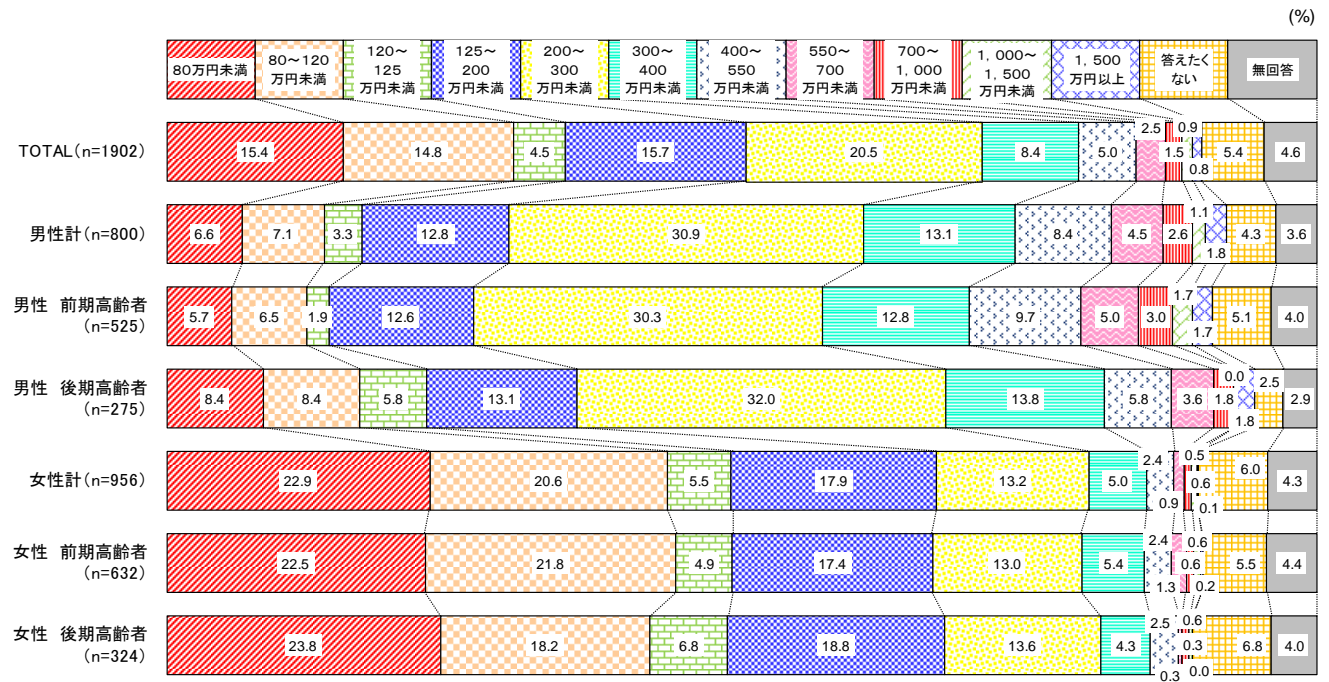
(9) 年収

問 40 あなた（宛名のご本人）の年収（年金を含む）をお答えください。（〇は1つのみ）

個人年収は、「200～300 万円未満」が 20.5%と最も高く、次いで「125～200 万円未満」（15.7%）、「80 万円未満」（15.4%）となっている。年収 200 万円未満が、回答者の約半数を占めている。

性別でみると、男性では「200～300 万円未満」が 30.9%と最も高くなっているが、女性では「80 万円未満」（22.9%）が最も高くなっている。

図表 3.1.20 年収（年金を含む）：性年代別



2. 働く意欲・就労状況について

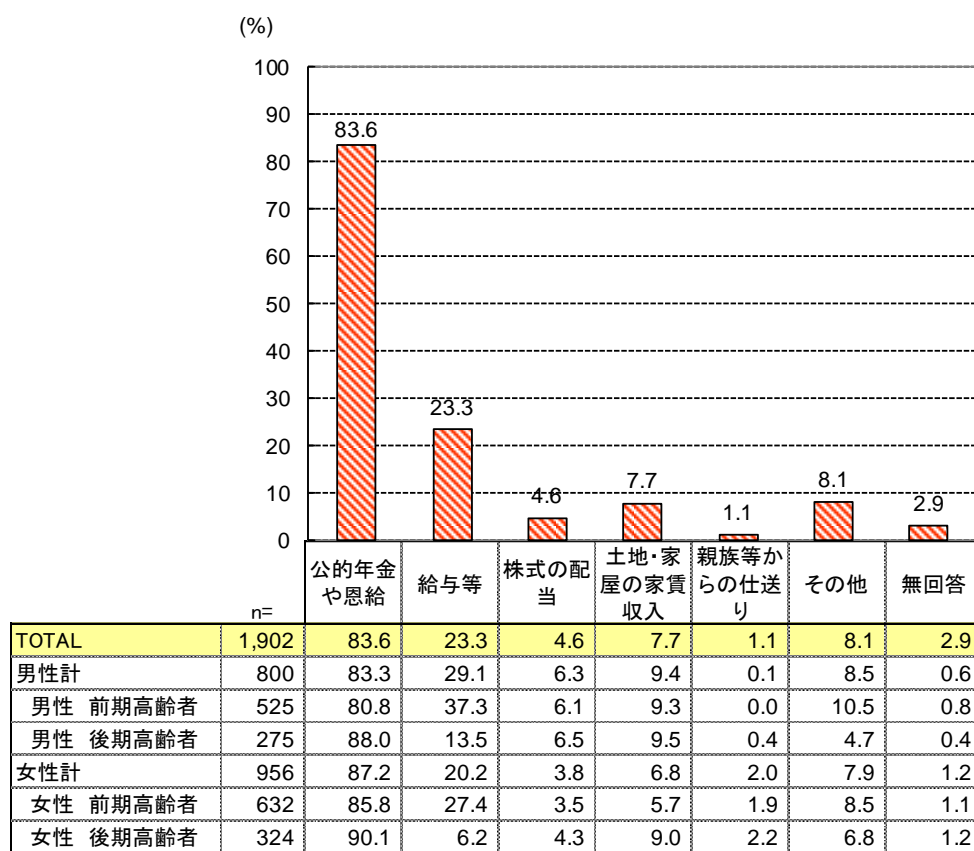
(1) 定期的な収入源

問9 あなた（宛名のご本人）は、定期的な収入をどこから得ていますか。（〇はいくつでも）

定期的な収入源については、「公的年金や恩給」が83.6%、次いで「給与等」（23.3%）、「その他」（8.1%）となっている。

性年代別で見ると、いずれも「公的年金や恩給」が最も高いが、前期高齢者では、「給与等」が男性前期高齢者で37.3%、女性前期高齢者で27.4%と後期高齢者に比べ高くなっている。

図表 3.2.1 定期的な収入源（複数回答）：性年代別



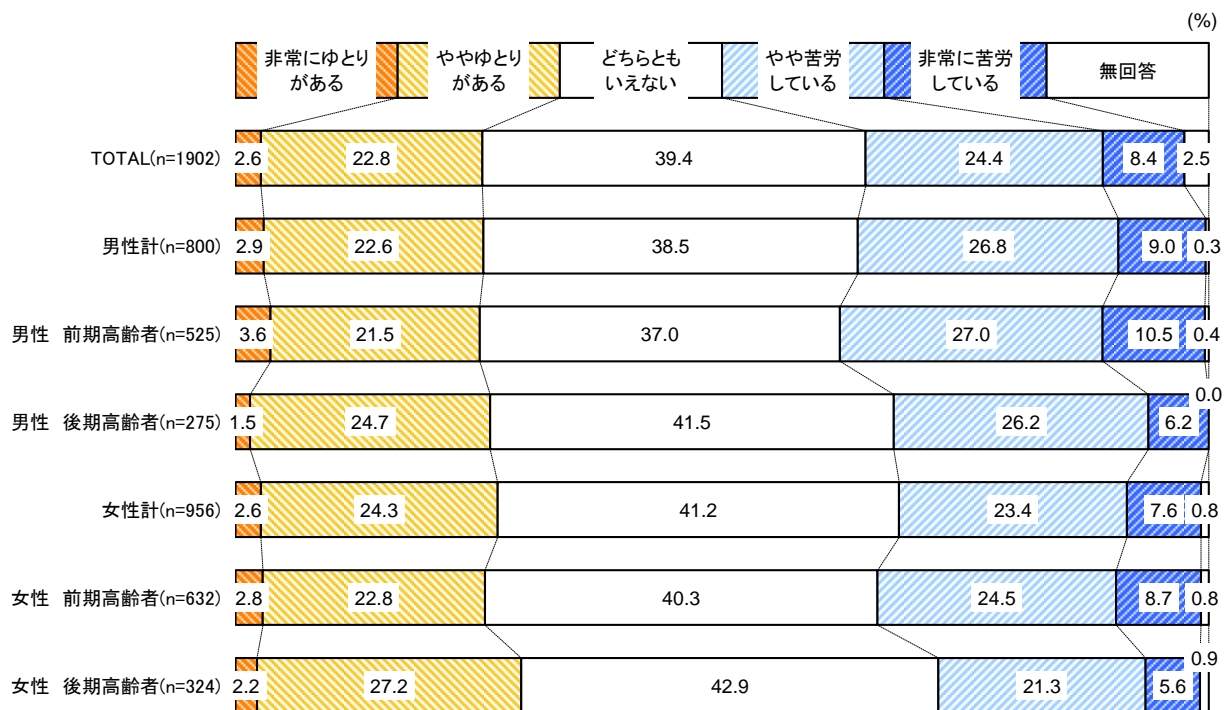
(2) 今の暮らし向き

問 10 あなた（宛名のご本人）の世帯の、今の暮らし向きはいかがですか。（○は1つのみ）

今の暮らし向きは、「非常にゆとりがある」が2.6%、「ややゆとりがある」が22.8%であり、『ゆとりがある』は合わせて25.4%となっている。一方、「非常に苦勞している」が8.4%、「やや苦勞している」が24.4%であり、『苦勞している』は合わせて32.8%と『ゆとりがある』より高くなっている。また、「どちらともいえない」は39.4%と約4割を占め、最も高くなっている。

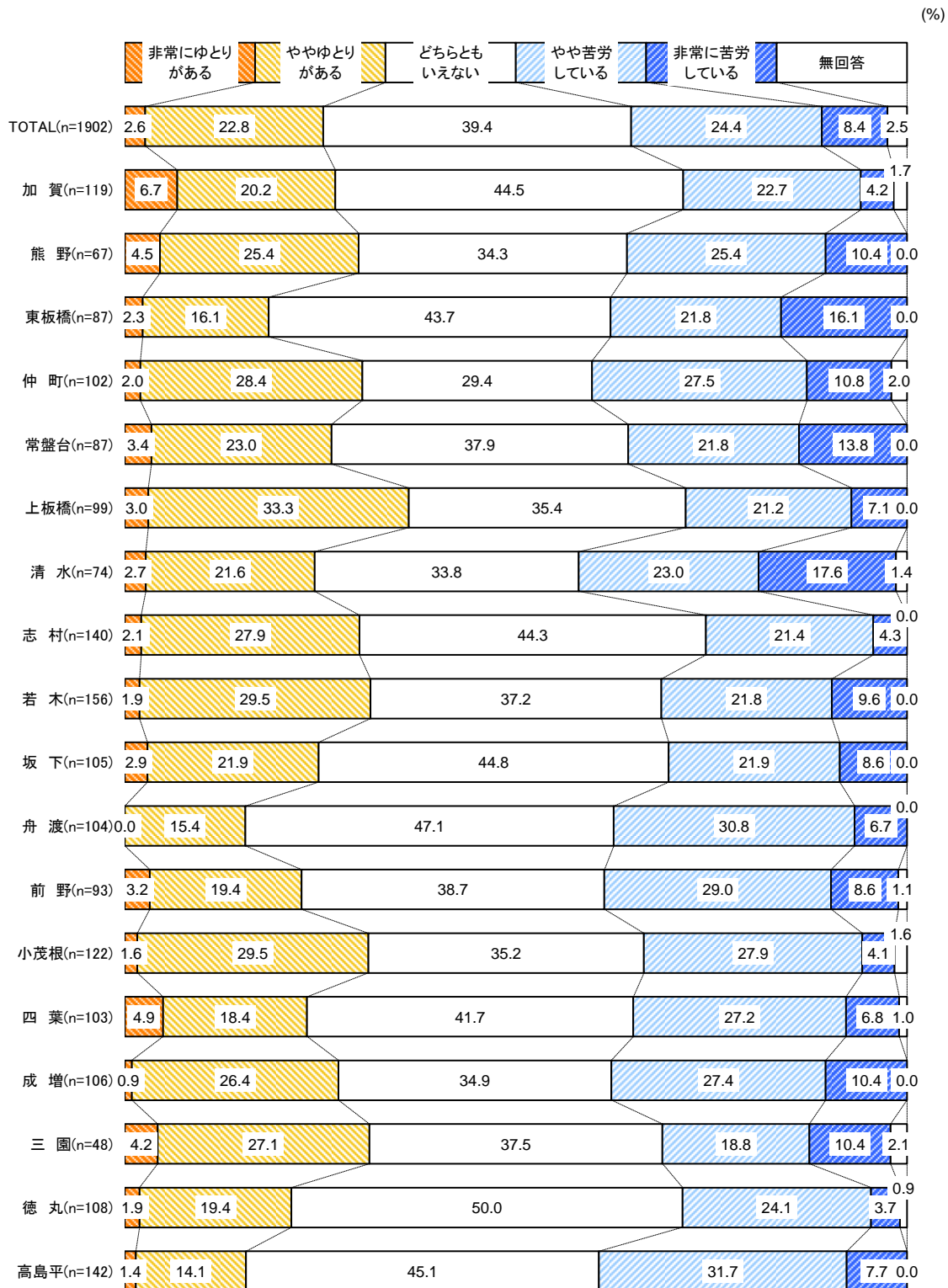
性年代別でみると、「やや苦勞している」が男性で26.8%と女性（23.4%）よりも高くなっている。また、「非常に苦勞している」は男性前期高齢者で10.5%に対し、女性後期高齢者では5.6%と低くなっている。

図表 3.2.2 今の暮らし向き：性年代別



地区別でみると、『苦労している』が「どちらともいえない」、『ゆとりがある』より高いのは、仲町、清水、成増である。また、『ゆとりがある』と『苦労している』の割合の差が大きい地区は、東板橋、舟渡、高島平である。『ゆとりがある』が「どちらともいえない」、『苦労している』より高いのは上板橋のみとなっている。

図表 3.2.3 今の暮らし向き：地区別



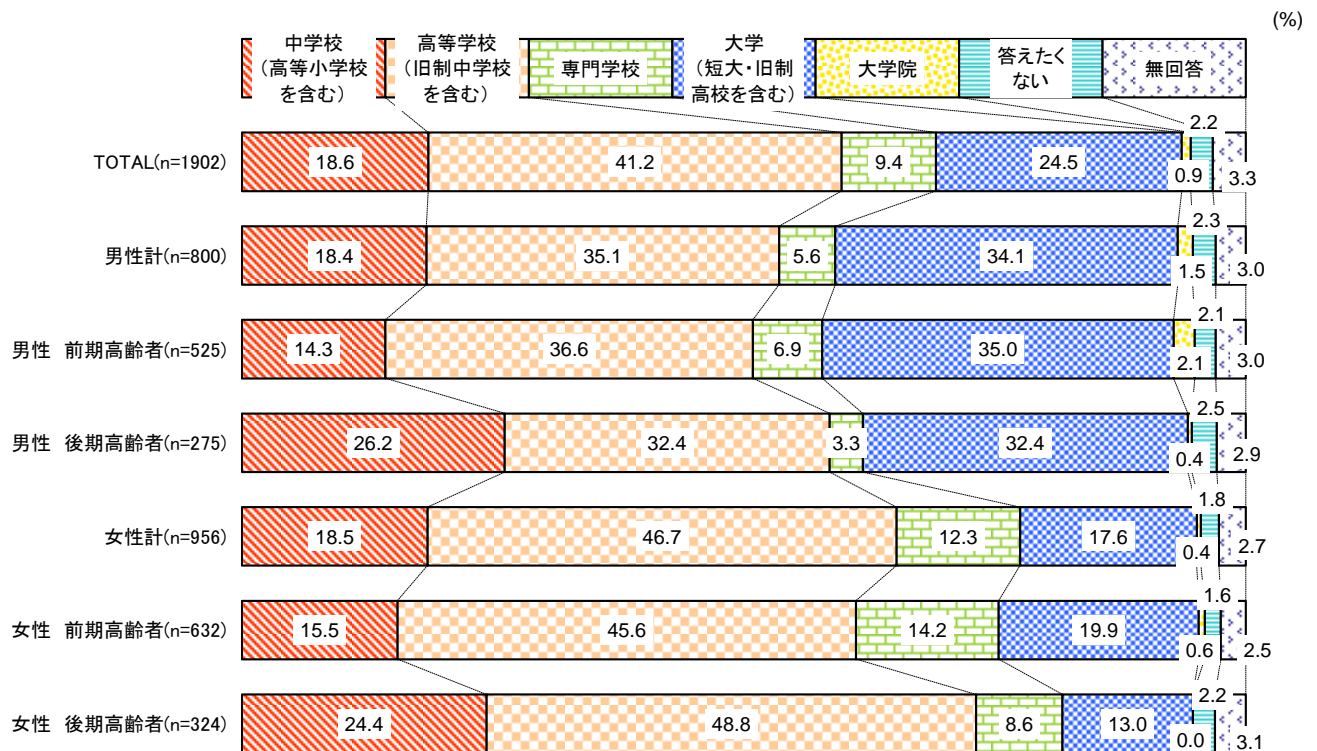
(3) 最後に卒業した学校

問 39 あなたが最後に卒業された学校をお答えください。(〇は1つのみ)

最後に卒業した学校（最終学歴）は、「中学校（高等小学校を含む）」が 18.6%、「高等学校（旧制中学校を含む）」が 41.2%、「専門学校」が 9.4%、「大学（短大・旧制高校を含む）」が 24.5%、「大学院」が 0.9% となっている。

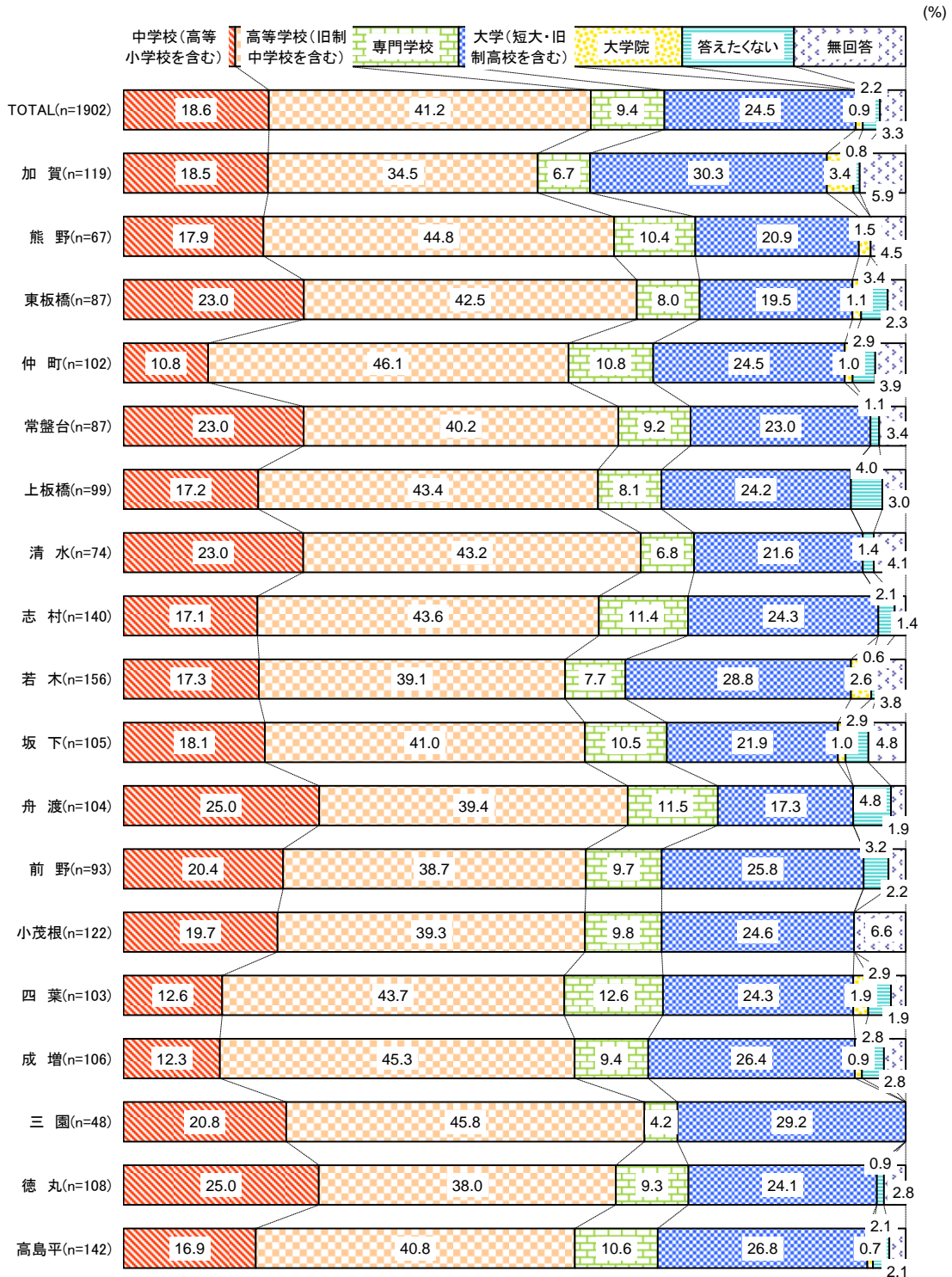
性別でみると、女性では「高等学校（旧制中学校を含む）」が男性より 10 ポイント以上高く、「大学（短大・旧制高校を含む）」が 15 ポイント以上低くなっている。

図表 3.2.4 最終学歴：性年代別



地区別でみると、仲町では「中学校（高等小学校を含む）」が10.8%と他の地区より低くなっている。

図表 3.2.5 最終学歴：地区別



(4) 現在の職業・雇用形態

① 現在の職業

問 11 あなた(宛名のご本人)の現在の職業をお答えください。副業があるなど複数の仕事をお持ちの場合も、主な職業に1つだけ○をつけてください。(○は1つのみ)

現在の主な職業は、「無職・仕事からは引退した」が36.2%と最も高く、次いで「主婦・主夫(専業)」(21.2%)、「主婦・主夫(パートタイム従業者)」(8.9%)となっている。

性別でみると、男性では、「無職・仕事からは引退した」が50.8%と女性(24.3%)より高く、女性では「主婦・主夫(専業)」が37.8%と最も高くなっている。

図表 3.2.6 現在の職業：性年代別

	n=	管理的職業	専門的・技術的職業	事務	販売	サービス職業	保安職業	農林漁業	生産工程	輸送・機械運転
TOTAL	1902	67	84	43	39	79	10	2	16	40
	100	3.5	4.4	2.3	2.1	4.2	0.5	0.1	0.8	2.1
男性計	800	50	52	14	23	37	10	0	11	32
	100	6.3	6.5	1.8	2.9	4.6	1.3	0.0	1.4	4.0
男性 前期高齢者	525	38	44	11	15	29	9	0	7	29
	100	7.2	8.4	2.1	2.9	5.5	1.7	0.0	1.3	5.5
男性 後期高齢者	275	12	8	3	8	8	1	0	4	3
	100	4.4	2.9	1.1	2.9	2.9	0.4	0.0	1.5	1.1
女性計	956	14	27	29	14	37	0	2	3	1
	100	1.5	2.8	3.0	1.5	3.9	0.0	0.2	0.3	0.1
女性 前期高齢者	632	11	23	26	10	33	0	0	3	1
	100	1.7	3.6	4.1	1.6	5.2	0.0	0.0	0.5	0.2
女性 後期高齢者	324	3	4	3	4	4	0	2	0	0
	100	0.9	1.2	0.9	1.2	1.2	0.0	0.6	0.0	0.0

	n=	建設・採掘	運搬・清掃・包装など	その他	主婦・主夫(パートタイム従業者)	主婦・主夫(専業)	学生	無職・仕事からは引退した	無回答	上段:度数 下段:%
TOTAL	1902	27	49	66	170	403	1	688	118	
	100	1.4	2.6	3.5	8.9	21.2	0.1	36.2	6.2	
男性計	800	23	23	39	26	9	0	406	45	
	100	2.9	2.9	4.9	3.3	1.1	0.0	50.8	5.6	
男性 前期高齢者	525	18	19	30	23	3	0	226	24	
	100	3.4	3.6	5.7	4.4	0.6	0.0	43.0	4.6	
男性 後期高齢者	275	5	4	9	3	6	0	180	21	
	100	1.8	1.5	3.3	1.1	2.2	0.0	65.5	7.6	
女性計	956	0	25	24	129	361	1	232	57	
	100	0.0	2.6	2.5	13.5	37.8	0.1	24.3	6.0	
女性 前期高齢者	632	0	22	15	97	225	1	141	24	
	100	0.0	3.5	2.4	15.3	35.6	0.2	22.3	3.8	
女性 後期高齢者	324	0	3	9	32	136	0	91	33	
	100	0.0	0.9	2.8	9.9	42.0	0.0	28.1	10.2	

男女別に、より詳細な年齢区分でみると、「主婦・主夫（専業）」は、女性 75～79 歳で 46.2%、女性 80～84 歳では 35.4%となっている。「サービス職業」は男性 65～69 歳では 7.4%だが、男性 70～74 歳では 2.8%と低くなっている。

図表 3.2.7 現在の職業：性年代別（詳細）

	n=	管理的職業	専門的・技術的職業	事務	販売	サービス職業	保安職業	農林漁業	生産工程	輸送・機械運転
TOTAL	1902	67	84	43	39	79	10	2	16	40
	100	3.5	4.4	2.3	2.1	4.2	0.5	0.1	0.8	2.1
65～69歳	628	32	40	23	15	43	7	0	4	22
	100	5.1	6.4	3.7	2.4	6.8	1.1	0.0	0.6	3.5
70～74歳	529	17	27	14	10	19	2	0	6	8
	100	3.2	5.1	2.6	1.9	3.6	0.4	0.0	1.1	1.5
75～79歳	359	11	8	4	5	8	1	0	4	3
	100	3.1	2.2	1.1	1.4	2.2	0.3	0.0	1.1	0.8
80～84歳	240	4	4	2	7	4	0	2	0	0
	100	1.7	1.7	0.8	2.9	1.7	0.0	0.8	0.0	0.0
男性65～69歳	310	26	26	9	8	23	7	0	3	21
	100	8.4	8.4	2.9	2.6	7.4	2.3	0.0	1.0	6.8
男性70～74歳	215	12	18	2	7	6	2	0	4	8
	100	5.6	8.4	0.9	3.3	2.8	0.9	0.0	1.9	3.7
男性75～79歳	162	9	4	1	3	5	1	0	4	3
	100	5.6	2.5	0.6	1.9	3.1	0.6	0.0	2.5	1.9
男性80～84歳	113	3	4	2	5	3	0	0	0	0
	100	2.7	3.5	1.8	4.4	2.7	0.0	0.0	0.0	0.0
女性65～69歳	318	6	14	14	7	20	0	0	1	1
	100	1.9	4.4	4.4	2.2	6.3	0.0	0.0	0.3	0.3
女性70～74歳	314	5	9	12	3	13	0	0	2	0
	100	1.6	2.9	3.8	1.0	4.1	0.0	0.0	0.6	0.0
女性75～79歳	197	2	4	3	2	3	0	0	0	0
	100	1.0	2.0	1.5	1.0	1.5	0.0	0.0	0.0	0.0
女性80～84歳	127	1	0	0	2	1	0	2	0	0
	100	0.8	0.0	0.0	1.6	0.8	0.0	1.6	0.0	0.0

	n=	建設・採掘	運搬・清掃・包装など	その他	主婦・主夫（パートタイム従業者）	主婦・主夫（専業）	学生	無職・仕事からは引退した	無回答
TOTAL	1902	27	49	66	170	403	1	688	118
	100	1.4	2.6	3.5	8.9	21.2	0.1	36.2	6.2
65～69歳	628	12	21	22	69	114	1	185	18
	100	1.9	3.3	3.5	11.0	18.2	0.2	29.5	2.9
70～74歳	529	6	20	23	51	114	0	182	30
	100	1.1	3.8	4.3	9.6	21.6	0.0	34.4	5.7
75～79歳	359	5	4	12	22	93	0	150	29
	100	1.4	1.1	3.3	6.1	25.9	0.0	41.8	8.1
80～84歳	240	0	3	6	13	49	0	121	25
	100	0.0	1.3	2.5	5.4	20.4	0.0	50.4	10.4
男性65～69歳	310	12	9	14	17	2	0	124	9
	100	3.9	2.9	4.5	5.5	0.6	0.0	40.0	2.9
男性70～74歳	215	6	10	16	6	1	0	102	15
	100	2.8	4.7	7.4	2.8	0.5	0.0	47.4	7.0
男性75～79歳	162	5	3	6	3	2	0	103	10
	100	3.1	1.9	3.7	1.9	1.2	0.0	63.6	6.2
男性80～84歳	113	0	1	3	0	4	0	77	11
	100	0.0	0.9	2.7	0.0	3.5	0.0	68.1	9.7
女性65～69歳	318	0	12	8	52	112	1	61	9
	100	0.0	3.8	2.5	16.4	35.2	0.3	19.2	2.8
女性70～74歳	314	0	10	7	45	113	0	80	15
	100	0.0	3.2	2.2	14.3	36.0	0.0	25.5	4.8
女性75～79歳	197	0	1	6	19	91	0	47	19
	100	0.0	0.5	3.0	9.6	46.2	0.0	23.9	9.6
女性80～84歳	127	0	2	3	13	45	0	44	14
	100	0.0	1.6	2.4	10.2	35.4	0.0	34.6	11.0

上段：度数
下段：%

② 雇用形態

問 11-1 現在のお仕事の主な雇用形態は次のどれに当てはまりますか。(○は1つのみ)

主婦・主夫（専業）、学生、無職・仕事からは引退した人（全回答者 1,902 人中 1,210 人）を除いた、692 人について、勤労者の現在の仕事の主な雇用形態をみると、「パート・アルバイト・契約社員」が 34.7%と最も高く、次いで「自営業主、自由業」（23.1%）、「正規職員・正規従業員」（8.2%）となっている。

性年代別でみると、男性では「自営業主・自由業」が「パート・アルバイト・契約社員」より高くなっている。一方、女性では、「自営業主、自由業」より「パート・アルバイト・契約社員」の方が高くなっているが、女性後期高齢者では、「自営業主・自由業」が無回答を除き、最も高くなっている。

図表 3.2.8 現在の仕事の主な雇用形態【ベース：勤労者】：性年代別

	n=	自営業主、 自由業	家族従業	正規職員・ 正規従業員	パート・アル バイト・契約 社員	嘱託	人材派遣企 業の派遣社 員	その他の雇 用者	会社・団体 などの管理 職・役員	家庭での内 職	その他	無回答	上段：度数 下段：%
TOTAL	692	160	26	57	240	41	17	21	46	0	7	77	
	100	23.1	3.8	8.2	34.7	5.9	2.5	3.0	6.6	0.0	1.0	11.1	
男性計	340	108	6	39	86	28	11	11	38	0	4	9	
	100	31.8	1.8	11.5	25.3	8.2	3.2	3.2	11.2	0.0	1.2	2.6	
男性 前期高齢者	272	86	3	33	74	23	11	8	26	0	3	5	
	100	31.6	1.1	12.1	27.2	8.5	4.0	2.9	9.6	0.0	1.1	1.8	
男性 後期高齢者	68	22	3	6	12	5	0	3	12	0	1	4	
	100	32.4	4.4	8.8	17.6	7.4	0.0	4.4	17.6	0.0	1.5	5.9	
女性計	305	39	19	17	137	11	6	8	5	0	2	61	
	100	12.8	6.2	5.6	44.9	3.6	2.0	2.6	1.6	0.0	0.7	20.0	
女性 前期高齢者	241	24	17	15	129	9	3	6	3	0	2	33	
	100	10.0	7.1	6.2	53.5	3.7	1.2	2.5	1.2	0.0	0.8	13.7	
女性 後期高齢者	64	15	2	2	8	2	3	2	2	0	0	28	
	100	23.4	3.1	3.1	12.5	3.1	4.7	3.1	3.1	0.0	0.0	43.8	

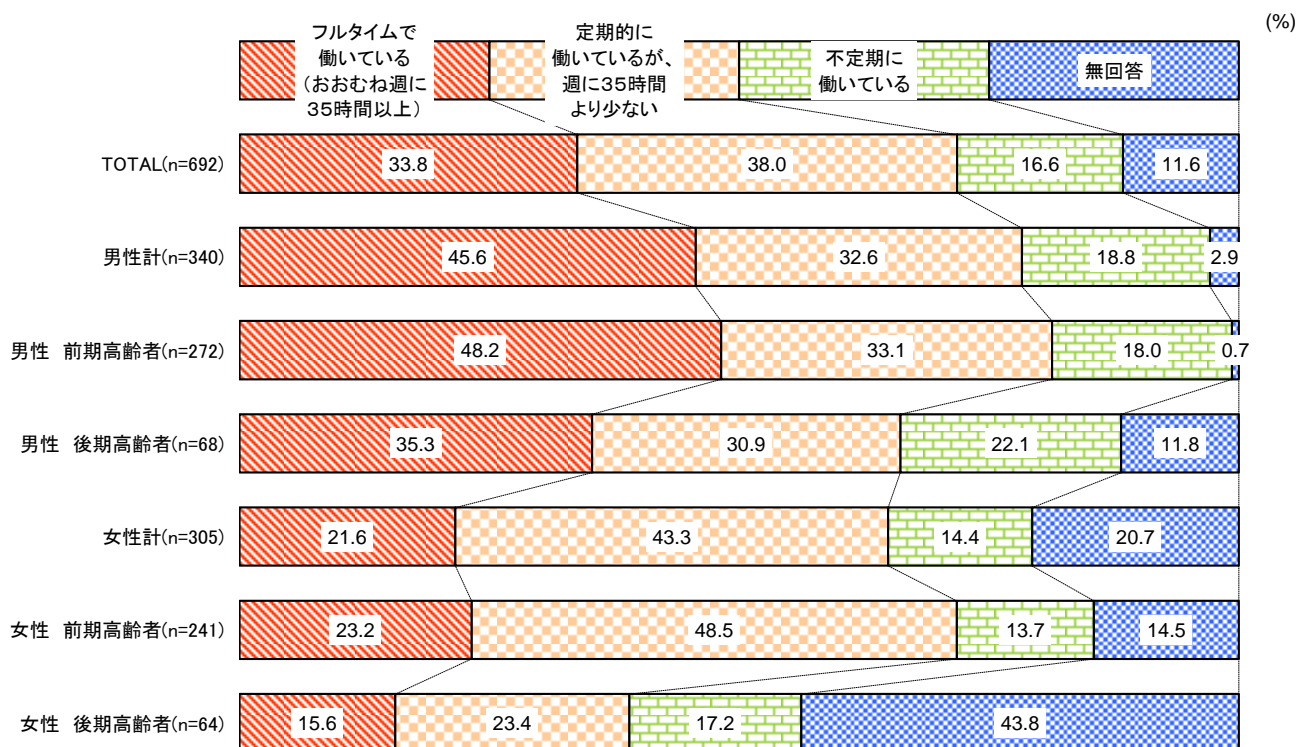
③ 現在の働き方

問 11-2 あなた（宛名のご本人）の現在の働き方は、どれに当てはまりますか。（○は1つのみ）

勤労者の現在の働き方は、「定期的に働いているが、週に35時間より少ない」が38.0%と最も高く、次いで「フルタイムで働いている（おおむね週に35時間以上）」（33.8%）、「不定期に働いている」（16.6%）となっている。

性年代別で見ると、男性前期高齢者では「フルタイムで働いている（おおむね週に35時間以上）」が48.2%と高くなっている。女性前期高齢者では「定期的に働いているが、週に35時間より少ない」が48.5%と高くなっている。

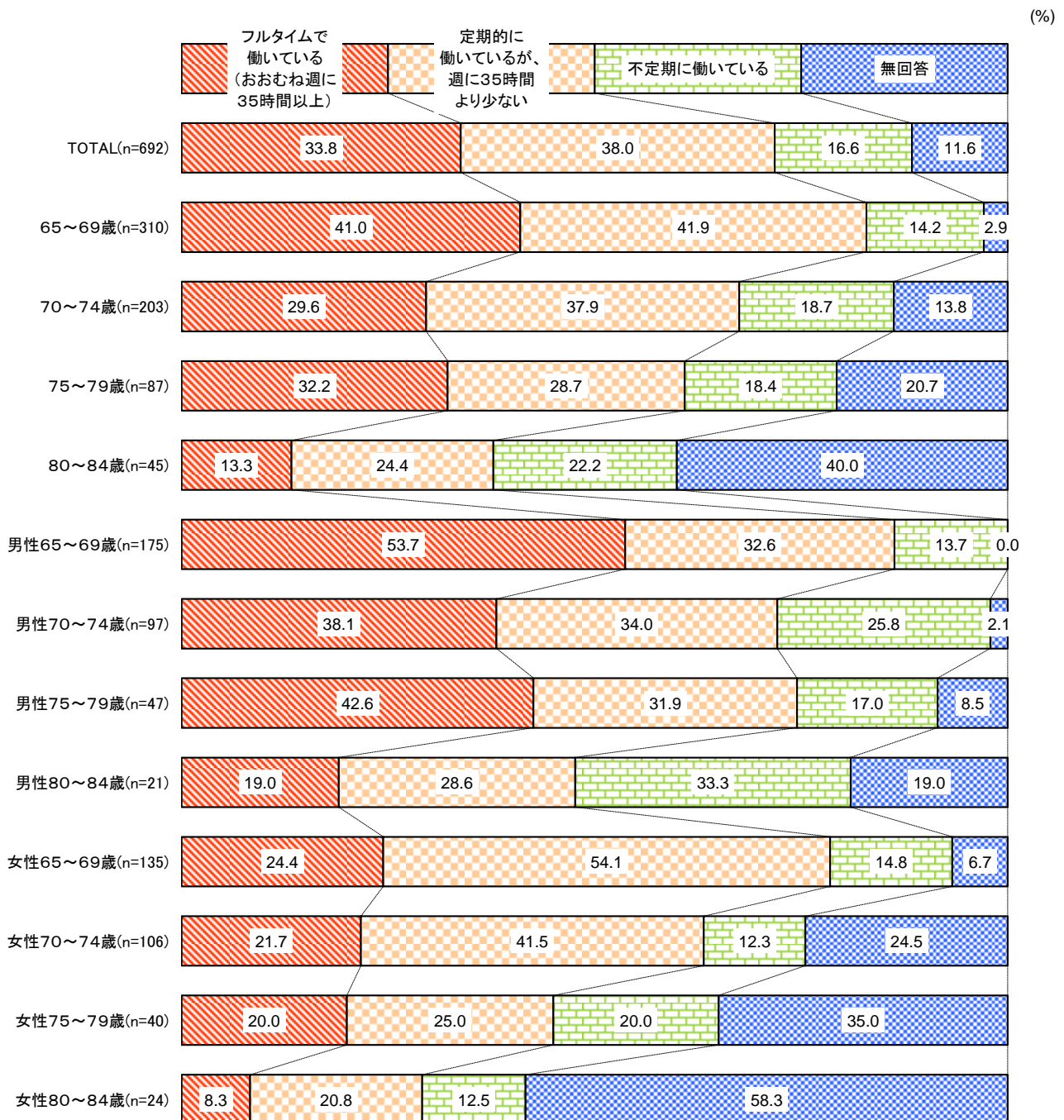
図表 3.2.9 現在の働き方【ベース：勤労者】：性年代別



男女別に、より詳細な年齢区分で見ると、男女とも「フルタイムで働いている（おおむね週に 35 時間以上）」は、80～84 歳で低くなっている。75～79 歳において、男性は「フルタイムで働いている（おおむね週に 35 時間以上）」が 42.6%に対し、女性は 20.0%にとどまっている。

「不定期に働いている」は、男性 80～84 歳では 33.3%に対し、女性 80～84 歳では 12.5%にとどまっている。

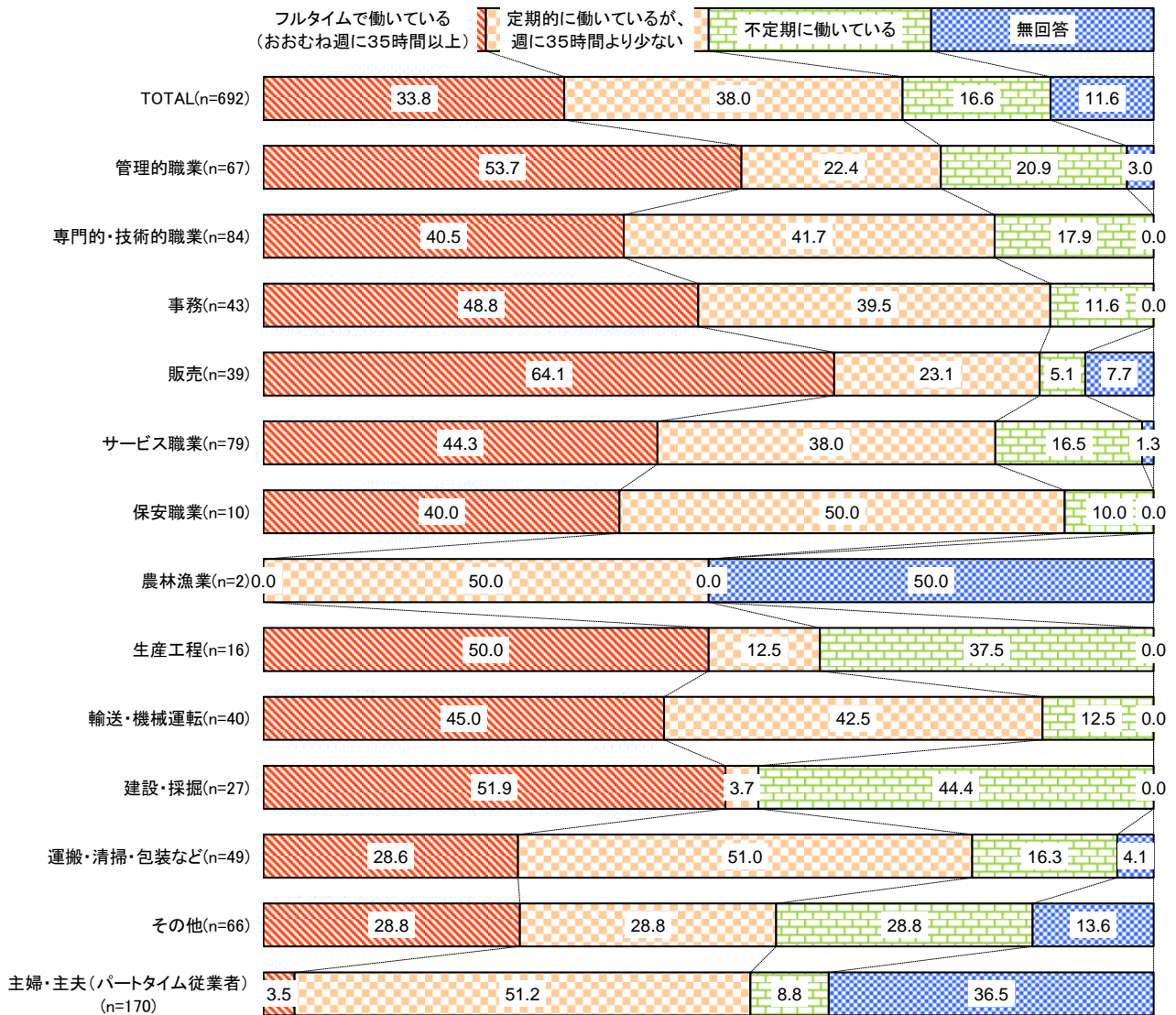
図表 3.2.10 現在の働き方【ベース：勤労者】：性年代別（詳細）



現在の職業別にみると、「フルタイムで働いている（おおむね週に35時間以上）」は、管理的職業（53.7%）、販売（64.1%）で高くなっている。

図表 3.2.11 現在の働き方【ベース：勤労者】：現在の職業別

(%)



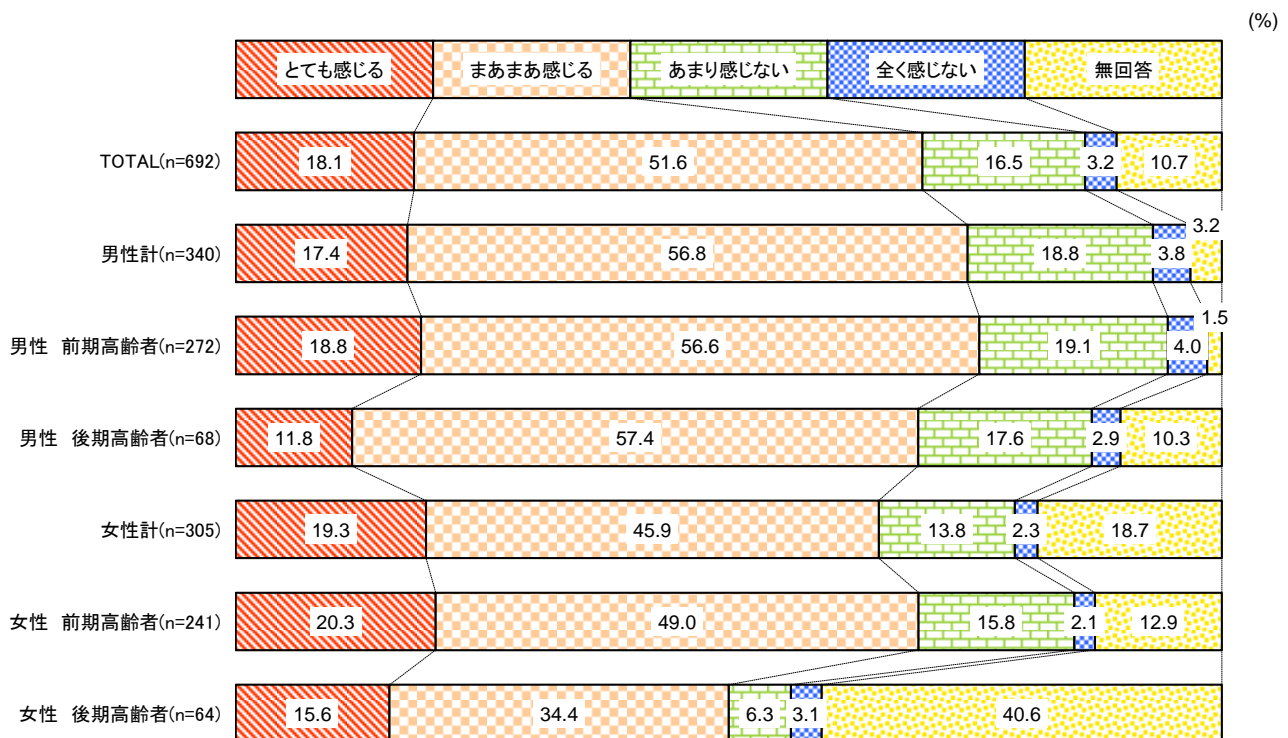
④ 仕事に「いきがい」を感じているか

問 11-3 今の仕事に「いきがい」を感じていますか。(〇は1つのみ)

今の仕事に「いきがい」を「とても感じる」が18.1%、「まあまあ感じる」が51.6%と合わせて69.7%が『感じる』と回答している。一方、「全く感じない」が3.2%、「あまり感じない」が16.5%で合わせて19.7%が『感じない』となっている。

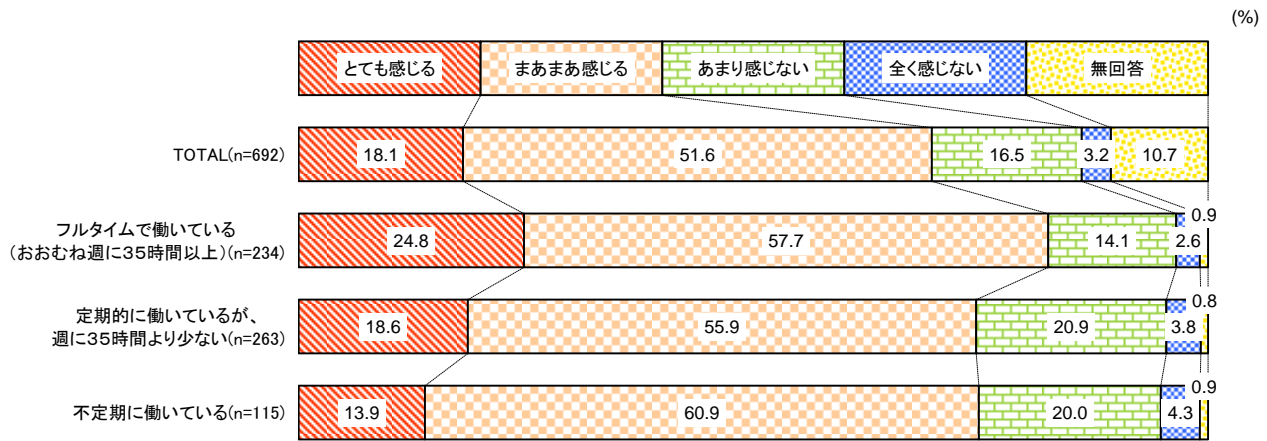
性年代別で見ると、男性の方が「まあまあ感じる」が女性より10ポイント以上高くなっている。男性では、前後期ともに「まあまあ感じる」は5割以上となっているが、女性後期高齢者では3割台(34.4%)と低くなっている。

図表 3.2.12 今の仕事への「いきがい」について【ベース：勤労者】：性年代別



働き方別でみると、今の仕事への「いきがい」を「とても感じる」は“フルタイムで働いている”人では24.8%と高くなっている。

図表 3.2.13 今の仕事への「いきがい」について【ベース：勤労者】：働き方別



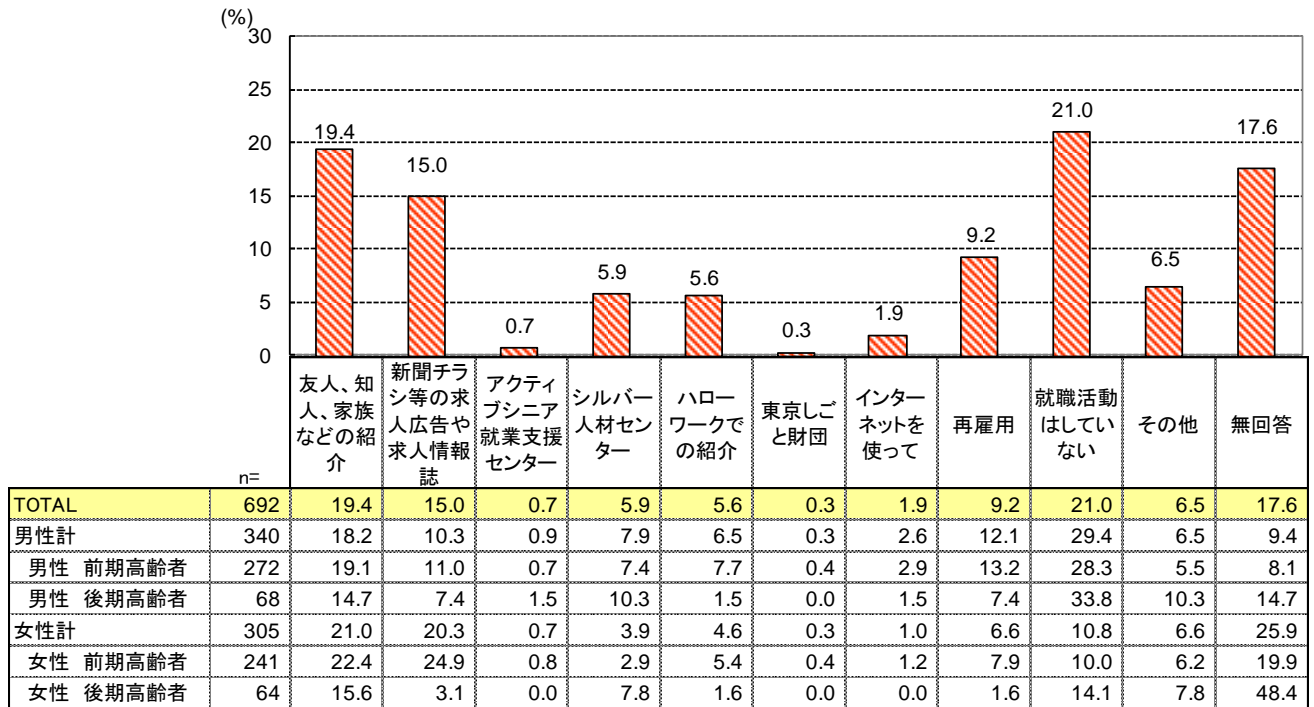
⑤ 仕事に関する情報の入手先

問 11-4 仕事に関する情報はどこで探しましたか。(〇はいくつでも)

仕事に関する情報の入手先は、「友人、知人、家族の紹介など」が 19.4%と最も高く、次いで「新聞チラシ等の求人広告や求人情報誌」(15.0%)、「再雇用」(9.2%)となっている。また、「就職活動はしていない」が 21.0%となっている。

性別でみると、男性は「就職活動はしていない」が 29.4%と高くなっている。女性は「新聞チラシ等の求人広告や求人情報誌」が 20.3%と高くなっている。

図表 3.2.14 仕事に関する情報の入手先【ベース：勤労者】：性年代別



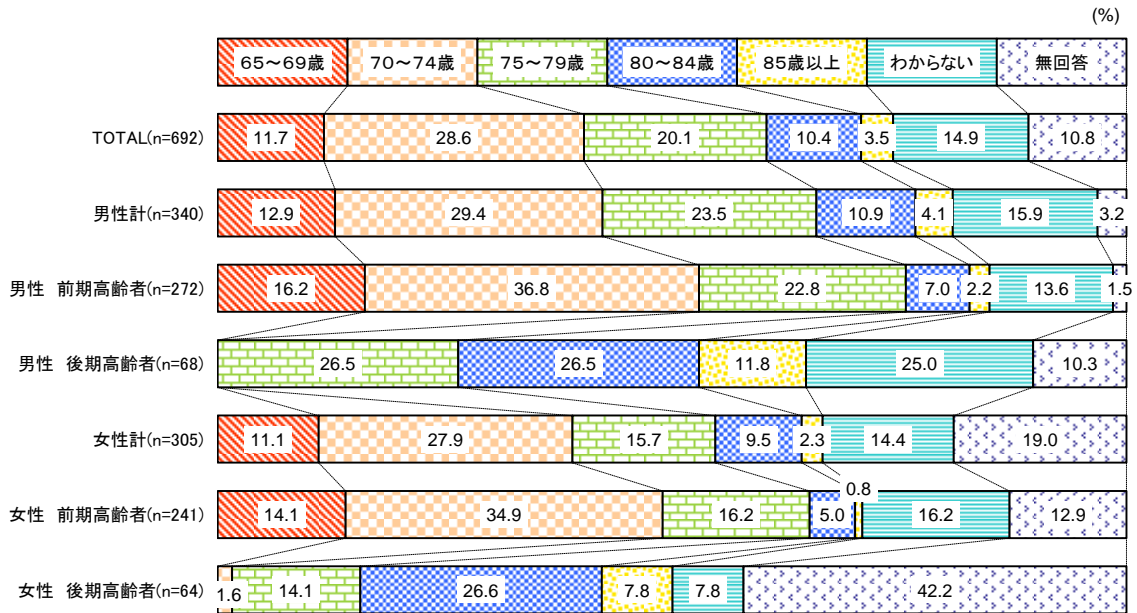
⑥ 働き続けたいと思う年齢

問 11-5 何歳まで働き続けたいと思いますか。(○は1つのみ)

何歳まで働き続けたいかは、「70～74歳」が28.6%と最も高く、次いで「75～79歳」(20.1%)、「わからない」(14.9%)となっている。

性別でみると、「75～79歳」は男性(23.5%)のほうが女性(15.7%)より高くなっている。

図表 3.2.15 働き続けたいと思う年齢【ベース：勤労者】：性年代別



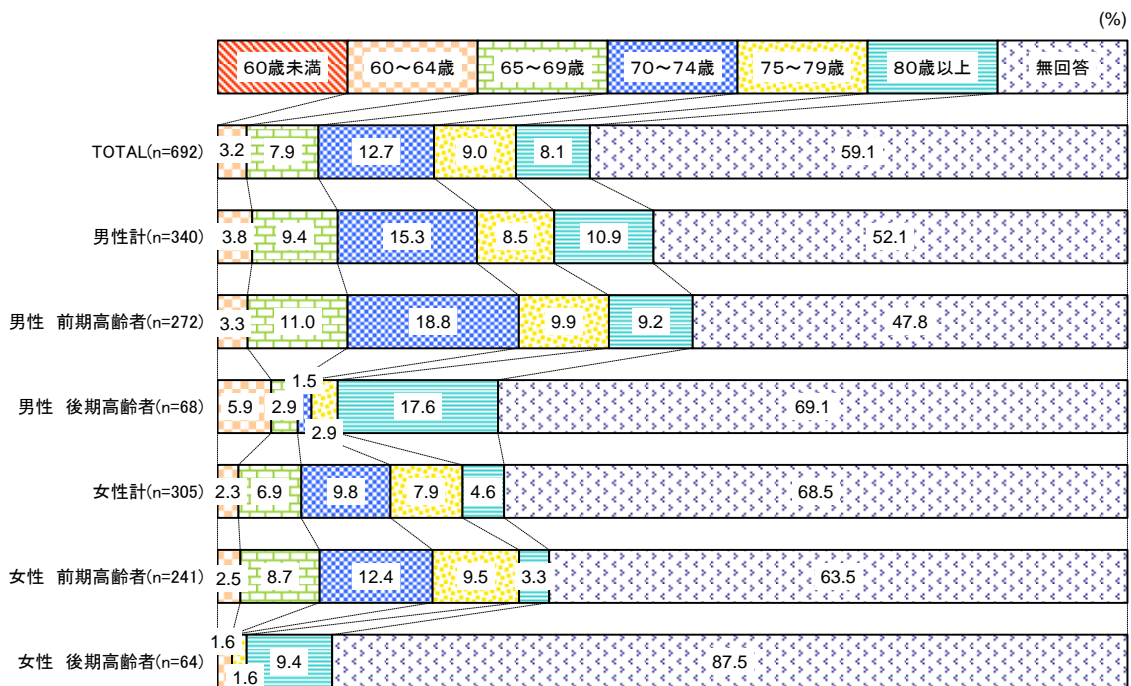
⑦ 現在の勤め先の定年

問 11-6 現在の勤め先のご自身（宛名のご本人）の定年は何歳ですか。再雇用の場合を含めた上限の年齢をお答えください。

現在の勤め先の定年は、無回答を除き、「70～74歳」が12.7%と最も高く、次いで「75～79歳」（9.0%）、「80歳以上」（8.1%）となっている。

性年代別で見ると、男性前期高齢者では「70～74歳」が18.8%と最も高く、男性後期高齢者では「80歳以上」が17.6%と最も高くなっている。

図表 3.2.16 現在の勤め先の定年：性年代別

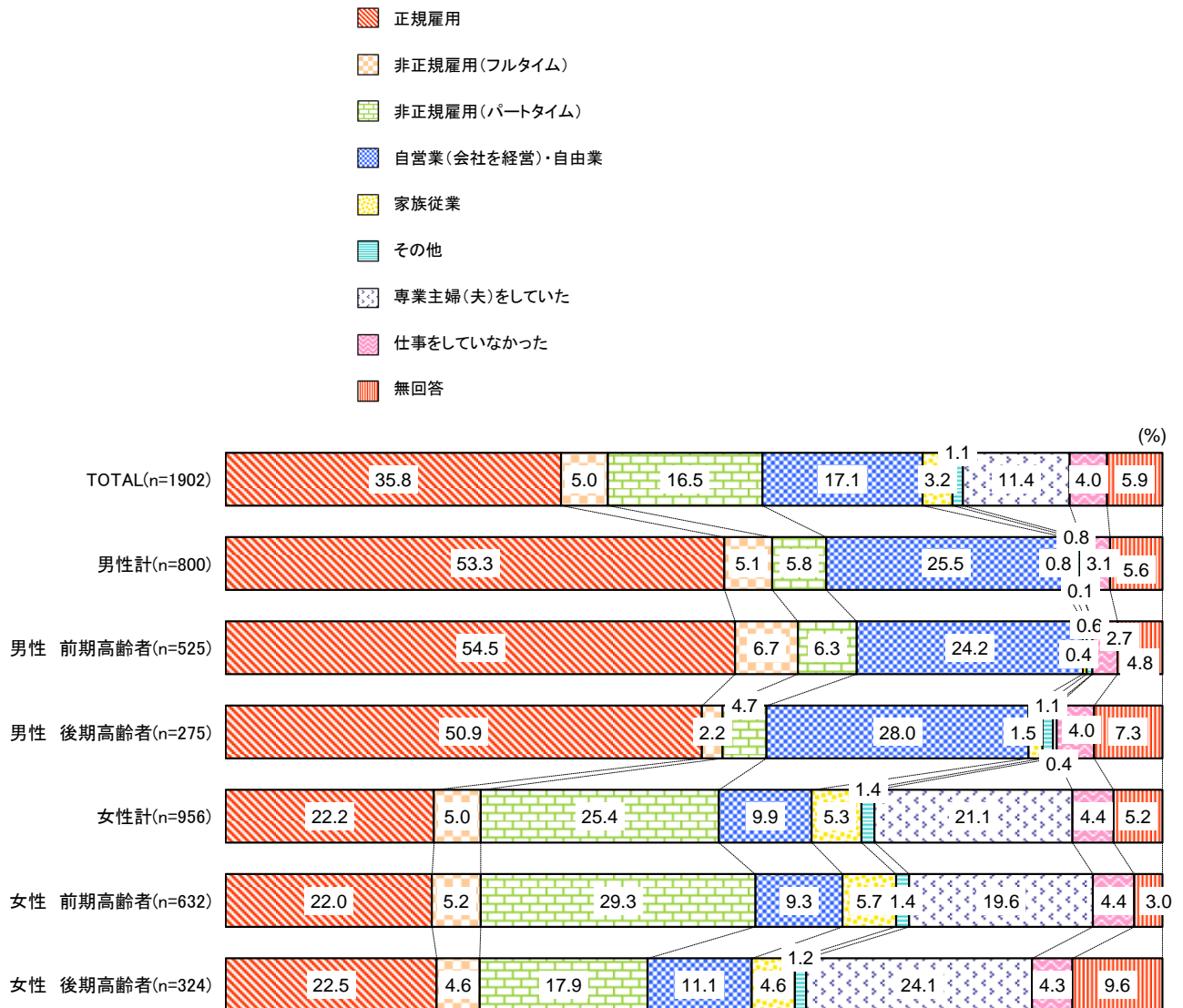


(5) 65歳以前の就業状況

問12 あなた(宛名のご本人)の65歳以前の就業状況をお答えください。(〇は1つのみ)

65歳以前の就業状況は、「正規雇用」が35.8%と最も高く、次いで「自営業(会社を経営)・自由業」(17.1%)、「非正規雇用(パートタイム)」(16.5%)、「専業主婦(夫)をしていた」(11.4%)となっている。性別で見ると、男性で正規雇用が高く、女性で非正規雇用(パートタイム)が高くなっている。

図表 3.2.17 65歳以前の就業状況：性年代別



(6) 今後の就業意向

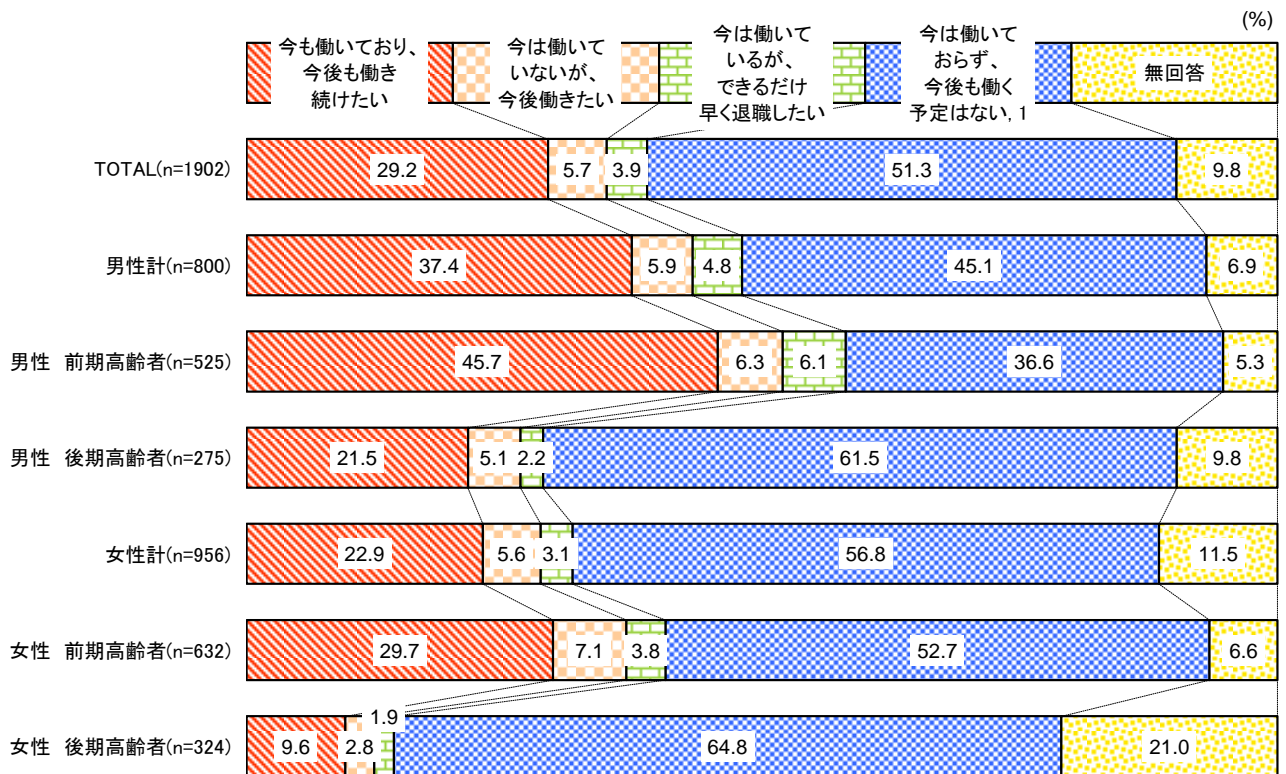
① 今後の就業意向

問 13 今後、あなた（宛名のご本人）は働こうと思っていますか。（○は1つのみ）

今後の就業意向は、「今は働いておらず、今後も働く予定はない」が 51.3%と最も高く、次いで「今も働いており、今後も働き続けたい」(29.2%)、「今は働いていないが、今後働きたい」(5.7%) となっている。

性年代別でみると、男性前期高齢者では「今も働いており、今後も働き続けたい」が 45.7%と最も高くなっている。

図表 3.2.18 今後の仕事の継続について：性年代別



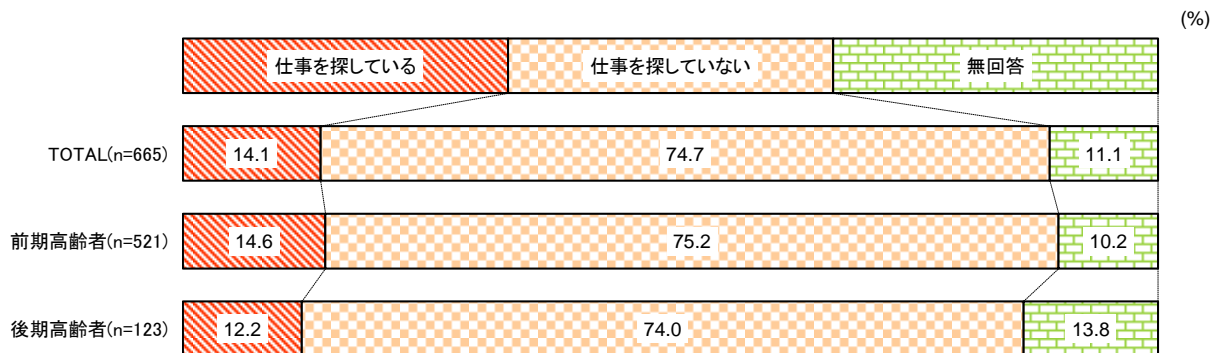
② 現在仕事を探しているか

問 13-1 あなたは（宛名のご本人）現在、仕事（就職・転職先）を探していますか。（○は1つのみ）

現在、仕事を探しているかは、「仕事を探していない」が74.7%と最も高く、次いで「仕事を探している」（14.1%）となっている。

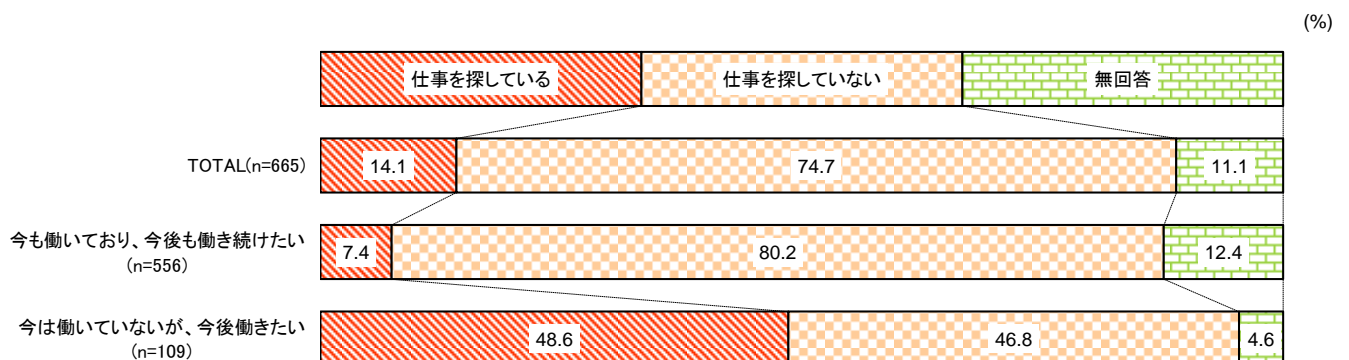
年代別で差はほとんどみられない。

図表 3.2.19 現在、仕事を探しているか【ベース：就労希望あり】：年代別



今後の就労意向別にみると、「今は働いていないが、今後働きたい」と考えている人では、48.6%が「仕事を探している」と回答している。

図表 3.2.20 現在、仕事を探しているか【ベース：就労希望あり】：今後の就労意向別



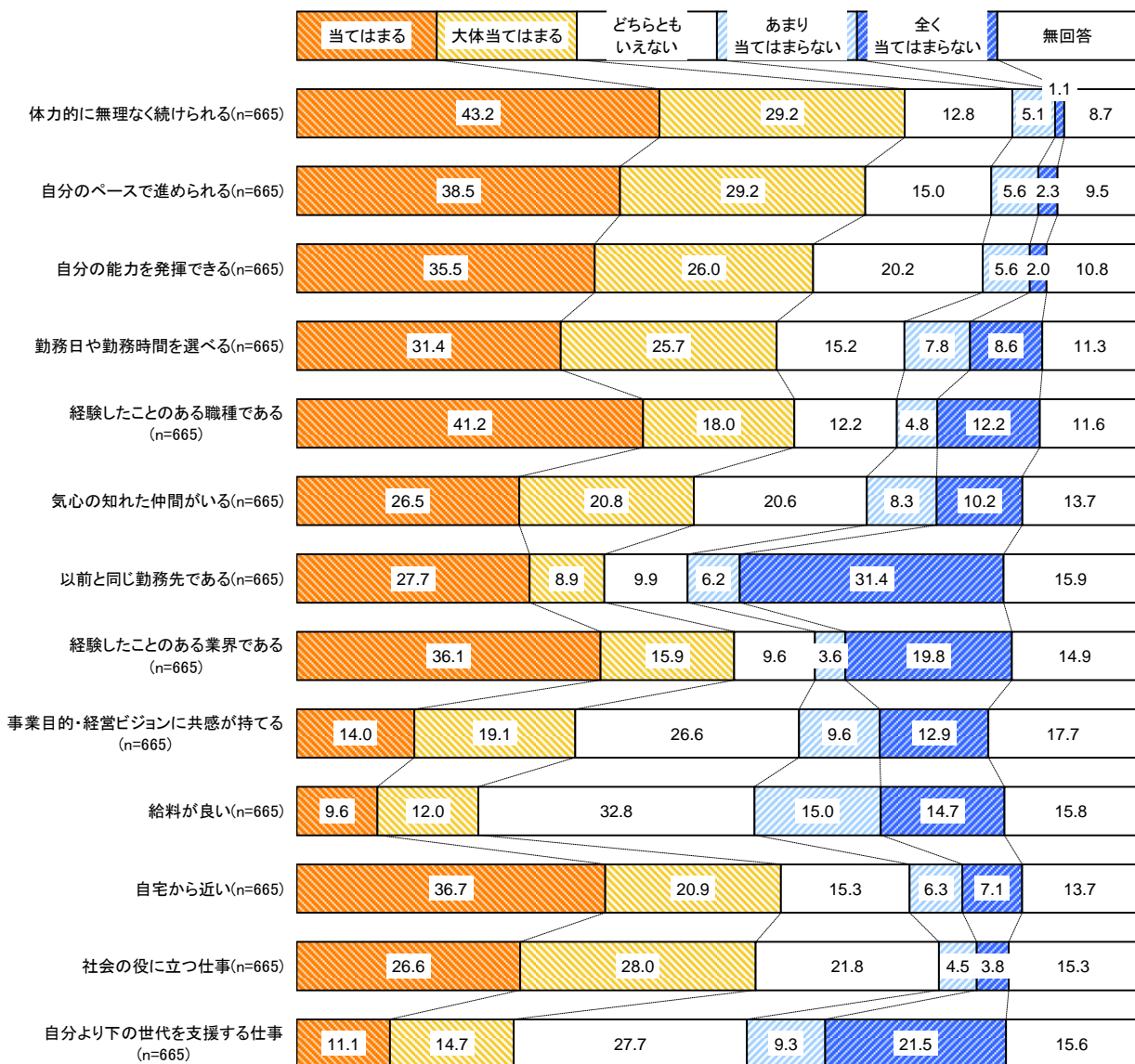
(7) 希望する働き方

問 14 今後、あなた（宛名のご本人）が希望する働き方についてどのようにお考えですか。それぞれについて、当てはまる番号をお選びください。（それぞれ〇は1つずつ）

今後の希望する働き方について、「当てはまる」が最も高いのは、「体力的に無理なく続けられる」で43.2%、次いで「経験したことのある職種である」（41.2%）、「自分のペースで進められる」（38.5%）、「自宅から近い」（36.7%）、「経験したことのある業界である」（36.1%）となっている。

図表 3.2.21 今後の希望する働き方【ベース：就労希望あり】

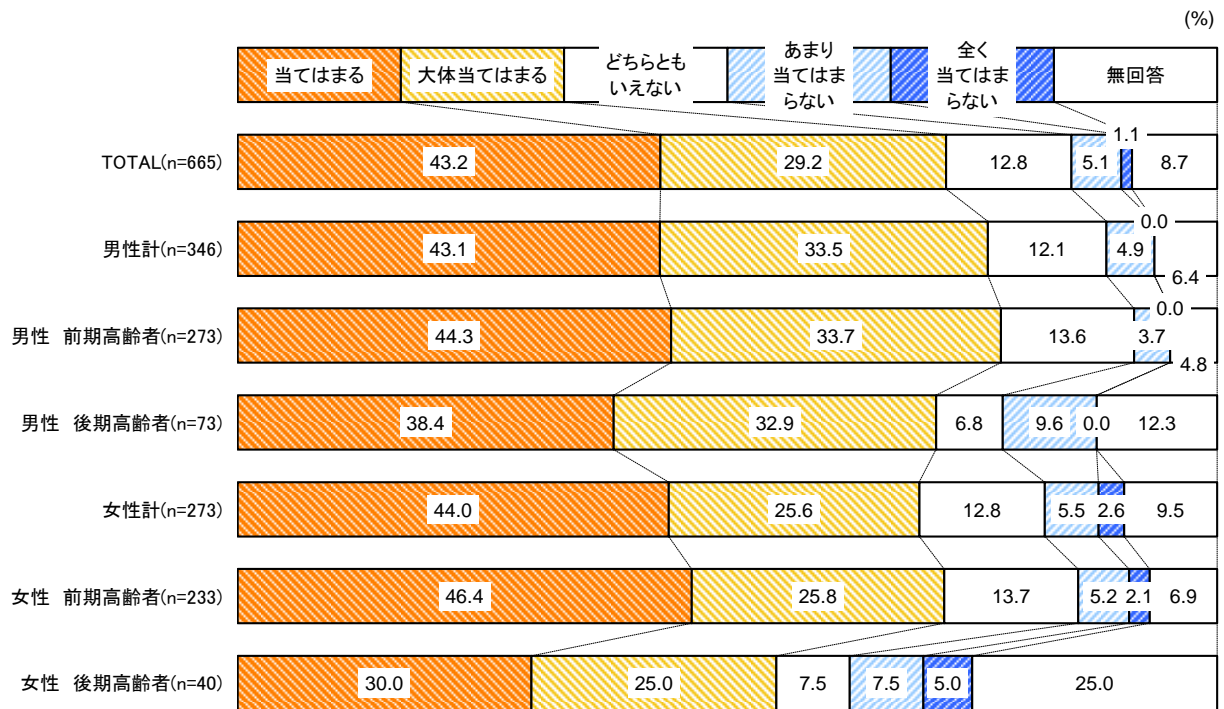
(%)



① 体力的に無理なく続けられる

「当てはまる」、「大体当てはまる」を合わせて72.4%となっている。

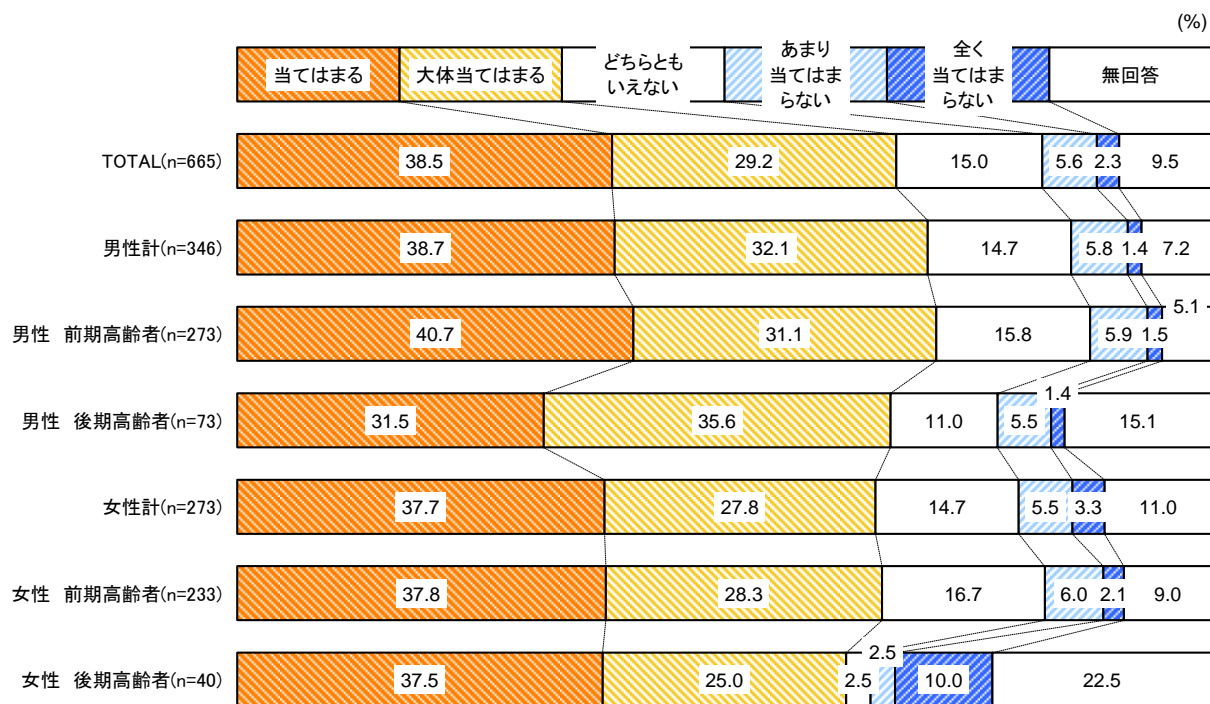
図表 3.2.22 体力的に無理なく続けられる【ベース：就労希望あり】：性年代別



② 自分のペースで進められる

「当てはまる」、「大体当てはまる」を合わせて 67.7%となっている。

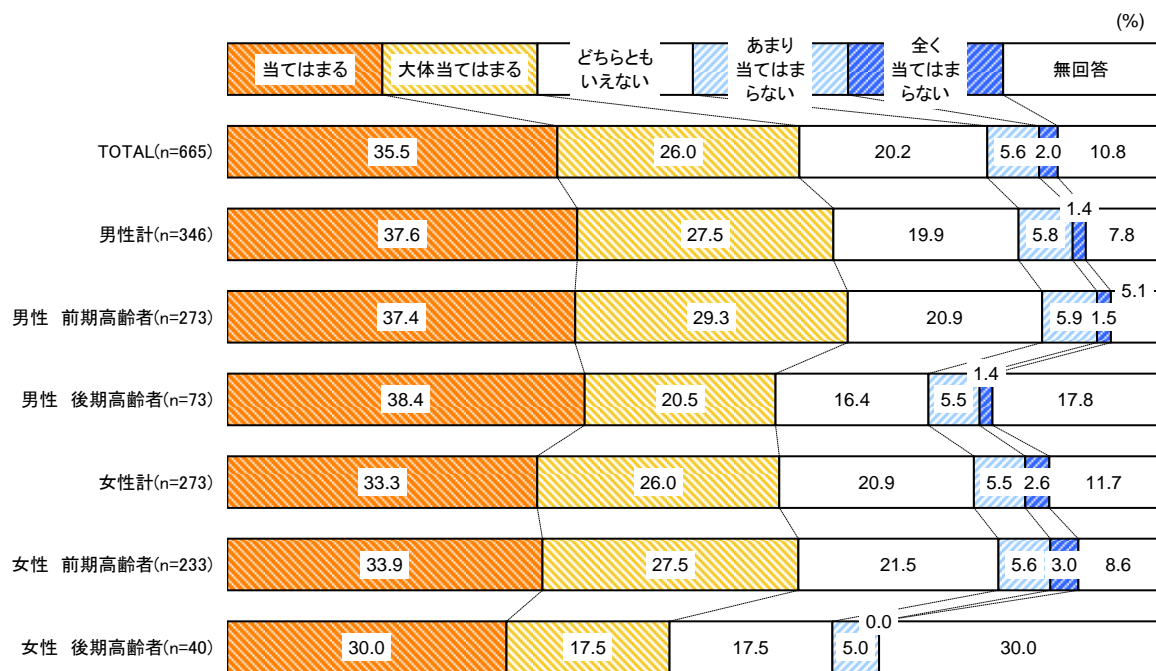
図表 3.2.23 自分のペースで進められる【ベース：就労希望あり】：性年代別



③ 自分の能力を発揮できる

「当てはまる」、「大体当てはまる」を合わせて 61.5%となっている。

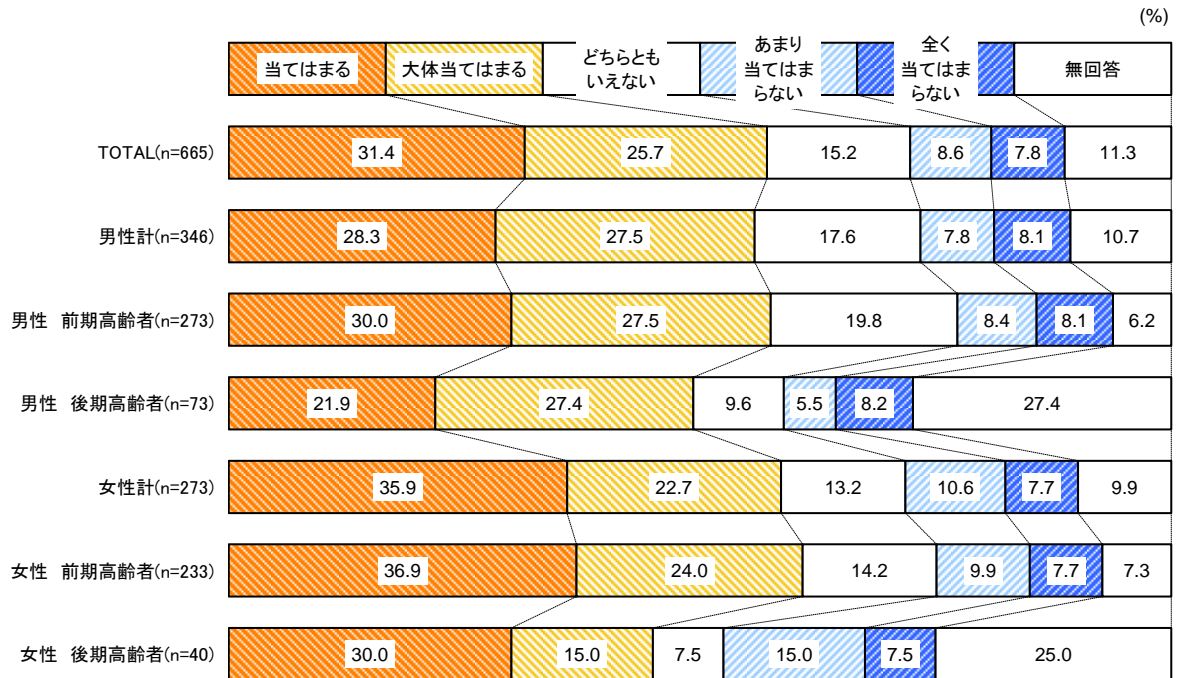
図表 3.2.24 自分の能力を発揮できる【ベース：就労希望あり】：性年代別



④ 勤務日や勤務時間を選べる

「当てはまる」、「大体当てはまる」を合わせて 57.1%となっている。

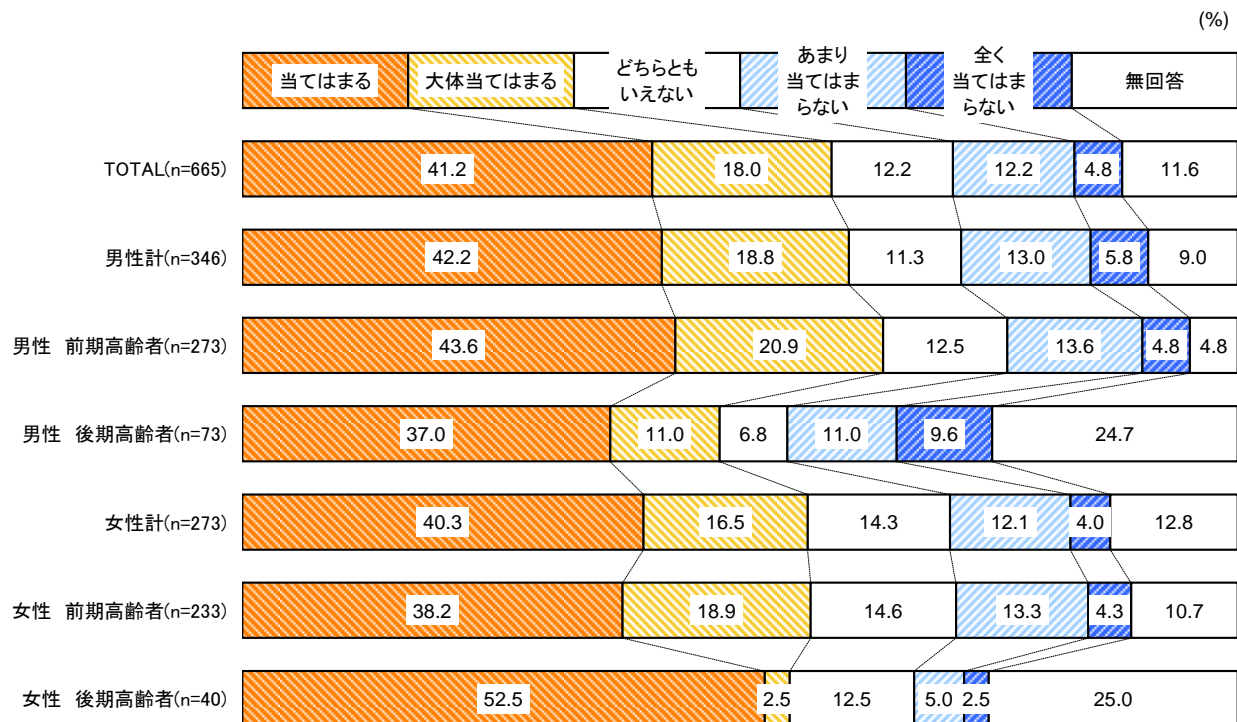
図表 3.2.25 勤務日や勤務時間を選べる【ベース：就労希望あり】：性年代別



⑤ 経験したことのある職種である

「当てはまる」、「大体当てはまる」を合わせて 59.2%となっている。

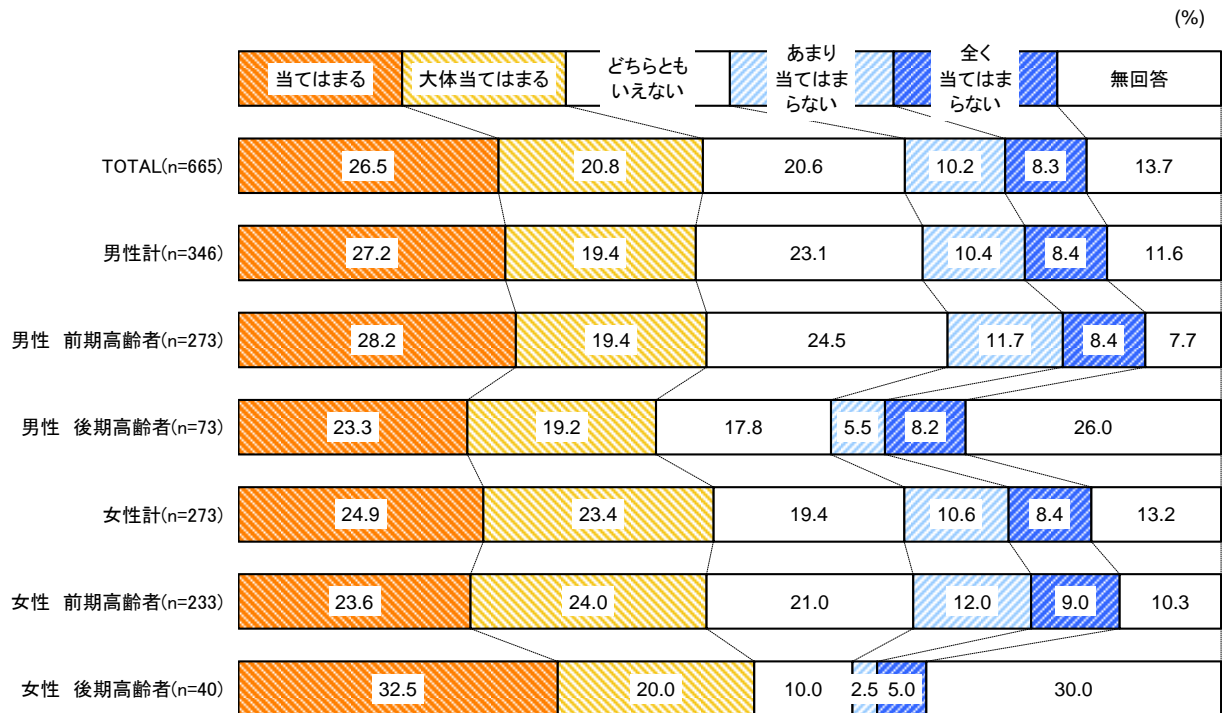
図表 3.2.26 経験したことのある職種である【ベース：就労希望あり】：性年代別



⑥ 気心の知れた仲間がいる

「当てはまる」、「大体当てはまる」を合わせて 47.3%となっている。

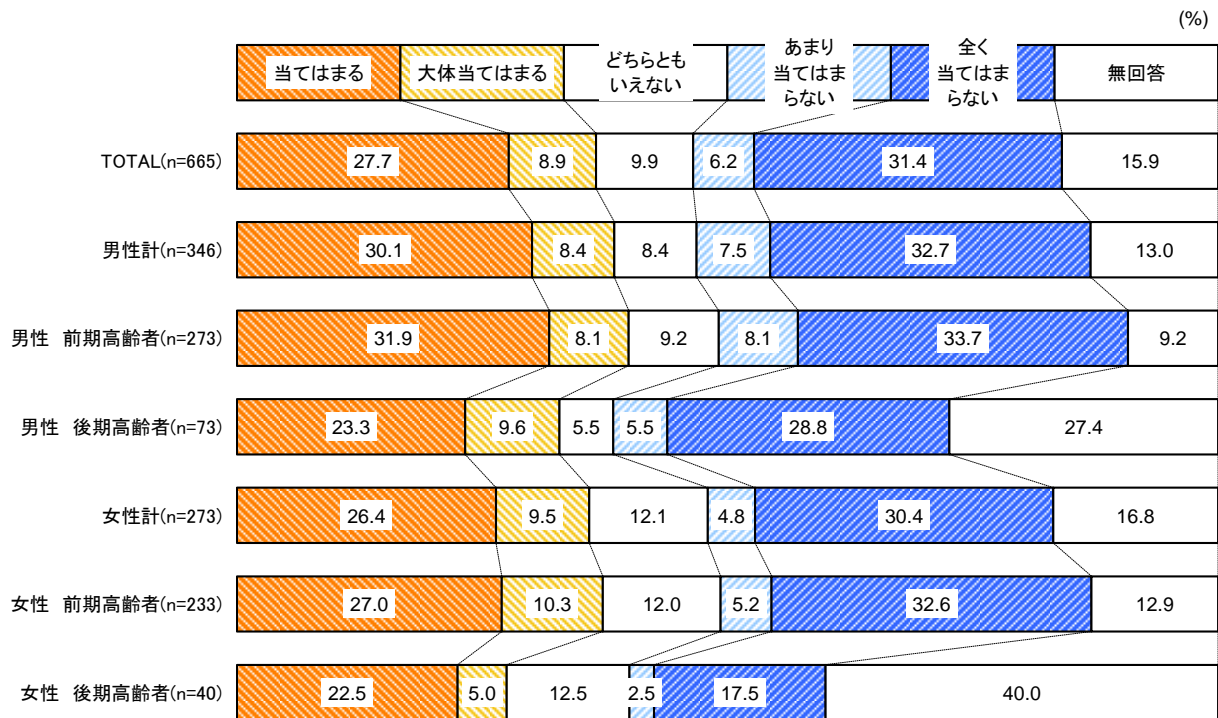
図表 3.2.27 気心の知れた仲間がいる【ベース：就労希望あり】：性年代別



⑦ 以前と同じ勤務先である

「当てはまる」、「大体当てはまる」を合わせて 36.6%となっている。一方、「全く当てはまらない」「あまり当てはまらない」を合わせて 37.6%となり、『当てはまらない』の方が高くなっている。

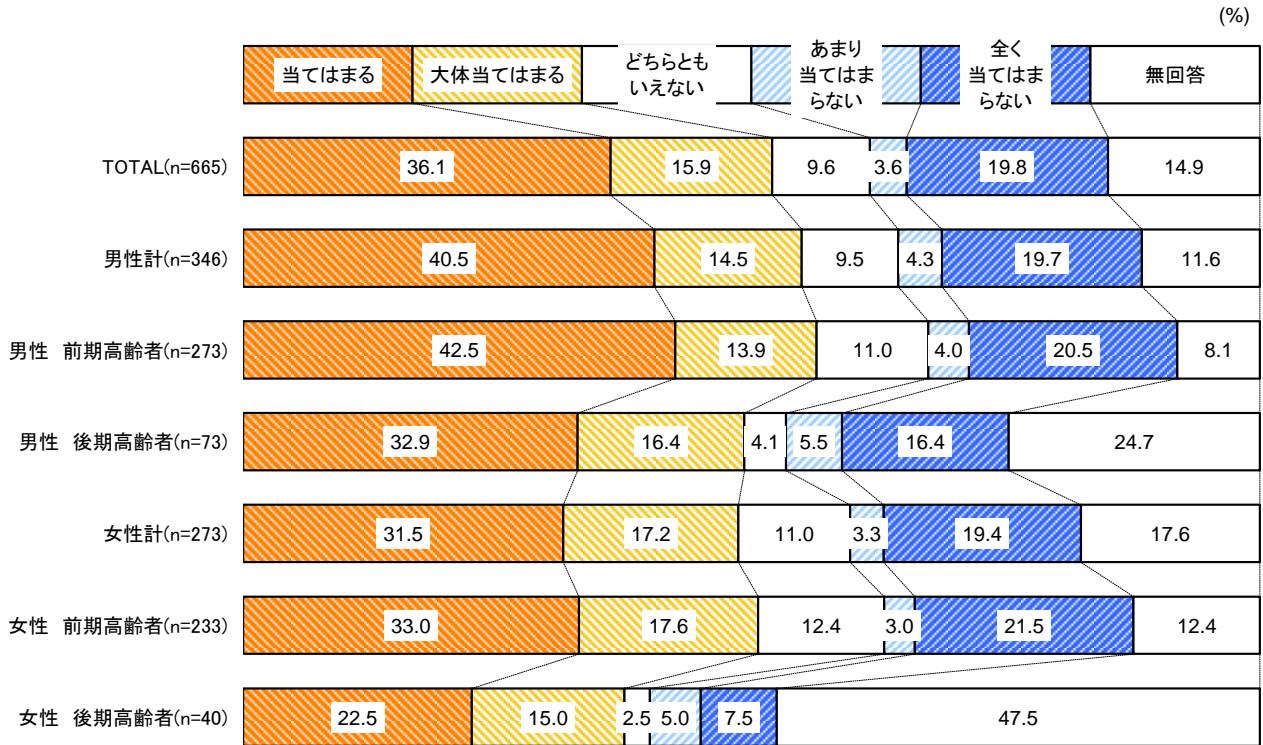
図表 3.2.28 以前と同じ勤務先である【ベース：就労希望あり】：性年代別



⑧ 経験したことがある業界である

「当てはまる」、「大体当てはまる」を合わせて 52.0%となっている。

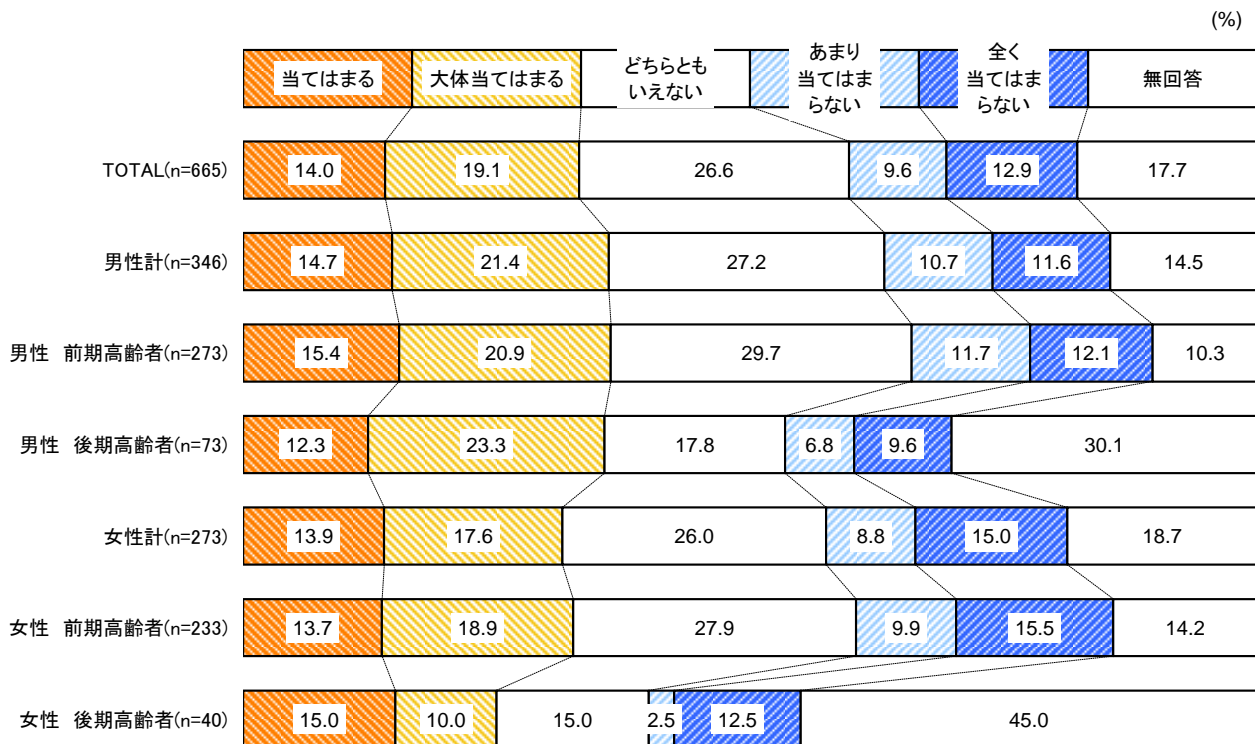
図表 3.2.29 経験したことがある業界である【ベース：就労希望あり】：性年代別



⑨ 事業目的・経営ビジョンに共感が持てる

「当てはまる」、「大体当てはまる」を合わせて 33.1%となっている。

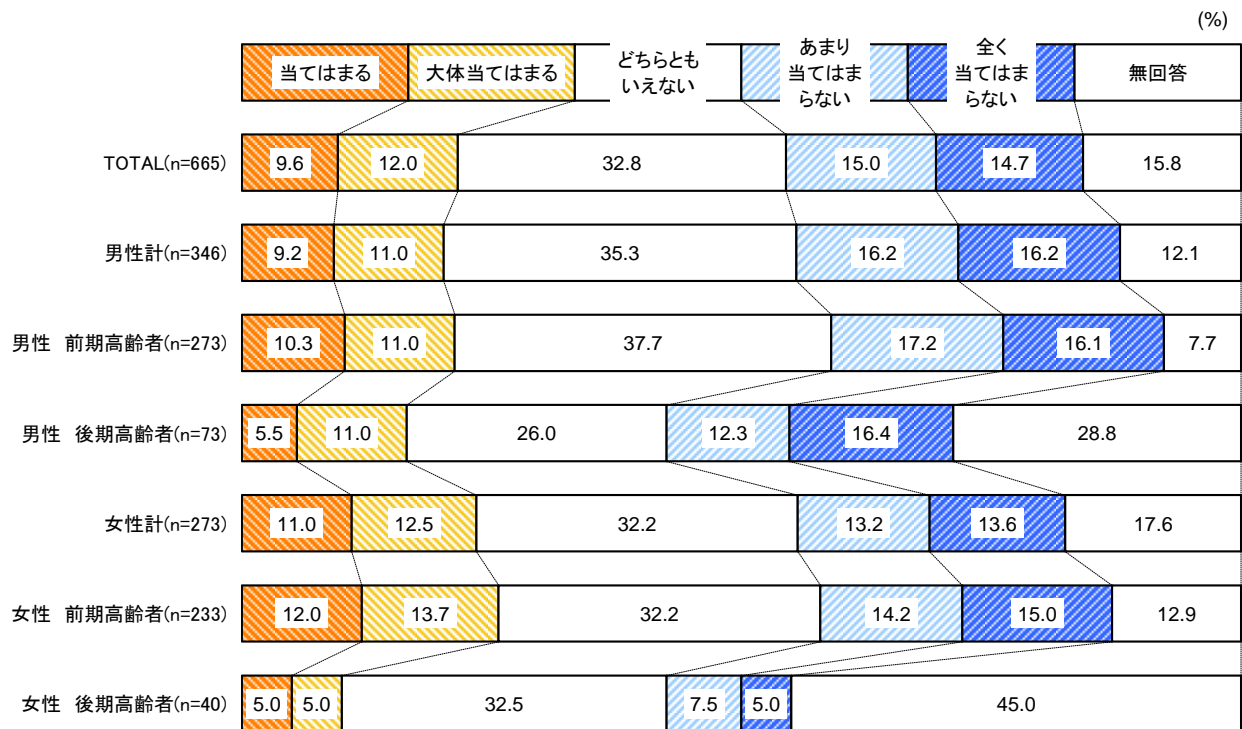
図表 3.2.30 事業目的・経営ビジョンに共感が持てる【ベース：就労希望あり】：性年代別



⑩ 給料が良い

「当てはまる」、「大体当てはまる」を合わせて 21.6%となっている。一方、「全く当てはまらない」「あまり当てはまらない」を合わせて 29.7%となり、『当てはまらない』の方が高くなっている。

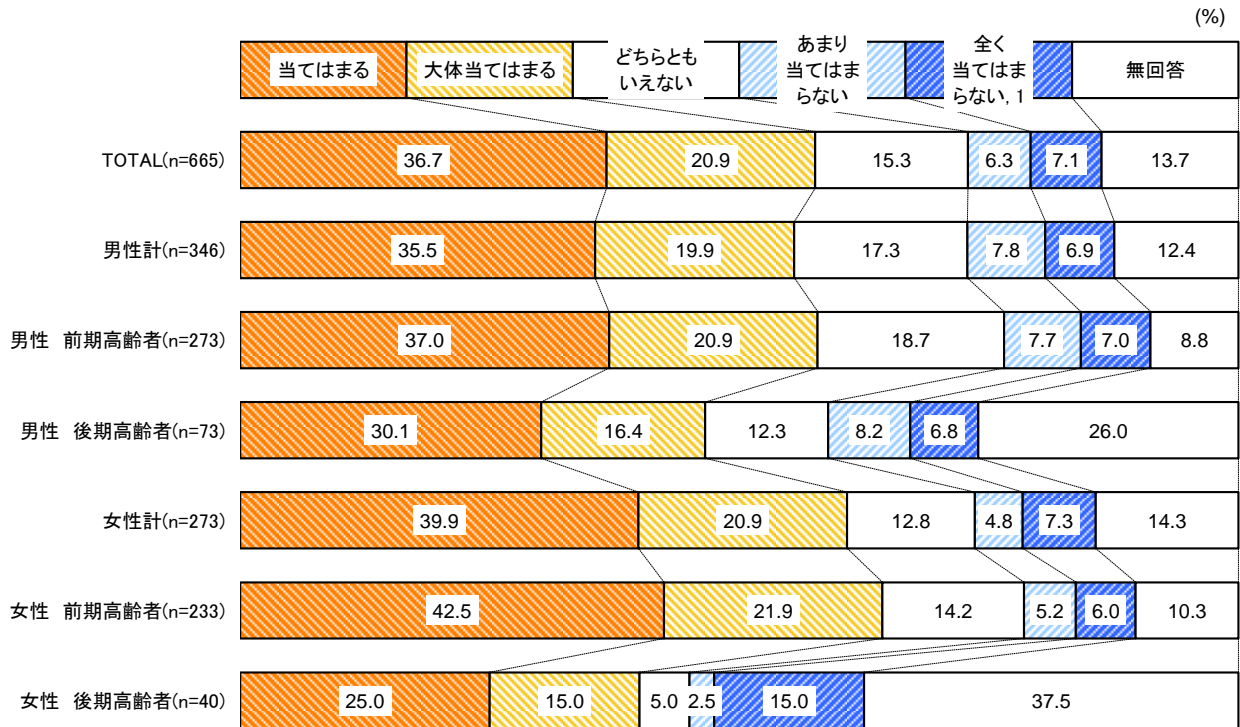
図表 3.2.31 給料が良い【ベース：就労希望あり】：性年代別



⑪ 自宅から近い

「当てはまる」、「大体当てはまる」を合わせて 57.6%となっている。

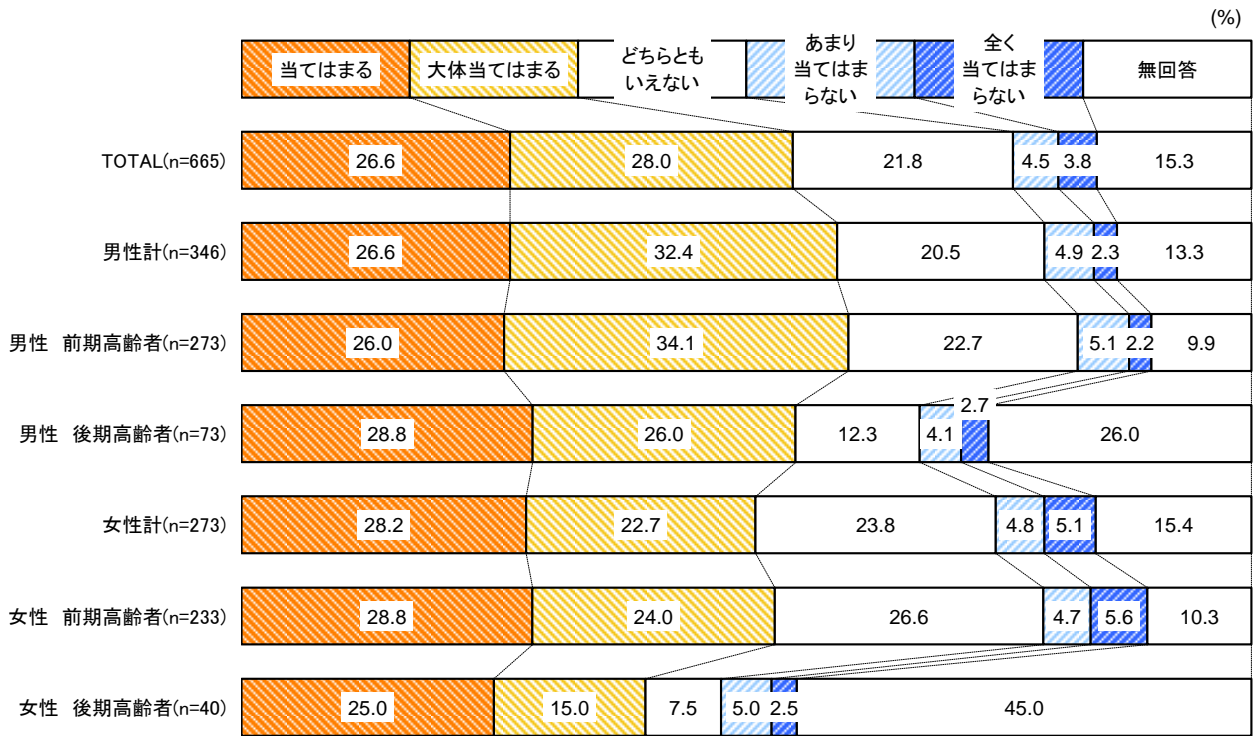
図表 3.2.32 自宅から近い【ベース：就労希望あり】：性年代別



⑫ 社会の役に立つ仕事

「当てはまる」、「大体当てはまる」を合わせて 54.6%となっている。

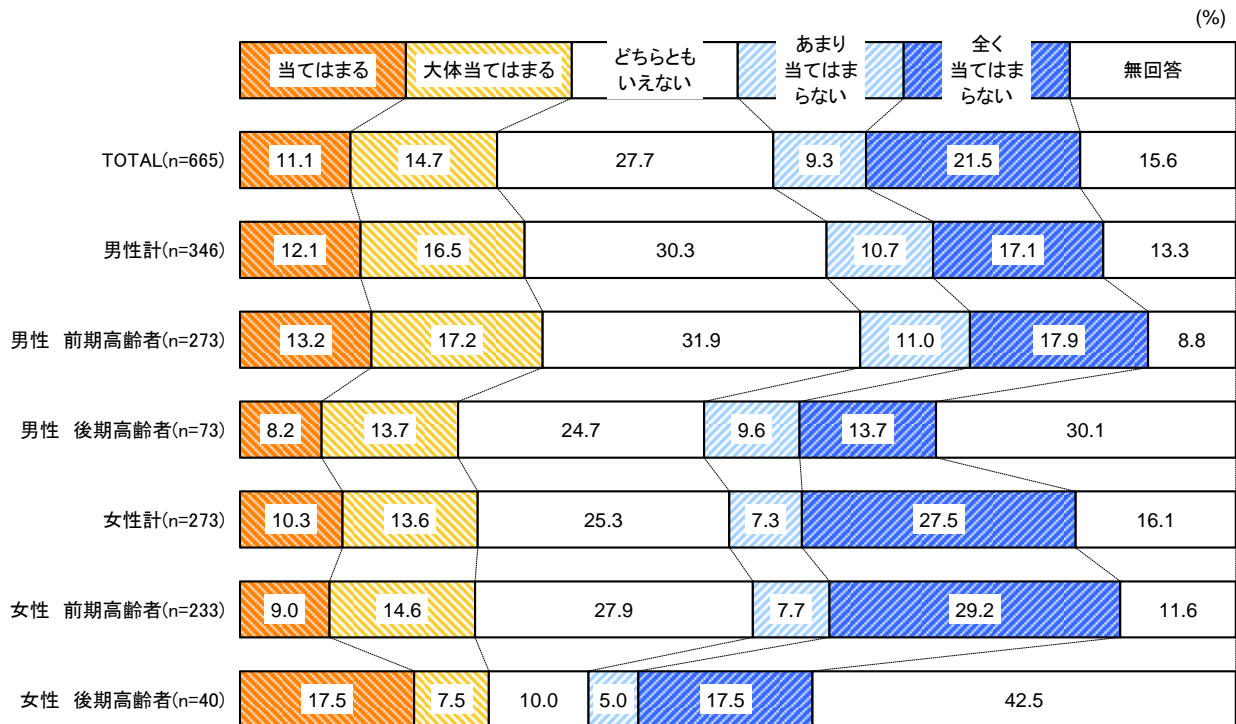
図表 3.2.33 社会の役に立つ仕事【ベース：就労希望あり】：性年代別



⑬ 自分より下の世代を支援する仕事

「当てはまる」、「大体当てはまる」を合わせて 25.8%となっている。一方、「全く当てはまらない」、「あまり当てはまらない」を合わせて 30.8%となり、『当てはまらない』の方が高くなっている。

図表 3.2.34 自分より下の世代を支援する仕事【ベース：就労希望あり】：性年代別



問 14-1 前問で回答されたうち、あなた（宛名のご本人）はどれが大事と考えていますか。1 番目から 3 番目までを丸数字でご記入ください。（それぞれ 1 つのみ数字を記入）

今後、希望する働き方について 1 番目に大事なことは、「体力的に無理なく続けられる」が 38.0%と最も高く、次いで「自分の能力を發揮できる」(12.8%)、「自分のペースで進められる」(11.1%)となっている。

2 番目に大事なことは、「自分のペースで進められる」が 16.8%と最も高く、次いで「自分の能力を發揮できる」(10.8%)、「体力的に無理なく続けられる」(9.6%)となっている。

3 番目に大事なことは、「自宅から近い」が 13.7%と最も高く、次いで「勤務日や勤務時間を選べる」(9.8%)、「自分の能力を發揮できる」(8.4%)となっている。

図表 3.2.35 希望する働き方について大事と考えているもの【ベース：労働意欲あり】

	n=	体力的に無理なく続けられる	自分のペースで進められる	自分の能力を發揮できる	勤務日や勤務時間を選べる	経験したことがある職種である	気心の知れた仲間がいる	以前と同じ勤務先である	経験したことがある業界である	事業目的・経営ビジョンに共感が持てる	給料が良い	自宅から近い	社会の役に立つ仕事	自分より下の世代を支援する仕事	無回答
1番目に大事	665	38.0	11.1	12.8	3.8	4.1	1.4	0.9	1.4	1.1	1.2	4.1	5.3	0.9	14.1
2番目に大事	665	9.6	16.8	10.8	8.9	7.1	4.7	1.2	3.0	1.2	3.8	8.4	4.1	1.8	18.6
3番目に大事	665	8.3	6.2	8.4	9.8	6.8	4.7	1.7	3.8	0.8	4.7	13.7	6.9	2.9	21.7

性別でみると、男性では「自分のペースで進められる」が女性より高く、女性では「自宅から近い」が男性より高くなっている。

図表 3.2.36 希望する働き方について大事と考えているもの【ベース：労働意欲あり】

1 番目に大事

	n=	体力的に無理なく続けられる	自分のペースで進められる	自分の能力を発揮できる	勤務日や勤務時間を選べる	経験したことがある職種である	気心の知れた仲間がいる	以前と同じ勤務先である	経験したことがある業界である	事業目的・経営ビジョンに共感が持てる	給料が良い	自宅から近い	社会の役に立つ仕事	自分より下の世代を支援する仕事	無回答	上段:度数 下段:%
TOTAL	665 100	253 38.0	74 11.1	85 12.8	25 3.8	27 4.1	9 1.4	6 0.9	9 1.4	7 1.1	8 1.2	27 4.1	35 5.3	6 0.9	94 14.1	
男性計	346 100	131 37.9	49 14.2	48 13.9	10 2.9	14 4.0	1 0.3	3 0.9	5 1.4	3 0.9	3 0.9	9 2.6	23 6.6	4 1.2	43 12.4	
男性 前期高齢者	273 100	110 40.3	40 14.7	38 13.9	9 3.3	9 3.3	1 0.4	3 1.1	2 0.7	2 0.7	3 1.1	9 3.3	18 6.6	2 0.7	27 9.9	
男性 後期高齢者	73 100	21 28.8	9 12.3	10 13.7	1 1.4	5 6.8	0 0.0	0 0.0	3 4.1	1 1.4	0 0.0	0 0.0	5 6.8	2 2.7	16 21.9	
女性計	273 100	109 39.9	21 7.7	33 12.1	14 5.1	9 3.3	6 2.2	3 1.1	4 1.5	3 1.1	3 1.1	17 6.2	11 4.0	1 0.4	39 14.3	
女性 前期高齢者	233 100	94 40.3	17 7.3	30 12.9	14 6.0	7 3.0	6 2.6	3 1.3	4 1.7	3 1.3	3 1.3	15 6.4	11 4.7	0 0.0	27 11.6	
女性 後期高齢者	40 100	15 37.5	4 10.0	3 7.5	0 0.0	2 5.0	0 0.0	0 0.0	1 2.5	0 0.0	0 0.0	2 5.0	0 0.0	1 2.5	12 30.0	

性別でみると、男性では「自分のペースで進められる」、「社会の役に立つ仕事」が女性より高くなっている。

図表 3.2.37 希望する働き方について大事と考えているもの【ベース：労働意欲あり】

2 番目に大事

	n=	体力的に無理なく続けられる	自分のペースで進められる	自分の能力を発揮できる	勤務日や勤務時間を選べる	経験したことがある職種である	気心の知れた仲間がいる	以前と同じ勤務先である	経験したことがある業界である	事業目的・経営ビジョンに共感が持てる	給料が良い	自宅から近い	社会の役に立つ仕事	自分より下の世代を支援する仕事	無回答	上段:度数 下段:%
TOTAL	665 100	64 9.6	112 16.8	72 10.8	59 8.9	47 7.1	31 4.7	8 1.2	20 3.0	8 1.2	25 3.8	56 8.4	27 4.1	12 1.8	124 18.6	
男性計	346 100	30 8.7	70 20.2	41 11.8	30 8.7	25 7.2	9 2.6	4 1.2	13 3.8	5 1.4	15 4.3	23 6.6	21 6.1	5 1.4	55 15.9	
男性 前期高齢者	273 100	22 8.1	57 20.9	33 12.1	28 10.3	20 7.3	8 2.9	4 1.5	10 3.7	4 1.5	14 5.1	17 6.2	18 6.6	5 1.8	33 12.1	
男性 後期高齢者	73 100	8 11.0	13 17.8	8 11.0	2 2.7	5 6.8	1 1.4	0 0.0	3 4.1	1 1.4	1 1.4	6 8.2	3 4.1	0 0.0	22 30.1	
女性計	273 100	29 10.6	38 13.9	30 11.0	27 9.9	19 7.0	17 6.2	3 1.1	7 2.6	1 0.4	6 2.2	29 10.6	6 2.2	7 2.6	54 19.8	
女性 前期高齢者	233 100	29 12.4	30 12.9	26 11.2	26 11.2	16 6.9	17 7.3	2 0.9	6 2.6	1 0.4	5 2.1	25 10.7	5 2.1	6 2.6	39 16.7	
女性 後期高齢者	40 100	0 0.0	8 20.0	4 10.0	1 2.5	3 7.5	0 0.0	1 2.5	1 2.5	0 0.0	1 2.5	4 10.0	1 2.5	1 2.5	15 37.5	

性年代別でみると、女性後期高齢者では、「気心の知れた仲間がいる」が高くなっている。

図表 3.2.38 希望する働き方について大事と考えているもの【ベース：労働意欲あり】

3 番目に大事

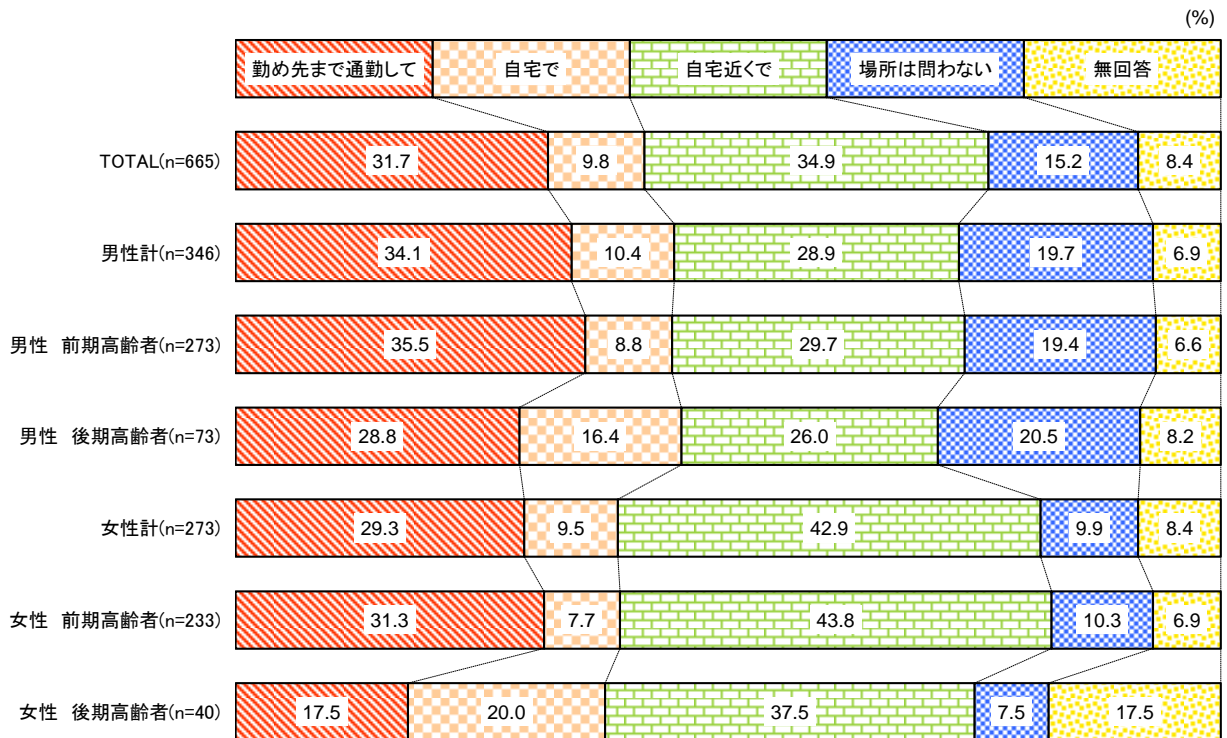
	n=	体力的に無理なく続けられる	自分のペースで進められる	自分の能力を発揮できる	勤務日や勤務時間を選べる	経験したことがある職種である	気心の知れた仲間がいる	以前と同じ勤務先である	経験したことがある業界である	事業目的・経営ビジョンに共感が持てる	給料が良い	自宅から近い	社会の役に立つ仕事	自分より下の世代を支援する仕事	無回答	上段:度数 下段:%
TOTAL	665 100	55 8.3	41 6.2	56 8.4	65 9.8	45 6.8	31 4.7	11 1.7	25 3.8	5 0.8	31 4.7	91 13.7	46 6.9	19 2.9	144 21.7	
男性計	346 100	31 9.0	21 6.1	32 9.2	32 9.2	28 8.1	14 4.0	8 2.3	15 4.3	1 0.3	13 3.8	48 13.9	27 7.8	12 3.5	64 18.5	
男性 前期高齢者	273 100	26 9.5	16 5.9	26 9.5	28 10.3	22 8.1	13 4.8	5 1.8	10 3.7	1 0.4	11 4.0	43 15.8	19 7.0	4 1.5	42 15.4	
男性 後期高齢者	73 100	5 6.8	5 6.8	6 8.2	4 5.5	6 8.2	1 1.4	3 4.1	5 6.8	0 0.0	2 2.7	5 6.8	8 11.0	1 1.4	22 30.1	
女性計	273 100	20 7.3	17 6.2	20 7.3	28 10.3	16 5.9	16 5.9	3 1.1	9 3.3	4 1.5	16 5.9	37 13.6	16 5.9	7 2.6	64 23.4	
女性 前期高齢者	233 100	17 7.3	16 6.9	15 6.4	24 10.3	14 6.0	11 4.7	3 1.3	8 3.4	4 1.7	15 6.4	37 15.9	14 6.0	7 3.0	48 20.6	
女性 後期高齢者	40 100	3 7.5	1 2.5	5 12.5	4 10.0	2 5.0	5 12.5	0 0.0	1 2.5	0 0.0	1 2.5	0 0.0	2 5.0	0 0.0	16 40.0	

問 14-2 あなた（宛名のご本人）は、どこで働きたいですか。（〇は1つのみ）

どこで働きたいかについては、「自宅近くで」が34.9%と最も高く、次いで「勤め先まで通勤して」（31.7%）、「場所は問わない」（15.2%）、「自宅で」（9.8%）となっている。

性別でみると、男性は女性より「場所は問わない」が高く、一方、女性は「自宅近くで」が男性より高くなっている。

図表 3.2.39 働きたい場所【ベース：就労希望あり】：性年代別

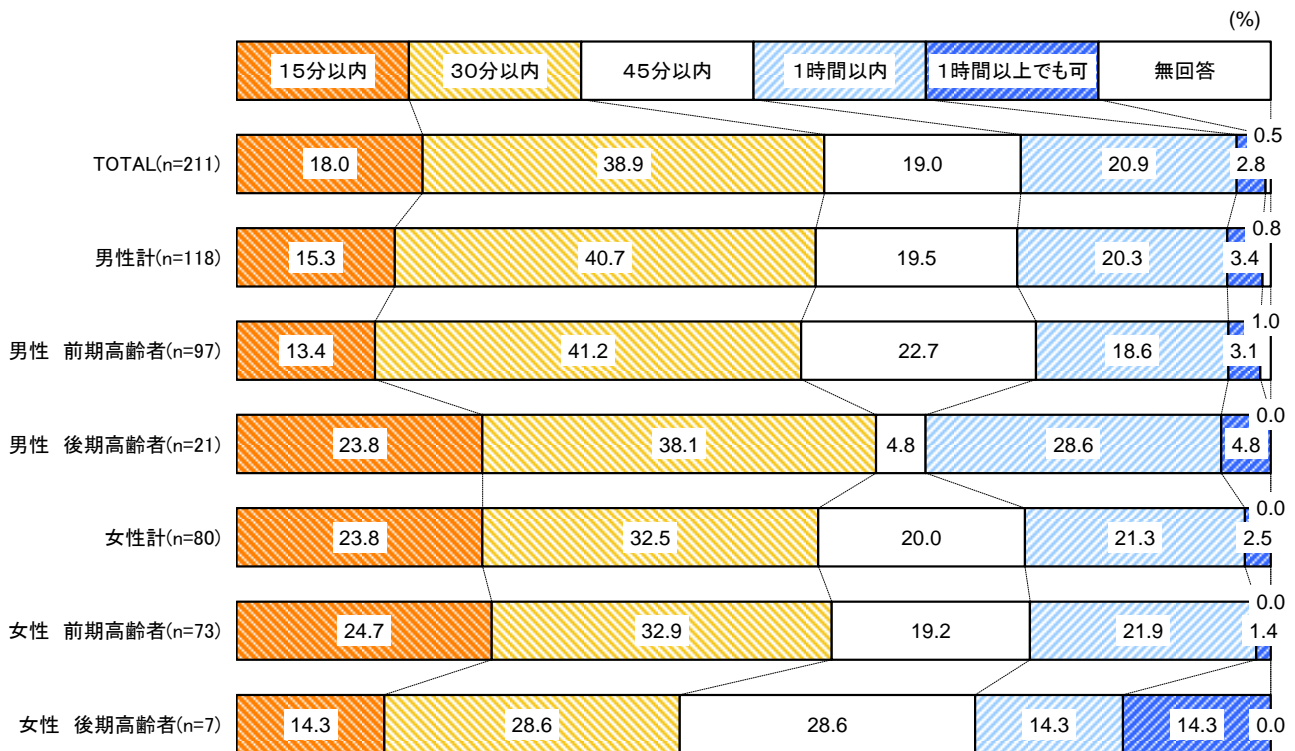


問 14-3 おおよその通勤時間は、どのくらいの想定ですか。(〇は1つのみ)

前問(問 14-2)で「勤め先まで通勤して」と回答した 211 名について、希望する通勤時間をみると、「30 分以内」が 38.9%と最も高く、「15 分以内」(18.0%)を合わせると、半数以上となる計 56.9%が「30 分以内」を想定している。

次いで「1 時間以内」(20.9%)、「45 分以内」(19.0%)となっている。

図表 3.2.40 希望する通勤時間【ベース：通勤しての就労希望あり】：性年代別



3. 健康管理

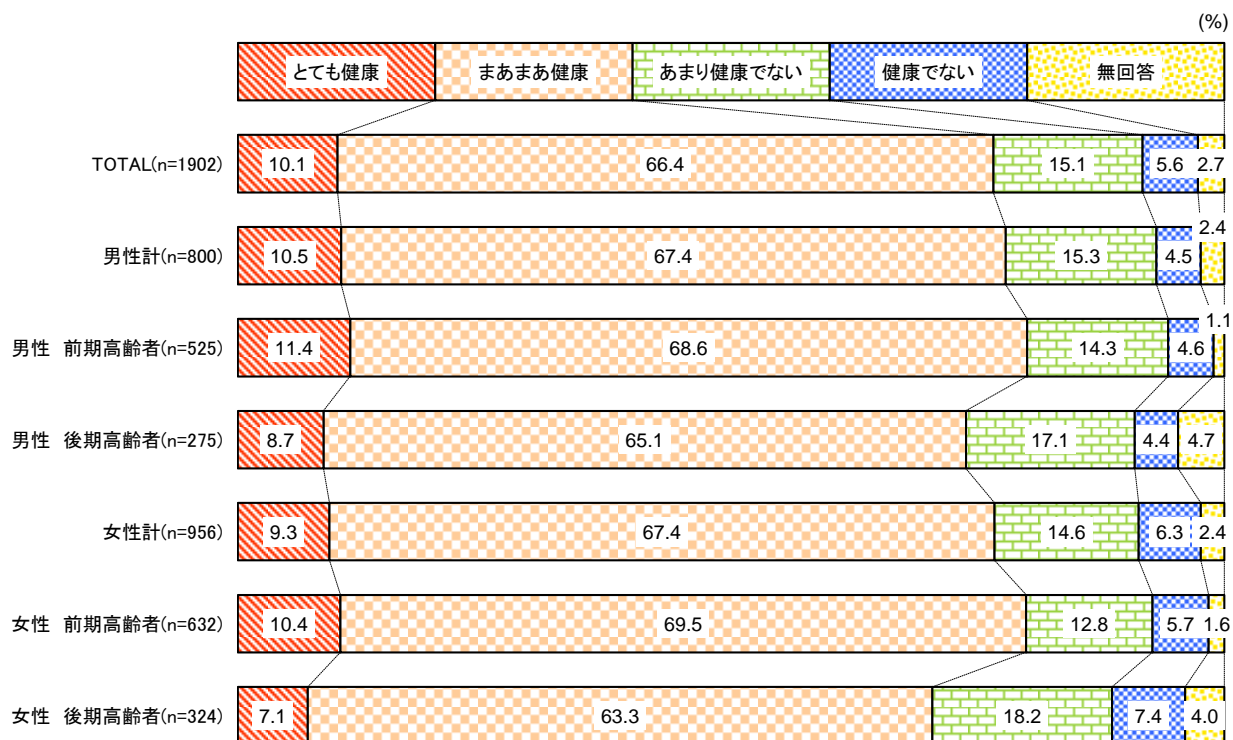
(1) 健康状況

問 15 あなた（宛名のご本人）は、ふだん、ご自分で健康だと思いますか。（○は1つのみ）

ふだん、健康だと思うかについては、「とても健康」が 10.1%、「まあまあ健康」が 66.4%と合わせて 76.5%が『健康』となっている。一方、「健康でない」が 5.6%、「あまり健康でない」が 15.1%で合わせて 20.7%が『不健康』となっている。

性年代別で見ると、男女ともに前期高齢者の方が『健康』が高くなっている。

図表 3.3.1 現在の健康について：性年代別



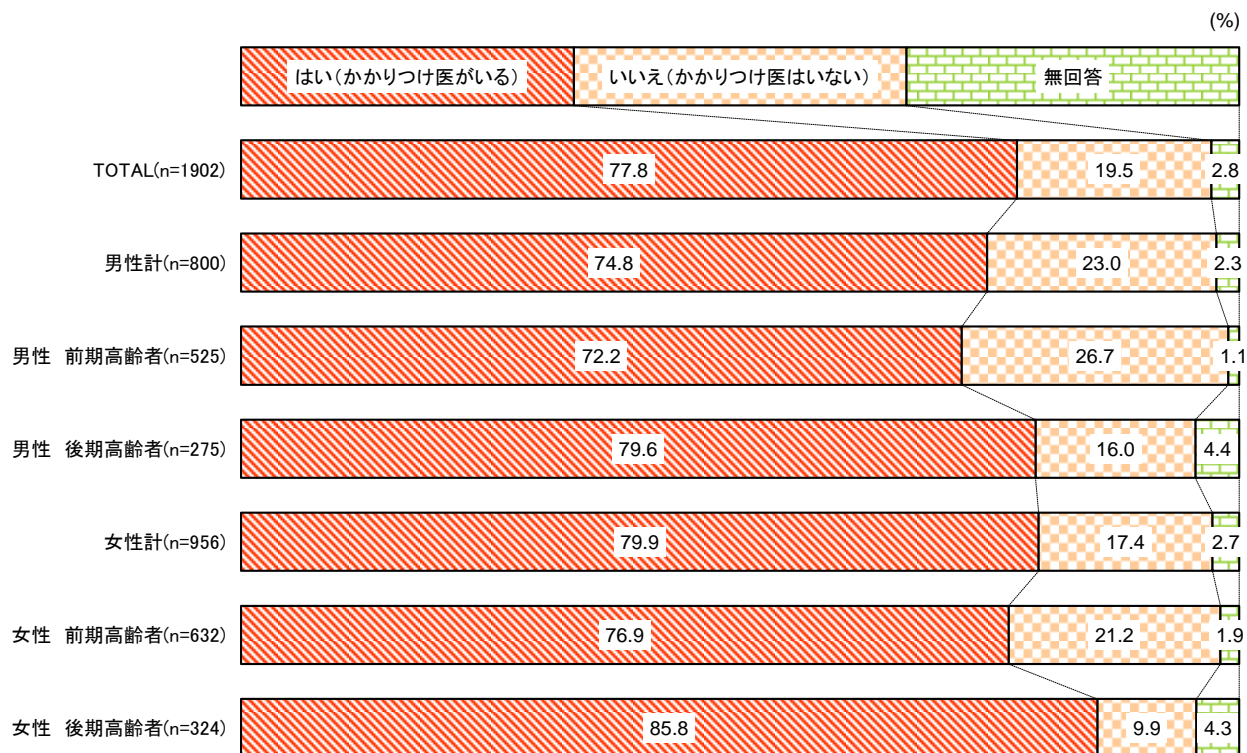
(2) かかりつけ医の有無

問 16 あなた（宛名のご本人）には、かかりつけ医はいますか。（○は1つのみ）

かかりつけ医の有無については、「はい（かかりつけ医がいる）」が 77.8%、「いいえ（かかりつけ医はいない）」が 19.5%となっている。

性別でみると、男性より女性の方が「はい（かかりつけ医がいる）」は高くなっている。性年代別でみると、男女とも前期高齢者より後期高齢者の方が「はい（かかりつけ医がいる）」は高くなっている。

図表 3.3.2 かかりつけ医の有無：性年代別



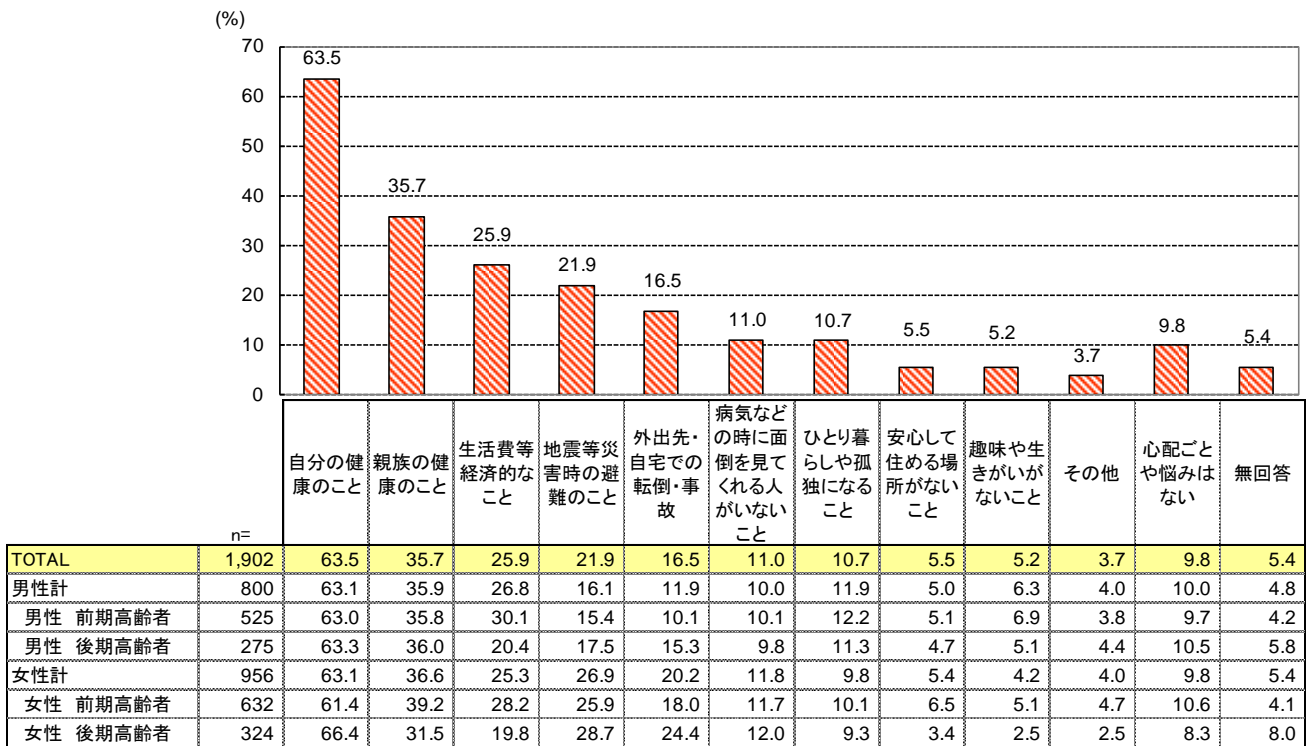
(3) 心配ごとや悩みの状況

問 17 あなた（宛名のご本人）には、現在次のような心配ごとや悩みがありますか。（〇はいくつでも）

心配ごとや悩みの状況については、「自分の健康のこと」が 63.5%と最も高く、次いで「親族の健康のこと」（35.7%）、「生活費等経済的なこと」（25.9%）、「地震等災害時の避難のこと」（21.9%）となっている。

性別でみると、女性では男性より「地震等災害時の避難のこと」、「外出先・自宅での転倒・事故」が高くなっている。性年代別でみると、男性前期高齢者では、「生活費等経済的なこと」、「趣味や生きがいがないこと」も高くなっている。

図表 3.3.3 現在の心配事や悩みごと（複数回答）：性年代別



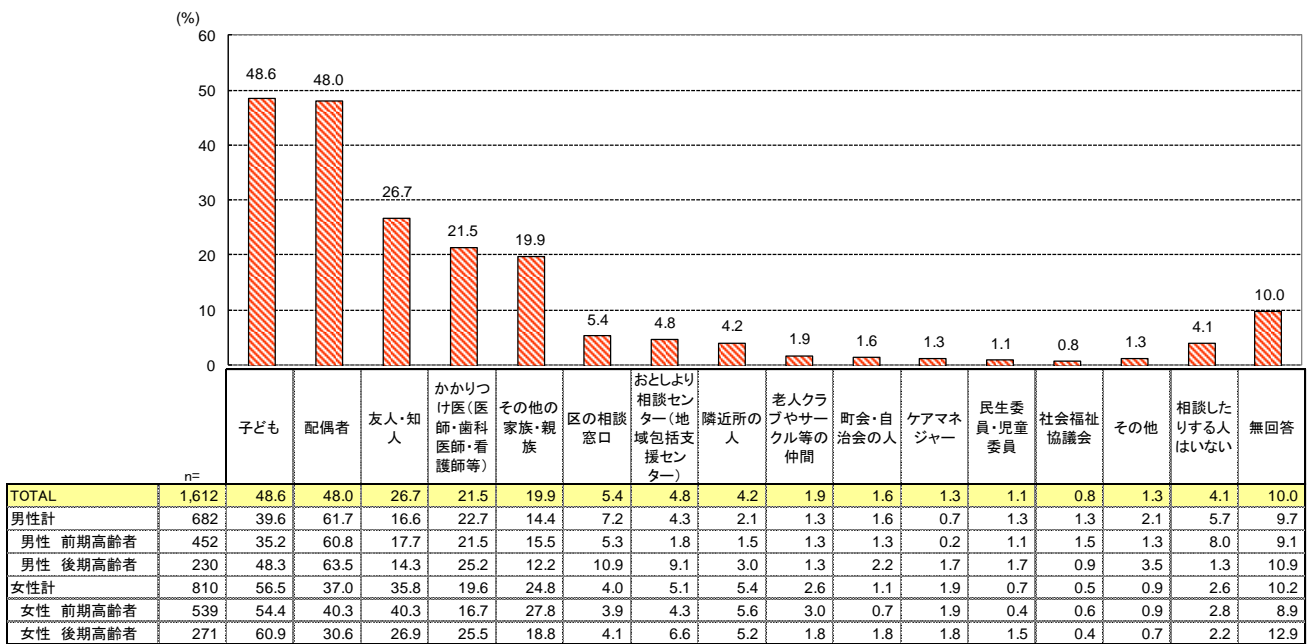
【問 17 で「1. 自分の健康のこと」～「10. その他」とお答えの方におうかがいします。】

問 17-1 あなた（宛名のご本人）は、心配ごとや悩みごとができた場合、誰に話を聞いてもらったり、相談したりしますか。（〇はいくつでも）

心配ごとや悩みごとができた場合、誰に話を聞いてもらったり、相談するかについては、「子ども」が 48.6% と最も高く、次いで「配偶者」（48.0%）、「友人・知人」（26.7%）、「かかりつけ医（医師・歯科医師・看護師等）」（21.5%）、「その他の家族・親族」（19.9%）となっている。

性別でみると、男性（61.7%）では女性（37.0%）より「配偶者」が高く、女性では「子ども」（56.5%）、「その他の家族・親族」（24.8%）、「友人・知人」（35.8%）が男性より高くなっている。また、性年代別でみると、男性後期高齢者では、「区の相談窓口」（10.9%）、「おとしより相談センター（地域包括支援センター）」（9.1%）も高くなっている。

図表 3.3.4 心配ごとや悩みごとの相談先（複数回答）【ベース：心配ごとや悩みごとあり】
：性年代別



(4) ふだんの生活について・日常の活動状況(基本チェックリスト点数化に基づく介護予防該当者割合)

問 18 あなた(宛名のご本人)のふだんの生活について、「はい(できる)」、「いいえ(できない)」のどちらかをお選びください。(それぞれ○は1つずつ)

問 19 あなたの日常の活動状況についておうかがいします。質問ごとに、「できる」「できるけれどしていない」、「できないのでしていない」でお答えください。(それぞれ○は1つずつ)

問 18・問 19 の各設問回答結果より、介護予防必要者を抽出するため、次表に厚生労働省作成の基本チェックリストと比較可能な関連設問を整理している。

基本チェックリストの点数化に基づく、介護予防必要者は、「運動器」「栄養」「口腔」「生活全般」の4要素のうち1つ以上のリスクを有する者であり、該当者の割合は30.5%となっている。

図表 3.3.5 基本チェックリストの点数化に基づく介護予防必要者の算出根拠、該当者割合

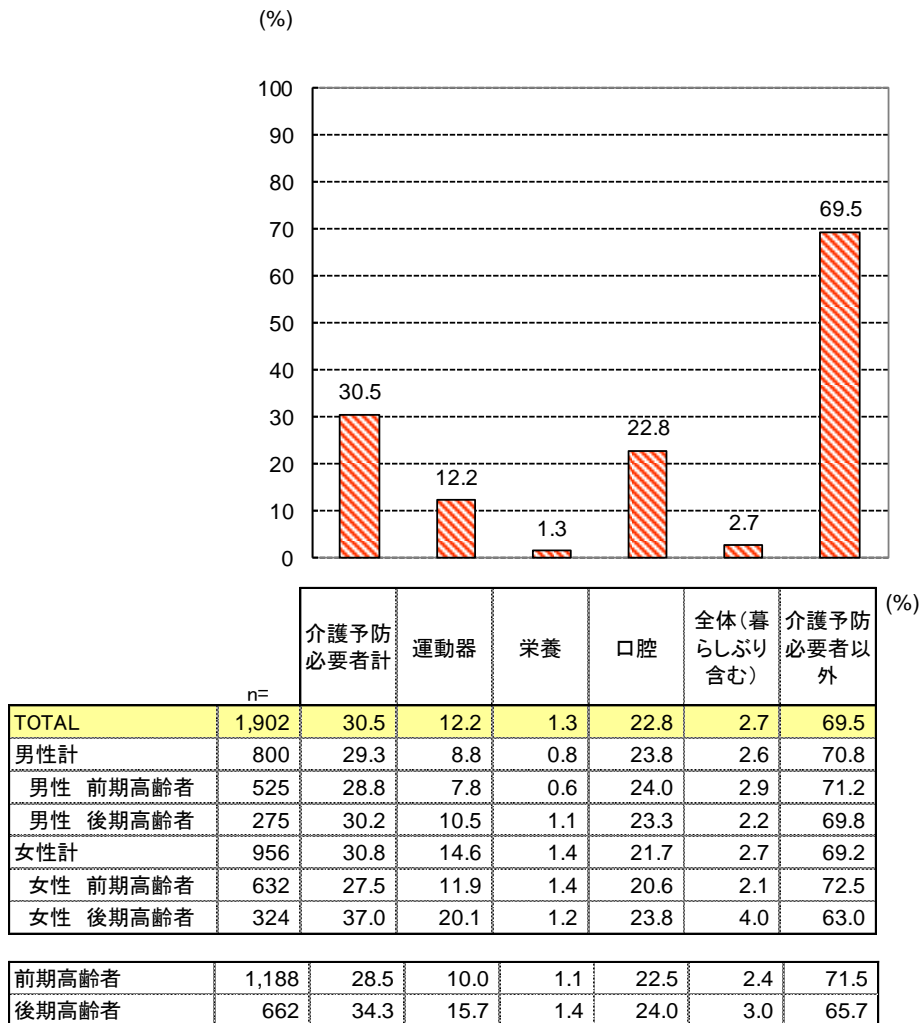
基本チェックリスト分類	基本チェックリスト項目番号	A調査該当設問番号	上段:基本チェックリスト 下段:本調査での設問文	該当選択肢・割合	介護予防必要者算出割合	
暮らしぶり2の1	1	問19 ①	バスや電車で1人で外出していますか <u>バスや電車を使って1人で外出していますか</u>	3 できないのでしていません	【生活全般】 1～20のうち 10項目に 該当する :2.7%	
	2	問19 ①	日用品の買い物をしていますか	3 できないのでしていません		
	3	問19 ③	預貯金の出し入れをしていますか	3 できないのでしていません		
	4	問18 ⑯	友人の家を訪ねていますか	2 いいえ		
	5	問18 ⑰	家族や友人の相談にのっていますか	2 いいえ		
運動器関係	6	問18 ①	階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	2 いいえ		【運動器】 3項目に 該当する :12.2%
	7	問18 ②	椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか <u>いすに座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか</u>	2 いいえ		
	8	問18 ③	15分位続けて歩いていますか <u>15分くらい続けて歩いていますか</u>	2 いいえ		
	9	問18 ⑥	この1年間に転んだことがありますか	1 はい		
	10	問18 ⑦	転倒に対する不安は大きいですか	1 はい		
栄養・口腔機能等	11	問18 ⑧	6ヶ月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1 はい	【栄養】 両方に 該当する :1.3%	
	12	問18 ⑨	※ BMI=体重(kg)÷身長(m)÷身長(m)	BMI<18.5(やせ)		
	13	問18 ⑩	半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1 はい	【口腔】 2項目に 該当する :2.8%	
	14	問18 ⑪	お茶や汁物等でむせることがありますか	1 はい		
	15	問18 ⑫	口の渇きが気になりますか	1 はい		
暮らしぶり2の2	16	問18 ④	週に1日以上は外出していますか <u>週に1回以上は外出していますか。</u>	1 はい		
	17	問18 ⑤	昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1 はい		
	18	問18 ⑬	周りの人から「いつも同じ事を聞く」などの物忘れがあると言われますか	1 はい		
	19	問18 ⑭	自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	2 いいえ		
	20	問18 ⑮	今日が何月何日かわからない時がありますか <u>今日が何月何日か、わからない時がありますか</u>	1 はい		
(うつ予防)	21	問18 ⑳	(ここ2週間)毎日の生活に充実感がない	1 はい		
	22	問18 ㉑	(ここ2週間)これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった	1 はい		
	23	問18 ㉒	(ここ2週間)以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる。	1 はい		
	24	問18 ㉓	(ここ2週間)自分が役に立つ人間だと思えない	1 はい		
	25	問18 ㉔	(ここ2週間)わけもなく疲れたような感じがする	1 はい		

※一段の場合は基本チェックリストと同一設問

何らかの介護予防必要者は 30.5%となっている。そのうち、「運動器」該当者は 12.2%、「栄養」は 1.3%、「口腔」は 22.8%、「全体（暮らしぶり含む）」は 2.7%となっている。

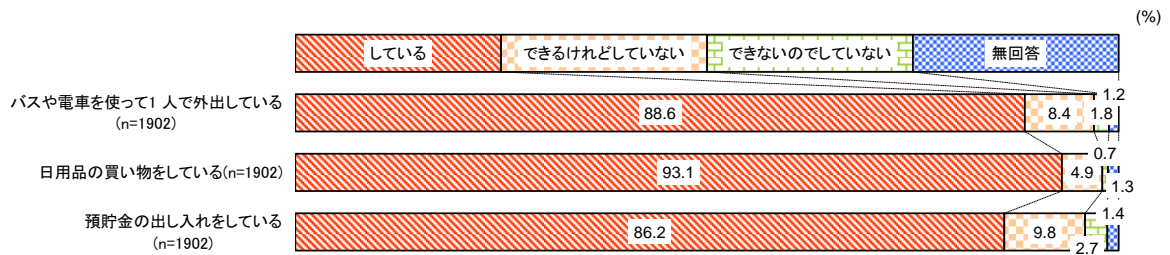
性年代別でみると、女性後期高齢者では介護予防必要者が 37.0%と高くなっている。また、男性より女性で「運動器」該当者の割合が高くなっている。男女とも「口腔」該当者は2割以上となっている。

図表 3.3.6 介護予防分布（複数回答）：性年代別

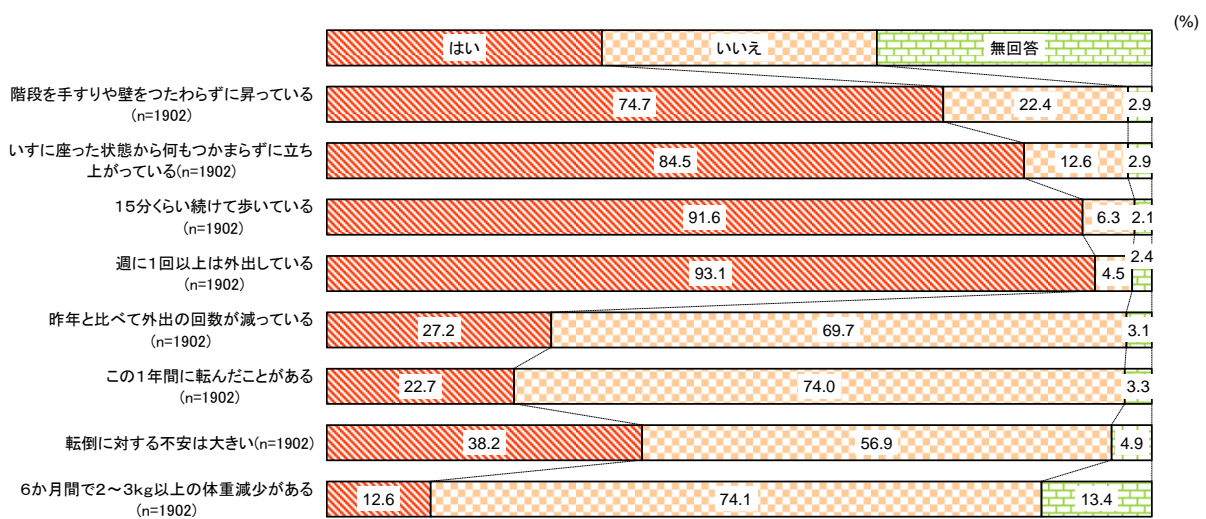


基本チェックリストに使用した各設問の結果は以下の通りである。

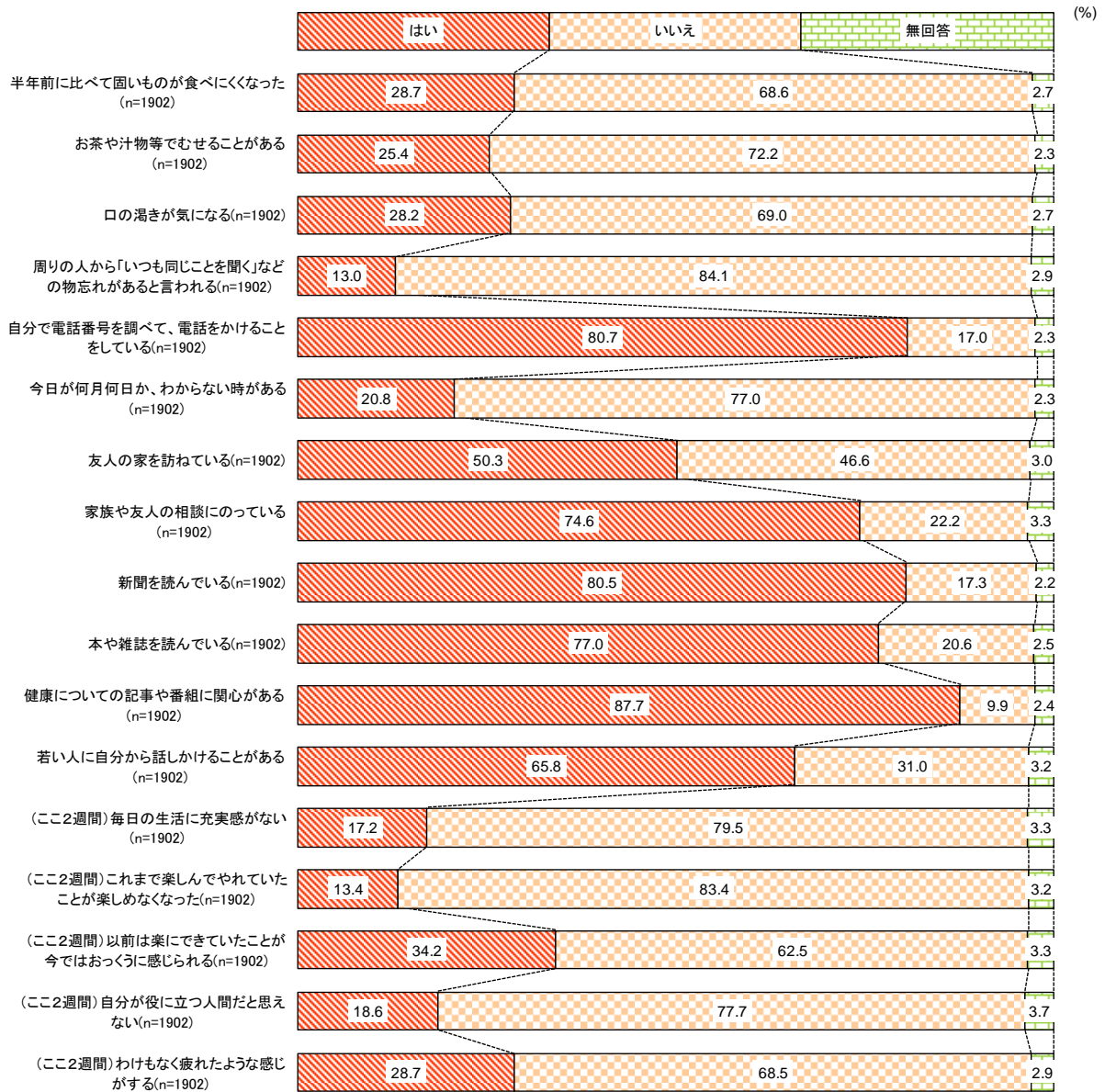
図表 3.3.7 日常の活動状況



図表 3.3.8 普段の生活 (1)



図表 3.3.9 普段の生活（2）

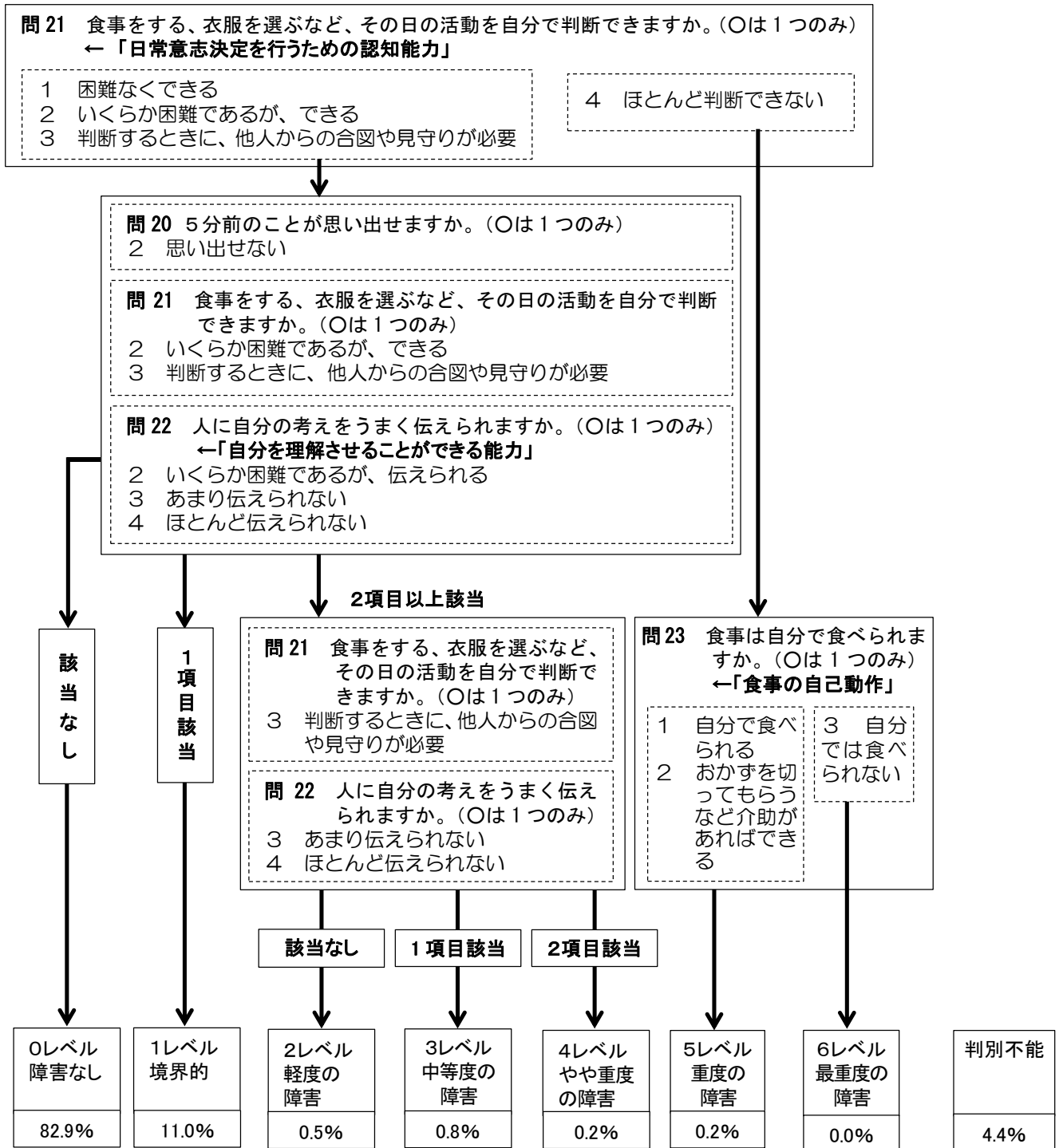


(5) 認知機能障害区分 (CPS)

認知機能に障害がみられる方を把握するため、4項目の各回答パターンにより、「0=障害なし」～「6=最重度の障害」までの7段階で区分し、認知機能尺度 (CPS : Cognitive Performance Scale)、判定を行っている。

以下に、7段階算出のフローとともに、実際の該当者割合を示す。

図表 3.3.10 認知機能障害区分 (CPS) 算出フロー・該当者割合



認知機能障害区分は、「0レベル（障害なし）」が82.9%となっている。「1レベル（境界的）」は11.0%で、2レベル以上は合わせて1.7%である。

性年代別でみると、男性後期高齢者では「1レベル（境界的）」が17.1%、「2レベル（軽度の障害）」が1.8%と高くなっている。「1レベル（境界的）」は男性14.4%に対し、女性では8.1%と男性の方が高くなっている。

また、年代別でみると、前期高齢者で「0レベル（障害なし）」は85.3%に対し、後期高齢者では78.4%と後期高齢者のほうが低くなっている。

図表 3.3.11 認知機能障害区分：性年代別、年代別

【性年代別】

	n=	0レベル (障害なし)	1レベル (境界的)	2レベル (軽度の 障害)	3レベル (中等度 の障害)	4レベル (やや重 度の障 害)	5レベル (重度の 障害)	6レベル (最重度 の障害)	該当なし	上段:度数 下段:%
TOTAL	1902 100	1,576 82.9	210 11.0	10 0.5	15 0.8	4 0.2	3 0.2	0 0.0	84 4.4	
男性計	800 100	630 78.8	115 14.4	6 0.8	8 1.0	3 0.4	1 0.1	0 0.0	37 4.6	
男性 前期高齢者	525 100	431 82.1	68 13.0	1 0.2	6 1.1	2 0.4	0 0.0	0 0.0	17 3.2	
男性 後期高齢者	275 100	199 72.4	47 17.1	5 1.8	2 0.7	1 0.4	1 0.4	0 0.0	20 7.3	
女性計	956 100	831 86.9	77 8.1	2 0.2	7 0.7	1 0.1	2 0.2	0 0.0	36 3.8	
女性 前期高齢者	632 100	557 88.1	54 8.5	1 0.2	5 0.8	1 0.2	0 0.0	0 0.0	14 2.2	
女性 後期高齢者	324 100	274 84.6	23 7.1	1 0.3	2 0.6	0 0.0	2 0.6	0 0.0	22 6.8	

【年代別】

	n=	0レベル (障害なし)	1レベル (境界的)	2レベル (軽度の 障害)	3レベル (中等度 の障害)	4レベル (やや重 度の障 害)	5レベル (重度の 障害)	6レベル (最重度 の障害)	該当なし	上段:度数 下段:%
TOTAL	1902 100	1,576 82.9	210 11.0	10 0.5	15 0.8	4 0.2	3 0.2	0 0.0	84 4.4	
前期高齢者	1188 100	1,013 85.3	125 10.5	2 0.2	11 0.9	3 0.3	0 0.0	0 0.0	34 2.9	
後期高齢者	662 100	519 78.4	81 12.2	7 1.1	4 0.6	1 0.2	3 0.5	0 0.0	47 7.1	

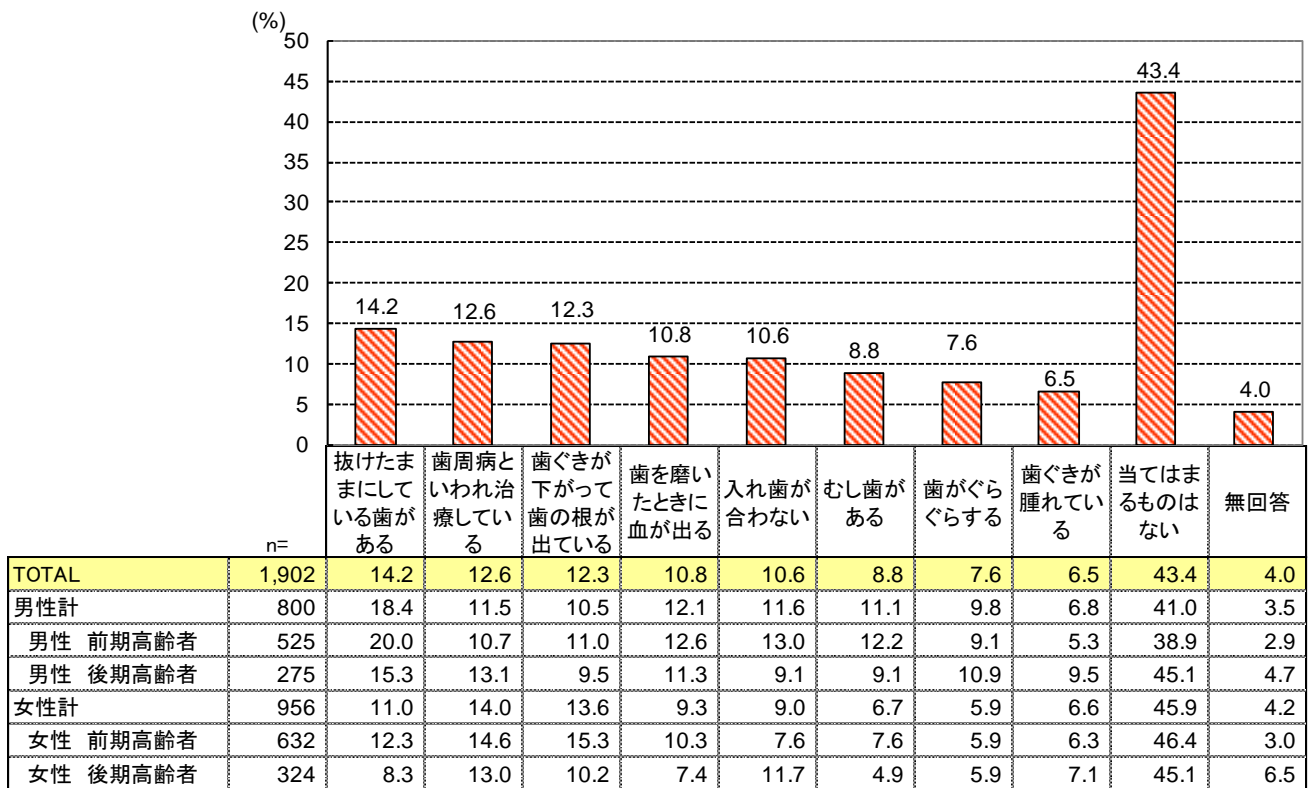
(6) 歯ぐき・歯の状態

問 24 あなた(宛名のご本人)の現在の歯ぐき・口の状態についてお答えください。(〇はいくつでも)

現在の歯ぐき・口の状態については、「当てはまるものはない」が 43.4%である一方、約半数(52.6%)は何らかの問題を抱えており、「抜けたままにしている歯がある」(14.2%)、「歯周病といわれ治療している」(12.6%)、「歯ぐきが下がって歯の根が出ている」(12.3%)、「歯を磨いたときに血が出る」(10.8%)となっている。

性別でみると、「抜けたままにしている歯がある」、「歯を磨いたときに血が出る」、「入れ歯が合わない」、「むし歯がある」、「歯がぐらぐらする」で女性より男性の割合が高くなっている。

図表 3.3.12 現在の歯ぐき、口の状態について(複数回答): 性年代別



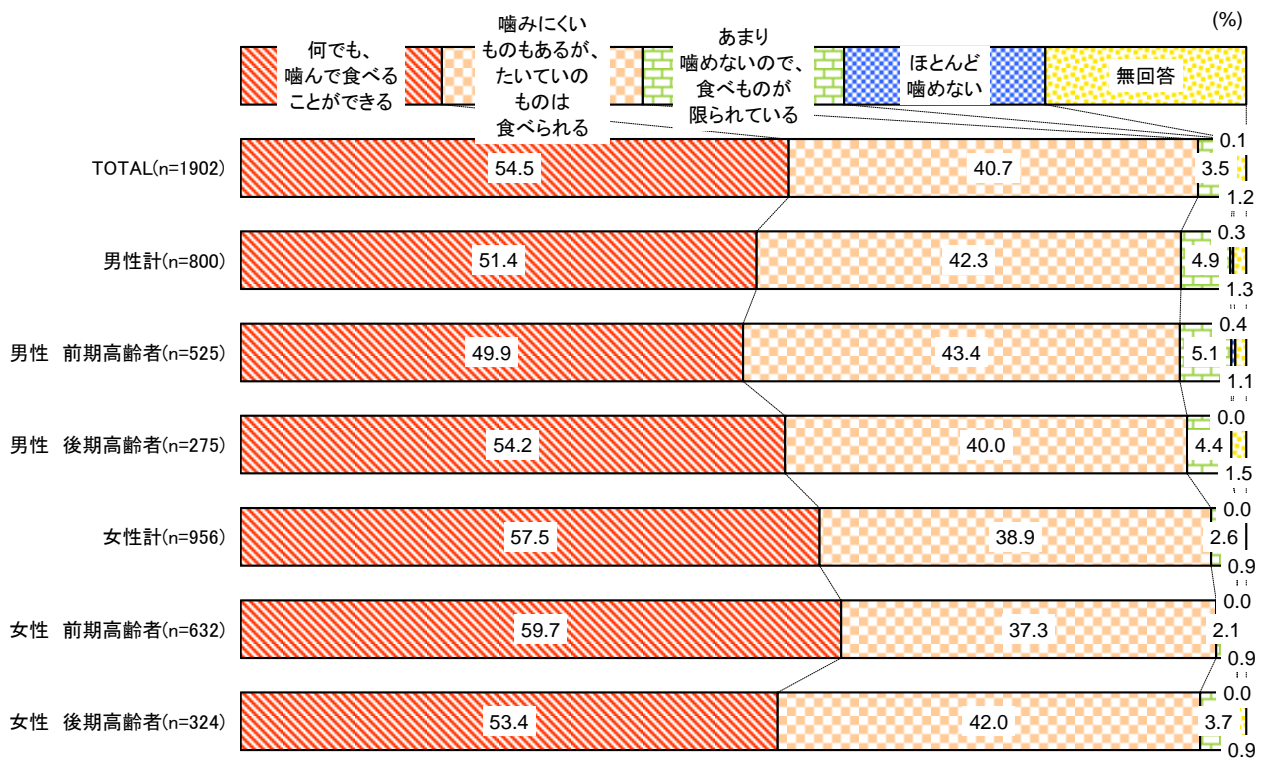
(7) 嚙んで食べる時の状態

問 25 嚙んで食べる時の状態はいかがですか。(○は1つのみ)

嚙んで食べる時の状態については、「何でも、嚙んで食べることができる」が 54.5%と最も高く、次いで「嚙みにくいものもあるが、たいていのものは食べられる」(40.7%) となっている。

性年代別でみると、「何でも、嚙んで食べることができる」は女性前期高齢者が 59.7%に対し、男性前期高齢者では 49.9%と低くなっている。

図表 3.3.13 嚙んで食べる時の状態：性年代別

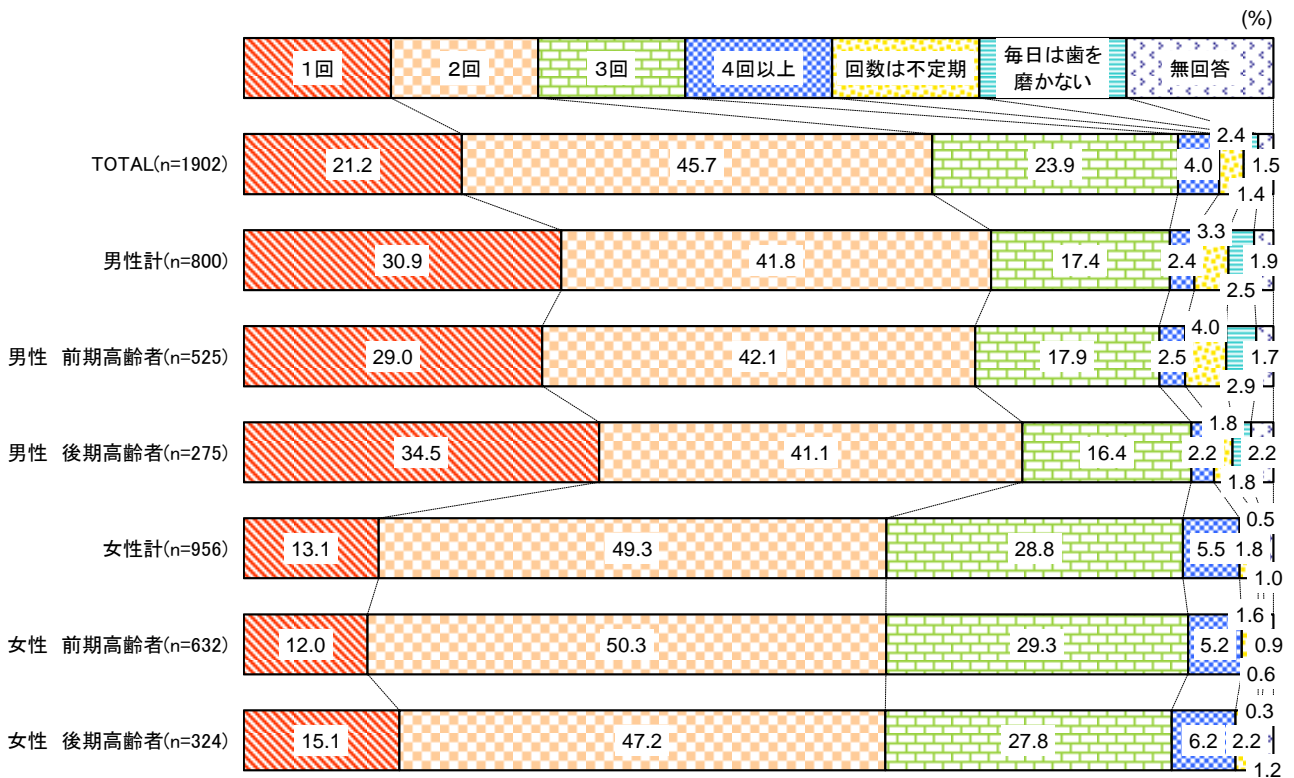


問 26 あなた（宛名のご本人）は、一日に何回歯磨きをしていますか。（○は1つのみ）

一日の歯磨きの回数は、「2回」が 45.7%と最も高く、次いで「3回」（23.9%）、「1回」（21.2%）となっている。

性別で見ると、男性では「1回」が 30.9%と女性より高く、「2回」～「4回以上」はいずれも女性の方が高くなっている。

図表 3.3.14 一日に何回歯磨きをしているか：性年代別



4. 外出／近所づきあいの程度

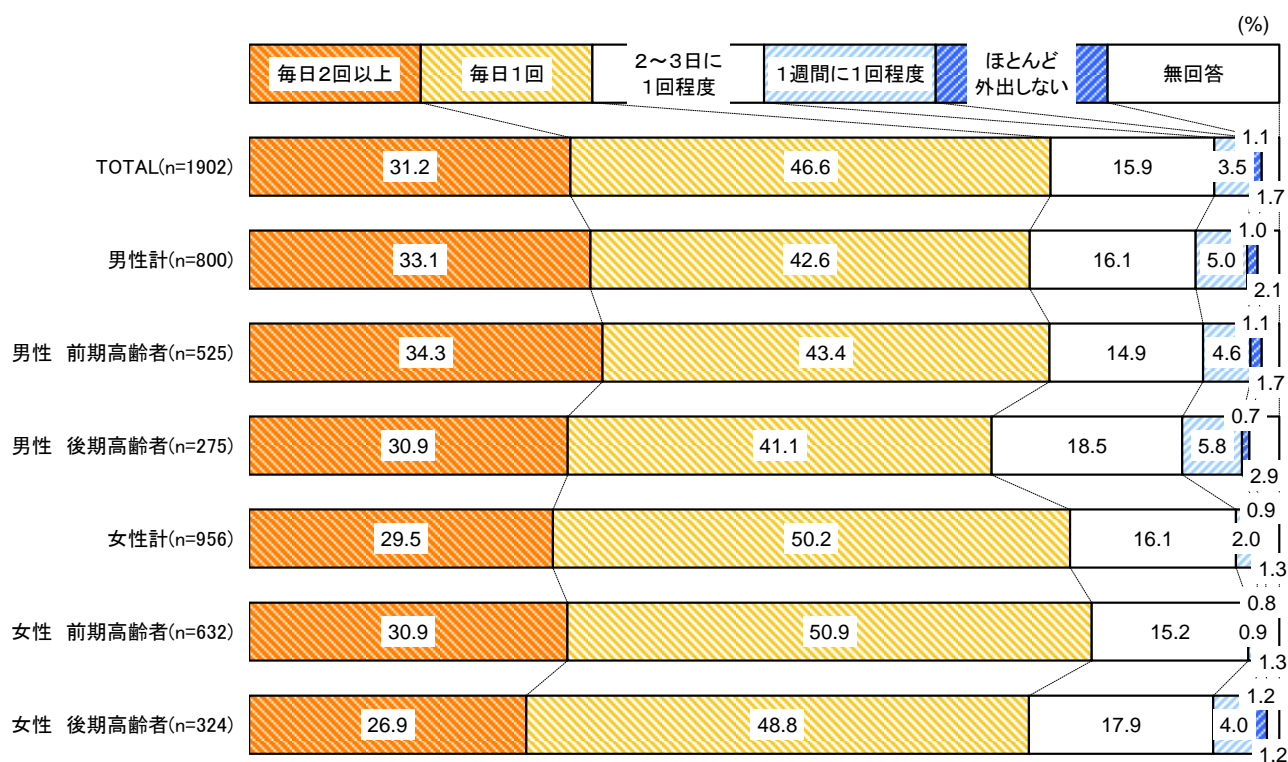
(1) 外出頻度

問 27 あなた（宛名のご本人）は、ふだん、買い物、散歩、通院などで外出する頻度はどれくらいですか。（○は1つのみ）

外出する頻度は、「毎日1回」が46.6%と最も高く、次いで「毎日2回以上」（31.2%）、「2～3日に1回程度」（15.9%）となっている。

性別でみると、「毎日1回」は男性より女性の方が高くなっている。また、性年代別でみると、男性前期高齢者では、「毎日2回以上」（34.3%）が高くなっている。

図表 3.4.1 外出する頻度：性年代別



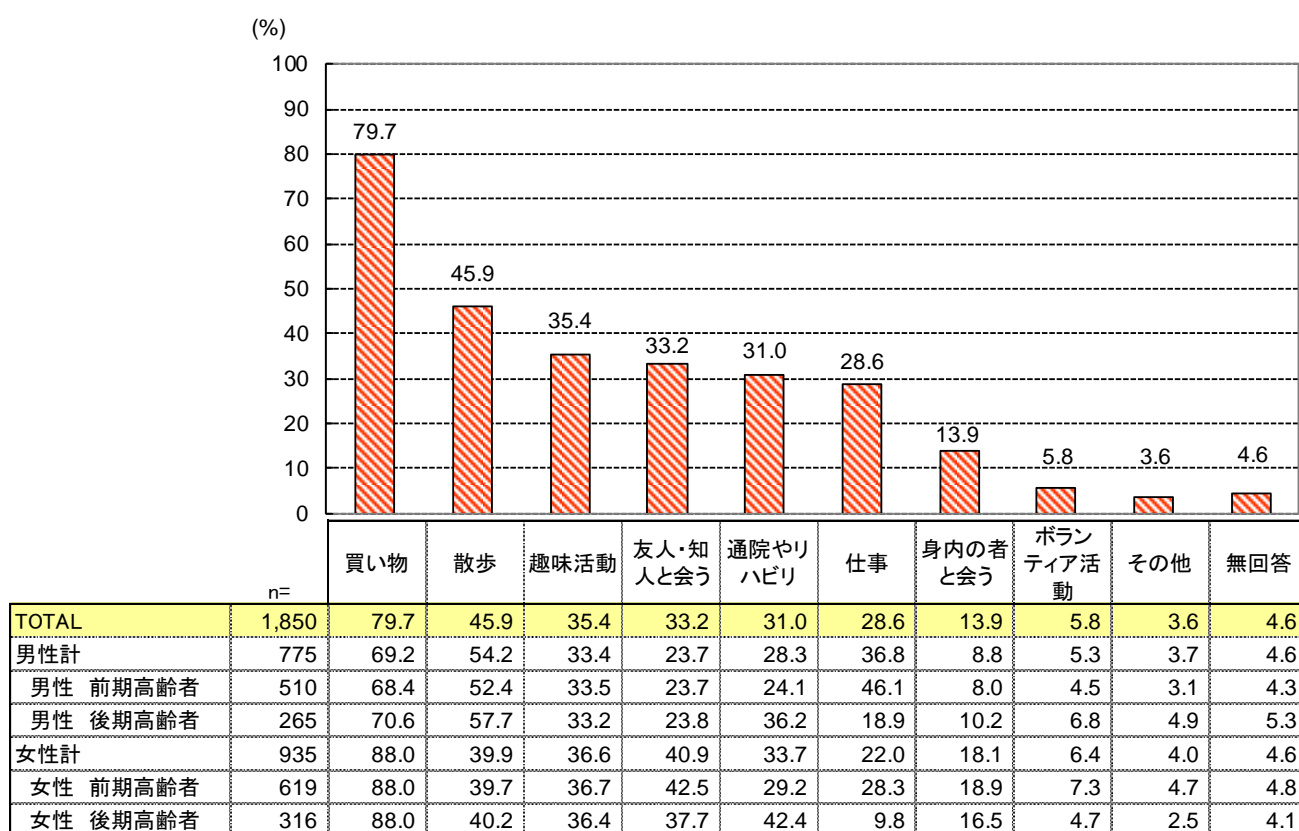
【問 27 で「1」～「4」のいずれかにお答えの方におうかがいします。】

問 27-1 外出の主な目的は何ですか。(〇はいくつでも)

外出の主な目的は、「買い物」が 79.7%と最も高く、次いで「散歩」(45.9%)、「趣味活動」(35.4%)、「友人・知人と会う」(33.2%)、「通院やりハビリ」(31.0%)となっている。

性別でみると、男性では「仕事」、「散歩」が女性より高く、女性では「買い物」、「友人・知人と会う」、「身内の者と会う」が男性より高くなっている。また、性年代別でみると、女性後期高齢者では「通院やりハビリ」が 42.4%と高くなっている。

図表 3.4.2 外出の主な目的(複数回答)【ベース:外出あり】:性年代別

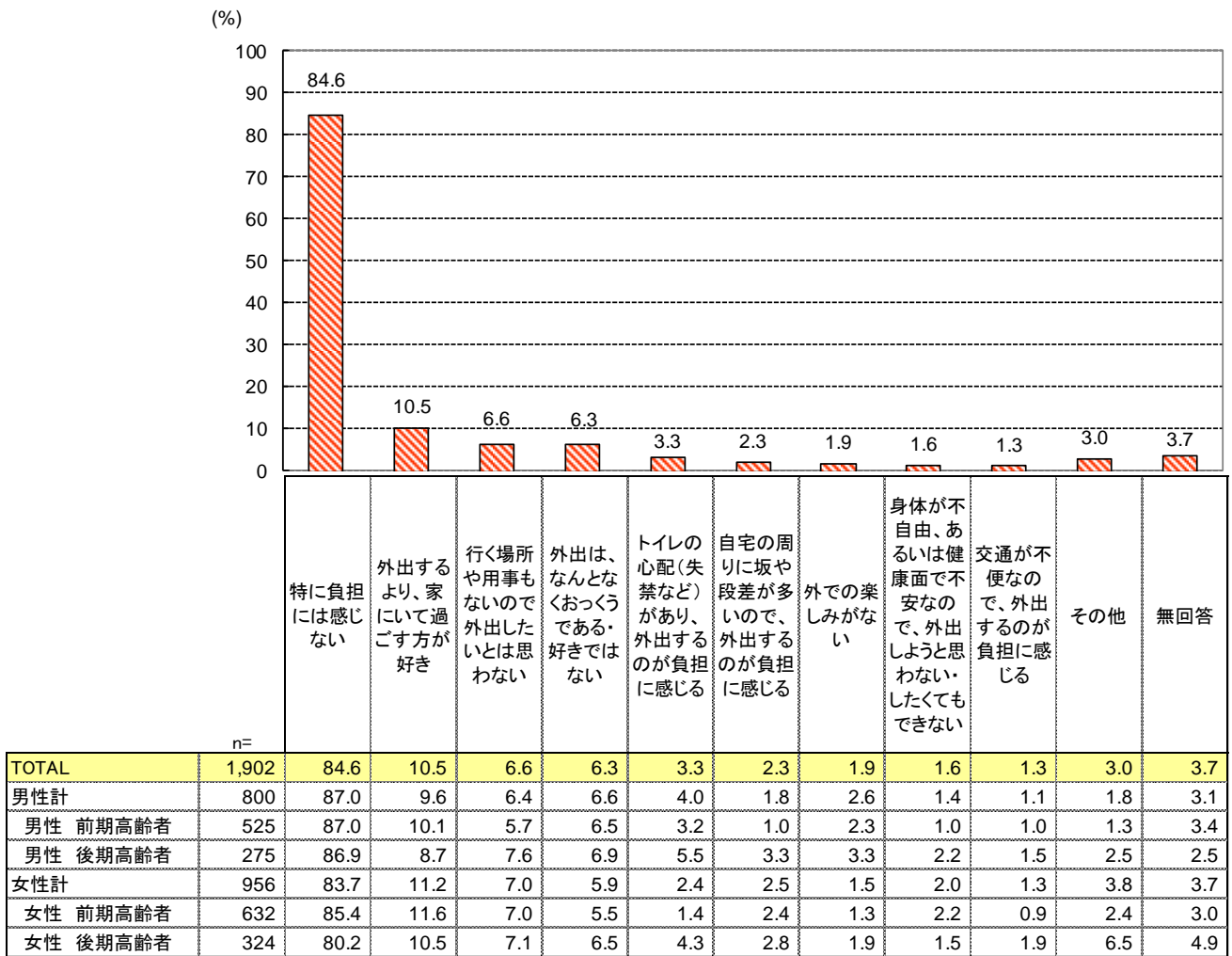


(2) 外出することについての考え

問 28 あなた（宛名のご本人）は、外出することについてどのようにお考えですか。（〇はいくつでも）

外出することについての考えは、「特に負担には感じない」が 84.6%と最も高く、次いで「外出するより、家にいて過ごす方が好き」（10.5%）、「行く場所や用事もないので外出したいとは思わない」（6.6%）、「外出は、なんとなくおっくうである・好きではない」（6.3%）となっている。

図表 3.4.3 外出することについての考え（複数回答）：性年代別



(3) 近所づきあいの程度

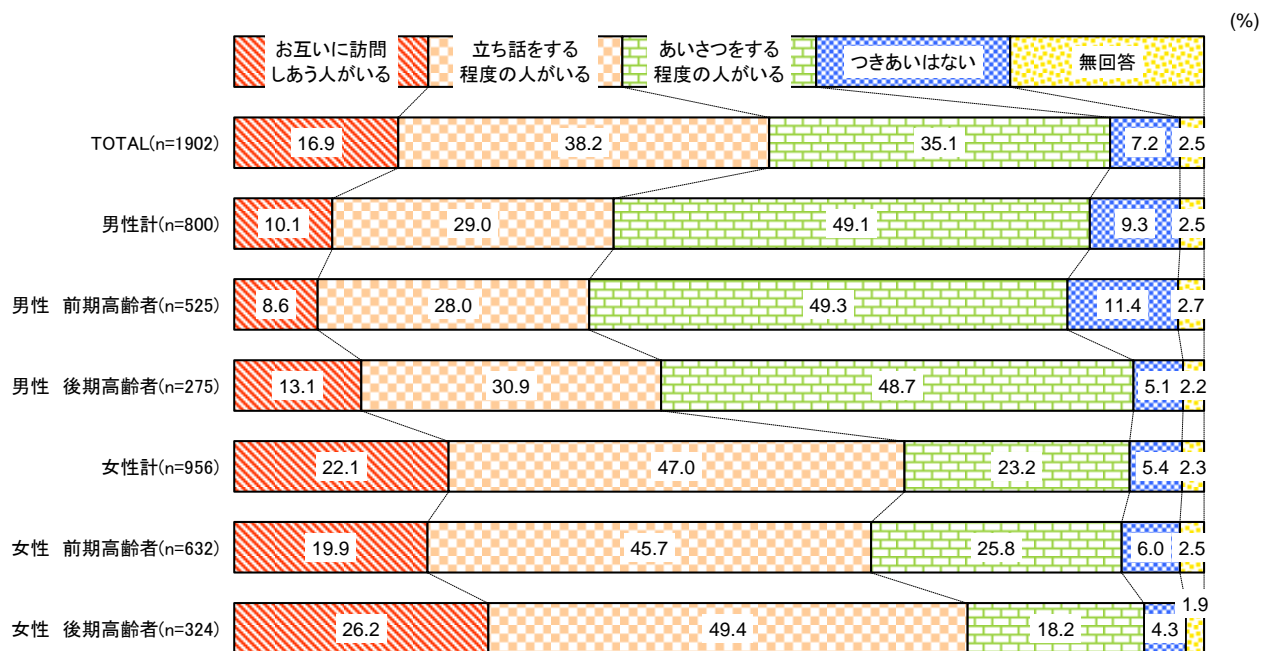
① 近所づきあいの程度

問 29 あなたは、近所の人との程度おつきあいをされていますか。(○は1つのみ)

近所づきあいの程度については、「立ち話をする程度の人がいる」が 38.2%と最も高く、次いで「あいさつをする程度の人がいる」(35.1%)、「お互いに訪問しあう人がある」(16.9%)となっている。

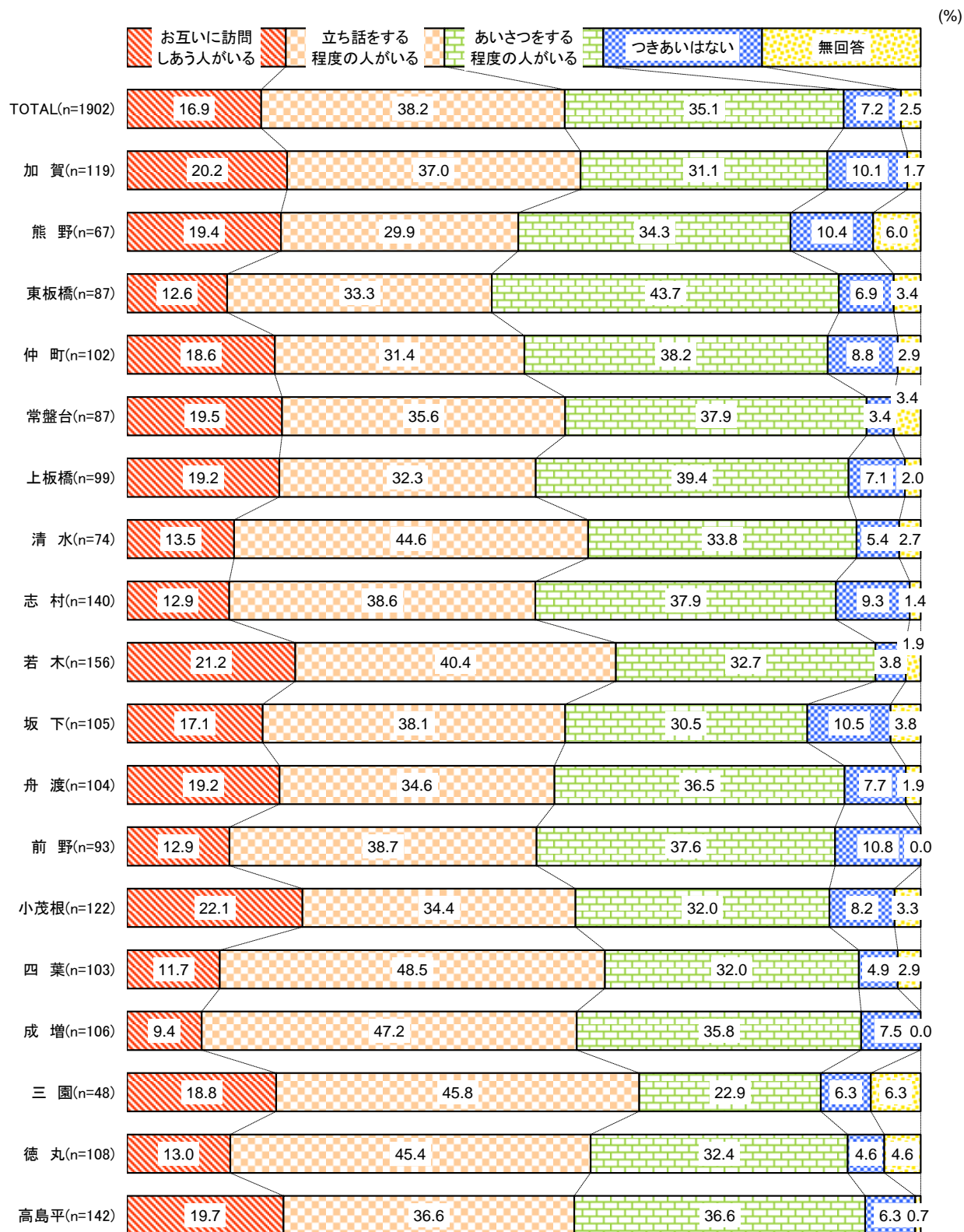
性年代別でみると、男性では「あいさつをする程度の人がいる」(49.1%)が最も高いが、女性では「立ち話をする程度の人がいる」(47.0%)が最も高くなっている。また、性年代別でみると、男女ともに、前期高齢者より後期高齢者の方が「お互いに訪問しあう人がある」(男性後期高齢者 13.1%、女性後期高齢者 26.2%)が高くなっている。

図表 3.4.4 近所の人との付き合いの程度：性年代別



地区別でみた結果は以下のとおりである。

図表 3.4.5 近所の人との付き合いの程度（地区（エリア））



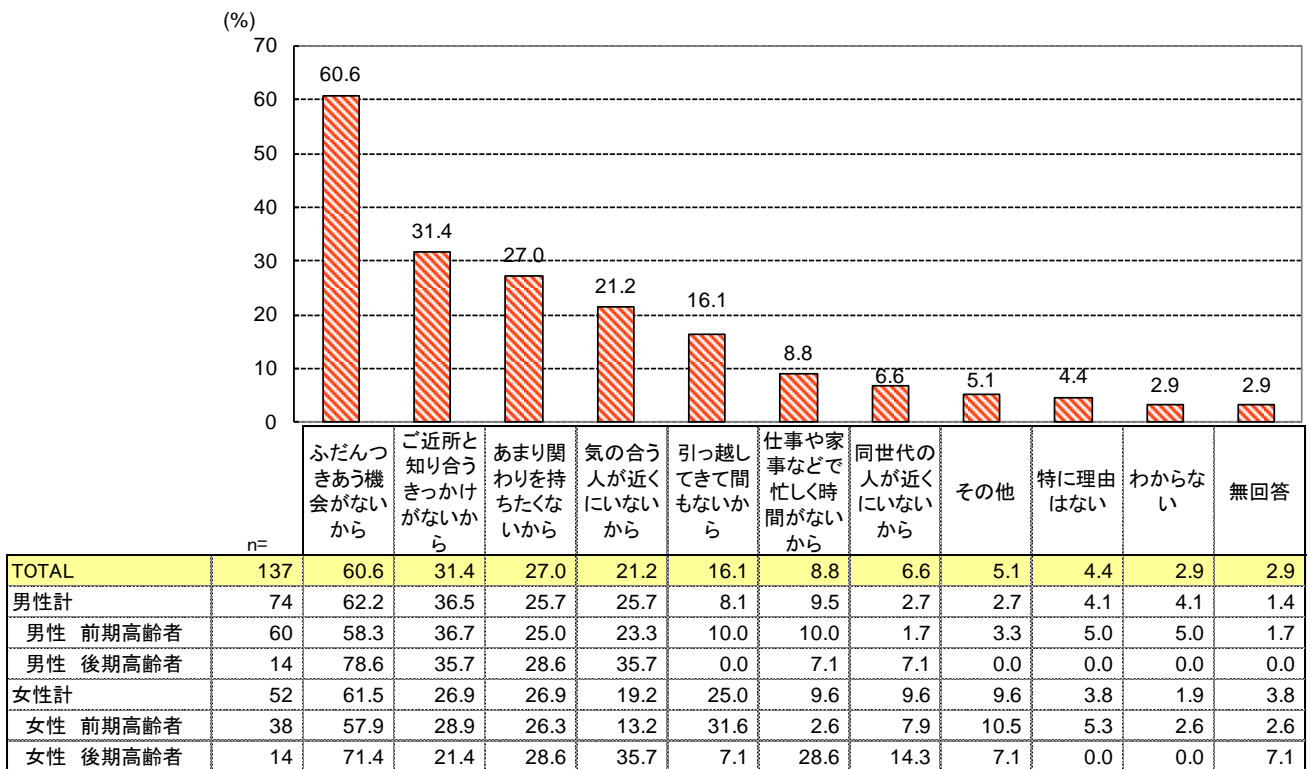
② 近所づきあいのない理由

【問 29 で「4. つきあいはない」とお答えの方におうかがいします。】

問 29-1 おつきあいのない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

近所づきあいのない理由は「ふだんつきあう機会がないから」が 60.6%と最も高く、次いで「ご近所と知り合うきっかけがないから」(31.4%)、「あまり関わりを持ちたくないから」(27.0%)、「気の合う人が近くにいないから」(21.2%)となっている。

図表 3.4.6 つきあいのない理由(複数回答)【ベース:近所づきあいなし】



(4) 友人・知人・別居の家族・親戚のつきあいの程度

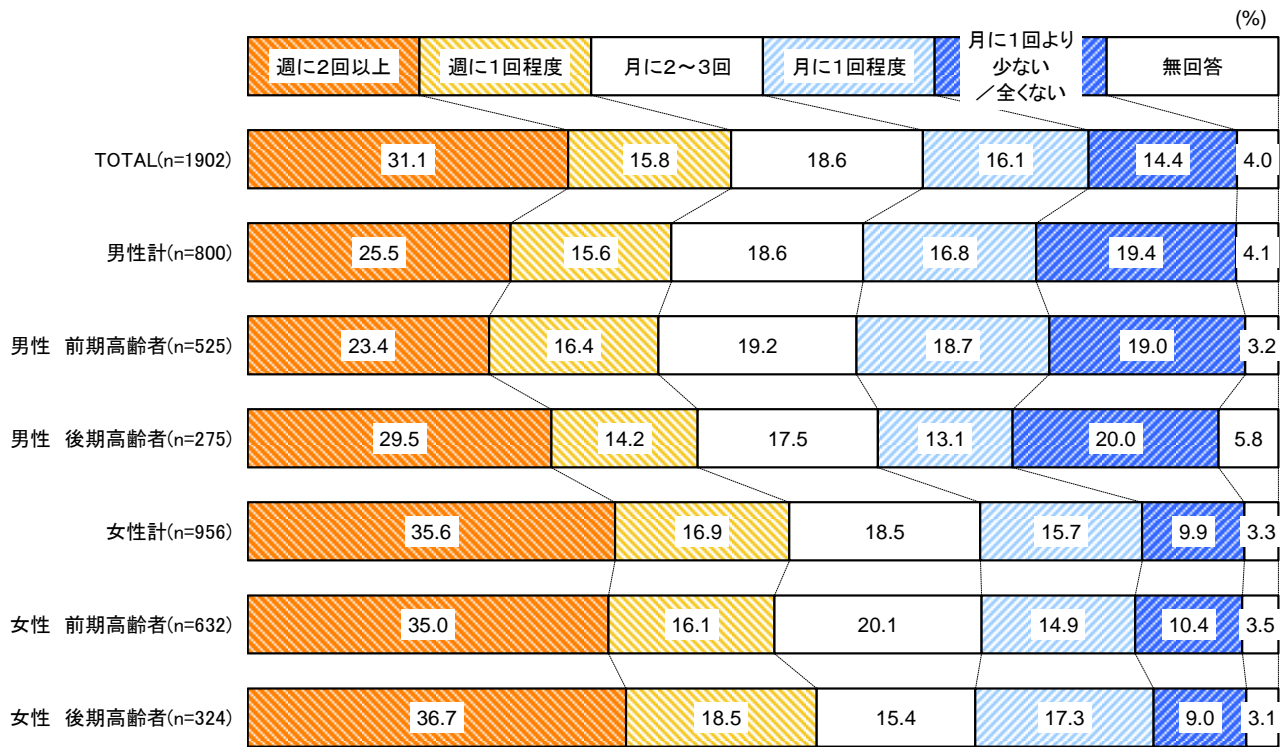
① 友人・知人・別居の家族・親戚と会う頻度

問 30 友人・知人・別居の家族・親戚と会う頻度はどれくらいですか。(○は1つのみ)

友人・知人・別居の家族・親戚と会う頻度は、「週に2回以上」が31.1%と最も高く、次いで「月に2～3回」(18.6%)、「月に1回程度」(16.1%)、「週に1回程度」(15.8%)となっている。

性別でみると、「週に2回以上」は女性の方が男性より10ポイント以上高くなっている。また、男性では「月に1回より少ない/全くない」が女性より10ポイント程度高くなっている。

図表 3.4.7 友人・知人・別居の家族・親戚と会う頻度



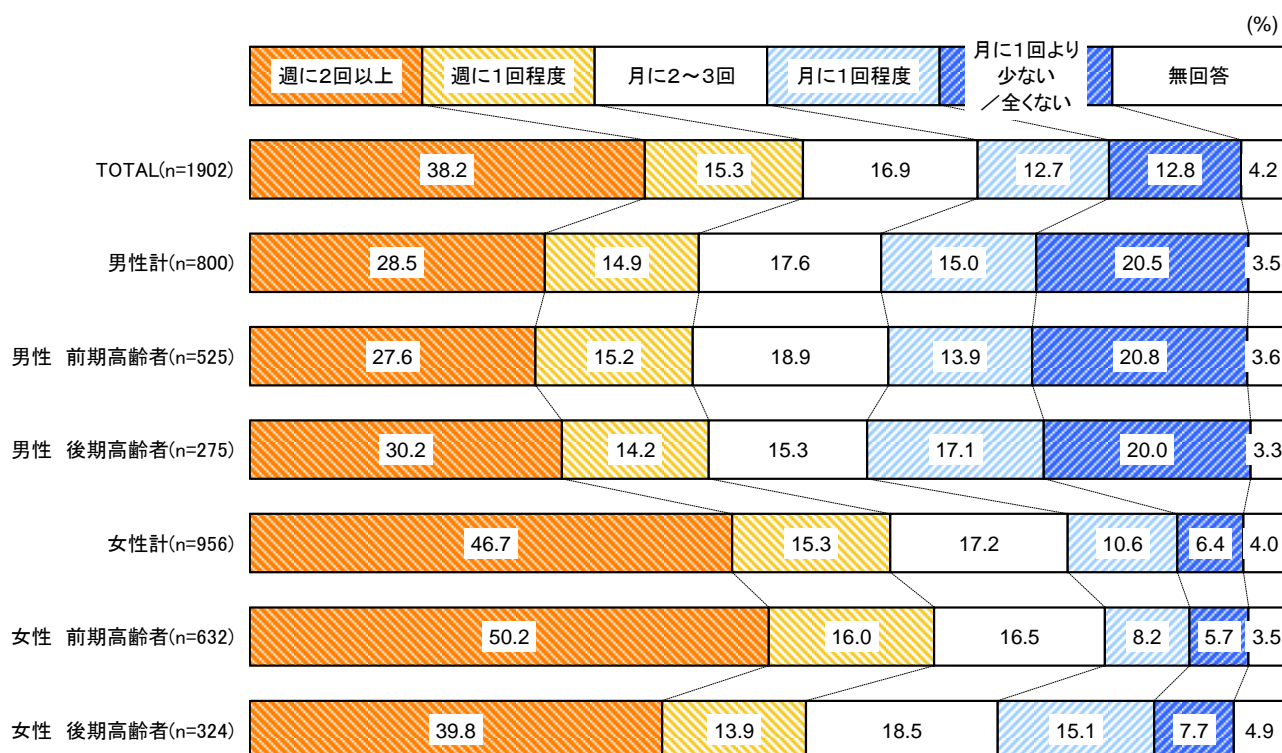
② 友人・知人・別居の家族・親戚と電話やメール、手紙をやりとりする頻度

問 31 友人・知人・別居の家族・親戚と電話やメール、手紙をやりとりする頻度はどれくらいですか。
(○は1つのみ)

友人・知人・別居の家族・親戚と電話やメール、手紙をやりとりする頻度は、「週に2回以上」が38.2%と最も高く、次いで「月に2～3回」(16.9%)、「週に1回程度」(15.3%)となっている。

性年代別でみると、女性前期高齢者で「週に2回以上」が50.2%と高くなっている。「月に1回より少ない/全くない」は男性で前期高齢者、後期高齢者ともに2割以上となっている。

図表 3.4.8 友人・知人・別居の家族・親戚と電話やメール、手紙をやりとりする頻度



(5) 予定がなくても気軽に行ける場所

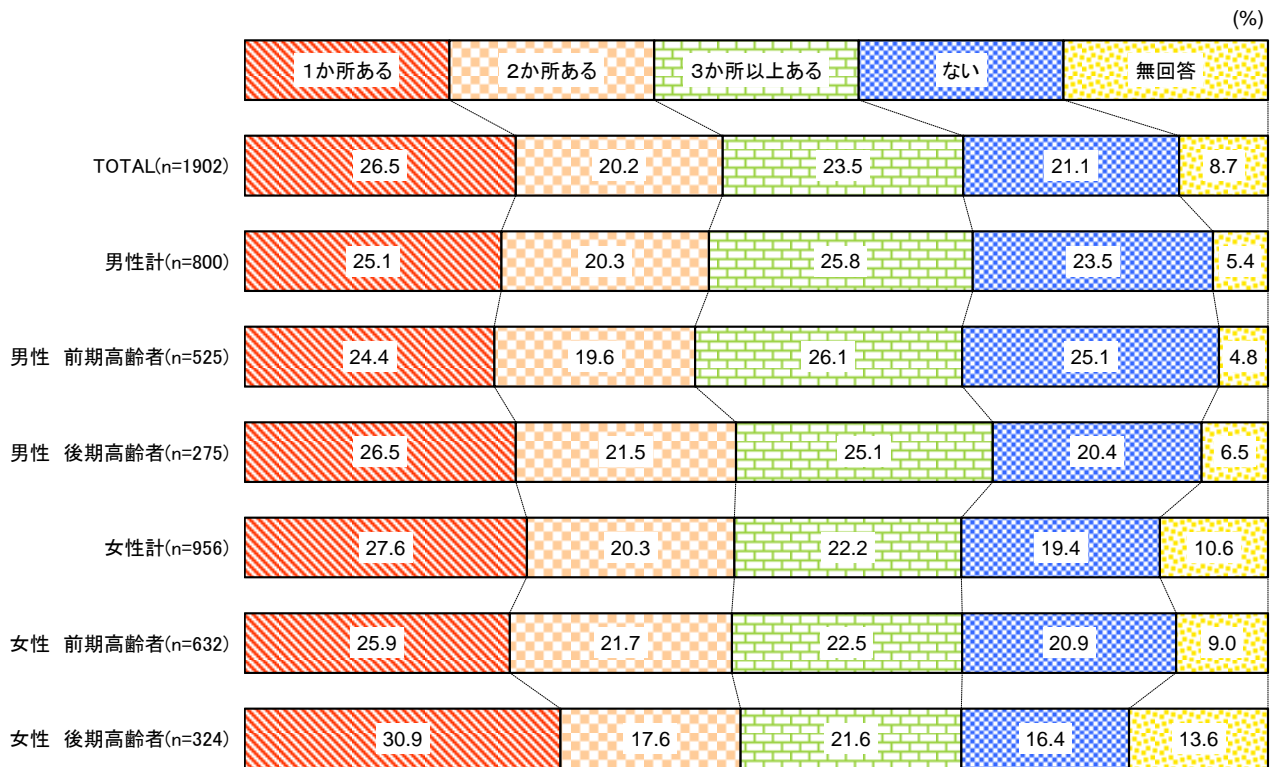
① 予定がなくても気軽に行ける場所の有無

問 32 あなた（宛名のご本人）は、特に予定がなくても気軽に行ける場所がありますか。どのくらいあるかをお答えください。（〇は1つのみ）

特に予定がなくても気軽に行ける場所は、「1か所ある」が 26.5%と最も高く、「2か所ある」（20.2%）、「3か所以上ある」（23.5%）となっている。一方、「（特に予定がなくても気軽に行ける場所は）ない」は 21.1%となっている。

性年代別でみると、男性前期高齢者では「（特に予定がなくても気軽に行ける場所は）ない」が 25.1%と高くなっている。

図表 3.4.9 特に予定がなくても気軽に行ける場所の有無



② 具体的な場所

【問 32 で「特に予定がなくても気軽に行ける場所」がある方に、その場所についておうかがいします。】
 問 32-1 それほどのような場所ですか。具体的にご記入ください。(自由回答)

具体的な場所として自由に答えていただいたところ、下記のような記入状況となった。
 場所が特定される具体的な回答としては、「城北公園」が 40 件と最も多く、次いで「赤塚公園」(39 件)、「光が丘公園」(34 件)、「中央図書館」、「高島平図書館」(ともに 31 件)となっている。

図表 3.4.10 特に予定がなくても気軽に行ける場所・具体の場所 (自由回答)

順位	記入内容	件数
1	喫茶店、軽食処	95
2	図書館	92
3	公園	81
4	友人、知人の家	79
5	家族、親類の家	67
6	デパート、大型商業施設	66
7	スポーツクラブ、スポーツジム	54
8	スーパーマーケット	43
9	カラオケ、カラオケ喫茶、カラオケスナック	41
10	城北公園	40
11	赤塚公園	39
12	光が丘公園	34
13	中央図書館	31
13	高島平図書館	31
15	趣味の活動場所	28
16	ふれあい館	19
16	その他、買い物施設	19
18	体育館、プール	18
18	パチンコ、パチスロ	18
20	赤塚図書館	17
20	書店	17
21	ゴルフ練習場、ゴルフ場	16
22	東板橋図書館	15
23	飲食店、レストラン	15
24	成増図書館	14
24	平和公園	14
26	小茂根図書館	13
26	ドトール	13
28	健康ランド、スーパー銭湯、温泉	12
28	区外の図書館	12
28	居酒屋	12

(網掛けは、具体名の記入のあったもの)

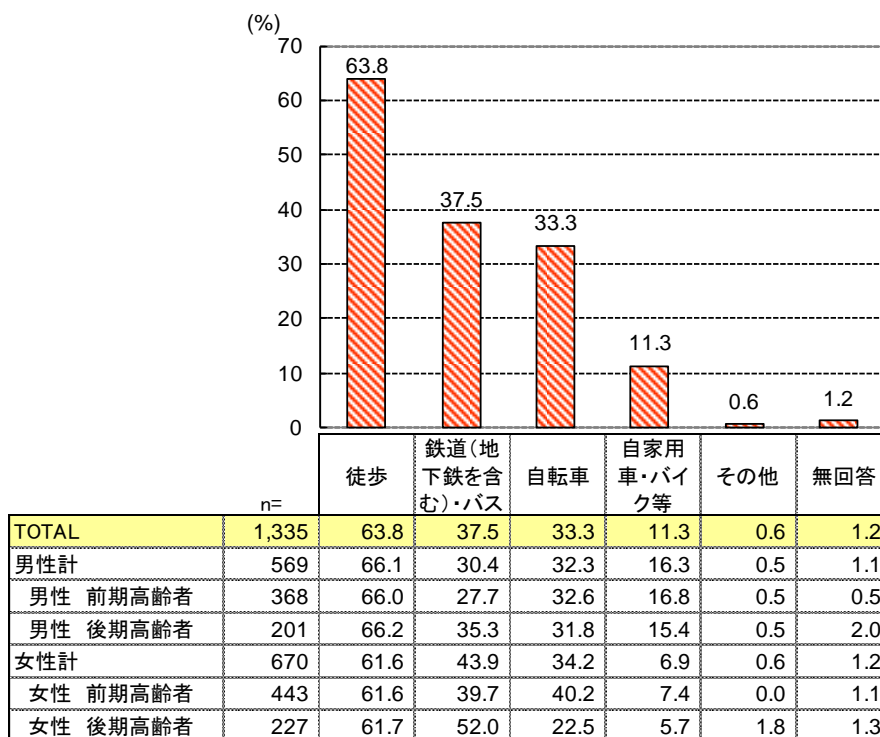
③ 交通手段

問 32-2 問 32-1 でお答えになった場所に行くのに、ふだん使われている交通手段はどれですか。
(〇はいくつでも)

交通手段は、「徒歩」が 63.8%と最も高く、次いで「鉄道(地下鉄を含む)・バス」(37.5%)、「自転車」(33.3%)となっている。

性年代別で見ると、「自転車」は女性前期高齢者で 40.2%と最も高いが、女性後期高齢者では 22.5%と低くなっている。また、「自家用車・バイク等」は女性より男性の方が約 10 ポイント高い。「鉄道(地下鉄を含む)・バス」は、女性後期高齢者で 52.0%と他の性年代と比べ高くなっている。

図表 3.4.1.1 気軽に行ける場所への交通手段(複数回答): 性年代別



5. 情報へのアクセス

(1) 携帯情報端末の利用状況

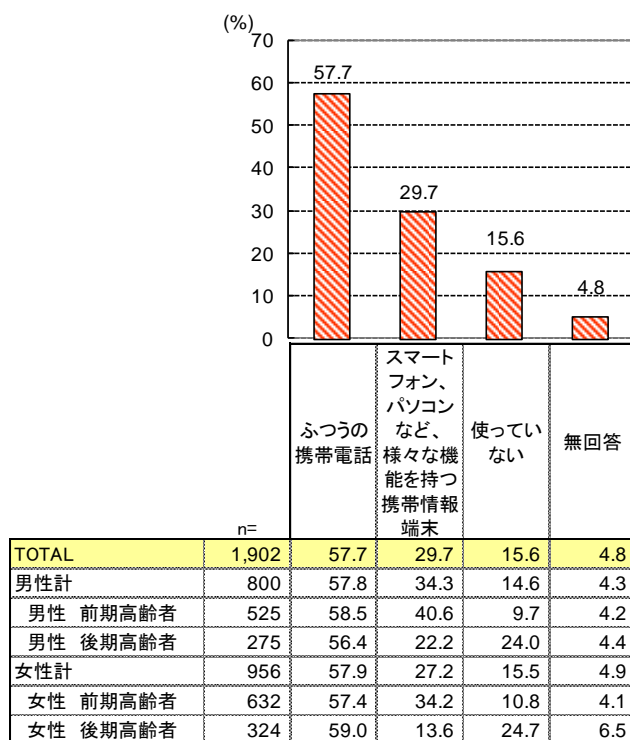
【 すべての方に 】

問 33 あなた（宛名のご本人）は、携帯電話等の情報端末を使っていますか。ご利用の場合、携帯電話等機器の種類をお答えください。（〇はいくつでも）

携帯電話等の情報端末の利用状況は、「ふつうの携帯電話」が 57.7%と最も高く、次いで「スマートフォン、パソコンなど、様々な機能を持つ携帯情報端末」（29.7%）となっている。また、「使っていない」は 15.6%となっている。

性年代別で見ると、男女とも前期高齢者では、「スマートフォン、パソコンなど、様々な機能を持つ携帯情報端末」が高く、男性前期高齢者で 40.6%、女性前期高齢者で 34.2%となっている。

図表 3.5.1 携帯電話等の情報端末の利用状況（複数回答）：性年代別



(2) 携帯情報端末で通話以外に利用している機能

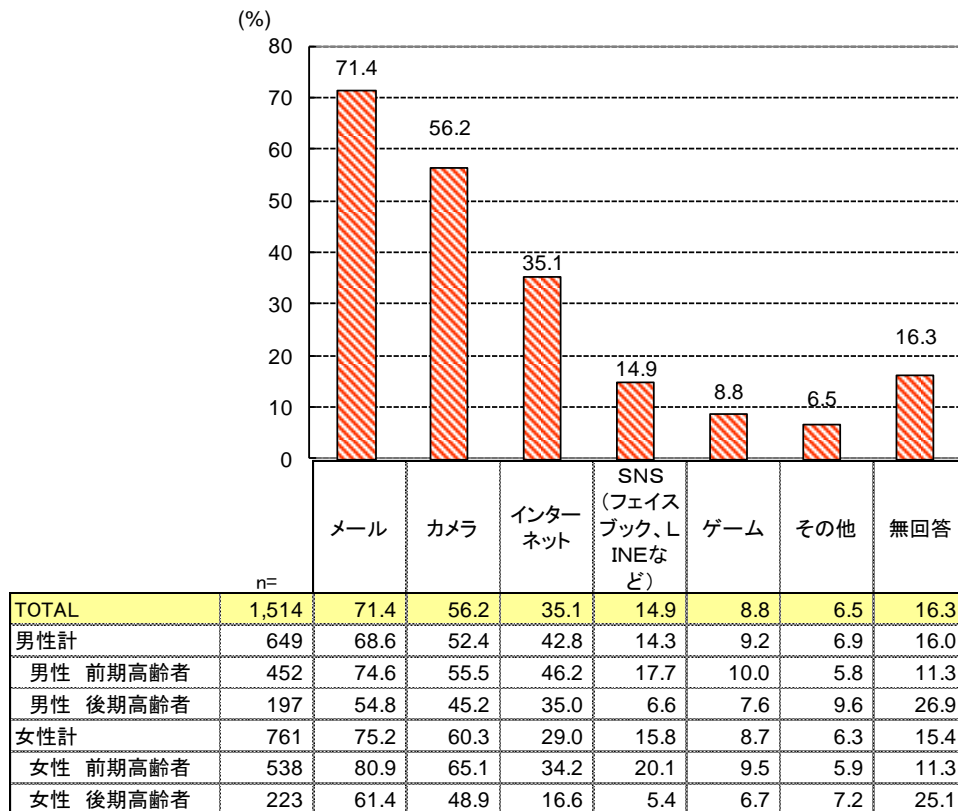
【問 33 で「1. ふつうの携帯電話」や「2. スマートフォン、パソコンなど、様々な機能を持つ携帯情報端末」を使っているとお答えの方にかがいます。】

問 33-1 通話以外でどのような機能を利用していますか。(〇はいくつでも)

情報端末の通話以外の利用状況は、「メール」が 71.4%と最も高く、次いで「カメラ」(56.2%)、「インターネット」(35.1%)、「SNS (フェイスブック、LINE など)」(14.9%) となっている。

性別でみると、「インターネット」は男性で高く、「メール」、「カメラ」は男性より女性の方が高くなっている。

図表 3.5.2 通話以外に利用している携帯情報端末の機能(複数回答): 性年代別



(3) インターネットの利用状況

【すべての方に】

問 34 あなた（宛名のご本人）は、インターネットはふだん利用していますか。（○は1つのみ）

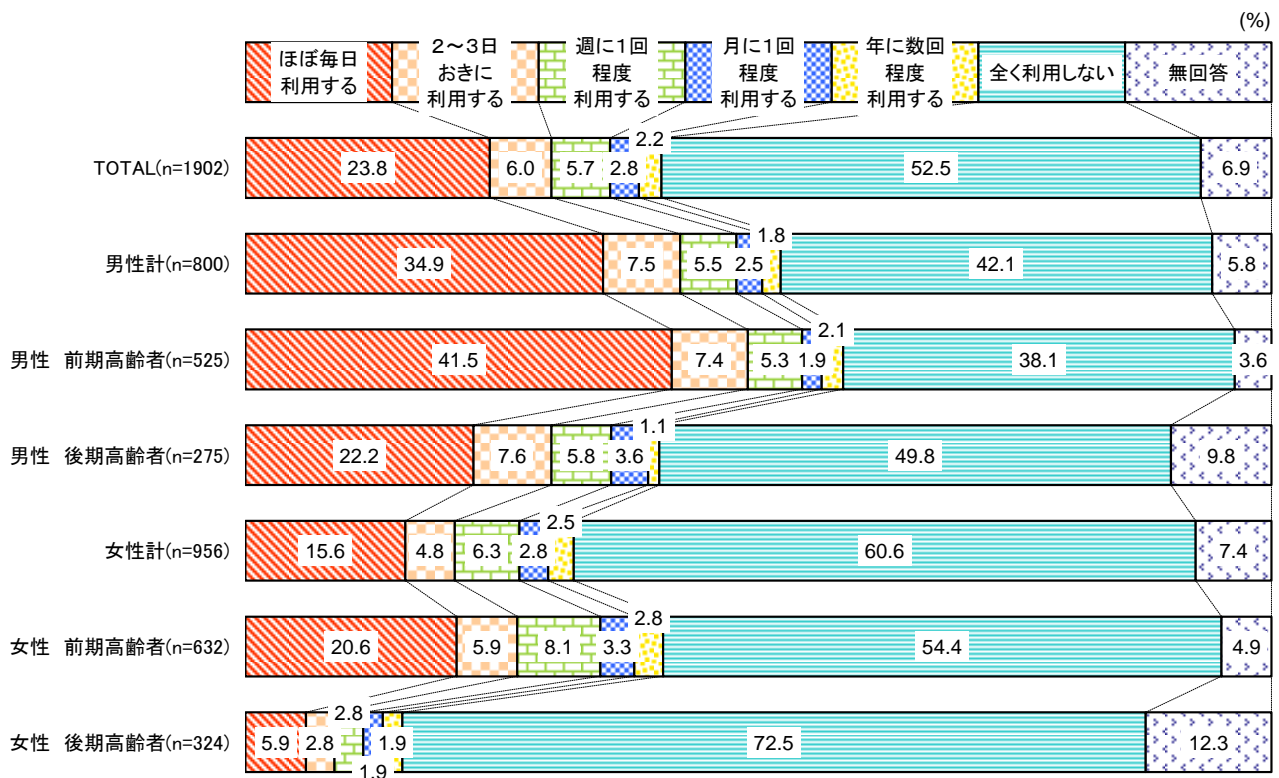
【問 34「1」～「5」にお答えの方は、問 34-1、問 34-2、問 34-3 をお答えください。】

インターネットの利用状況は、「全く利用しない」（52.5%）、「無回答」（6.9%）を除くと、4割（40.6%）が利用している。

利用者のうち、「ほぼ毎日利用する」が23.8%、「2～3日おきに利用する」が6.0%、「週に1回程度利用する」が5.7%となっている。また週1回以上では、35.5%となっている。

性年代別でみると、男性前期高齢者では「ほぼ毎日利用する」が41.5%と女性前期高齢者（20.6%）より20ポイント以上高くなっている。また、「全く利用しない」は、女性後期高齢者で72.5%と高くなっている。

図表 3.5.3 インターネット利用状況：性年代別

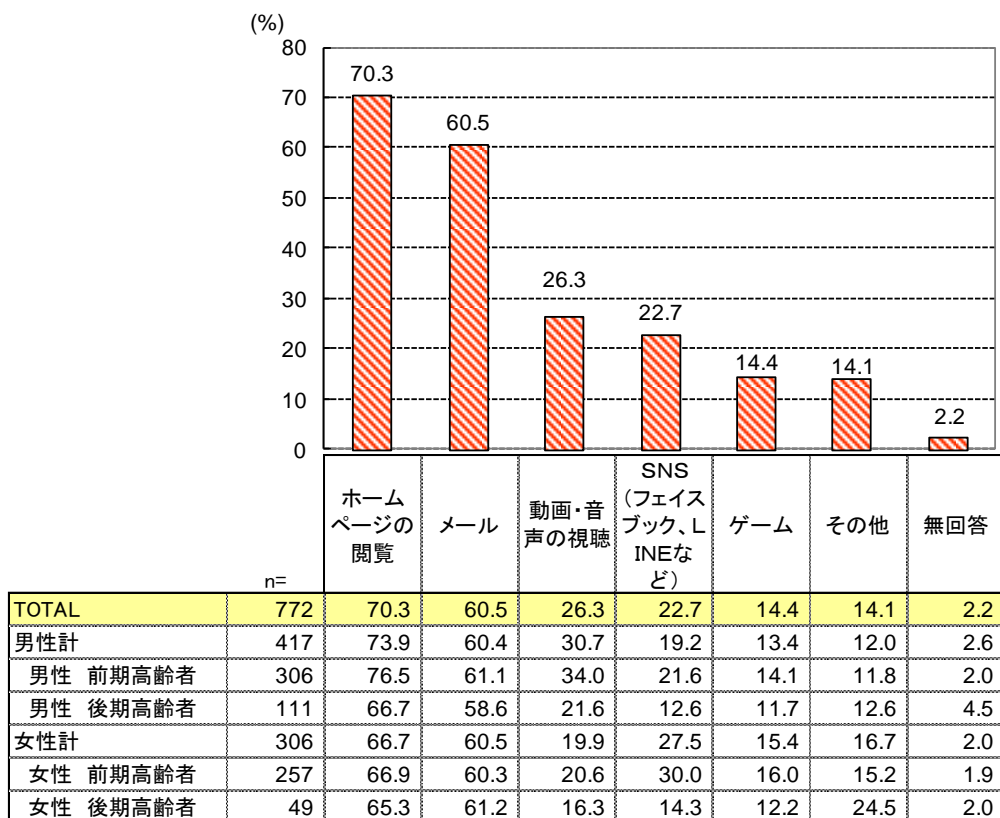


(4) インターネットで利用している機能

問 34-1 あなた（宛名のご本人）はインターネットでどのような機能を利用していますか。（〇はいくつでも）

インターネットで利用している機能は、「ホームページの閲覧」が 70.3%と最も高く、次いで「メール」(60.5%)、「動画・音声の視聴」(26.3%)、「SNS (フェイスブック、LINE など)」(22.7%) となっている。性別でみると、「メール」の利用は男女とも6～7割台であるが、「ホームページの閲覧」、「動画・音声の視聴」は女性より男性の方が高く、「SNS (フェイスブック、LINE など)」は女性の方が高くなっている。

図表 3.5.4 インターネットで利用している機能（複数回答）：性年代別



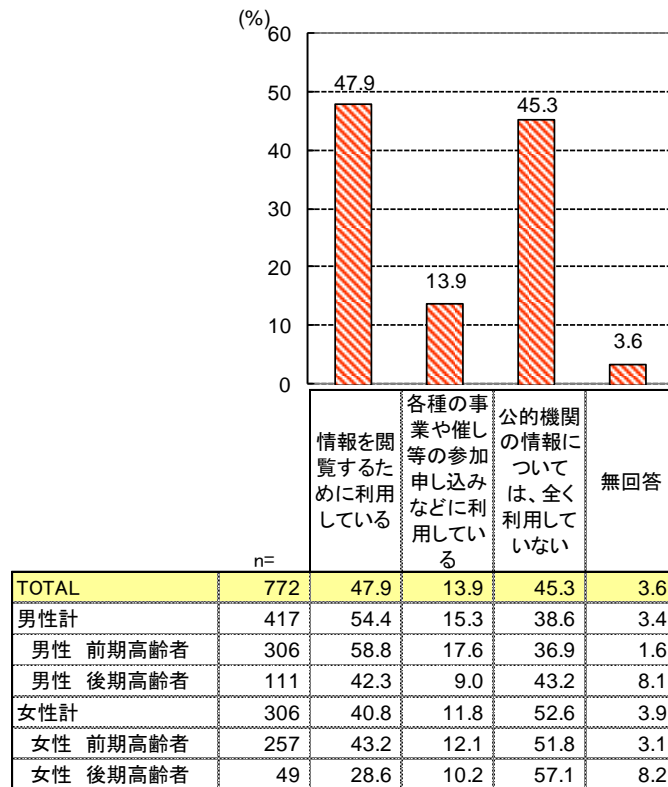
(5) 公的機関の情報を得る際に情報端末を利用しているか

問 34-2 あなた（宛名のご本人）は、区役所や東京都庁など公的機関の情報を得たり、手続きをするために、携帯電話やスマートフォン、パソコンなどを利用していますか。（○はいくつでも）

公的機関の情報を得たり、手続きするために、携帯電話やスマートフォン、パソコンなどの利用状況については、「情報を閲覧するために利用している」が 47.9%と半数近くを占める。また、「各種の事業や催し等の参加申し込みなどに利用している」は 13.9%となっている。一方、「公的機関の情報については、全く利用していない」は 45.3%となっている。

性別でみると、男性では、「情報を閲覧するために利用している」が半数以上である一方、女性では「公的機関の情報については、全く利用しない」が半数以上となっている。

図表 3.5.5 公的機関の情報を得たり、手続きをするための携帯電話やスマートフォン、パソコンなどの利用状況（複数回答）【ベース：インターネット利用あり】：性年代別



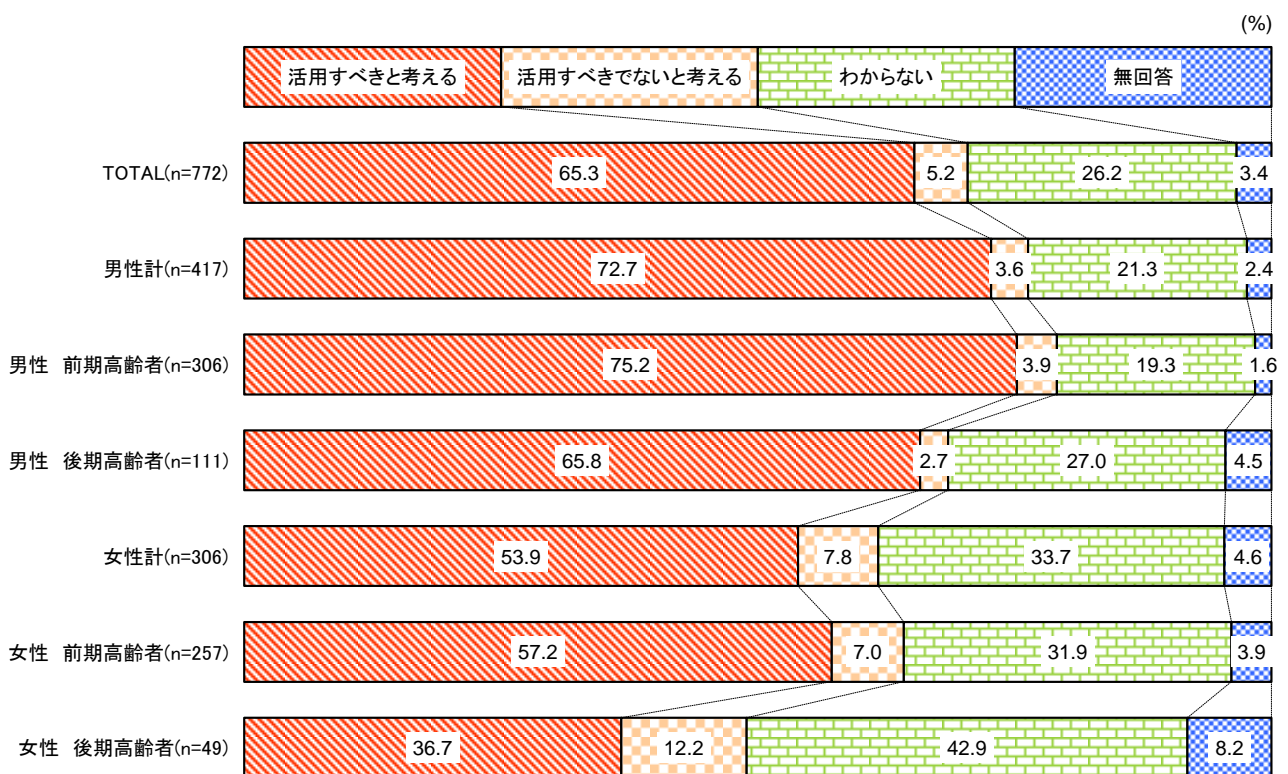
(6) 公的機関の情報提供における情報端末等の活用についての考え

問 34-3 あなた(宛名のご本人)は、公的機関の情報提供について、携帯電話やスマートフォン、パソコンなどを活用すべきと考えますか。(〇は1つのみ)

公的機関の情報提供における情報端末等の活用についての考えは、「活用すべきと考える」が65.3%と最も高く、次いで「わからない」(26.2%)、「活用すべきでない」と考える(5.2%)となっている。

性年代別で見ると、男性前期高齢者では「活用すべきと考える」が75.2%と高くなっているが、女性後期高齢者では36.7%と男性前期高齢者の半分以下となっている。

図表 3.5.6 公的機関の情報提供への、携帯電話やスマートフォン、パソコン等の活用について
【ベース：インターネット利用あり】：性年代別



6. 地域活動等への参加状況

(1) この1年間に参加した活動、今後新たに参加したいもの

【 すべての方に 】

問 35 あなた（宛名のご本人）はこの1年間に、個人・団体で次のような地域活動やボランティアに参加したことがありますか（手伝いも含む）。また、その中で、「今後新たに参加したいもの」はありますか。それぞれについて当てはまる番号に○をつけてください。

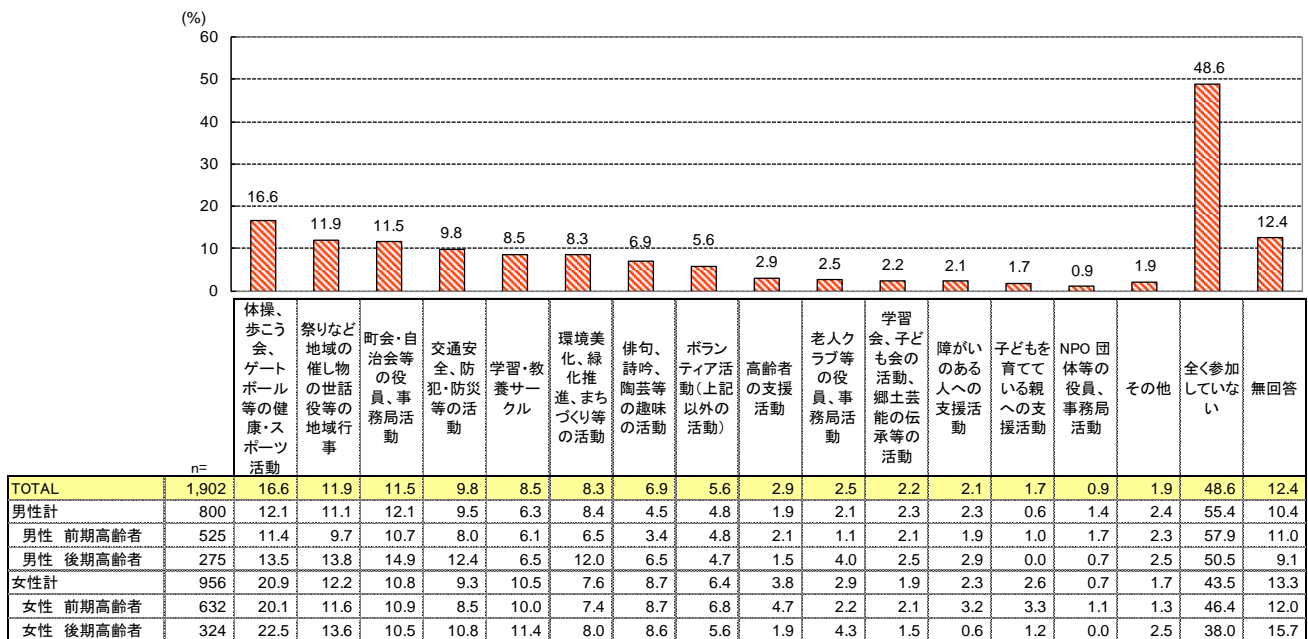
ア～ソの活動にどれも参加したことがない場合、「タ. 全く参加していない」の3番に○をつけてください。

① この1年間に参加した活動

この1年間での地域活動やボランティア活動への参加経験は、約4割（39.0%）となっている（「全く参加していない」（48.6%）、「無回答」（12.4%）を除く）。参加しているものでは、「体操、歩こう会、ゲートボール等の健康・スポーツ活動」が16.6%と最も高く、次いで「祭りなど地域の催し物の世話役等の地域行事」（11.9%）、「町会・自治会等の役員、事務局活動」（11.5%）となっている。

性年代別でみると、「体操、歩こう会、ゲートボール等の健康・スポーツ活動」は男性より女性で高く、「学習・教養サークル」、「俳句、詩吟、陶芸等の趣味の活動」も女性の方が高くなっている。また、「高齢者の支援活動」や、「子どもを育てている親への支援活動」は特に女性前期高齢者で高くなっている。

図表 3.6.1 地域活動やボランティア活動について過去1年間で参加した活動（複数回答）
：性年代別

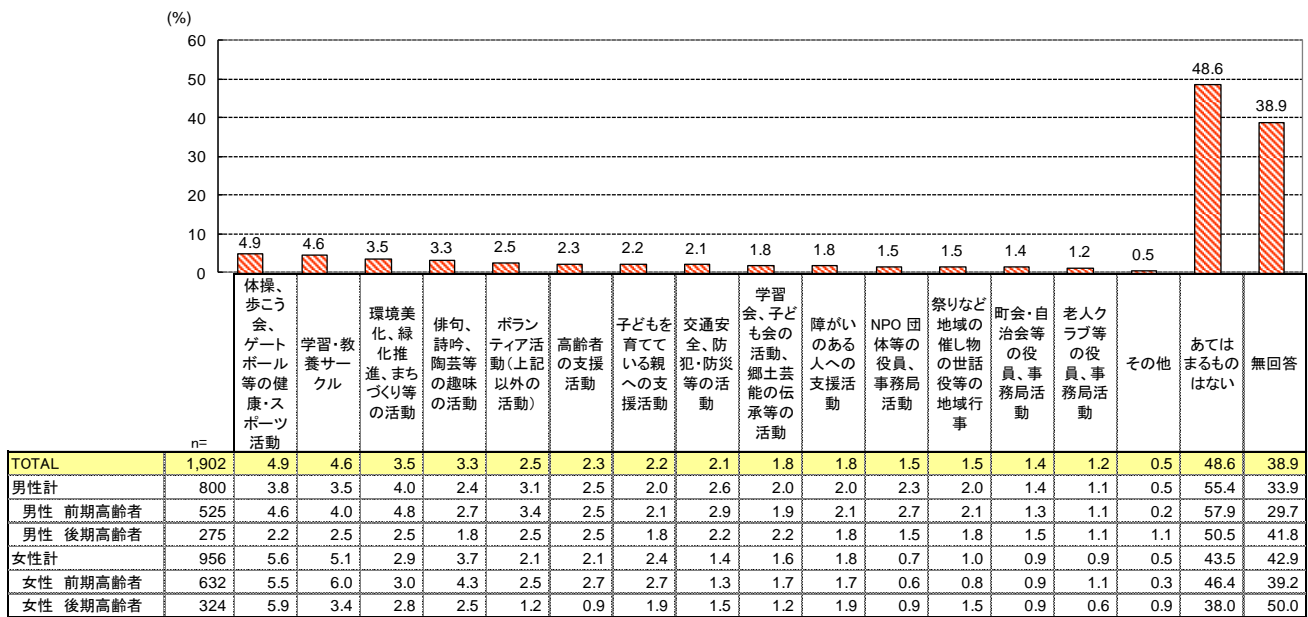


② 今後新たに参加したい活動

今後新たに参加したい活動がある人は 12.5%である。その中では、「体操、歩こう会、ゲートボール等の健康・スポーツ活動」が 4.9%と最も高く、次いで「学習・教養サークル」(4.6%)、「環境美化、緑化推進、まちづくり等の活動」(3.5%)となっている。

性別でみると、「NPO 団体等の役員、事務局活動」は男性で高く、女性で低くなっている。また、性年代別でみると、「環境美化、緑化推進、まちづくり等の活動」は男性前期高齢者で高く、「学習・教養サークル」は女性前期高齢者で高くなっている。

図表 3.6.2 地域活動やボランティア活動について 今後新たに参加したいもの（複数回答）
：性年代別



(2) 最も多く参加した活動

【問 35 で「過去 1 年間に参加したもの」についておうかがいします。】

問 35- 1

- ①最も多く参加したものはどれですか。問 35 の記号ア～ツまでのいずれか 1 つをご記入ください。
- ②その活動への参加頻度はどのくらいですか。(○は 1 つのみ)
- ③その活動の主な場所について、お答えください。(○は 1 つのみ)

③ 最も多く参加したもの

過去 1 年間で最も多く参加した活動については、「体操、歩こう会、ゲートボール等の健康・スポーツ活動」が 23.7%と最も高く、次いで「町会・自治会等の役員、事務局活動」(13.9%)、「学習・教養サークル」(8.3%)となっている。

性年代別でみると、「町会、自治会等の役員、事務局活動」、「NPO 団体等の役員、事務局活動」で男性前期高齢者が高く、「高齢者の支援活動」で女性前期高齢者が高くなっている。

図表 3.6.3 最も多く参加した地域活動やボランティア活動【ベース：地域活動等参加者】
：性年代別

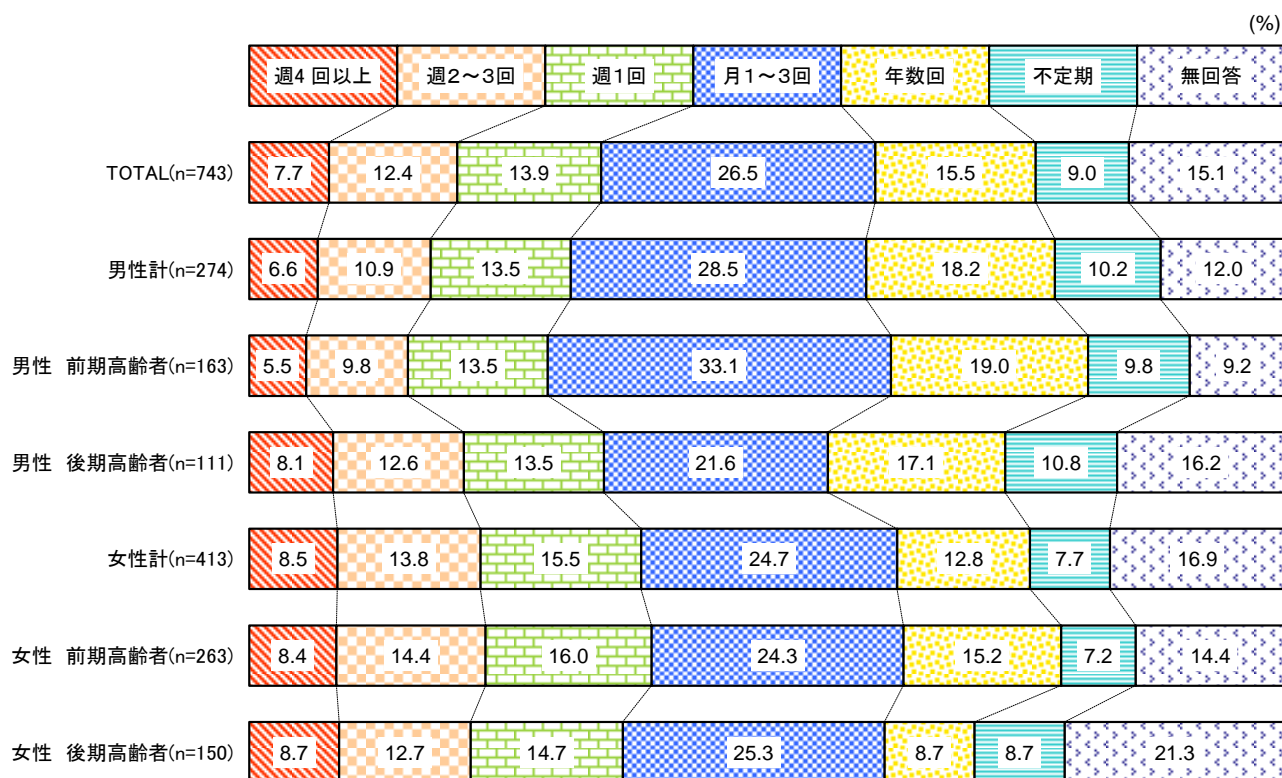
	n=	体操、歩こう会、ゲートボール等の健康・スポーツ活動	町会・自治会等の役員、事務局活動	学習・教養サークル	俳句、詩吟、陶芸等の趣味の活動	祭りなど地域の催し物の世話等の地域行事	ボランティア活動(上記以外の活動)	交通安全、防犯・防災等の活動	環境美化、緑化推進、まちづくり等の活動	高齢者の支援活動	学習会、子ども会の活動、郷土芸能の伝承等の活動	障がいのある人への支援活動	老人クラブ等の役員、事務局活動	子どもを育てている親への支援活動	NPO 団体等の役員、事務局活動	その他	無回答
TOTAL	743	23.7	13.9	8.3	8.2	6.2	4.7	4.3	3.6	1.6	1.5	1.5	1.1	1.1	0.5	3.4	16.4
男性計	274	21.9	19.0	8.0	5.8	5.8	4.7	4.7	3.3	0.4	1.8	1.8	1.1	0.4	1.5	5.5	14.2
男性 前期高齢者	163	23.9	20.9	8.6	3.7	7.4	6.1	3.7	3.1	0.0	1.2	1.2	0.0	0.6	1.8	6.1	11.7
男性 後期高齢者	111	18.9	16.2	7.2	9.0	3.6	2.7	6.3	3.6	0.9	2.7	2.7	2.7	0.0	0.9	4.5	18.0
女性計	413	26.4	10.4	9.2	9.7	5.8	5.1	3.6	3.4	2.7	1.0	1.5	1.2	1.7	0.0	2.2	16.2
女性 前期高齢者	263	27.0	11.8	9.1	10.3	6.5	4.9	4.2	2.3	3.8	1.1	2.3	1.1	2.3	0.0	1.1	12.2
女性 後期高齢者	150	25.3	8.0	9.3	8.7	4.7	5.3	2.7	5.3	0.7	0.7	0.0	1.3	0.7	0.0	4.0	23.3

④ 最も多く参加した活動への参加頻度

最も多く参加した活動への参加頻度は、「月1～3回」が26.5%と最も高く、次いで「年数回」(15.5%)、「週1回」(13.9%)となっている。

性年代別で見ると、男性前期高齢者では「月1～3回」(33.1%)が高く、女性前期高齢者と比べ、週1回以上の参加頻度の割合は低くなっている。

図表 3.6.4 最も多く参加した地域活動やボランティア活動への参加頻度
【ベース：地域活動等参加者】：性年代別



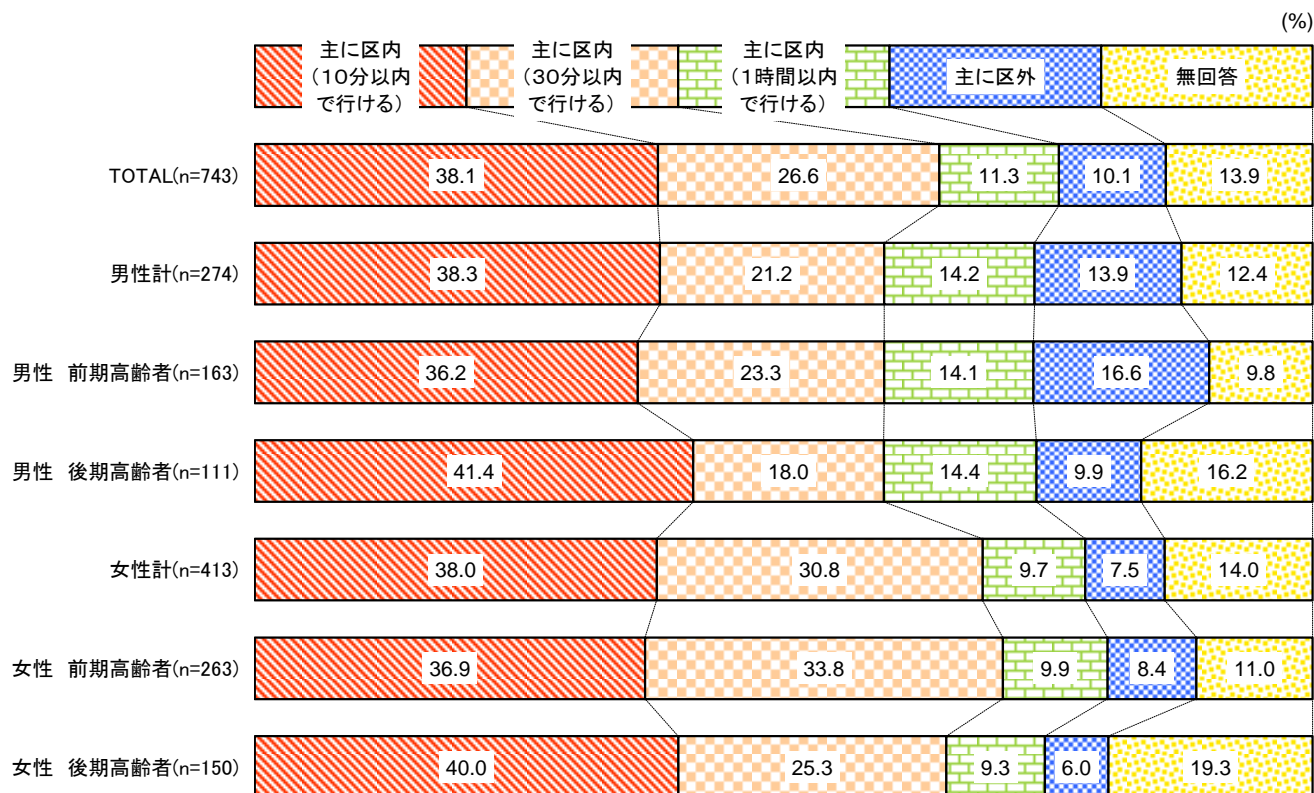
⑤ 最も多く参加した活動の主な場所

最も多く参加した活動の主な場所は、「主に区内（10分以内で行ける）」が38.1%と最も高く、次いで「主に区内（30分以内で行ける）」（26.6%）、「主に区内（1時間以内で行ける）」（11.3%）となっている。

性年代別でみると、男性前期高齢者では、「主に区外」が16.6%と他の性年代よりも高くなっている。

図表 3.6.5 最も多く参加した地域活動やボランティア活動の主な活動場所

【ベース：地域活動等参加者】：性年代別



(3) 地域活動等に参加しない理由

【問 35 で「タ. 全く参加していない」と回答した方におうかがいします。】

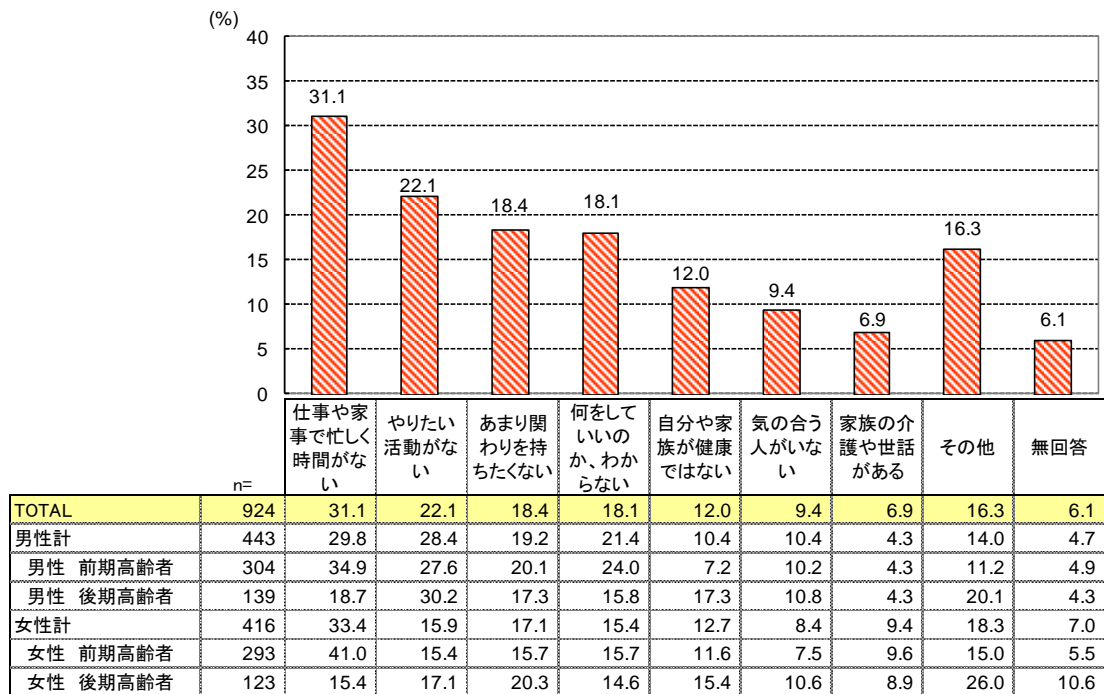
問 35-2 参加をしていない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

地域活動等に全く参加していない理由については、「仕事や家事で忙しく時間がない」が 31.1%と最も高く、次いで「やりたい活動がない」(22.1%)、「あまり関わりを持ちたくない」(18.4%) となっている。

性別でみると、「やりたい活動がない」は男性で女性より高くなっている。また、性年代別でみると、男性前期高齢者では、「何をしたいのか、わからない」(24.0%) も高くなっている。

図表 3.6.6 地域活動やボランティア活動に参加していない理由（複数回答）

【ベース：地域活動等未参加者】：性年代別



(4) 地域活動等に参加するきっかけになると思うこと

【問 35 で「タ. 全く参加していない」と回答した方におうかがいします。】

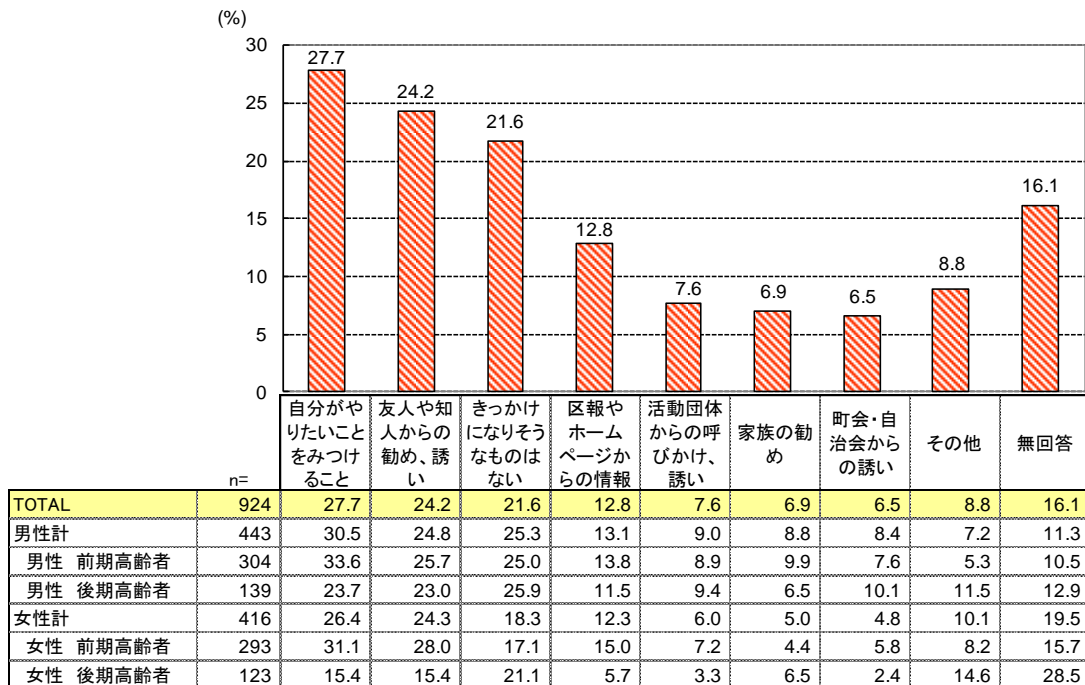
問 35-3 参加をするきっかけになると思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

地域活動等に全く参加していない人について、参加するきっかけになると思うことは、「自分がやりたいことをみつけること」が 27.7%と最も高く、次いで「友人や知人からの勧め、誘い」(24.2%)、「きっかけになりそうなものはない」(21.6%)となっている。

性別でみると、「自分がやりたいことをみつけること」が男性(30.5%)で女性の26.4%より高くなっている。また、性年代別でみると、男性前期高齢者では、「家族の勧め」が高くなっている。後期高齢者では男女ともに「きっかけになりそうなものはない」が最も高くなっている。

図表 3.6.7 地域活動やボランティア活動に参加するきっかけになると思うこと(複数回答)

【ベース：地域活動等未参加者】：性年代別



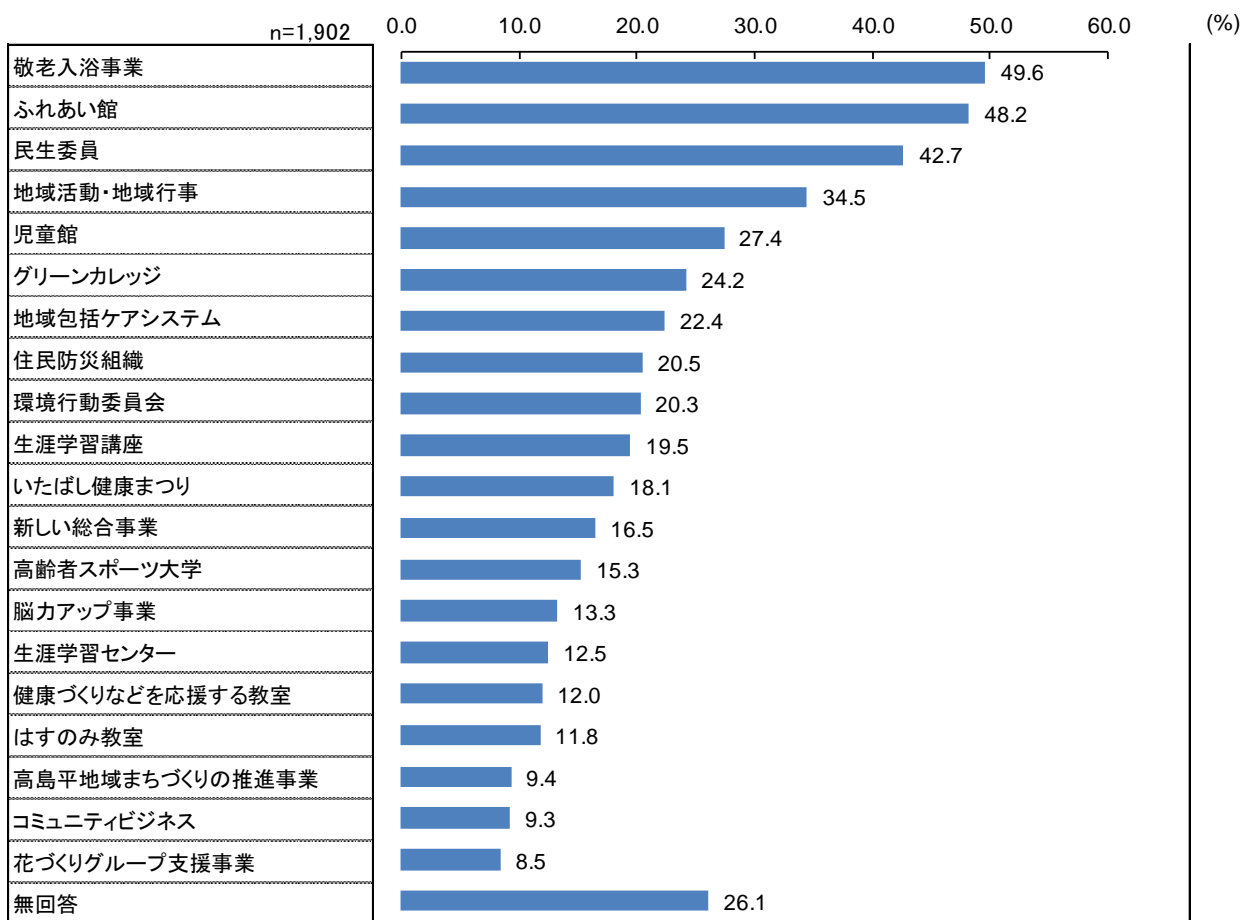
7. 区の実施の認知・参加状況

(1) 区の実施に対する認知・参加状況

問 36 あなた（宛名のご本人）は、次に掲げる、区の実施の事業について、知っているものはありますか。また、利用・参加しているものはありますか。それぞれ当てはまる番号をお選びください。

区の実施の事業について、知っているものでは、「敬老入浴事業（公衆浴場利用の入浴回数券）」が 49.6%と最も高く、次いで「ふれあい館（健康増進や教養・レクリエーションなどが楽しめる施設）」（48.2%）、「民生委員（見守り・生活支援相談など）」（42.7%）となっている。

図表 3.7.1 区の実施の事業についての認知状況（複数回答）



性別でみると、「住民防災組織（区民が地震などの災害に備えて自主的に結成する組織）」を除き、すべて女性の方が男性より認知（知っている割合）が高くなっている。また、「敬老入浴事業」、「ふれあい館」、「グリーンカレッジ（高齢者大学校「教養課程・専門課程」）」では女性の方が男性より10ポイント以上、認知状況が高くなっている。

図表 3.7.2 区の様々な事業についての認知状況（複数回答）：性年代別

	TOTAL	男性計	男性 前期 高齢者	男性 後期 高齢者	女性計	女性 前期 高齢者	女性 後期 高齢者	前期 高齢者	後期 高齢者
n=	1902	800	525	275	956	632	324	1188	662
敬老入浴事業	49.6	43.1	40.0	49.1	55.4	54.6	57.1	47.6	54.1
ふれあい館	48.2	40.9	39.2	44.0	54.9	54.3	56.2	47.2	50.5
民生委員	42.7	38.3	38.3	38.2	47.1	48.6	44.1	43.6	41.5
地域活動・地域行事	34.5	32.1	33.3	29.8	37.6	38.1	36.4	35.6	33.4
児童館	27.4	24.0	27.4	17.5	31.1	33.2	26.9	30.3	22.5
グリーンカレッジ	24.2	16.9	16.2	18.2	31.2	34.5	24.7	25.8	21.6
地域包括ケアシステム	22.4	18.5	17.5	20.4	25.9	25.9	25.9	22.1	23.3
住民防災組織	20.5	20.5	20.2	21.1	20.3	19.9	21.0	20.3	21.1
環境行動委員会	20.3	16.6	15.8	18.2	23.1	22.5	24.4	19.5	21.5
生涯学習講座	19.5	17.4	17.5	17.1	21.9	24.2	17.3	21.0	16.9
いたばし健康まつり	18.1	15.6	17.0	13.1	20.5	20.6	20.4	18.9	16.3
新しい総合事業	16.5	13.6	13.9	13.1	19.0	19.8	17.6	17.0	15.7
高齢者スポーツ大学	15.3	13.9	13.3	14.9	16.9	17.2	16.4	15.3	15.4
脳力アップ事業	13.3	12.0	11.2	13.5	15.1	15.7	13.9	13.5	13.1
生涯学習センター	12.5	11.4	11.2	11.6	13.9	16.0	9.9	13.8	10.4
健康づくりなどを応援する教室	12.0	10.4	9.5	12.0	12.8	12.5	13.3	11.1	13.3
はすのみ教室	11.8	7.4	6.9	8.4	15.7	14.9	17.3	11.2	13.3
高島平地域まちづくりの推進事業	9.4	9.3	8.2	11.3	9.8	11.2	7.1	9.9	8.6
コミュニティビジネス	9.3	8.0	7.8	8.4	10.4	11.2	8.6	9.6	8.6
花づくりグループ支援事業	8.5	7.0	6.3	8.4	9.8	10.1	9.3	8.4	8.6
無回答	26.1	31.4	31.8	30.5	20.1	19.6	21.0	25.8	25.5

区の様々な事業について、「利用・参加している」割合は、高い順に「地域活動・地域行事」(7.6%)、「敬老入浴事業」(7.5%)、「ふれあい館」(5.8%)、「環境行動委員会」(5.2%)、「住民防災組織」(4.8%)となっている。

知っている人の利用・参加割合が高いものとしては、「環境行動委員会」(知っている人の25.6%)、次いで「住民防災組織」(知っている人の23.6%)、「地域活動・地域行事」(知っている人の21.9%)となっている。

図表 3.7.3 区の様々な事業についての認知・利用状況(複数回答)

	n=	知っている	利用・参加している	無回答	知っている人の利用・参加割合	
					上段:度数	下段:%
敬老入浴事業	1902 100	944 49.6	142 7.5	865 45.5		15.0
ふれあい館	1902 100	917 48.2	111 5.8	914 48.1		12.1
民生委員	1902 100	812 42.7	12 0.6	1,081 56.8		1.5
地域活動・地域行事	1902 100	657 34.5	144 7.6	1,152 60.6		21.9
児童館	1902 100	521 27.4	18 0.9	1,368 71.9		3.5
グリーンカレッジ	1902 100	461 24.2	61 3.2	1,399 73.6		13.2
地域包括ケアシステム	1902 100	426 22.4	19 1.0	1,462 76.9		4.5
住民防災組織	1902 100	390 20.5	92 4.8	1,454 76.4		23.6
環境行動委員会	1902 100	386 20.3	99 5.2	1,451 76.3		25.6
生涯学習講座	1902 100	370 19.5	45 2.4	1,501 78.9		12.2
いたばし健康まつり	1902 100	345 18.1	39 2.1	1,530 80.4		11.3
新しい総合事業	1902 100	313 16.5	17 0.9	1,573 82.7		5.4
高齢者スポーツ大学	1902 100	291 15.3	31 1.6	1,589 83.5		10.7
脳力アップ事業	1902 100	253 13.3	32 1.7	1,623 85.3		12.6
生涯学習センター	1902 100	238 12.5	43 2.3	1,635 86.0		18.1
健康づくりなどを応援する教室	1902 100	228 12.0	32 1.7	1,650 86.8		14.0
はすのみ教室	1902 100	225 11.8	30 1.6	1,652 86.9		13.3
高島平地域まちづくりの推進事業	1902 100	178 9.4	21 1.1	1,703 89.5		11.8
コミュニティビジネス	1902 100	176 9.3	21 1.1	1,708 89.8		11.9
花づくりグループ支援事業	1902 100	161 8.5	22 1.2	1,721 90.5		13.7

8. 老人クラブについて

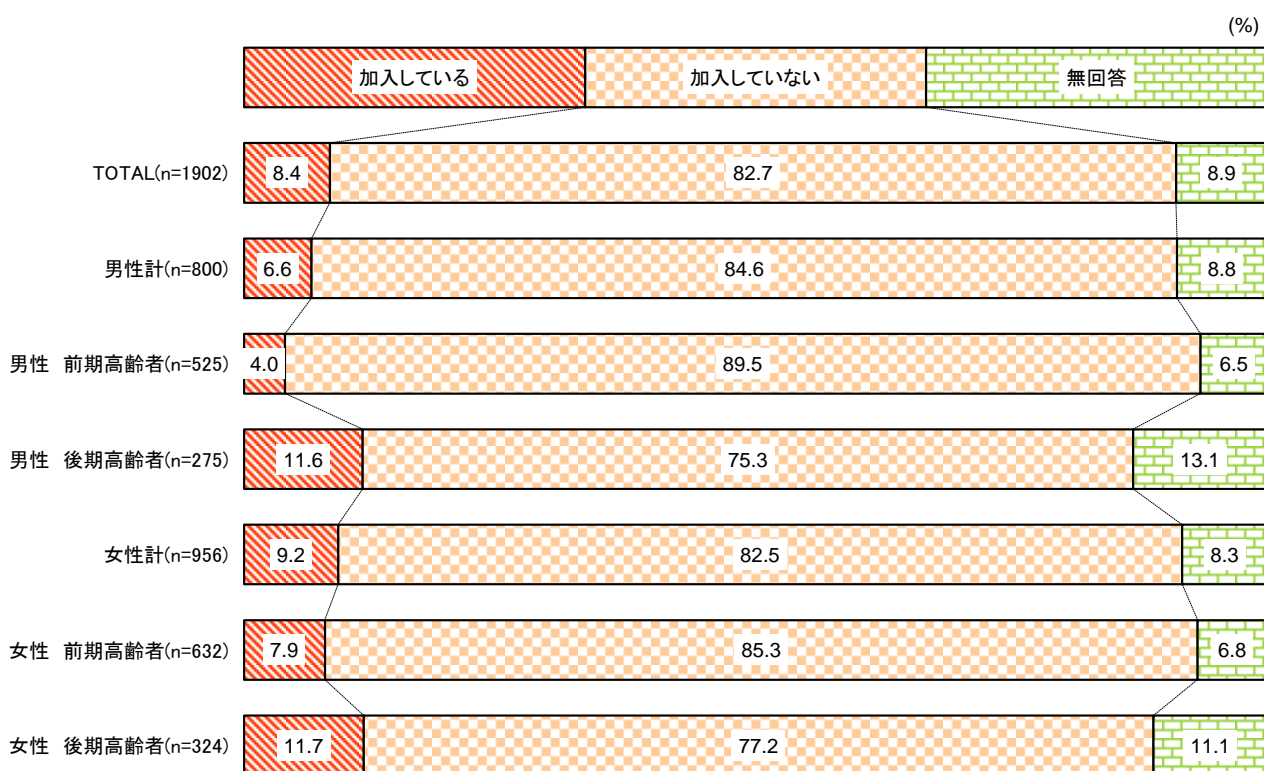
(1) 老人クラブへの加入状況

問 37 あなた（宛名のご本人）は現在、老人クラブ（区内の60歳以上の方が加入できる自主的な組織で、教養の向上、健康の増進、社会奉仕を目的として様々な活動を行っています。）に加入していますか。（○は1つのみ）

老人クラブに「加入している」は8.4%、「加入していない」は82.7%となっている。

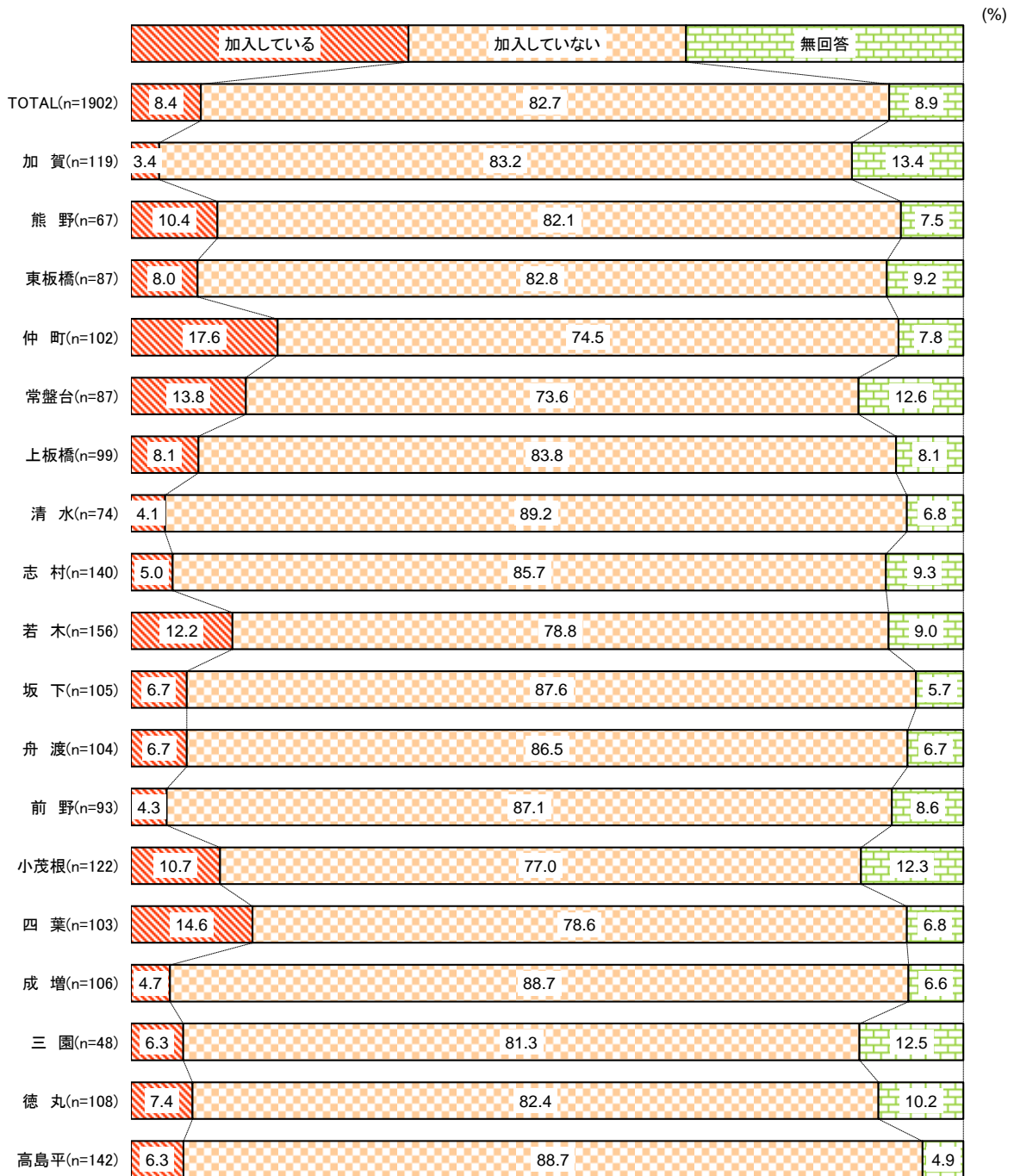
性年代別で見ると、男女ともに前期高齢者に比べて後期高齢者のほうが「加入している」が高く、男性後期高齢者で11.6%、女性後期高齢者で11.7%となっている。また、男性前期高齢者では「加入している」が4.0%と最も低くなっている。

図表 3.8.1 老人クラブへの加入状況：性年代別



地区別でみると、「加入している」は、仲町が17.6%と最も高く、次いで四葉（14.6%）、常盤台（13.8%）となっている。一方、加賀（3.4%）、清水（4.1%）、前野（4.3%）では低くなっている。

図表 3.8.2 老人クラブへの加入状況：地区別



(2) 老人クラブに参加しない理由

【問 37 で「2. 加入していない」とお答えの方におうかがいします。】

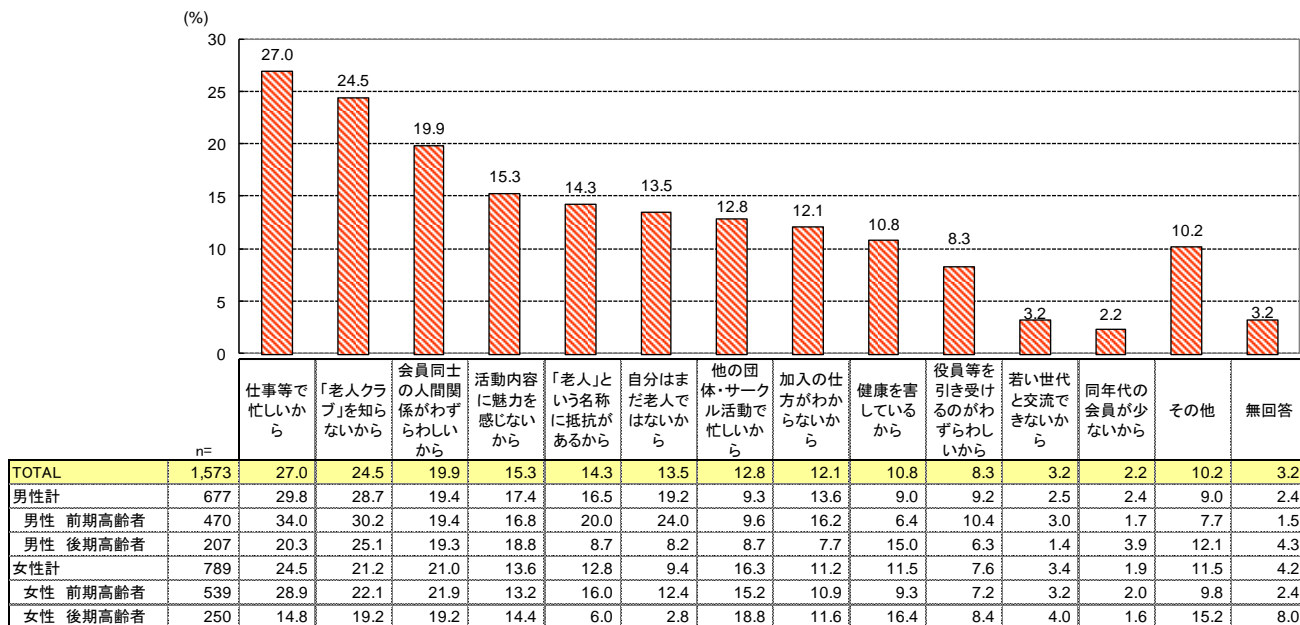
問 37-1 加入していない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

老人クラブへ加入していない理由としては、「仕事等で忙しいから」が 27.0%と最も高く、次いで「老人クラブ」を知らないから(24.5%)、「会員同士の間関係がわずらわしいから」(19.9%)となっている。

性別でみると、理由の上位3項目は男女とも同順となっているが、4番目に男性では「自分はまだ老人ではないから」(19.2%)、女性では「他の団体・サークル活動で忙しいから」(16.3%)があげられている。

また、性年代別でみると、男性前期高齢者では「老人」という名称に抵抗があるから(20.0%)や「加入の仕方がわからないから」(16.2%)が高く、後期高齢者では「健康を害しているから」が男性 15.0%、女性 16.4%と1割を超えている。

図表 3.8.3 老人クラブへ加入していない理由(複数回答)【ベース:老人クラブ未加入者】
: 性年代別



地区別でみると、「仕事等で忙しいから」は熊野（43.6%）で最も高く、「老人クラブ」を知らないから」は前野（35.8%）で最も高くなっている。また、「会員同士の人間関係がわずらわしいから」は仲町（34.2%）で最も高くなっている。

図表 3.8.4 老人クラブへ加入していない理由（複数回答）

【ベース：老人クラブ未加入者】：地区別

n=	仕事等で忙しいから	「老人クラブ」を知らないから	会員同士の人間関係がわずらわしいから	活動内容に魅力を感じないから	「老人」という名称に抵抗があるから	自分はまだ老人ではないから	他の団体・サークル活動で忙しいから	加入の仕方がわからないから	健康を害しているから	役員等を引き受けるとがわずらわしいから	若い世代と交流できないから	同年代の会員が少ないから	その他	無回答	(%)
	TOTAL	1,573	27.0	24.5	19.9	15.3	14.3	13.5	12.8	12.1	10.8	8.3	3.2	2.2	10.2
加賀	99	28.3	23.2	17.2	25.3	17.2	15.2	17.2	9.1	8.1	8.1	5.1	3.0	6.1	3.0
熊野	55	43.6	18.2	27.3	18.2	9.1	20.0	12.7	9.1	5.5	12.7	7.3	1.8	9.1	0.0
東板橋	72	23.6	22.2	22.2	15.3	19.4	18.1	13.9	12.5	15.3	13.9	6.9	5.6	9.7	2.8
仲町	76	28.9	18.4	34.2	21.1	11.8	13.2	11.8	10.5	7.9	6.6	5.3	1.3	5.3	5.3
常盤台	64	23.4	23.4	25.0	14.1	9.4	7.8	17.2	7.8	17.2	4.7	3.1	0.0	10.9	3.1
上板橋	83	28.9	13.3	22.9	19.3	15.7	16.9	14.5	8.4	10.8	3.6	2.4	2.4	8.4	6.0
清水	66	28.8	25.8	25.8	13.6	18.2	7.6	9.1	10.6	13.6	4.5	1.5	1.5	9.1	3.0
志村	120	23.3	29.2	15.0	12.5	11.7	10.8	11.7	18.3	9.2	7.5	2.5	1.7	17.5	3.3
若木	123	30.9	23.6	22.8	9.8	17.1	8.1	13.8	10.6	6.5	9.8	2.4	1.6	10.6	2.4
坂下	92	18.5	28.3	21.7	17.4	15.2	17.4	13.0	18.5	13.0	12.0	1.1	2.2	9.8	2.2
舟渡	90	32.2	32.2	20.0	15.6	11.1	10.0	16.7	10.0	4.4	7.8	2.2	2.2	13.3	2.2
前野	81	23.5	35.8	14.8	16.0	6.2	14.8	13.6	17.3	9.9	8.6	3.7	2.5	8.6	3.7
小茂根	94	21.3	23.4	23.4	16.0	19.1	13.8	11.7	13.8	12.8	6.4	3.2	4.3	11.7	4.3
四葉	81	25.9	18.5	13.6	12.3	17.3	21.0	11.1	16.0	17.3	9.9	2.5	3.7	13.6	4.9
成増	94	21.3	27.7	18.1	18.1	11.7	12.8	10.6	13.8	17.0	8.5	3.2	1.1	8.5	2.1
三園	39	20.5	12.8	7.7	15.4	25.6	15.4	7.7	12.8	12.8	12.8	0.0	0.0	15.4	2.6
徳丸	89	30.3	27.0	13.5	15.7	11.2	14.6	10.1	10.1	10.1	9.0	1.1	2.2	5.6	2.2
高島平	126	30.2	23.0	17.5	6.3	12.7	11.9	13.5	7.9	7.9	6.3	4.0	0.8	11.1	4.0
無回答	29	34.5	34.5	13.8	13.8	20.7	13.8	6.9	6.9	13.8	6.9	3.4	3.4	6.9	3.4

9. 今後の意向

(1) これからの生活で今以上に取り組みたい・心がけたいもの

問 38 あなた（宛名のご本人）は、これからの生活について、次にあげるものについて今まで以上に取り組みたい・心がけたいものは何ですか。当てはまる番号をお選びください。

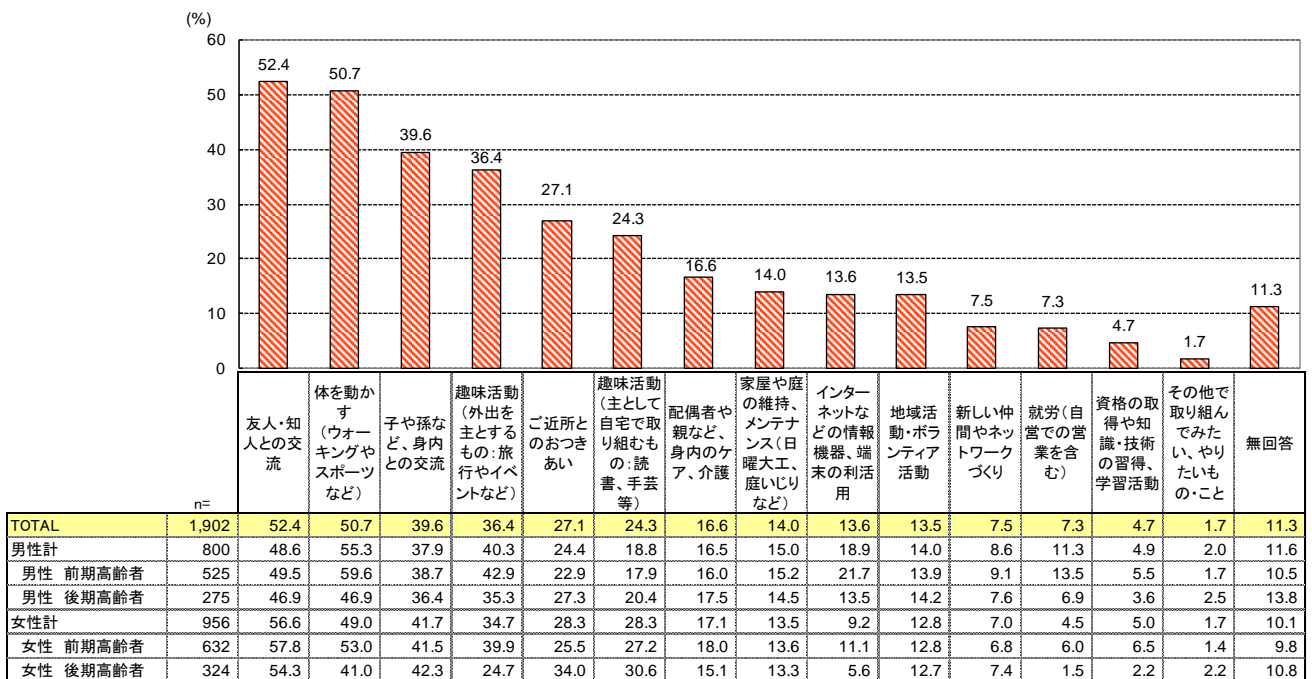
（○はいくつでも）

これからの生活で今まで以上に取り組みたい・心がけたいことは、「友人・知人との交流」が 52.4%と最も高く、次いで「体を動かす(ウォーキングやスポーツなど)」(50.7%)、「子や孫など、身内との交流」(39.6%)、「趣味活動（外出を主とするもの：旅行やイベントなど）」(36.4%)となっている。

「地域活動・ボランティア活動」(13.5%)、「新しい仲間やネットワークづくり」(7.5%)、「就労（自営での営業を含む）」(7.3%)はいずれも1割前後となっている。

性別でみると「友人・知人との交流」は、男性(48.6%)より女性(56.6%)の方が高くなっている。また、性年代別でみると、「体を動かす(ウォーキングやスポーツなど)」は、男性前期高齢者で59.6%と最も高くなっている。一方、「ご近所とおつきあい」は、女性後期高齢者で34.0%と高くなっている。

図表 3.9.1 これからの生活で今まで以上に取り組みたい・心掛けたいこと（複数回答）：性年代別



地区別でみると、「友人・知人との交流」では三園（64.6%）、舟渡（64.4%）で高く、上板橋（43.4%）で低くなっている。「子や孫など、身内との交流」では、坂下（48.6%）、舟渡（48.1%）で高く、上板橋（28.3%）、小茂根（32.0%）で低くなっている。「新しい仲間やネットワークづくり」は志村（12.1%）で高くなっている。また、「家屋や庭の維持、メンテナンス（日曜大工、庭いじりなど）」は常盤台（23.0%）、四葉（20.4%）、三園（27.1%）で高く、高島平（4.2%）では低くなっている。「就労（自営での営業を含む）」は加賀（15.1%）で他の地区より高くなっている。

図表 3.9.2 これからの生活で今まで以上に取り組みたい・心掛けたいこと（複数回答）：地区別

	n=	友人・知人との交流	体を動かす(ウォーキングやスポーツなど)	子や孫など、身内との交流	趣味活動(外出を主とするもの:旅行やイベントなど)	ご近所とおつきあい	趣味活動(主として自宅で取り組むもの:読書、手芸等)	配偶者や親など、身内のケア、介護	家屋や庭の維持、メンテナンス(日曜大工、庭いじりなど)	インターネットなどの情報機器、端末の利活用	地域活動・ボランティア活動	新しい仲間やネットワークづくり	就労(自営での営業を含む)	資格の取得や知識・技術の習得、学習活動	その他で取り組んでみたい、やりたいもの・こと	無回答
TOTAL	1,902	52.4	50.7	39.6	36.4	27.1	24.3	16.6	14.0	13.6	13.5	7.5	7.3	4.7	1.7	11.3
加賀	119	48.7	54.6	41.2	39.5	33.6	28.6	18.5	16.8	16.8	12.6	10.9	15.1	5.9	1.7	14.3
熊野	67	52.2	50.7	40.3	35.8	20.9	17.9	14.9	13.4	13.4	9.0	4.5	7.5	1.5	0.0	17.9
東板橋	87	49.4	43.7	41.4	23.0	31.0	19.5	24.1	16.1	16.1	19.5	5.7	10.3	5.7	1.1	9.2
仲町	102	54.9	42.2	43.1	34.3	27.5	23.5	14.7	14.7	15.7	10.8	4.9	11.8	5.9	0.0	15.7
常盤台	87	56.3	42.5	32.2	32.2	27.6	29.9	17.2	23.0	13.8	11.5	8.0	1.1	4.6	0.0	10.3
上板橋	99	43.4	53.5	28.3	37.4	19.2	28.3	19.2	16.2	11.1	12.1	4.0	7.1	8.1	1.0	12.1
清水	74	48.6	48.6	40.5	28.4	32.4	24.3	14.9	8.1	13.5	14.9	5.4	5.4	6.8	0.0	16.2
志村	140	50.0	53.6	39.3	34.3	24.3	21.4	16.4	12.9	15.7	12.9	12.1	6.4	7.1	5.0	7.9
若木	156	50.0	53.8	40.4	40.4	26.9	24.4	15.4	10.9	10.9	12.8	8.3	7.1	6.4	2.6	9.6
坂下	105	58.1	55.2	48.6	43.8	25.7	20.0	14.3	8.6	12.4	17.1	11.4	7.6	6.7	1.9	8.6
舟渡	104	64.4	48.1	48.1	40.4	31.7	22.1	16.3	12.5	12.5	15.4	7.7	3.8	3.8	1.0	8.7
前野	93	49.5	51.6	39.8	41.9	24.7	20.4	15.1	11.8	8.6	9.7	5.4	7.5	2.2	1.1	7.5
小茂根	122	53.3	46.7	32.0	35.2	33.6	24.6	13.9	13.9	13.1	10.7	7.4	4.1	2.5	5.7	14.8
四葉	103	53.4	52.4	39.8	30.1	25.2	31.1	18.4	20.4	11.7	18.4	7.8	7.8	2.9	0.0	11.7
成増	106	45.3	53.8	36.8	41.5	23.6	20.8	14.2	17.0	16.0	14.2	8.5	8.5	5.7	4.7	16.0
三園	48	64.6	52.1	43.8	39.6	31.3	20.8	14.6	27.1	14.6	16.7	4.2	12.5	0.0	0.0	6.3
徳丸	108	51.9	50.0	38.0	31.5	26.9	26.9	17.6	17.6	11.1	9.3	6.5	4.6	0.9	1.9	8.3
高島平	142	54.9	55.6	39.4	38.7	23.2	25.4	16.9	4.2	14.8	13.4	5.6	7.0	4.9	0.0	11.3

第4章 資料編

1. 調査票

これからの健康・生きがい・社会参加についてのアンケート 調 査 票

ご あ い さ つ

我が国は2025年には団塊の世代のすべてが75歳以上の後期高齢者に移行するとされているなど、高齢化が急速に進んでいます。

板橋区では、区の基本構想に掲げる「豊かな健康長寿社会」の実現を目指して、元気でその人に合った高齢期を支えるため「健康づくり」「生涯学習・スポーツ」「社会貢献」「就労・起業支援」など、様々な機会づくりとともに、より積極的な生活を送るための取り組みの充実を目指して、平成29年度に（仮称）「板橋区シニア活動推進計画」を策定することとしています。このたび、皆様の忌憚のないご意見等をおうかがいしながら仕組みづくりを進めることを目的としてアンケートを実施することとなりました。

なお、この調査は区内在住の65歳～84歳の方3,000名を対象としております。

皆様からいただいた回答は、本調査の目的以外に使用することはなく、統計的に処理し有効に活用いたします。また、回答については記名の必要がなく、プライバシー保護に関しても万全を期していますので、ご安心ください。

このアンケートの結果につきましては、（仮称）「板橋区シニア活動推進計画」策定にあたっての重要な基礎資料とさせていただきたいと考えております。皆様のご理解・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成29年 1月

板橋区長 坂本 健

《この調査票のご記入に当たって》

- この調査票では、宛名のご本人を「あなた」とします。できるだけご本人がお答えください。ただし、ご本人が答えられないときは、どなたかがご本人の意見を聞いて、又はご本人の立場に立ってお答えください。
- すべての質問に、問1から順番に回答してください。途中、回答内容により、次に答える問をご案内していますので、それに沿ってください。
- ご記入は、黒鉛筆、黒若しくは青のボールペン又はサインペンをお使いください。
- 回答は、当てはまる項目を選び、その番号を○で囲むもの、又は文字若しくは数字等を記入するものがあります。質問文にある（○は1つのみ）（○はいくつでも）等の指定に従ってご記入ください。
- 質問の回答が「その他」に当てはまる場合、○をつけたうえで（ ）内に、なるべく具体的にその内容をご記入していただく場合もあります。

ご記入いただいた本調査票は三つ折りにして、**1月25日（水）まで**

に、**同封の返信用封筒（切手不要）**によりポストに投函してください。

※返信用封筒に、住所・氏名の記入は必要ありません。

この調査についてのお問い合わせは、下記までお願いします。

板橋区役所 健康生きがい部 長寿社会推進課 計画調整係 電話 3579-2371（直通）

問1 この調査票を記入するのはどなたですか。(〇は1つのみ)

1. あなた(宛名のご本人)	2. ご家族	3. その他
----------------	--------	--------

問2 あなた(ご本人:封筒の宛名の方)は現在、どちらに住んでいますか。(〇は1つのみ)

1. ご自宅(ショートステイ利用者含む) 2. 区内の親族等の家	<p>問3へお進みください。</p> <p>ここでアンケートは終了です。ご協力ありがとうございました。 同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに投函してください。</p>
3. その他(入院中、区外転出、亡くなった等)	

問3 あなた(宛名のご本人)の性別と、平成29年1月1日現在の満年齢をお答えください。(〇はそれぞれ1つずつ)

性別	1. 男性	2. 女性		
年齢	1. 65~69歳	2. 70~74歳	3. 75~79歳	4. 80~84歳

問4 あなた(宛名のご本人)のお住まいはどちらですか。当てはまる地区に〇をつけてください。また、丁目がある場合には、当てはまる丁目にも〇をつけてください。(〇はそれぞれ1つずつ)

1. 相生町	13. 大山金井町	25. 志村	37. 成増	49. 三園
2. 赤塚	14. 大山西町	26. 新河岸	38. 西台	50. 南町
3. 赤塚新町	15. 大山東町	27. 大門	39. 蓮沼町	51. 南常盤台
4. 小豆沢	16. 加賀	28. 高島平	40. 蓮根	52. 宮本町
5. 泉町	17. 上板橋	29. 東新町	41. 東坂下	53. 向原
6. 板橋	18. 熊野町	30. 常盤台	42. 東山町	54. 大和町
7. 稲荷台	19. 小茂根	31. 徳丸	43. 氷川町	55. 弥生町
8. 大原町	20. 幸町	32. 中板橋	44. 富士見町	56. 四葉
9. 大谷口	21. 栄町	33. 仲宿	45. 双葉町	57. 若木
10. 大谷口上町	22. 坂下	34. 中台	46. 舟渡	
11. 大谷口北町	23. 桜川	35. 仲町	47. 本町	
12. 大山町	24. 清水町	36. 中丸町	48. 前野町	

丁目がある場合には、当てはまる丁目にも〇をつけてください。

1. 一丁目	4. 四丁目	7. 七丁目
2. 二丁目	5. 五丁目	8. 八丁目
3. 三丁目	6. 六丁目	9. 九丁目

問5 あなた（宛名のご本人）の問4でお答えの地区での居住年数をお答えください。

※ 区内転居や増改築等されている場合でも通算してお答えください。（〇は1つのみ）

- | | | | |
|-----------|-------------|-------------|----------|
| 1. 1年未満 | 3. 5～10年未満 | 5. 15～20年未満 | 7. 30年以上 |
| 2. 1～5年未満 | 4. 10～15年未満 | 6. 20～30年未満 | |

問6 あなた（宛名のご本人）の世帯の状況をお選びください。（〇は1つのみ）

- | | | |
|-----------------------|------------------|-------|
| 1. ひとり暮らし | 4. 子や孫など同居 | 問6-1へ |
| 2. 夫婦二人暮らしで二人とも65歳以上 | 5. 前掲以外で全員が65歳以上 | |
| 3. 夫婦二人暮らしで一人だけが65歳以上 | 6. その他 | |

【問6で「4.子や孫など同居」とお答えの方におうかがいします。】

問6-1 同居されている方はどなたですか。（〇はいくつでも）

- | | | | |
|--------------|----------|------------|--------|
| 1. 息子・娘 | 3. 孫 | 5. 配偶者 | 7. その他 |
| 2. 息子又は娘の配偶者 | 4. 兄弟・姉妹 | 6. 親・配偶者の親 | |

【すべての方に】

問7 あなた（宛名のご本人）は、ご家族などの介護をしていますか。（〇は1つのみ）

- | |
|---------------------------------------|
| 1. 現在介護をしている |
| 2. 現在介護をしていないが、今後介護する立場になる可能性が高い |
| 3. 現在介護をしていないし、今後も介護する立場になる可能性はほとんどない |

問8 あなた（宛名のご本人）のお住まいは、次のどれにあてはまりますか。（〇は1つのみ）

- | | |
|----------------------------|--------------|
| 1. 持ち家の戸建て住宅（借地に持ち家の場合も含む） | 4. 民間賃貸の集合住宅 |
| 2. 持ち家の集合住宅 | 5. 民間賃貸の戸建て |
| 3. 公的賃貸住宅（区営・都営・UR・公社等） | 6. その他 |

問9 あなた（宛名のご本人）は、定期的な収入をどこから得ていますか。（〇はいくつでも）

- | | | |
|------------|---------------|--------------|
| 1. 公的年金や恩給 | 3. 株式の配当 | 5. 親族等からの仕送り |
| 2. 給与等 | 4. 土地・家屋の家賃収入 | 6. その他 |
| （具体的に） | | |

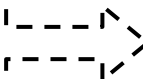
問10 あなた（宛名のご本人）の世帯の、今の暮らし向きはいかがですか。（〇は1つのみ）

- | | |
|--------------|--------------|
| 1. 非常にゆとりがある | 4. やや苦勞している |
| 2. ややゆとりがある | 5. 非常に苦勞している |
| 3. どちらともいえない | |

問 11 あなた（宛名のご本人）の現在の職業をお答えください。副業があるなど複数の仕事をお持ちの場合も、主な職業に1つだけ〇をつけてください。（〇は1つのみ）

1. 管理的職業（会社・団体役員、管理職の公務員・会社員など）
2. 専門的・技術的職業（教員、医療職、技術者など）
3. 事務（一般事務、会計事務、営業事務など）
4. 販売（商品販売、営業職、卸売など）
5. サービス職業（理・美容師、調理師、介護職、管理人など）
6. 保安職業（警備員、警察・消防官、自衛官など）
7. 農林漁業（農業、畜産、林業、漁業など）
8. 生産工程（機械整備・修理、製造・加工など）
9. 輸送・機械運転（鉄道、バス・タクシー、船舶、航空など）
10. 建設・採掘（電気工事、土木作業、大工など）
11. 運搬・清掃・包装など（配達員、建物清掃、ゴミ処理など）
12. その他（具体的に _____ ）
13. 主婦・主夫（パートタイム従業者）

14. 主婦・主夫（専業）
 15. 学生
 16. 無職・仕事からは引退した



問 12 へお進みください。

問 11-1 現在のお仕事の主な雇用形態は次のどれに当てはまりますか。（〇は1つのみ）

自営の仕事	雇われている方	団体等役員・その他
<ol style="list-style-type: none"> 1. 自営業主、自由業 2. 家族従業 (家業などの手伝い) 	<ol style="list-style-type: none"> 3. 正規職員・正規従業者 4. パート・アルバイト・契約社員 5. 嘱託 6. 人材派遣企業の派遣社員 7. その他の雇用者 	<ol style="list-style-type: none"> 8. 会社・団体などの管理職・役員 9. 家庭での内職 10. その他（前掲 1～9以外） 〔具体的に _____ 〕

問 11-2 あなた（宛名のご本人）の現在の働き方は、どれに当てはまりますか。（〇は1つのみ）

1. フルタイムで働いている（おおむね週に 35 時間以上）
2. 定期的に働いているが、週に 35 時間より少ない
3. 不定期に働いている

問 11-3 今の仕事に「いきがい」を感じていますか。（〇は1つのみ）

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. とても感じる 2. まあまあ感じる 3. あまり感じない 4. 全く感じない |
|--|

問 11-4 仕事に関する情報はどこで探しましたか。(〇はいくつでも)

1. 友人、知人、家族などの紹介	6. 東京しごと財団
2. 新聞チラシ等の求人広告や求人情報誌	7. インターネットを使って(検索など)
3. アクティブシニア就業支援センター (はつらつシニアいたばし)	8. 再雇用
4. シルバー人材センター	9. 就職活動はしていない(自営業なので、等)
5. ハローワークでの紹介	10. その他 (具体的に)

問 11-5 何歳まで働き続けたいと思いますか。(〇は1つのみ)

1. 65~69 歳	3. 75~79 歳	5. 85 歳以上
2. 70~74 歳	4. 80~84 歳	6. わからない

問 11-6 現在の勤め先のご自身(宛名のご本人)の定年は何歳ですか。再雇用の場合を含めた上限の年齢をお答えください。

歳

【 すべての方に 】

問 12 あなた(宛名のご本人)の65歳以前の就業状況をお答えください。(〇は1つのみ)

1. 正規雇用	5. 家族従業
2. 非正規雇用(フルタイム)	6. その他()
3. 非正規雇用(パートタイム)	7. 専業主婦(夫)をしていた
4. 自営業(会社を経営)・自由業	8. 仕事をしていなかった

問 13 今後、あなた(宛名のご本人)は働こうと思っていますか。(〇は1つのみ)

1. 今も働いており、今後も働き続けたい
2. 今は働いていないが、今後働きたい
3. 今は働いているが、できるだけ早く退職したい
4. 今は働いておらず、今後も働く予定はない

問 15 へお進みください。

問 13-1 あなたは(宛名のご本人)現在、仕事(就職・転職先)を探していますか。
(〇は1つのみ)

1. 仕事を探している	2. 仕事を探していない
-------------	--------------

問 14 今後、あなた（宛名のご本人）が希望する働き方についてどのようにお考えですか。それぞれについて、当てはまる番号をお選びください。（それぞれ〇は1つずつ）

（それぞれの項目にお答えください）	当てはまる	大体 当てはまる	どちらとも いえない	あまり 当てはま らない	全く 当てはま らない
① 体力的に無理なく続けられる	1	2	3	4	5
② 自分のペースで進められる	1	2	3	4	5
③ 自分の能力を発揮できる	1	2	3	4	5
④ 勤務日や勤務時間を選べる	1	2	3	4	5
⑤ 経験したことのある職種である	1	2	3	4	5
⑥ 気心の知れた仲間がいる	1	2	3	4	5
⑦ 以前と同じ勤務先である	1	2	3	4	5
⑧ 経験したことのある業界である	1	2	3	4	5
⑨ 事業目的・経営ビジョンに共感が持てる	1	2	3	4	5
⑩ 給料が良い	1	2	3	4	5
⑪ 自宅から近い	1	2	3	4	5
⑫ 社会の役に立つ仕事	1	2	3	4	5
⑬ 自分より下の世代を支援する仕事	1	2	3	4	5

問 14-1 前問で回答されたうち、あなた（宛名のご本人）はどれが大事と考えていますか。1番目から3番目までを丸数字でご記入ください。（それぞれ1つのみ数字を記入）

（① ⑬のうち）1番目に大事	（①～⑬のうち）2番目に大事	（② ⑬のうち）3番目に大事

問 14-2 あなた（宛名のご本人）は、どこで働きたいですか。（〇は1つのみ）

<p>1. <u>勤め先まで通勤して</u> ⇒</p> <p>2. 自宅で</p> <p>3. 自宅近くで</p> <p>4. 場所は問わない</p>	<p>問 14-3 おおよその通勤時間は、どのくらいの想定ですか。</p> <p style="text-align: right;">（〇は1つのみ）</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>1. 15分以内 3. 45分以内 5. 1時間以上でも可</p> <p>2. 30分以内 4. 1時間以内</p> </div>
--	---

【 すべての方に 】

問 15 あなた（宛名のご本人）は、ふだん、ご自分で健康だと思いますか。（〇は1つのみ）

1. とても健康	2. まあまあ健康	3. あまり健康でない	4. 健康でない
----------	-----------	-------------	----------

問 16 あなた（宛名のご本人）には、かかりつけ医はいますか。（〇は1つのみ）

1. はい（かかりつけ医がいる）	2. いいえ（かかりつけ医はいない）
------------------	--------------------

問 17 あなた（宛名のご本人）には、現在次のような心配ごとや悩みがありますか。（〇はいくつでも）

1. 自分の健康のこと	7. 趣味や生きがいがないこと
2. 親族の健康のこと	8. 外出先・自宅での転倒・事故
3. 病気などの時に面倒を見てくれる人がいないこと	9. 地震等災害時の避難のこと
4. ひとり暮らしや孤独になること	10. その他
5. 生活費等経済的なこと	11. 心配ごとや悩みはない ⇒ 問 18 へお進み
6. 安心して住める場所がないこと	ください。

【問 17 で「1. 自分の健康のこと」～「10. その他」とお答えの方におうかがいします。】

問 17-1 あなた（宛名のご本人）は、心配ごとや悩みごとができた場合、誰に話を聞いてもらったり、相談したりしますか。（〇はいくつでも）

1. 配偶者	9. 区の相談窓口
2. 子ども	10. おとしより相談センター （地域包括支援センター）
3. その他の家族・親族	11. 社会福祉協議会
4. 友人・知人	12. かかりつけ医（医師・歯科医師・看護師等）
5. 隣近所の人	13. ケアマネジャー
6. 老人クラブやサークル等の仲間	14. その他
7. 町会・自治会の人	15. 相談したりする人はいない
8. 民生委員・児童委員	

【 すべての方に 】

問 18 あなた（宛名のご本人）のふだんの生活について、「はい（できる）」、「いいえ（できない）」のどちらかをお選びください。
（それぞれ〇は 1 つずつ）

※身長・体重の欄には、小数点第 1 位までの数字をご記入ください。

	いずれかに〇	
	はい (できる)	いいえ (できない)
階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか	1	2
いすに座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか	1	2
15分くらい続けて歩いていますか	1	2
週に1回以上は外出していますか	1	2
昨年と比べて外出の回数が減っていますか	1	2

（次ページに続きます）

(前ページからの続きです)

いずれかに○	
はい (できる)	いいえ (できない)
↓	↓

この1年間に転んだことがありますか	1	2
転倒に対する不安は大きいですか	1	2
6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか	1	2
現在の身長、体重をご記入ください。		
身長 (_____ . _____ cm) 体重 (_____ . _____ kg) ※小数点第1位まで記入		
半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか	1	2
お茶や汁物等でむせることがありますか	1	2
口の渇きが気になりますか	1	2
周りの人から「いつも同じことを聞く」などの物忘れがあるとされますか	1	2
自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	1	2
今日が何月何日か、わからない時がありますか	1	2
友人の家を訪ねていますか	1	2
家族や友人の相談にのっていますか	1	2
新聞を読んでいますか	1	2
本や雑誌を読んでいますか	1	2
健康についての記事や番組に関心がありますか	1	2
若い人に自分から話しかけることがありますか	1	2
(ここ2週間) 毎日の生活に充実感がない	1	2
(ここ2週間) これまで楽しんでやれていたことが楽しめなくなった	1	2
(ここ2週間) 以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられる	1	2
(ここ2週間) 自分が役に立つ人間だと思えない	1	2
(ここ2週間) わけもなく疲れたような感じがする	1	2

問 19 あなたの日常の活動状況についておうかがいします。質問ごとに、「できる」「できるけれどしていない」、「できないのでしていない」でお答えください。
(それぞれ○は1ずつ)

	している	できるけれど していない	できないので していない
1. バスや電車を使って1人で外出していますか	1	2	3
2. 日用品の買い物をしていますか	1	2	3
3. 預貯金の出し入れをしていますか	1	2	3

問20 あなた（宛名のご本人）は、5分前のことが思い出せますか。（○は1つのみ）

- | | |
|----------|-----------|
| 1. 思い出せる | 2. 思い出せない |
|----------|-----------|

問21 あなた（宛名のご本人）は、食事をする、衣服を選ぶなど、その日の活動を自分で判断できますか。（○は1つのみ）

- | |
|--------------------------|
| 1. 困難なくできる |
| 2. いくらか困難であるが、できる |
| 3. 判断するとき、他人からの合図や見守りが必要 |
| 4. ほとんど判断できない |

問22 あなた（宛名のご本人）は、人に自分の考えをうまく伝えられますか。（○は1つのみ）

- | | |
|---------------------|---------------|
| 1. 伝えられる | 3. あまり伝えられない |
| 2. いくらか困難であるが、伝えられる | 4. ほとんど伝えられない |

問23 あなた（宛名のご本人）は、食事は自分で食べられますか。（○は1つのみ）

- | |
|--------------------------|
| 1. 自分で食べられる |
| 2. おかずを切ってもらうなど介助があればできる |
| 3. 自分では食べられない |

問24 あなた（宛名のご本人）の現在の歯ぐき・口の状態についてお答えください。（○はいくつでも）

- | | |
|---------------------|-------------------|
| 1. 歯ぐきが腫れている | 6. 歯周病といわれ治療している |
| 2. 歯を磨いたときに血が出る | 7. 抜けたままにしている歯がある |
| 3. 歯ぐきが下がって歯の根が出ている | 8. むし歯がある |
| 4. 歯がぐらぐらする | 9. 当てはまるものはない |
| 5. 入れ歯が合わない | |

問25 噛んで食べる時の状態はいかがですか。（○は1つのみ）

- | |
|------------------------------|
| 1. 何でも、噛んで食べることができる |
| 2. 噛みにくいものもあるが、たいていのものは食べられる |
| 3. あまり噛めないので、食べものが限られている |
| 4. ほとんど噛めない |

問26 あなた（宛名のご本人）は、一日に何回歯磨きをしていますか。（○は1つのみ）

- | | | |
|-------|---------|--------------|
| 1. 1回 | 3. 3回 | 5. 回数は不定期 |
| 2. 2回 | 4. 4回以上 | 6. 毎日は歯を磨かない |

問27 あなた（宛名のご本人）は、ふだん、買い物、散歩、通院などで外出する頻度はどれくらいですか。（○は1つのみ）

- | | | |
|-----------|--------------|---------------|
| 1. 毎日2回以上 | 3. 2～3日に1回程度 | 5. ほとんど外出しない |
| 2. 毎日1回 | 4. 1週間に1回程度 | ⇒問28へお進みください。 |

【問 27 で「1」～「4」のいずれかにお答えの方におうかがいします。】

問 27-1 外出の主な目的は何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-------------|-------------|
| 1. 仕事 | 6. 身内の者と会う |
| 2. 買い物 | 7. ボランティア活動 |
| 3. 散歩 | 8. 通院やリハビリ |
| 4. 趣味活動 | 9. その他 () |
| 5. 友人・知人と会う | |

【すべての方に】

問 28 あなた(宛名のご本人)は、外出することについてどのようにお考えですか。

(〇はいくつでも)

- | |
|--|
| 1. 特に負担には感じない |
| 2. 外出は、なんとなくおっくうである・好きではない |
| 3. 行く場所や用事もないので外出したいとは思わない |
| 4. 外での楽しみがない |
| 5. 外出するより、家にいて過ごす方が好き |
| 6. 交通が不便なので、外出するのが負担に感じる |
| 7. 自宅の周りに坂や段差が多いので、外出するのが負担に感じる |
| 8. トイレの心配(失禁など)があり、外出するのが負担に感じる |
| 9. 身体が不自由、あるいは健康面で不安なので、外出しようと思わない・したくてもできない |
| 10. その他(具体的に) |

問 29 あなたは、近所の人とどの程度おつきあいをされていますか。(〇は1つのみ)

- | | |
|------------------|-------------------|
| 1. お互いに訪問しあう人がいる | 3. あいさつをする程度の人がいる |
| 2. 立ち話をする程度の人がいる | 4. つきあいはない |

問 29-1 へお進みください。

【問 29 で「4.つきあいはない」とお答えの方におうかがいします。】

問 29-1 おつきあいのない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. ふだんつきあう機会がないから | 6. 引っ越してきて間もないから |
| 2. あまり関わりを持ちたくないから | 7. 同世代の人が近くにいないから |
| 3. 気の合う人が近くにいないから | 8. その他 () |
| 4. ご近所と知り合うきっかけがないから | 9. 特に理由はない |
| 5. 仕事や家事などで忙しく時間がないから | 10. わからない |

【すべての方に】

問 30 友人・知人・別居の家族・親戚と会う頻度はどれくらいですか。(〇は1つのみ)

- | | | |
|-----------|-----------|-------------------|
| 1. 週に2回以上 | 3. 月に2～3回 | 5. 月に1回より少ない/全くない |
| 2. 週に1回程度 | 4. 月に1回程度 | |

問 31 友人・知人・別居の家族・親戚と電話やメール、手紙をやりとりする頻度はどれくらいですか。
(○は1つのみ)

- | | | |
|-----------|-----------|-------------------|
| 1. 週に2回以上 | 3. 月に2~3回 | 5. 月に1回より少ない/全くない |
| 2. 週に1回程度 | 4. 月に1回程度 | |

問 32 あなた(宛名のご本人)は、特に予定がなくても気軽に行ける場所がありますか。どのくらいあるかをお答えください。(○は1つのみ)

- | | | | |
|----------|----------|------------|-------|
| 1. 1か所ある | 2. 2か所ある | 3. 3か所以上ある | 4. ない |
|----------|----------|------------|-------|

【問 32 で「特に予定がなくても気軽に行ける場所」がある方に、その場所についておうかがいします。】

問 32-1 それはどのような場所ですか。一か所だけ具体的にご記入ください。

記入例：○○喫茶、△△図書館、□□公園など

--

問 32-2 問 32-1 でお答えになった場所に行くのに、ふだん使われている交通手段はどれですか。
(○はいくつでも)

- | | |
|---------|------------------|
| 1. 徒歩 | 4. 鉄道(地下鉄を含む)・バス |
| 2. 自転車 | 5. その他() |
| 3. 自家用車 | |

【すべての方に】

問 33 あなた(宛名のご本人)は、携帯電話等の情報端末を使っていますか。ご利用の場合、携帯電話等機器の種類をお答えください。(○はいくつでも)

- | |
|----------------------------------|
| 1. ふつうの携帯電話 |
| 2. スマートフォン、パソコンなど、様々な機能を持つ携帯情報端末 |
| 3. 使っていない ⇒ 問 34 へお進みください。 |

【問 33 で「1. ふつうの携帯電話」や「2. スマートフォン、パソコンなど、様々な機能を持つ携帯情報端末」を使っているとお答えの方にうかがいます。】

問 33-1 通話以外でどのような機能を利用していますか。(○はいくつでも)

- | | | |
|------------|-----------------------------|--------|
| 1. インターネット | 4. ゲーム | 6. その他 |
| 2. メール | 5. SNS(フェイスブック、LINE (具体的に) | |
| 3. カメラ | など) | |

【 すべての方に 】

問 34 あなた（宛名のご本人）は、インターネットはらだん利用していますか。（○は1つのみ）

1. ほぼ毎日利用する	4. 月に1回程度利用する
2. 2～3日おきに利用する	5. 年に数回程度利用する
3. 週に1回程度利用する	6. 全く利用しない ⇒問 35へお進みください。

【問 34「1」～「5」にお答えの方は、問 34-1、問 34-2、問 34-3をお答えください。】

問 34-1 あなた（宛名のご本人）はインターネットでどのような機能を利用していますか。（○はいくつでも）

1. ホームページの閲覧	3. メール	5. SNS（フェイスブック、LINE など）
2. 動画・音声の視聴	4. ゲーム	6. その他（具体的に ）

問 34-2 あなた（宛名のご本人）は、区役所や東京都庁など公的機関の情報を得たり、手続きをするために、携帯電話やスマートフォン、パソコンなどを利用していますか。

（○はいくつでも）

1. 情報を閲覧するために利用している
2. 各種の事業や催し等の参加申し込みなどに利用している
3. 公的機関の情報については、全く利用していない

問 34-3 あなた（宛名のご本人）は、公的機関の情報提供について、携帯電話やスマートフォン、パソコンなどを活用すべきと考えますか。（○は1つのみ）

1. 活用すべきと考える	2. 活用すべきでないと考え	3. わからない
--------------	----------------	----------

【 すべての方に 】

問 35 あなた（宛名のご本人）はこの1年間に、個人・団体で次のような地域活動やボランティアに参加したことがありますか（手伝いも含む）。また、その中で、「今後新たに参加したいもの」はありますか。それぞれについて当てはまる番号に○をつけてください。
ア～ソの活動にどれも参加したことがない場合、「タ. 全く参加していない」の3番に○をつけてください。

（それぞれあてはまる番号すべてに○）	過去1年間に参加したもの	今後新たに参加したいもの
ア. 俳句、詩吟、陶芸等の趣味の活動	1	2
イ. 学習・教養サークル（語学、歴史、音楽等）	1	2
ウ. 体操、歩こう会、ゲートボール等の健康・スポーツ活動	1	2
エ. 町会・自治会等の役員、事務局活動	1	2
オ. 老人クラブ等の役員、事務局活動	1	2
カ. NPO 団体等の役員、事務局活動	1	2

（次ページに続きます）

(前ページからの続きです)

(それぞれあてはまる番号すべてに○)	過去1年間に参加したもの	今後新たに参加したいもの
キ. 祭りなど地域の催し物の世話役等の地域行事	1	2
ク. 環境美化、緑化推進、まちづくり等の活動	1	2
ケ. 学習会、子ども会の活動、郷土芸能の伝承等の活動	1	2
コ. 交通安全、防犯・防災等の活動	1	2
サ. 高齢者の支援活動(家事援助、移送、相談、見守り等)	1	2
シ. 障がいのある人への支援活動	1	2
ス. 子どもを育てている親への支援活動(保育の手伝い等)	1	2
セ. ボランティア活動(上記以外の活動)	1	2
ソ. その他 具体的に⇒ ()	1	2
タ. 全く参加していない	3	

※ 「全く参加していない」に○をつけた方は問35-2、問35-3をお答えください。

【問35で「過去1年間に参加したもの」についておうかがいします。】

問35-1 ①最も多く参加したものはどれですか。問35の記号ア～ソまでのいずれか1つをご記入ください。

②その活動への参加頻度はどのくらいですか。(○は1つのみ)

1. 週4回以上	3. 週1回	5. 年数回
2. 週2～3回	4. 月1～3回	6. 不定期

③その活動の主な場所について、お答えください。(○は1つのみ)

1. 主に区内(10分以内で行ける)	3. 主に区内(1時間以内で行ける)
2. 主に区内(30分以内で行ける)	4. 主に区外

【問35で「タ. 全く参加していない」と回答した方におうかがいします。】

問35-2 参加をしていない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 仕事や家事で忙しく時間がない	5. 自分や家族が健康ではない
2. 何をしたいのか、わからない	6. 家族の介護や世話がある
3. あまり関わりを持ちたくない	7. 気の合う人がいない
4. やりたい活動がない	8. その他

【問 35 で「タ. 全く参加していない」と回答した方におうかがいします。】

問 35-3 参加をするきっかけになると思うことは何ですか。(〇はいくつでも)

1. 友人や知人からの勧め、誘い	5. 活動団体からの呼びかけ、誘い
2. 自分がやりたいことをみつけること	6. 区報やホームページからの情報
3. 町会・自治会からの誘い	7. きっかけになりそうなものはない
4. 家族の勧め	8. その他 ()

問 36 あなた(宛名のご本人)は、次に掲げる、区の様々な事業について、知っているものはありますか。また、利用・参加しているものはありますか。それぞれ当てはまる番号をお選びください。

(それぞれ当てはまる番号に〇)	知っている	利用・参加している
ア. ふれあい館 (健康増進や教養・レクリエーションなどが楽しめる施設)	1	2
イ. 敬老入浴事業(公衆浴場利用の入浴回数券)	1	2
ウ. 新しい総合事業(介護予防・日常生活支援事業)	1	2
エ. 地域包括ケアシステム(高齢者の住まい・医療・介護・予防・生活支援を一体的に提供するためのケア体制)	1	2
オ. はすのみ教室 (介護予防を目的とした趣味・料理・体操などの講座)	1	2
カ. いたばし健康まつり (地域住民との共同健康づくりイベント)	1	2
キ. 健康づくりなどを応援する教室 (地域支え合いグループでの健康教育事業)	1	2
ク. 脳力アップ事業(ウォーキング・料理プログラムなど)	1	2
ケ. 住民防災組織 (区民が地震などの災害に備えて自主的に結成する組織)	1	2
コ. 地域活動・地域行事(町会、自治会活動)	1	2
サ. 高齢者スポーツ大学 (卓球・体操など身近な生涯スポーツに親しむ事業)	1	2
シ. グリーンカレッジ(高齢者大学校「教養課程・専門課程」)	1	2
ス. コミュニティビジネス (就労支援、子ども食堂、サロン活動など)	1	2
セ. 民生委員(見守り・生活支援相談など)	1	2
ソ. 児童館(乳幼児と高齢者の交流イベントなど)	1	2

(次ページに続きます)

(前ページからの続きです)

(それぞれあてはまる番号すべてに○)	知っている	利用・参加している
タ. 環境行動委員会 (清掃・環境美化活動「クリーン作戦」など)	1	2
チ. 高島平地域まちづくりの推進事業(高島平地域グランドデザイン) (個性・魅力・活気あふれる“高島平”)	1	2
ツ. 花づくりグループ支援事業(花づくりボランティアなど)	1	2
テ. 生涯学習講座 (外部団体と共催し、様々なテーマの講座・講演会)	1	2
ト. 生涯学習センター(旧社会教育会館「つどう・まなぶ・むすぶ」 学習施設 まなぽーと)	1	2

【 すべての方に 】

問37 あなた(宛名のご本人)は現在、老人クラブ(区内の60歳以上の方が加入できる自主的な組織で、教養の向上、健康の増進、社会奉仕を目的として様々な活動を行っています。)に加入していますか。(○は1つのみ)

1. 加入している ⇒問38へお進みください。	2. 加入していない
-------------------------	------------



【問37で「2. 加入していない」とお答えの方におうかがいします。】

問37-1 加入していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 「老人クラブ」を知らないから	8. 「老人」という名称に抵抗があるから
2. 仕事等で忙しいから	9. 役員等を引き受けるのがわずらわしいから
3. 会員同士の間関係がわずらわしいから	10. 同年代の会員が少ないから
4. 加入の仕方がわからないから	11. 若い世代と交流できないから
5. 他の団体・サークル活動で忙しいから	12. 自分はまだ老人ではないから
6. 健康を害しているから	13. その他()
7. 活動内容に魅力を感じないから	

問 38 あなた（宛名のご本人）は、これからの生活について、次にあげるものについて今まで以上に取り組みたい・心がけたいものは何ですか。当てはまる番号をお選びください。

（○はいくつでも）

1. 子や孫など、身内（同居していない家族・親族を含む）との交流
 2. 配偶者や親など、身内（同居していない家族・親族を含む）のケア、介護
 3. ご近所とのおつきあい
 4. 友人・知人との交流
 5. 新しい仲間やネットワークづくり
 6. 地域活動・ボランティア活動（福祉や環境美化、防犯・防災、スポーツ・文化活動等）
 7. インターネットなどの情報機器、端末の利活用
 8. 体を動かす（ウォーキングやスポーツなど）
 9. 家屋や庭の維持、メンテナンス（日曜大工、庭いじりなど）
 10. 趣味活動（外出を主とするもの：旅行やイベントなど）
 11. 趣味活動（主として自宅で取り組むもの：読書、手芸等）
 12. 資格の取得や知識・技術の習得、学習活動
 13. 就労（自営での営業を含む）
 14. その他で取り組んでみたい、やりたいもの・こと
- （具体的に _____)

【最後に、あなた（宛名のご本人）ご自身のことについておうかがいします。】

問 39 あなたが最後に卒業された学校をお答えください。（○は1つのみ）

- | | |
|-------------------|-----------------------|
| 1. 中学校（高等小学校を含む） | 4. 大学（短大を含む）（旧制高校を含む） |
| 2. 高等学校（旧制中学校を含む） | 5. 大学院 |
| 3. 専門学校 | 6. 答えたくない |

問 40 あなた（宛名のご本人）の年収（年金を含む）をお答えください。（○は1つのみ）

- | | | |
|----------------|----------------|---------------------|
| 1. 80万円未満 | 5. 200～300万円未満 | 9. 700～1,000万円未満 |
| 2. 80～120万円未満 | 6. 300～400万円未満 | 10. 1,000～1,500万円未満 |
| 3. 120～125万円未満 | 7. 400～550万円未満 | 11. 1,500万円以上 |
| 4. 125～200万円未満 | 8. 550～700万円未満 | 12. 答えたくない |

ご協力ありがとうございました

お名前、ご住所等は記入不要です。

同封の返信用封筒に入れて、1月25日(水)までに、

切手を貼らずにポストに投函してください。

※ 返信用封筒の郵便番号「173-8790」、承認番号「1912」及びバーコードは、このアンケートを板橋区役所1か所に集めるための番号であり、個人を特定するためのものではありません。

板橋区シニア活動推進計画高齢者ニーズ調査（郵送調査）報告書

平成 29 年 3 月 発行

発行 板橋区 健康生きがい部 長寿社会推進課
〒173-8501 東京都板橋区板橋二丁目 66 番 1 号
TEL : 03-3579-2371
FAX : 03-3579-2309
ホームページ : <http://www.city.itabashi.tokyo.jp/>

実施 株式会社インテージリサーチ
〒203-0053 東京都東久留米市本町 1 - 4 - 1
TEL : 042-476-5300
FAX : 042-476-5303
ホームページ : <http://www.intage-research.co.jp/>